

## 第2章 一般高齢者調査結果

### 1 概況等

#### (1) 調査対象者の属性

- 回答者の年齢構成をみると、平成28年度調査（以下、「前回」と言う。）に比べて前期高齢者の減少、後期高齢者の増加がみられ、70代後半（75歳～79歳）の増加が特徴となっています。（問2）
- 家族構成、住まい方については、前回に比べて大きな変化はなく、8割は家族と同居、うち、日中ひとりになることは3割が週のうち1日以上となっています。（問4～5）

表 前回(平成28年度)と今回の比較表(性別・年齢構成・地区・住まい・家族構成(4区分))

(%)				
性別	(n)	男性	女性	無回答
今回調査	778	47.7	49.1	3.2
平成28年度調査	2,228	44.0	51.5	4.5

(%)								
年齢構成	(n)	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
今回調査	778	26.0	27.9	23.8	13.1	4.5	1.8	3.0
		前期高齢者		後期高齢者				
		53.9		43.2				
平成28年度調査	2,228	32.9	26.8	19.6	11.5	5.1	1.2	3.0
		前期高齢者		後期高齢者				
		59.7		37.4				

(%)													
地区	(n)	旭南	旭北	四之宮	八幡	真土	中原	南原	松が丘	田村	横内	大神	金田
今回調査	778	8.0	10.5	3.6	3.0	2.6	6.3	1.2	1.7	4.0	3.1	2.2	3.1
平成28年度調査	2,228	8.6	9.2	3.8	2.6	3.5	7.0	1.4	2.5	3.6	3.6	1.8	4.1

(%)													
地区	(n)	豊田	城島	岡崎	金目	土沢	なでしこ	花水	港	富士見	崇善	松原	無回答
今回調査	778	2.8	1.8	5.7	6.2	3.2	2.1	6.4	5.9	5.8	5.1	3.2	2.7
平成28年度調査	2,228	2.2	2.2	4.4	6.0	2.9	1.8	5.8	5.5	5.8	4.9	2.6	4.1

(%)						
住まい	(n)	一戸建て・ 持ち家	一戸建て・ 賃貸住宅 その他	共同住宅・ 持ち家	共同住宅・ 賃貸住宅 その他	無回答
今回調査	778	70.8	3.1	9.5	8.4	8.2
平成28年度調査	2,228	63.4	1.9	9.4	6.3	18.9

(%)						
家族構成(4区分)	(n)	一人暮らし	夫婦二人 暮らし	その他の 同居世帯	その他(施 設入居な ど)	無回答
今回調査	778	13.9	40.2	45.0	0.5	0.4
平成28年度調査	2,228	14.0	38.4	46.5	0.4	0.8

## (2) 今後の高齢者施策等について

- 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市として重点的に取り組むべきことは、回答者の半数以上が「家族介護者への支援」(58.2%)、「移動手段の確保などの外出支援」(52.3%)、「在宅医療の充実」(52.1%)をあげているほか、「介護予防の充実」(46.3%)や「身体介護や生活援助などの介護サービスの充実」(47.8%)の回答も多くなっています。一方で、不安に感じることは、「自分や家族の健康に関すること」(69.0%)、「自分や家族が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」(68.3%)となっており、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年を見据え、壮年期も巻き込みながら、健康づくりと介護予防の充実をはじめ、高齢者の生活全般のニーズに対し市としての確に取組を構築し、推進していく必要があります。(問6~7)

## (3) 介護予防について

- 介護予防には、半数以上が取り組んでおり、うち約7割はバランスの取れた食事、口の中の清潔、定期的な運動(ウォーキングや体操)に取り組んでいます。今後は、約4人中3人が取り組みたいとしており、後期高齢者の増加が予想されるなか、参加し、継続しやすくなる環境整備(「参加時間や場所が自分で決められる」「費用負担がかからない程度」「身近なところでの開催」など)が望まれています。(問8~10)

## (4) 生きがいづくりについて

- 生活の中での生きがいは、「家族との日常生活」(57.7%)、「友人・知人との交流」(53.9%)、「趣味活動」(50.4%)がともに5割を超え、個人の生活が充実していることがうかがえます。(問11)
- 高齢者の就業は、回答者に後期高齢者が増えている一方で、就業割合は3割を超え(32.6%)、前回(29.8%)をやや上回っています。今後の就労希望も3割を超え(35.0%)、特に「シルバー人材センター」で働きたいとする割合は、実際にシルバー人材センターで働いている割合よりも約3ポイント高くなっています。  
就労希望年齢も『79歳まで』が7割を超え(72.4%)、少子高齢化が進むなか、今後元気で働く意欲と活力を持った高齢者への期待はますます高くなることが予想されており、就労希望者の7割が就労時間は6時間以下を希望していること、体力的に無理なく続けられる仕事であることを働くうえで重視している傾向などを踏まえつつ、これに応える受け皿づくりが重要となると考えられます。(問13~16)

## (5) 地域のネットワークについて

- 平塚市高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)の認知状況は、「内容をよく知っている・だいたいの内容は知っている」を合わせた『知っている』とする割合は22.0%と、前回(17.4%)を約5ポイント上回っています。また、同センターが認知症の相談窓口になっていることを『知っている』とする割合も23.5%と、前回(18.5%)を上回っていることから、同センターの存在や役割が要支援・要介護状態にない高齢者に少しずつ浸透してきていることがわかります。  
一方で、女性に比べて認知状況が低い男性層を中心として、周知の取組をより一層進める必要があります。(問17~19)

- 地域活動への参加状況は27.3%と、前回(33.0%)に比べてやや低下し、回答者の約4人に1人(26.1%)が「参加したいとは思わない」としています。その一方で、現在参加している、今後参加したい活動の中では「地域(学校、施設、商店街、自治会など)のイベントの支援」(42.9%)、「高齢の方、障がいのある方の話し相手や身の周りの世話」(17.5%)が前回は約5~6ポイント上回っており、地元での活動や、当事者同士のサポートへの関心が高いことがうかがえます。これは手助け・ボランティア的な活動への意向が前回は約7ポイント上回っていることでもわかります(『手助けをしたい』37.8%)。(問20~21)

## (6) 医療について

- 医療については、「かかりつけ医がいる」とする割合が89.5%と前回は約4ポイント上回り、在宅医療の認知状況(87.9%)も前回より約5ポイント増えています。また、長期の治療・療養が必要になった場合に在宅医療を希望する割合は約6割(59.9%)と半数を超えています。一方で、自分が望む医療やケアについて家族等と話し合いをしている割合は約3割(32.0%)であり、在宅医療を利用した在宅生活の継続が可能とする割合も同じく3割台(35.7%)にとどまっています。在宅生活の継続ができないとする人の理由の約8割(77.6%)が家族の負担をあげており、介護する家族への支援が求められています。(問22~26-1)
- 自宅で最期まで生活するために必要なことは、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が半数(52.4%)を超えているほか、「介護をする家族への支援」をあげる割合が、前回は約7ポイント上回って4割を超え(44.6%)、医療体制の充実の必要性とともに、家族介護者への支援の重要性が高まっているといえます。(問28)

## (7) 認知症について

- 認知症については、本人・家族が認知症になることへの不安が8割近くあり(78.0%)、本人・家族が認知症になった際には、8割(80.8%)が「家族・親戚」による支えを期待する結果となっています。一方、認知症の方への支援としては、「認知症専門の介護サービスの充実」のほか、「早期診断」、「進行に合わせた医療の適切かつ専門的アドバイス」、「認知症専門機関の充実」をあげる割合がいずれも3割を超えており、本人・家族を取り巻く医療や介護環境の充実への期待が高いことがうかがえます。(問29~31)

## (8) 生活支援について

- 生活に必要な外出では、約7割(68.4%)は週3日以上外出しており、前回は約4ポイント上回っています。外出手段では前回「徒歩」が最も多かったのに対し(55.2%)、今回は約5割(49.1%)が「自分でバイクや車を運転」している、となっており、移動距離・手段も多様化していると思われます。日用品の買い物に対する不便さも、現状は「感じていない」が約8割(81.9%)を占めています。また、買い物について、インターネットによる宅配サービスなど何らかのサービスを利用している割合は約3割(29.8%)となっており、様々な民間サービスを活用しながら高齢者の生活を支えていくことも今後重要となると思われます。(問32~34)

## 第2章 一般高齢者調査結果

- ふだんの生活で手助けを求める割合は前回とほぼ同じ（24.6%、前回 26.3%）であり、うち「病院への送迎」「家電器具やパソコン等の操作」がそれぞれ 6.0%で最も多く、次いで「簡単な力仕事」が 5.9%となっています。現在は手助けを求める割合は2割台ですが、高年齢ほど高くなっているため、高齢化が進み、今後一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加が想定されるなか、移動困難や家具移動など様々な支援ニーズに対応するしくみが重要となると思われます。（問 35）

### （9）住まいについて

- 現在の住まいの居住意向は 73.7%と前回（75.3%）と変わらず高く、特に「持ち家」に居住する高齢者で高い傾向がみられます。一方、住み替えたいとする 10.2%のうち、住み替えたい理由について、「介護が必要となったときに備えたいから」、「買い物や通院の利便性に問題があるから」とする割合も2割台の一定数あり、介護への備えが重要であることに加え、住まいを取り巻く環境も生活継続のための要素であることがわかります。また、住み替え時に必要な支援では、「住まい探しに関する支援」が最も多く（40.5%）、高齢者の住み替えニーズに応じた住まいの情報を提供できる体制づくりが求められています。（問 36～36-4）

### （10）見守るためのしくみについて

- 今回調査では、新たにスマートフォンの利用状況を調査し、「毎日」あるいは「時々」利用している割合は4割（41.4%）であるのに対し、「持っているがほとんど利用しない」（6.6%）、あるいは「持っていない」（48.1%）とする割合は半数以上（54.7%）であることがわかりました。また、前期高齢者の約半数（48.0%）が「毎日利用している」のに対し、後期高齢者では2割弱（16.1%）まで少なくなるため、今後、災害時の情報発信など様々な活用が期待される一方で、高齢者の利用実態等を踏まえながら活用を図る必要があります。（問 37～37-1）
- 終活という言葉は約9割（89.6%）が知っており、かつ終活を意識して取り組んでいる割合は約7割（70.4%）となっています。現時点では「家の片づけ」が 47.9%で最も多く、今後相続や財産保全の問題も絡めて総合的な相談、情報支援のニーズに対応するしくみづくりが求められます。（問 38～39）
- 成年後見制度の認知状況は、前回とほぼ同じ割合（40.8%）で、後見人等候補者には8割（84.3%）が家族・親族を念頭においています。きめ細やかな制度の周知や利用促進に向けた取組を進める必要があります。（問 40～40-1）
- 災害時などでの避難行動支援制度については、約4割（36.7%）が知っており、登録希望は自身、家族含めて約2割（22.0%）となっています。大規模災害が多発する中、災害時に支援を必要とする方が迅速かつ的確に避難できるよう制度の周知を図り、支援を必要とする人の把握と、地域における避難支援の体制づくりを推進する必要があります。（問 41～42）

### (11) 介護について

- 介護が必要になったときに介護を受けたい場所として「自宅や親族宅」をあげる割合が41.3%と前回(31.6%)を約10ポイントと大きく上回り、そのうち、家族または親族が介護に関わることを希望する割合は、8割を超えていて(86.0%)、家族からの介護、または、介護保険サービス(在宅サービス)を活用しながら家族とともに生活する意向が高まっていることがうかがえます。一方で、自宅以外での介護を希望する人の自宅以外を選んだ理由としては、「介護を受ける環境が整っている」(44.8%)という施設での専門的かつ適切な介護に期待する回答のほか、「親族等の世話になることに気が引ける」(43.5%)も4割を超えており、介護をする家族への支援とともに、在宅で十分な介護が受けられる環境整備の必要性がわかります。(問43~43-2)
  
- 介護保険制度・高齢者福祉策の充実度は、およそ4人に1人(24.6%)は『充実している』(「とても充実している」「まあ充実している」の合計)とする一方、『充実していない』(「あまり充実していない」「充実していない」の合計)は10.9%と、前回(7.8%)に比べ『充実していない』が3ポイント増えており、介護保険サービス以外も含めた高齢者施策の充実が求められていると思われます。(問48)

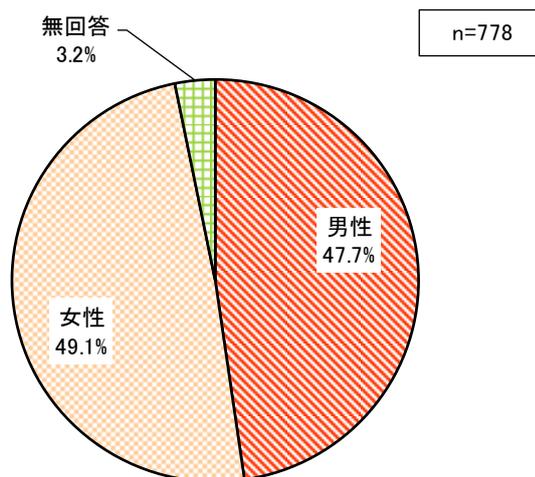
## 2 各設問の結果

### (1) 調査対象者の属性

問1 あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ○)

性別は、「男性」が47.7%、「女性」が49.1%となっています。

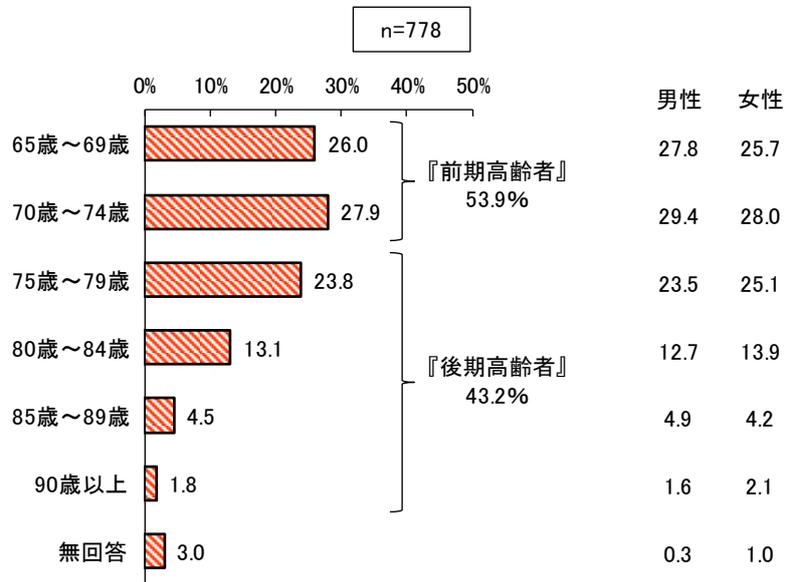
図表 2.1 性別



問2 あなたの令和元年11月1日現在の満年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

年齢構成は、65歳～74歳の『前期高齢者』は53.9%、75歳以上の『後期高齢者』は43.2%となっています。

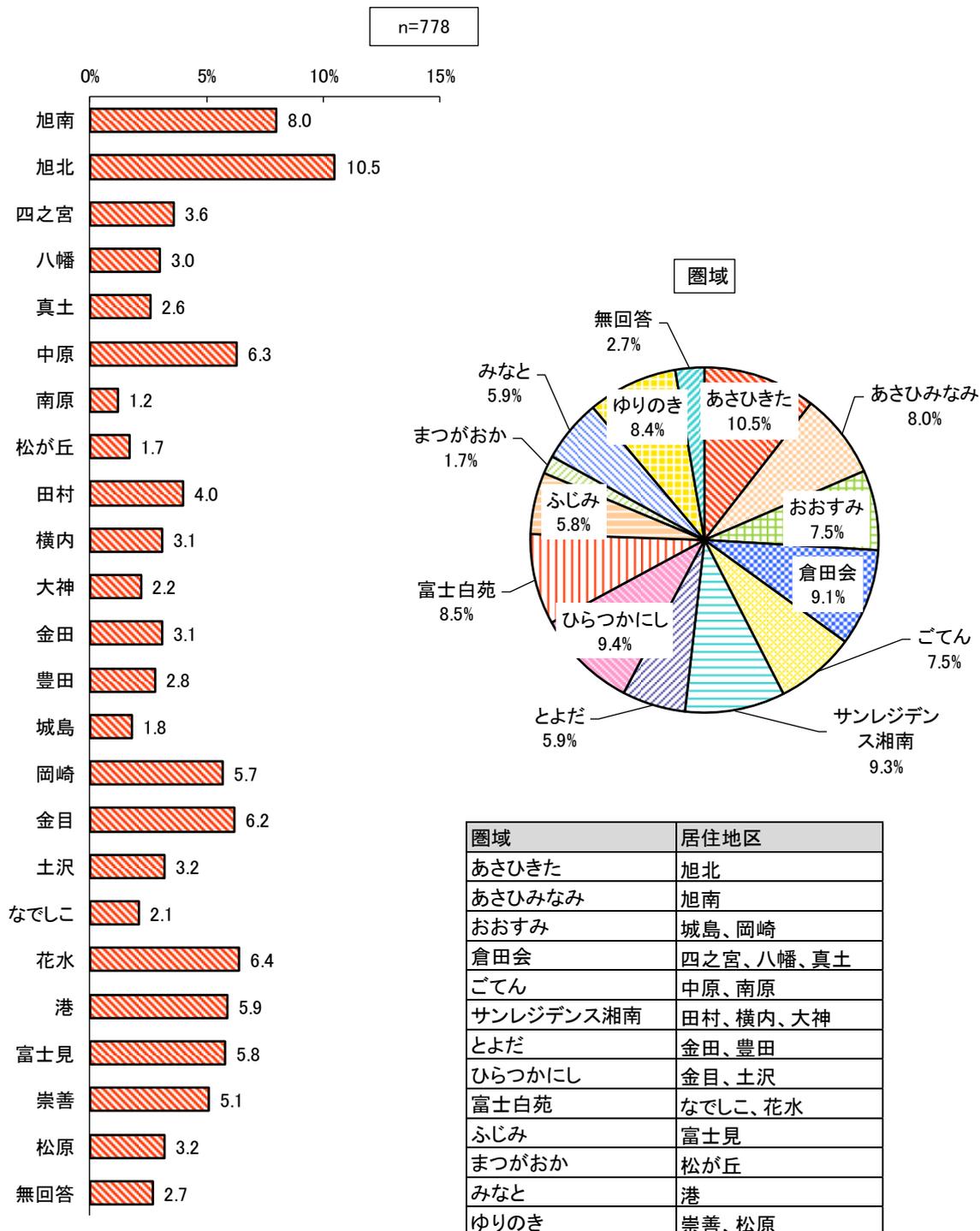
図表 2.2 年齢



問3 あなたがお住まいの地区をお答えください。(ひとつだけ○)

居住地区、日常生活圏域別の構成は、次のようになっています。

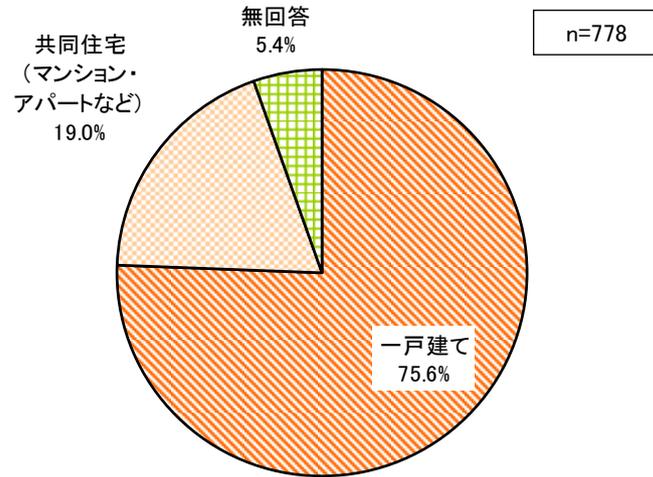
図表 2.3 居住地区



問4 現在のお住まいについてうかがいます。(それぞれひとつだけ○)  
 (1) 一戸建て、または共同住宅のどちらですか。(2) お住まいは、次のうちどれですか。

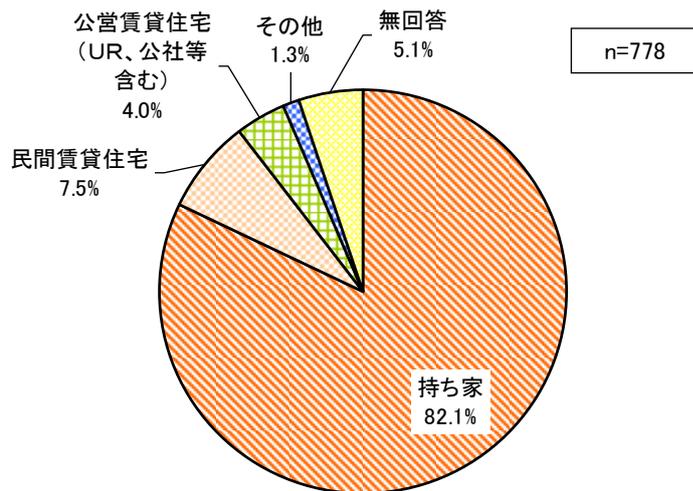
住宅の種類は、「一戸建て」が75.6%、「共同住宅(マンション・アパートなど)」が19.0%となっています。

図表 2.4 住宅の種類



住宅の所有状況は、「持ち家」が82.1%で最も多く、次いで「民間賃貸住宅」7.5%、「公営賃貸住宅(UR、公社等含む)」が4.0%の順となっています。

図表 2.5 住宅の所有状況

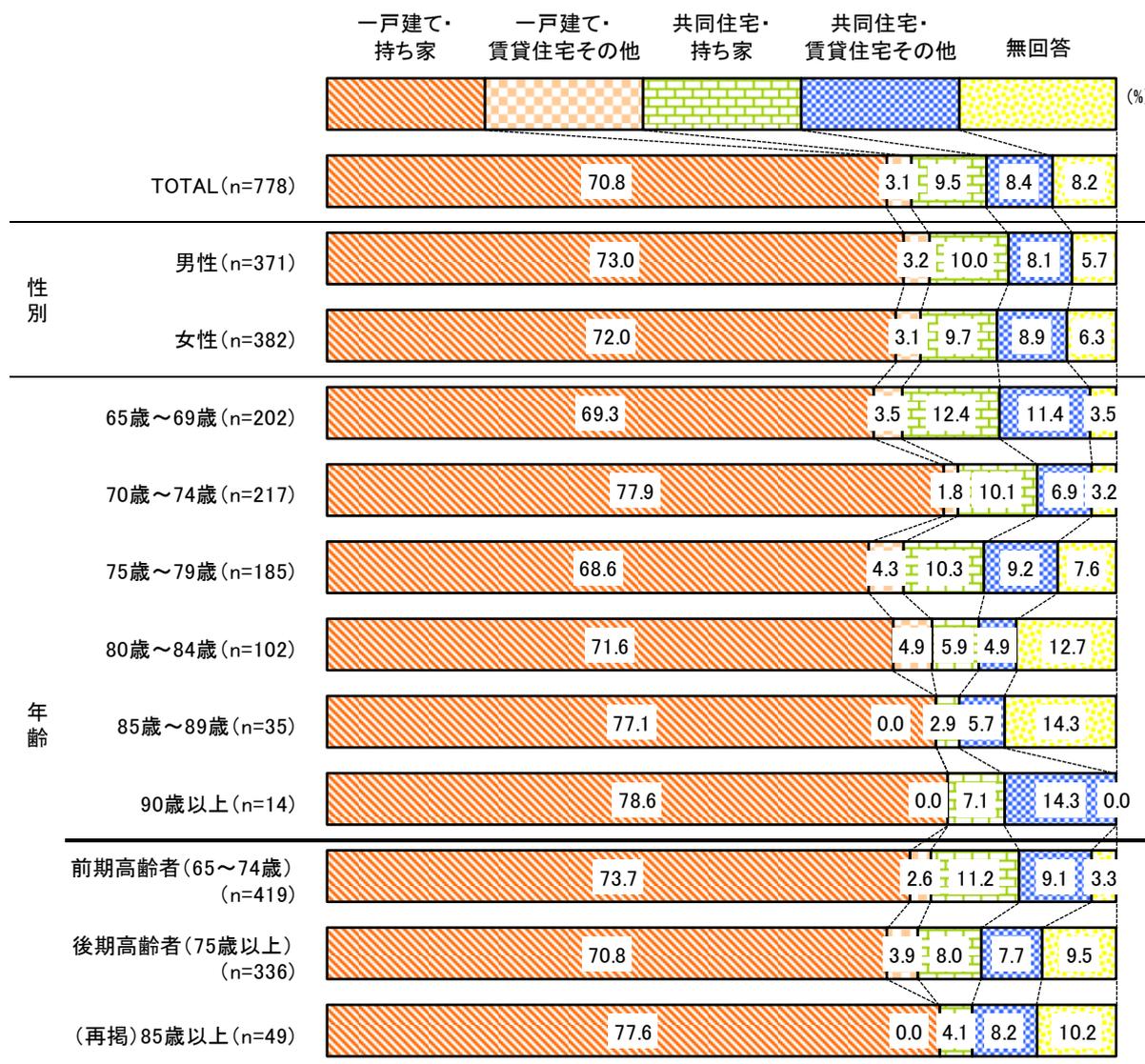


第2章 一般高齢者調査結果

住居形態と所有形態を組み合わせた構成では、「一戸建て・持ち家」が70.8%で最も多く、次いで「共同住宅・持ち家」が9.5%、「共同住宅・賃貸住宅その他」が8.4%、「一戸建て・賃貸住宅その他」が3.1%の順となっています。

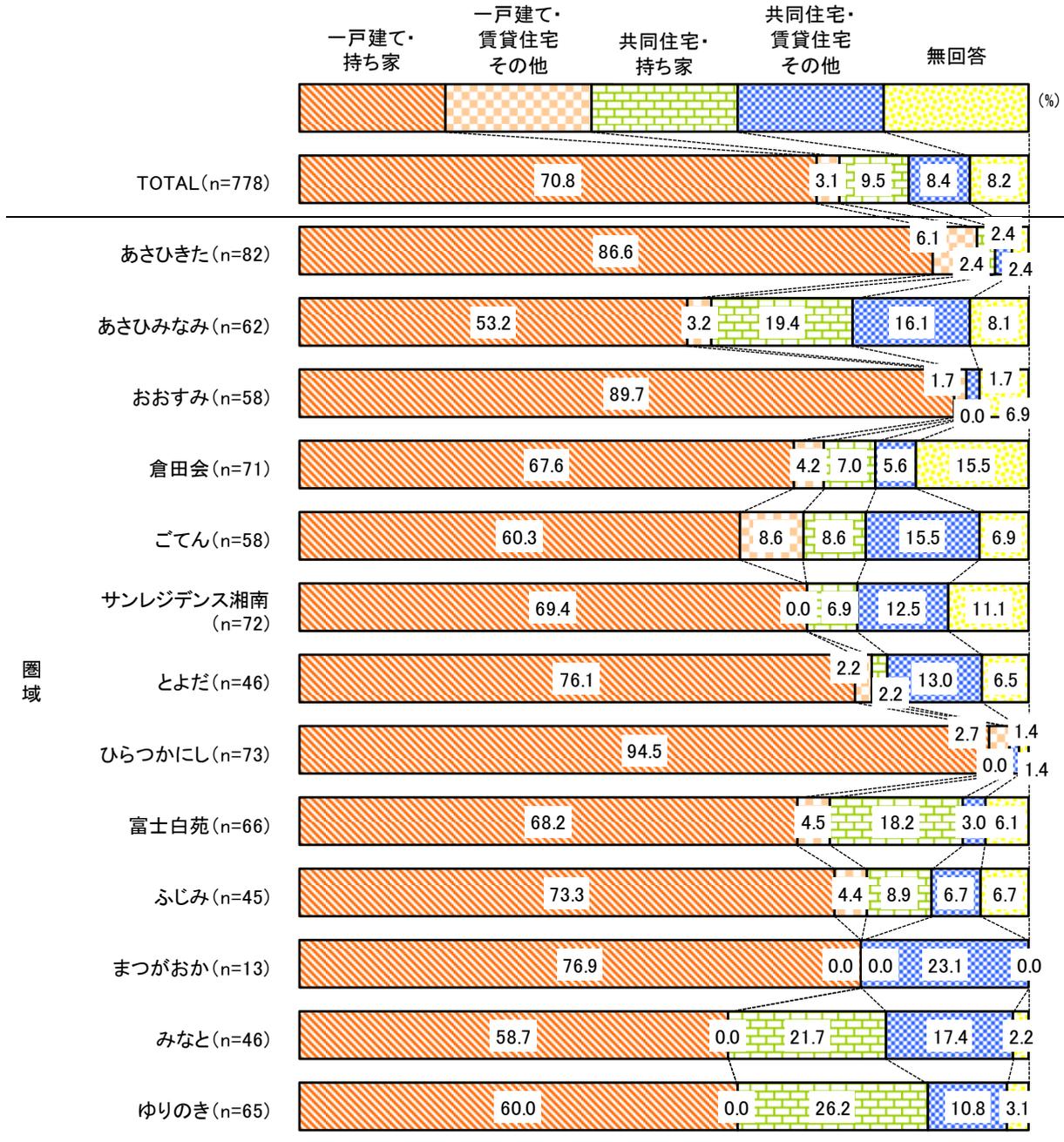
性別では、大きな違いはみられませんが、年齢別では、「70～74歳」で「一戸建て・持ち家」が77.9%と、他の年齢に比べて高くなっています。また、「65～69歳」では、「共同住宅・持ち家」が12.4%と、他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2.6 住居形態・所有形態



圏域別では、「一戸建て・持ち家」が「みなと」(58.7%)、「あさひみなみ」(53.2%)、は5割台と、他の圏域に比べて低くなっています。また、「共同住宅・持ち家」は「ゆりのき」(26.2%)、「みなと」(21.7%)、「あさひみなみ」(19.4%)、「富士白苑」(18.2%)、が2割台と、他の圏域に比べて高くなっています。

図表 2.7 住居形態・所有形態

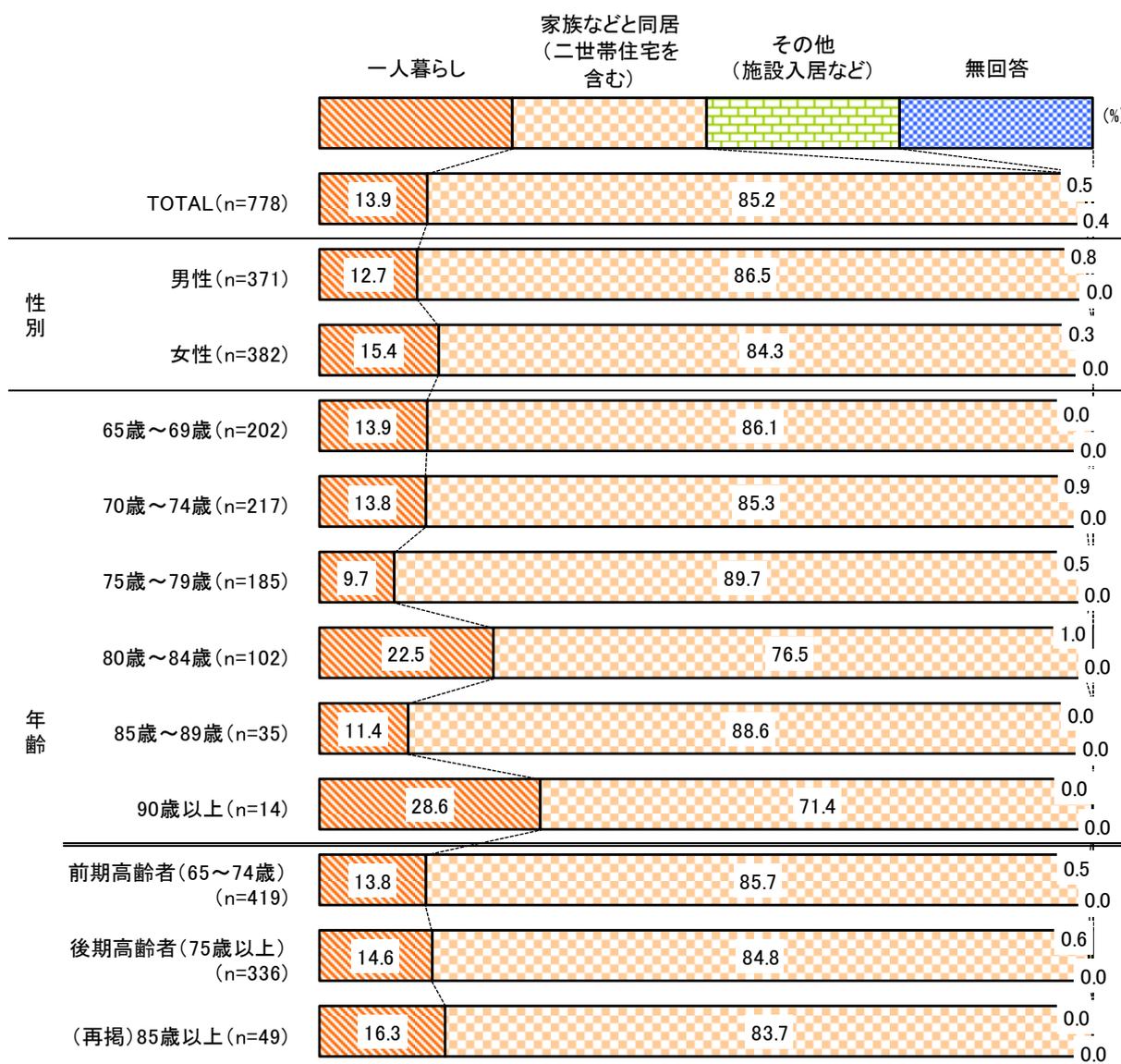


問5 現在の家族構成を、以下の中からお答えください。(ひとつだけ〇)

家族構成は、「一人暮らし」が13.9%、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が85.2%、「その他（施設入居など）」が0.5%となっています。

性別では、大きな違いはみられませんが、年齢別では、「80～84歳」で「一人暮らし」が22.5%と他の年齢に比べて高くなっています。

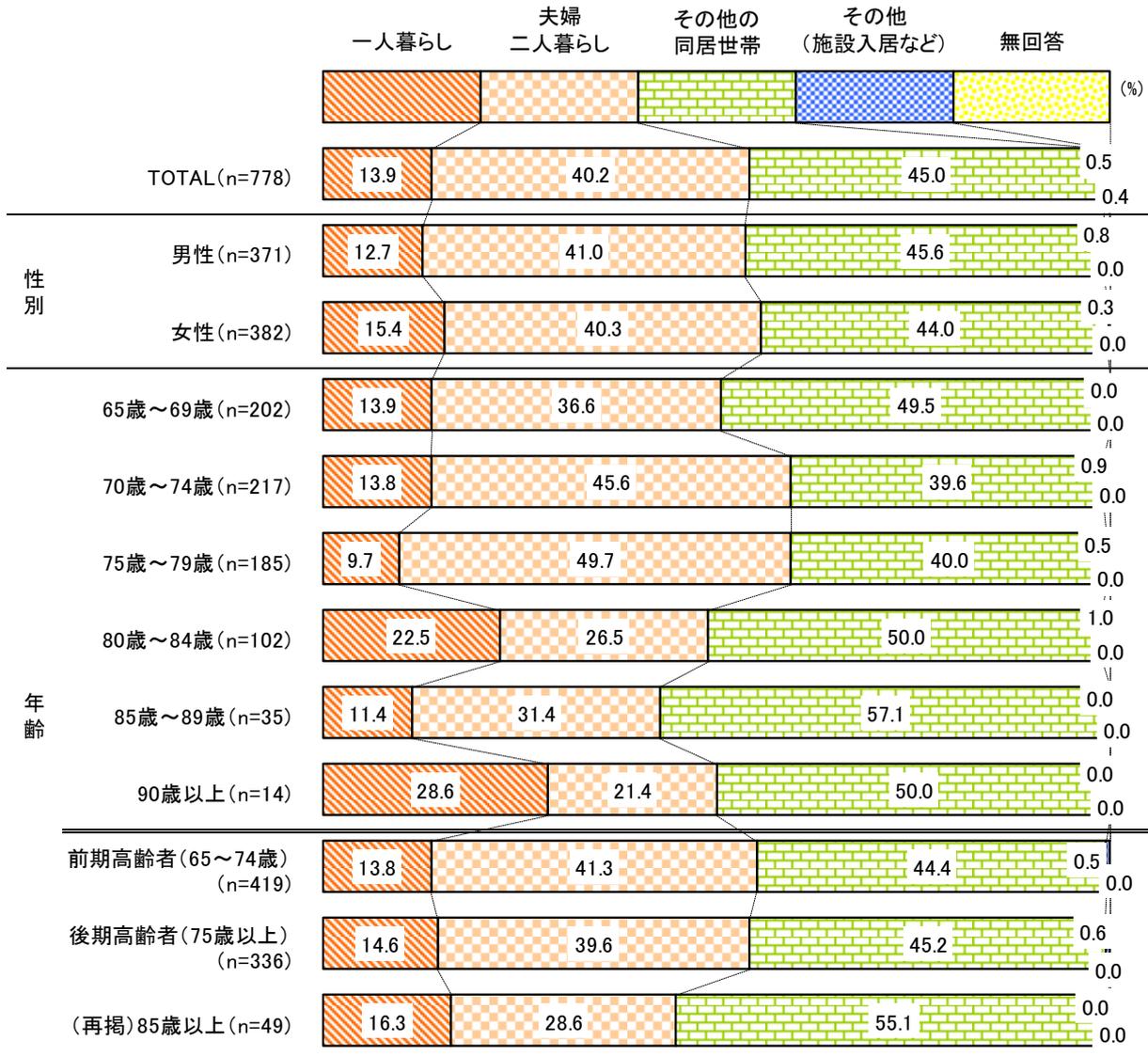
図表 2.8 家族構成



家族構成のうち、「家族など同居（二世帯住宅を含む）」について、同居者数、同居者の続柄を踏まえて整理し直し、家族構成を4区分に分類したものをみると、「その他の同居世帯」が45.0%で最も多く、次いで「夫婦二人暮らし」が40.2%、「一人暮らし」が13.9%の順となっています。

性別では、大きな違いはみられませんが、年齢別では、「(再掲)85歳以上」で「その他の同居世帯」が他の年齢に比べて55.1%と高くなっています。

図表 2.9 家族構成(4区分)



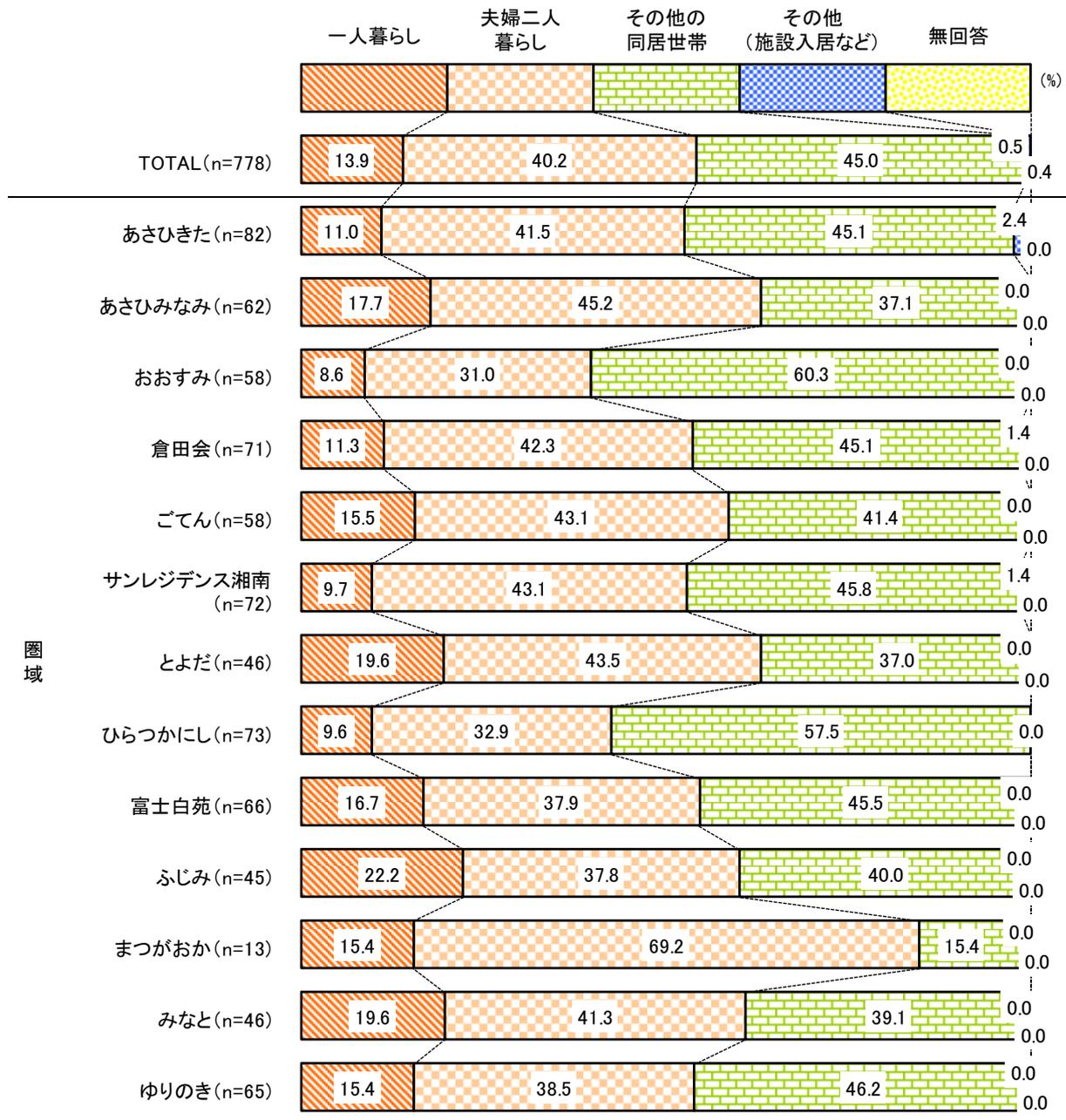
第2章 一般高齢者調査結果

家族構成4区分別について圏域別では、「一人暮らし」は「ふじみ」(22.2%)、「とよだ」「みなと」(ともに19.6%)と、約2割となっています。

また、「夫婦二人暮らし」は、「あさひみなみ」で45.2%と他の圏域に比べて高くなっています。

「その他の同居世帯」は、「おおすみ」(60.3%)、「ひらつかにし」(57.5%)で約6割となっています。

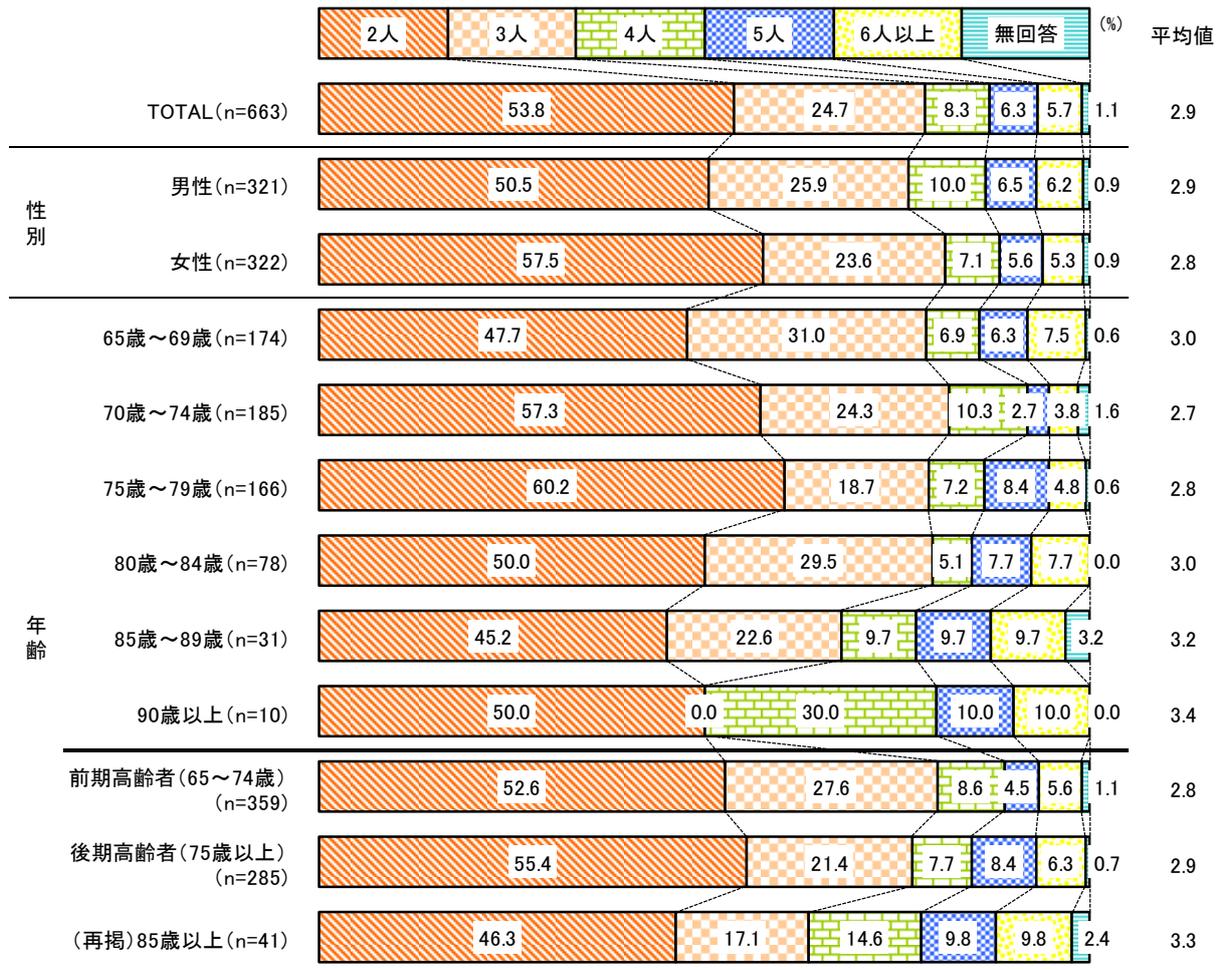
図表 2.10 家族構成(4区分)



問5-1 問5で「2 家族などと同居（二世帯住宅を含む）」に○をつけた方にうかがいます。  
 (1) 御自分を含めて何人で暮らしていますか。

同居者数の構成は、「2人」が53.8%と最も多く、次いで「3人」が24.7%、「4人」が8.3%、「5人」が6.3%の順となっています。回答者中の平均同居人数は、2.9人となっています。  
 性別では、「男性」に比べて「女性」のほうが「2人」の割合はやや高く（57.5%）、年齢別では、「75歳～79歳」で「2人」が6割（60.2%）と他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2.11 同居者数



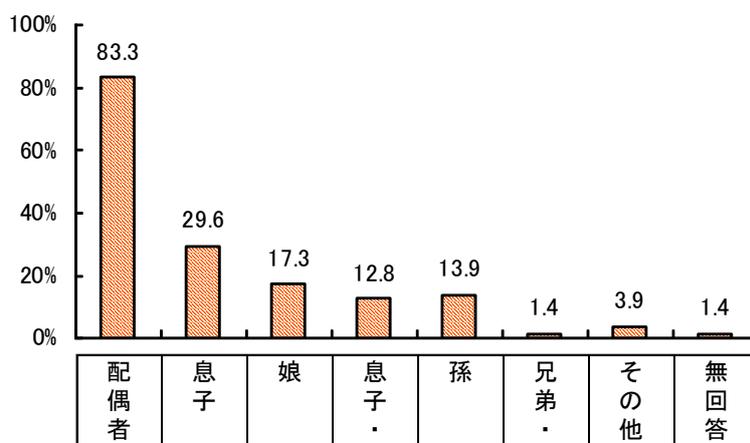
問5-1 問5で「2 家族など同居（二世帯住宅を含む）」に○をつけた方にうかがいます。  
 (2) 同居されている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

同居者では、「配偶者」が83.3%で最も多く、次いで「息子」が29.6%、「娘」が17.3%の順となっています。

性別では、「男性」は「配偶者」が90.0%で最も多く、次いで「息子」が26.8%、「娘」が19.3%の順となっています。「女性」では「配偶者」が77.0%で最も多く、次いで「息子」が32.0%、「娘」が16.1%の順となっています。

年齢別では、高年齢ほど「配偶者」が低く、「息子」が高くなる傾向がみられます。

図表 2.12 同居者



(単位: %)

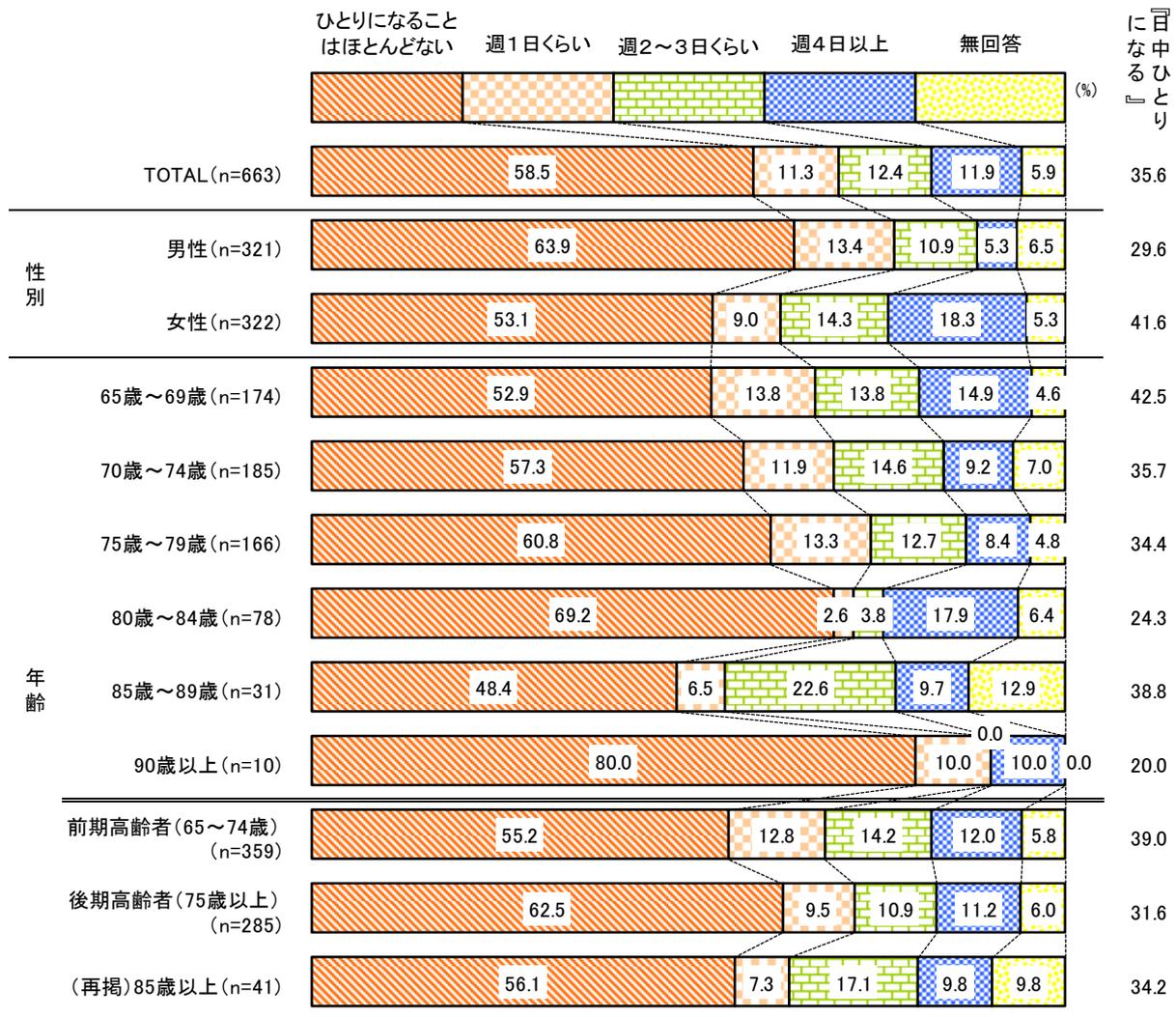
		n	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	息子・娘の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
TOTAL		663	83.3	29.6	17.3	12.8	13.9	1.4	3.9	1.4
性別	男性	321	90.0	26.8	19.3	10.9	11.8	1.6	6.2	0.6
	女性	322	77.0	32.0	16.1	14.6	15.5	0.9	1.2	1.6
年齢	65歳～69歳	174	89.1	32.2	20.7	9.8	14.4	1.1	7.5	0.6
	70歳～74歳	185	88.6	20.5	19.5	8.6	9.2	2.2	4.9	1.1
	75歳～79歳	166	84.3	26.5	11.4	12.7	14.5	1.2	0.6	2.4
	80歳～84歳	78	73.1	44.9	16.7	19.2	14.1	0.0	1.3	0.0
	85歳～89歳	31	54.8	45.2	22.6	35.5	29.0	0.0	0.0	0.0
	90歳以上	10	50.0	40.0	20.0	40.0	30.0	0.0	10.0	0.0
	前期高齢者 (65～74歳)	359	88.9	26.2	20.1	9.2	11.7	1.7	6.1	0.8
	後期高齢者 (75歳以上)	285	76.8	34.0	14.4	17.9	16.5	0.7	1.1	1.4
	(再掲) 85歳以上	41	53.7	43.9	22.0	36.6	29.3	0.0	2.4	0.0

問5-2 問5で「2 家族など同居（二世帯住宅を含む）」に○をつけた方にうかがいます。  
あなたは日中、家にひとりでいることがどのくらいありますか。（ひとつだけ○）

日中の独居状況については、「ひとりになることはほとんどない」が58.5%と最も多くなっています。次いで「週2～3日くらい」が12.4%、「週4日以上」が11.9%、「週1日くらい」が11.3%の順となっています。『日中ひとりになる』（「週1日くらい」「週2～3日くらい」「週4日以上」の合計）ことは35.6%が週のうち1日以上となっています。

性別では、「女性」では「週1日くらい」（9.0%）、「週2～3日くらい」（14.3%）、「週4日以上」（18.3%）を合わせて41.6%が『日中ひとりになる』としており、「男性」の『日中ひとりになる』（29.6%）に比べて高くなっています。

図表 2.13 日中の独居状況



(2) 今後の高齢者施策等について

問6 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組んだ方がよいと考えるものはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

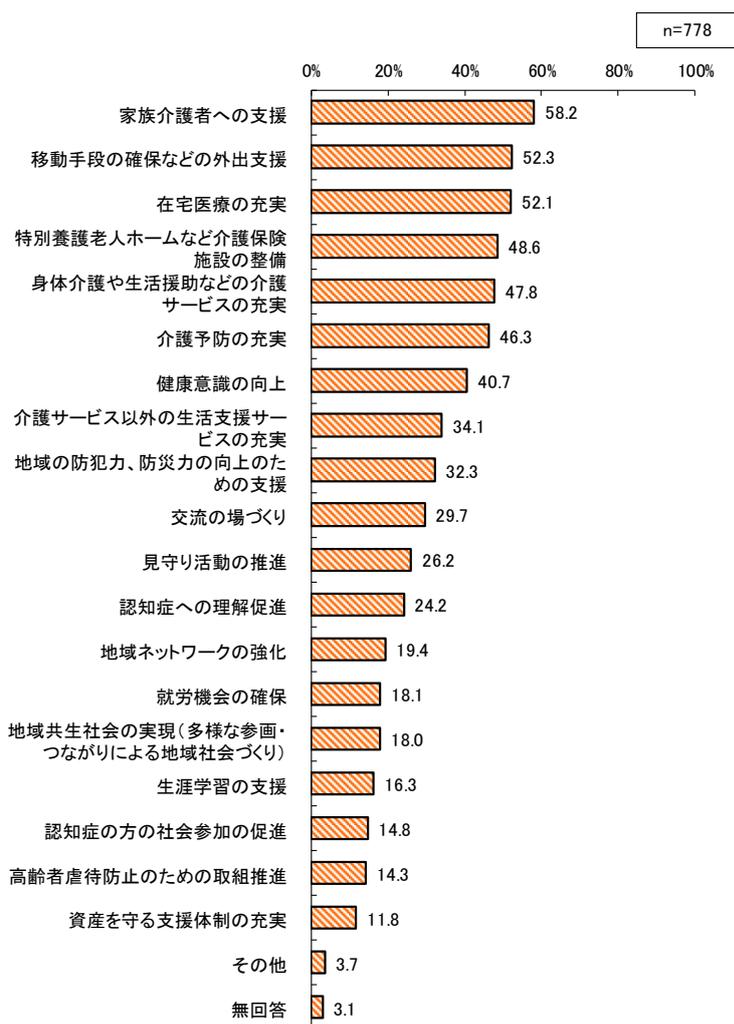
人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組んだ方がよいと考えるものについては、「家族介護者への支援」が58.2%で最も多く、次いで「移動手段の確保などの外出支援」が52.3%、「在宅医療の充実」が52.1%といずれも5割を超えています。

性別では、「男性」では「特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備」、「介護予防の充実」、「地域の防犯力、防災力の向上のための支援」、「就労機会の確保」については、女性を5ポイント以上、上回っています。一方、女性では、「介護サービス以外の生活支援サービスの充実」、「交流の場づくり」において、男性を5ポイント以上、上回っています。

年齢別では、「後期高齢者」では、「健康意識の向上」、「交流の場づくり」、「見守り活動の推進」、「認知症への理解促進」については、「前期高齢者」より5～10ポイント以上、上回っています。

圏域別では、「富士白苑」、「ふじみ」、「ゆりのき」の各圏域で割合の高い項目が目立っており、「家族介護者への支援」は「ふじみ」(75.6%)、「在宅医療の充実」は「富士白苑」(60.6%)、「身体介護や生活援助などの介護サービスの充実」は「ゆりのき」(60.0%)、「介護予防の充実」は「ふじみ」(60.0%)でそれぞれ高くなっています。

図表 2.14 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこと



図表 2.15 人生 100 年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこと

		n	家族介護者への支援	移動手段の確保などの外出支援	在宅医療の充実	特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備	身体介護や生活援助などの介護サービスの充実	介護予防の充実	健康意識の向上	介護サービス以外の生活支援サービスの充実	地域の防犯力、防災力の向上のため	交流の場づくり	見守り活動の推進	認知症への理解促進	地域ネットワークの強化	就労機会の確保	地域共生社会の実現（多様な参画・つながりによる地域社会づくり）	生涯学習の支援	認知症の方の社会参加の促進	高齢者虐待防止のための取組推進	資産を守る支援体制の充実	その他	無回答	
(単位：%)																								
TOTAL		778	58.2	52.3	52.1	48.6	47.8	46.3	40.7	34.1	32.3	29.7	26.2	24.2	19.4	18.1	18.0	16.3	14.8	14.3	11.8	3.7	3.1	
性別	男性	371	57.1	54.4	54.2	52.0	47.2	49.9	42.9	31.0	36.1	26.7	24.5	23.2	21.0	23.5	18.9	15.4	13.5	13.2	14.3	3.8	2.2	
	女性	382	59.4	52.1	50.8	45.8	49.5	42.1	39.0	36.6	29.8	32.5	28.5	25.9	18.6	12.8	16.8	17.8	15.7	15.4	9.7	3.7	3.7	
年齢	65歳～69歳	202	61.4	55.0	53.5	51.5	48.5	49.0	38.6	35.1	36.1	28.7	27.2	23.8	26.7	26.7	19.3	17.3	15.3	11.4	14.9	5.0	1.5	
	70歳～74歳	217	56.2	54.8	47.5	52.1	50.7	43.8	33.6	31.3	31.3	25.3	22.1	16.1	13.8	18.4	13.4	14.7	10.1	13.8	9.7	3.2	3.7	
	75歳～79歳	185	61.1	50.3	56.2	47.0	49.2	46.5	45.4	37.3	31.4	34.1	27.6	30.3	16.8	14.6	22.2	20.0	16.8	12.4	13.0	4.9	2.2	
	80歳～84歳	102	48.0	50.0	49.0	43.1	43.1	47.1	51.0	28.4	28.4	33.3	25.5	29.4	21.6	10.8	17.6	16.7	20.6	20.6	8.8	2.0	5.9	
	85歳～89歳	35	71.4	65.7	71.4	45.7	48.6	51.4	45.7	34.3	45.7	37.1	48.6	40.0	31.4	22.9	25.7	14.3	22.9	40.0	20.0	0.0	2.9	
	90歳以上	14	57.1	35.7	50.0	42.9	35.7	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3	42.9	21.4	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	
	前期高齢者（65～74歳）	419	58.7	54.9	50.4	51.8	49.6	46.3	36.0	33.2	33.7	27.0	24.6	19.8	20.0	22.4	16.2	16.0	12.6	12.6	12.2	4.1	2.6	
	後期高齢者（75歳以上）	336	58.0	51.2	55.4	45.5	46.7	46.4	46.4	46.4	34.5	31.8	33.3	29.8	30.7	19.6	13.7	20.5	17.6	17.9	17.3	11.9	3.3	3.6
	（再掲）85歳以上	49	67.3	57.1	65.3	44.9	44.9	44.9	40.8	36.7	40.8	30.6	46.9	34.7	26.5	16.3	20.4	10.2	16.3	28.6	14.3	0.0	4.1	
圏域	あさひきた	82	58.5	47.6	58.5	47.6	47.6	42.7	39.0	28.0	42.7	28.0	30.5	23.2	15.9	17.1	20.7	11.0	20.7	11.0	15.9	2.4	3.7	
	あさひみなみ	62	48.4	61.3	59.7	56.5	50.0	46.8	38.7	37.1	32.3	32.3	32.3	24.2	19.4	24.2	17.7	21.0	19.4	12.9	6.5	4.8	4.8	
	おおすみ	58	69.0	72.4	56.9	53.4	53.4	43.1	48.3	29.3	27.6	27.6	27.6	24.1	17.2	12.1	19.0	13.8	6.9	12.1	8.6	3.4	3.4	
	倉田会	71	63.4	50.7	54.9	42.3	45.1	43.7	39.4	36.6	35.2	31.0	29.6	29.6	23.9	15.5	16.9	16.9	14.1	16.9	18.3	4.2	1.4	
	ごてん	58	50.0	29.3	46.6	55.2	41.4	50.0	43.1	32.8	32.8	31.0	22.4	24.1	20.7	24.1	27.6	15.5	8.6	12.1	6.9	3.4	6.9	
	サンレジデンス湘南	72	62.5	55.6	52.8	54.2	45.8	43.1	37.5	34.7	34.7	34.7	27.8	26.4	29.2	25.0	22.2	20.8	16.7	19.4	16.7	2.8	4.2	
	とよだ	46	60.9	56.5	47.8	45.7	37.0	45.7	30.4	45.7	32.6	28.3	23.9	19.6	26.1	15.2	10.9	19.6	17.4	19.6	13.0	0.0	6.5	
	ひらつかにし	73	53.4	56.2	54.8	34.2	37.0	46.6	39.7	26.0	38.4	26.0	20.5	23.3	17.8	16.4	8.2	11.0	19.2	15.1	9.6	4.1	0.0	
	富士白苑	66	62.1	56.1	60.6	56.1	59.1	47.0	51.5	31.8	27.3	36.4	31.8	22.7	19.7	15.2	24.2	18.2	21.2	10.6	16.7	6.1	0.0	
	ふじみ	45	75.6	46.7	48.9	55.6	53.3	60.0	46.7	57.8	33.3	33.3	28.9	26.7	22.2	20.0	17.8	17.8	24.4	22.2	8.9	6.7	0.0	
	まつがおか	13	46.2	30.8	38.5	69.2	46.2	38.5	7.7	15.4	38.5	30.8	7.7	30.8	0.0	7.7	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	
	みなと	46	45.7	52.2	34.8	32.6	43.5	45.7	41.3	30.4	34.8	15.2	17.4	30.4	13.0	21.7	15.2	15.2	4.3	8.7	4.3	8.7	4.3	
	ゆりのき	65	55.4	53.8	46.2	49.2	60.0	52.3	43.1	33.8	20.0	33.8	29.2	23.1	18.5	16.9	16.9	23.1	7.7	16.9	16.9	1.5	1.5	

問7 人生100年時代を迎えるにあたって、どのようなことに不安を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

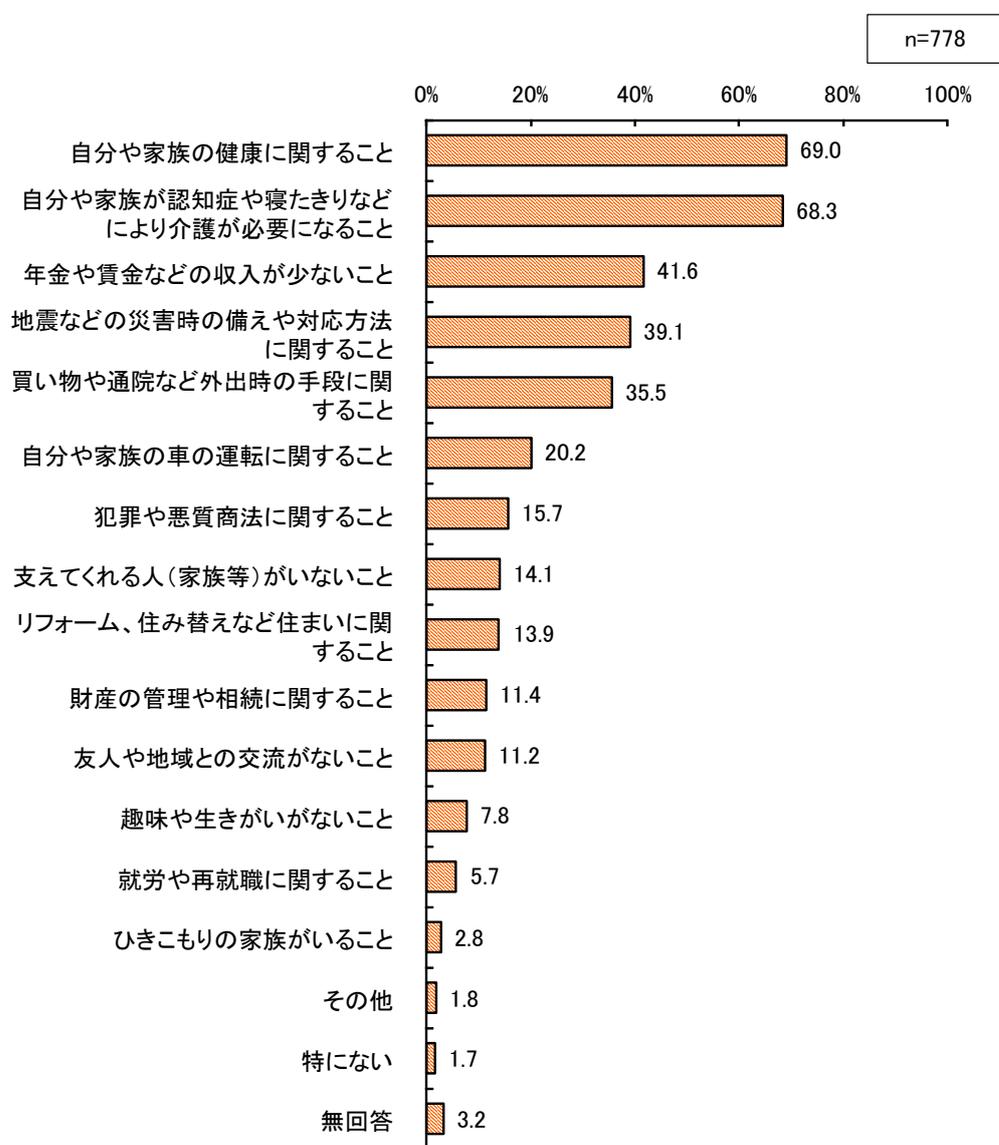
人生100年時代を迎えるにあたって不安を感じることは、「自分や家族の健康に関すること」が69.0%で最も多く、次いで「自分や家族が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が68.3%とともに6割台となっています。次いで「年金や賃金などの収入が少ないこと」が41.6%となっています。

性別では、「自分や家族の車の運転に関すること」では男性(24.8%)が女性(15.4%)を大きく上回っています。

年齢別では、「友人や地域との交流がないこと」、「犯罪や悪質商法に関すること」については、高年齢ほど高くなる傾向がみられます。

圏域別では、「おおすみ」で「自分や家族が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」(79.3%)、「自分や家族の健康に関すること」(77.6%)が高い傾向がみられます。また、「自分や家族の車の運転に関すること」については、「ひらつかにし」で35.6%と高くなっています。

図表 2.16 人生100年時代を迎えるにあたって不安を感じること



図表 2.17 人生 100 年時代を迎えるにあたって不安に感じること

		n	自分や家族の健康に関すること	自分や家族が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	年金や賞金などの収入が少ないこと	地震などの災害時の備えや対応方法に関すること	買い物や通院など外出時の手段に関すること	自分や家族の車の運転に関すること	犯罪や悪質商法に関すること	支えてくれる人（家族等）がいないこと	リフォーム、住み替えなど住まいに関すること	財産の管理や相続に関すること	友人や地域との交流がないこと	趣味や生きがいがないこと	就労や再就職に関すること	ひきこもりの家族がいること	その他	特になし	無回答
(単位：%)																			
TOTAL		778	69.0	68.3	41.6	39.1	35.5	20.2	15.7	14.1	13.9	11.4	11.2	7.8	5.7	2.8	1.8	1.7	3.2
性別	男性	371	72.0	69.8	43.9	37.2	34.8	24.8	14.8	16.7	15.1	14.0	13.7	8.9	7.8	3.0	1.9	1.1	2.4
	女性	382	66.8	67.8	40.3	42.1	37.2	15.4	17.3	11.8	13.4	9.4	9.4	7.3	3.7	2.6	1.8	2.4	2.9
年齢	65歳～69歳	202	73.8	69.3	45.5	38.6	27.7	18.8	12.9	16.3	18.8	12.9	10.9	7.9	8.9	3.5	0.0	1.0	1.5
	70歳～74歳	217	69.1	66.8	44.2	36.4	37.3	21.7	12.9	13.4	11.5	10.6	9.2	7.4	5.5	1.8	1.4	2.8	2.3
	75歳～79歳	185	67.0	75.7	40.5	44.3	42.2	23.8	17.8	14.6	13.5	13.5	11.4	7.0	5.9	1.6	3.8	1.1	2.7
	80歳～84歳	102	65.7	68.6	40.2	38.2	38.2	17.6	15.7	10.8	13.7	7.8	14.7	9.8	2.0	5.9	3.9	1.0	5.9
	85歳～89歳	35	60.0	62.9	31.4	42.9	37.1	17.1	34.3	14.3	14.3	20.0	22.9	11.4	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9
	90歳以上	14	78.6	35.7	21.4	50.0	28.6	0.0	35.7	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1
	前期高齢者（65～74歳）	419	71.4	68.0	44.9	37.5	32.7	20.3	12.9	14.8	15.0	11.7	10.0	7.6	7.2	2.6	0.7	1.9	1.9
	後期高齢者（75歳以上）	336	66.4	70.5	38.7	42.6	39.9	20.2	19.6	13.7	13.4	11.9	13.4	8.3	4.2	3.0	3.3	1.2	3.9
	（再掲）85歳以上	49	65.3	55.1	28.6	44.9	34.7	12.2	34.7	16.3	12.2	14.3	18.4	10.2	2.0	2.0	0.0	2.0	4.1
圏域	あさひきた	82	73.2	72.0	43.9	42.7	30.5	24.4	22.0	13.4	19.5	12.2	9.8	4.9	7.3	2.4	1.2	1.2	3.7
	あさひみなみ	62	72.6	75.8	46.8	32.3	46.8	19.4	14.5	19.4	11.3	9.7	4.8	6.5	4.8	1.6	0.0	0.0	6.5
	おおすみ	58	77.6	79.3	44.8	32.8	48.3	32.8	12.1	6.9	8.6	10.3	6.9	5.2	1.7	5.2	0.0	0.0	0.0
	倉田会	71	53.5	62.0	42.3	42.3	36.6	16.9	19.7	14.1	15.5	18.3	16.9	11.3	4.2	2.8	1.4	2.8	1.4
	ごてん	58	72.4	70.7	51.7	48.3	13.8	10.3	13.8	17.2	6.9	8.6	10.3	5.2	5.2	1.7	3.4	0.0	5.2
	サンレジデンス湘南	72	69.4	72.2	43.1	41.7	37.5	18.1	13.9	12.5	11.1	13.9	11.1	9.7	12.5	1.4	2.8	2.8	2.8
	とよだ	46	58.7	54.3	43.5	39.1	32.6	21.7	8.7	28.3	15.2	4.3	15.2	8.7	8.7	6.5	4.3	0.0	6.5
	ひらつかにし	73	68.5	68.5	45.2	32.9	42.5	35.6	13.7	16.4	13.7	12.3	15.1	11.0	5.5	1.4	5.5	1.4	0.0
	富士白苑	66	74.2	62.1	36.4	40.9	39.4	12.1	13.6	10.6	13.6	9.1	12.1	10.6	4.5	0.0	0.0	4.5	3.0
	ふじみ	45	73.3	66.7	33.3	42.2	31.1	15.6	20.0	11.1	13.3	4.4	13.3	4.4	4.4	6.7	2.2	4.4	2.2
	まつがおか	13	46.2	69.2	30.8	53.8	46.2	23.1	38.5	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
	みなと	46	76.1	71.7	30.4	41.3	39.1	19.6	21.7	13.0	26.1	10.9	10.9	6.5	2.2	4.3	0.0	2.2	2.2
	ゆりのき	65	67.7	69.2	40.0	38.5	23.1	10.8	10.8	9.2	15.4	23.1	13.8	9.2	7.7	3.1	0.0	1.5	1.5

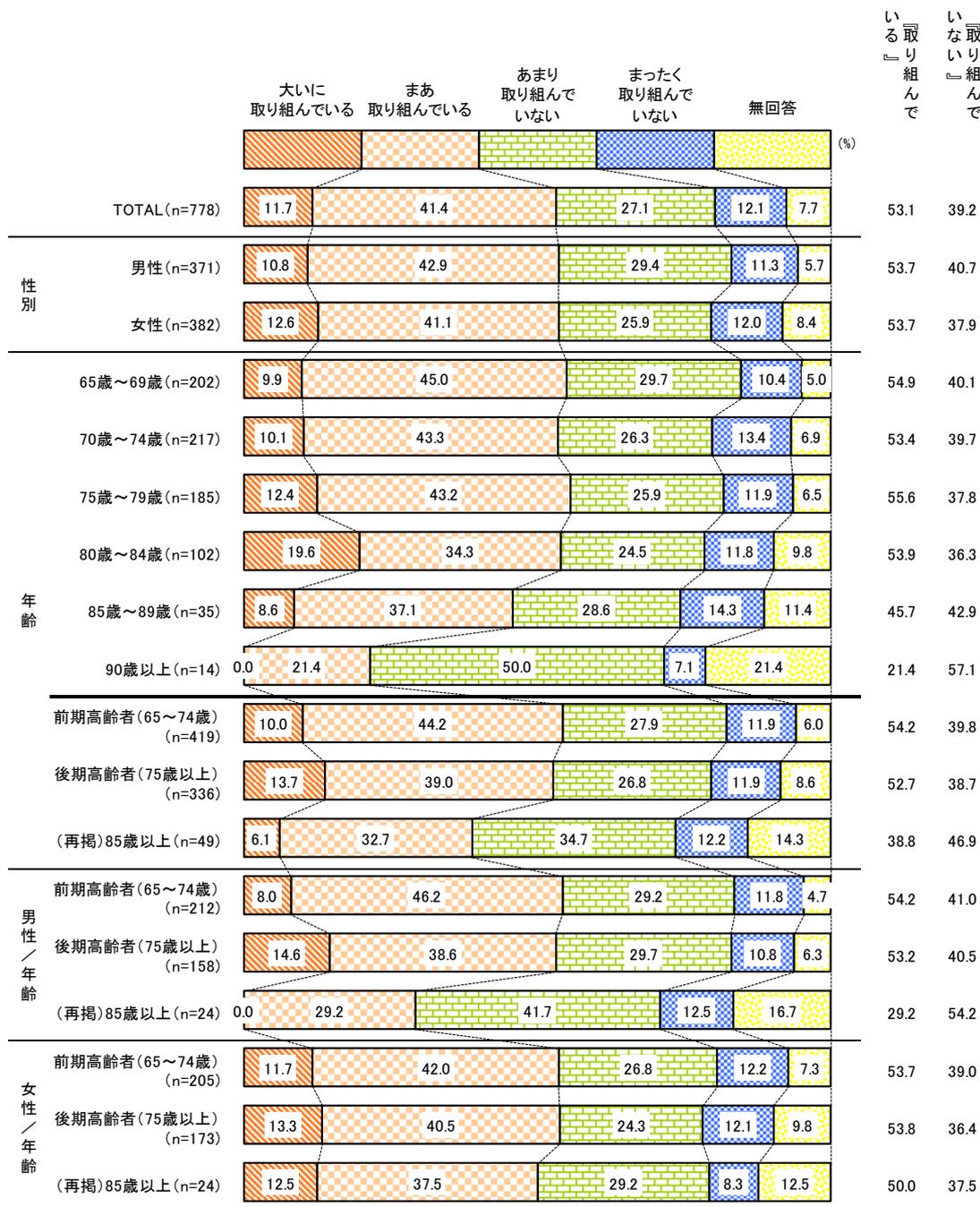
(3) 介護予防について

問8 平塚市では介護予防の通称として、「健康長寿チャレンジひらつか（健康チャレンジ）」を掲げ、積極的に推進しています。あなたは普段、介護予防にどのくらい取り組んでいますか。（ひとつだけ○）

普段の介護予防への取組については、「大いに取り組んでいる」「まあ取り組んでいる」を合わせて、53.1%が『取り組んでいる』としています。

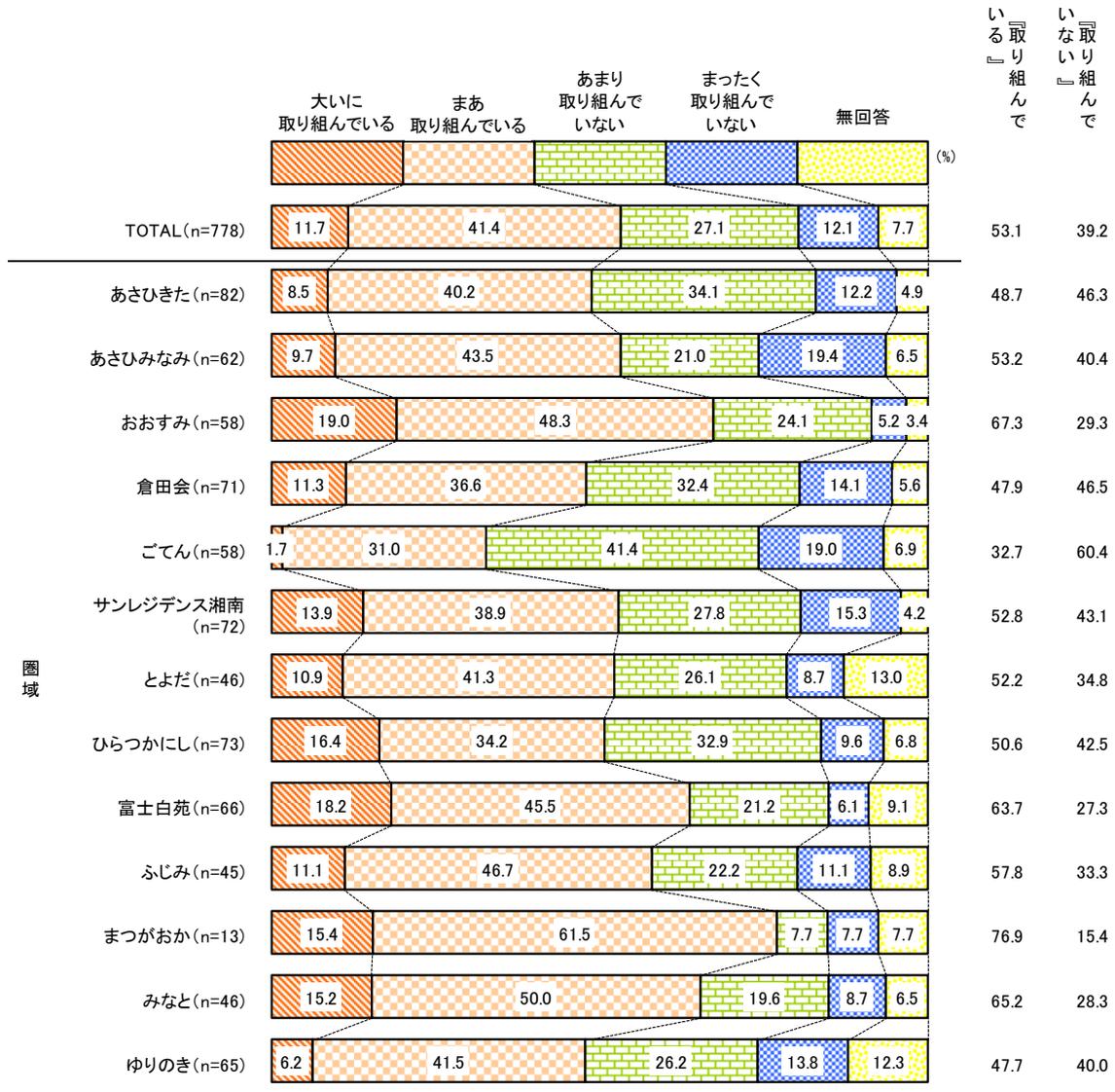
性別では、大きな違いはみられませんが、年齢別では、「80歳～84歳」で「大いに取り組んでいる」が19.6%と他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2.18 普段の介護予防への取組



圏域別では、「大いに取り組んでいる」が「おおすみ」(19.0%)、「富士白苑」(18.2%)で約2割と他の圏域に比べて高くなっています。

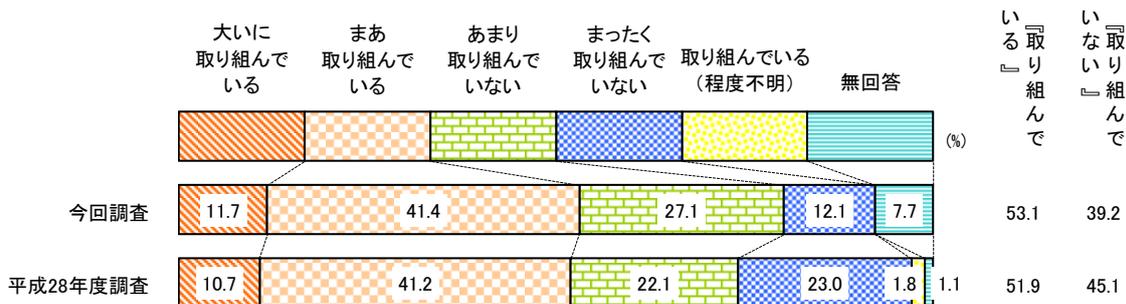
図表 2.19 普段の介護予防への取組



(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、『取り組んでいる』が増加しています。

図表 2.20 普段の介護予防への取組



※「取り組んでいる(程度不明)」は今回調査なしのため、0.0 非表示

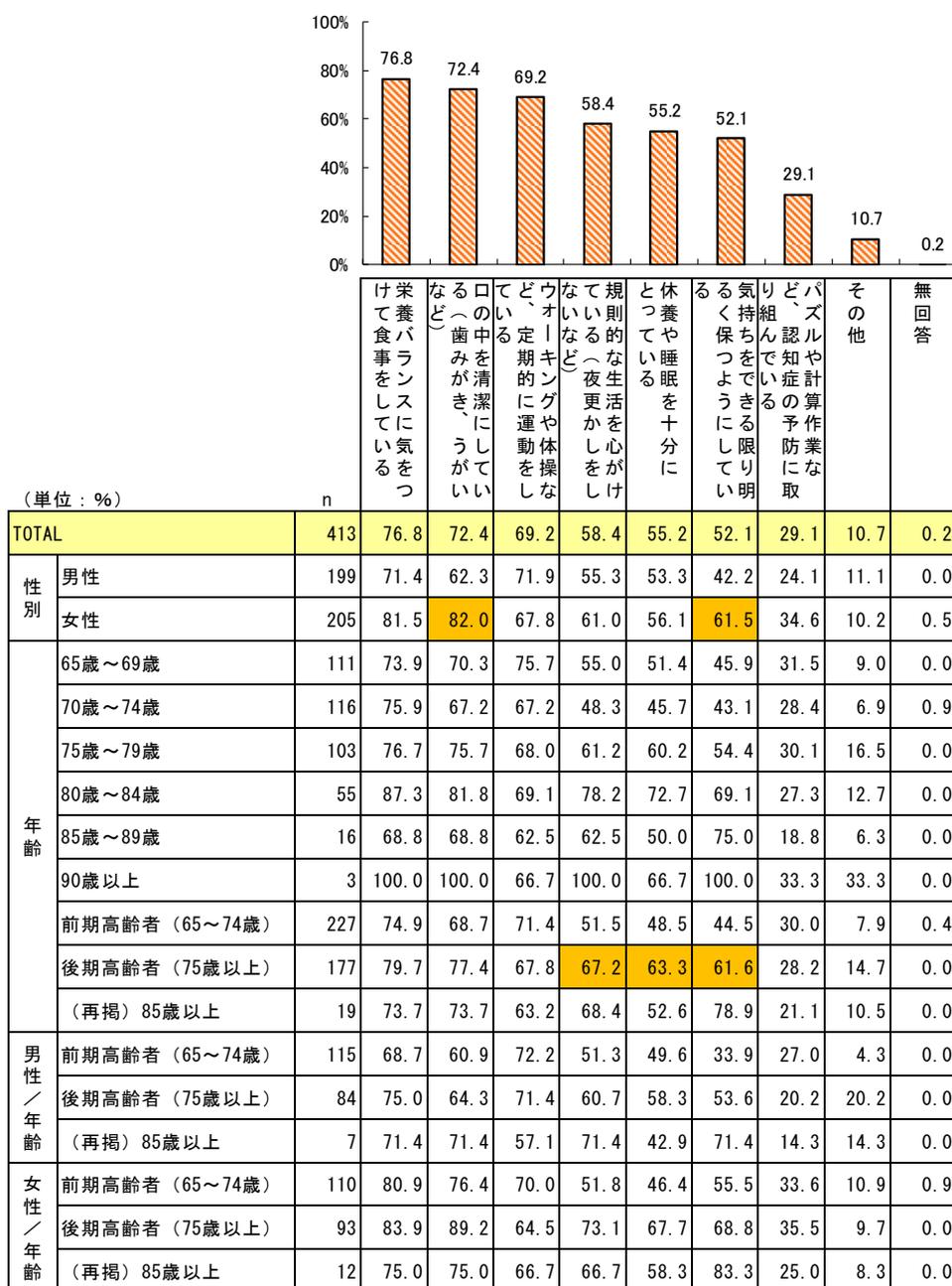
問 8-1 問8で1または2（取り組んでいる）に○をつけた方にうかがいます。あなたは普段、介護予防としてどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

普段取り組んでいるものでは、「栄養バランスに気をつけて食事をしている」（76.8%）、「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」（72.4%）、「ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている」（69.2%）がいずれも約7割と多くなっています。

性別では、「女性」では「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」（82.0%）、「気持ちをできる限り明るく保つようにしている」（61.5%）について、男性を20ポイント近く上回っています。

年齢別では、「後期高齢者」では、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」（67.2%）、「休養や睡眠を十分にとっている」（63.3%）、「気持ちをできる限り明るく保つようにしている」（61.6%）について、「前期高齢者」を約15ポイント上回っています。

図表 2.21 介護予防として普段取り組んでいるもの



問9 介護予防に関して、今後も続けたい活動または新たに参加・利用したい活動はありますか。 (あてはまるものすべてに○)
--

今後も継続、あるいは新たに参加・利用したい活動については、「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う活動」が59.6%で最も多く、次いで「寝たきりにつながりやすい骨折や転倒を予防するための活動」(33.8%)、「認知症を予防したり進行を遅くしたりするための活動」(33.2%)がともに約3割となっています。

「今のところ必要がないため、よくわからない」、「そのような活動などには参加したいと思わない」、「無回答」の合計は25.5%で、それ以外の約4人中3人は今後も続けたい活動または新たに参加・利用したい活動をあげています。

性別では、「市民主体(主催)の通いの場(サロン等)や趣味サークルに参加する活動」については、「女性」(24.6%)が、「男性」(13.2%)を約10ポイントと大きく上回っています。

年齢別では、「寝たきりにつながりやすい骨折や転倒を予防するための活動」については、「後期高齢者」(39.3%)が「前期高齢者」(29.8%)を約10ポイントと大きく上回っています。

圏域別では、「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う活動」が「みなと」(67.4%)、「あさひみなみ」(66.1%)で6割台と他の圏域に比べて高くなっています。また、「ふじみ」では、「認知症を予防したり進行を遅くしたりするための活動」(44.4%)、が他圏域よりも高くみられます。

図表 2.22 介護予防活動として参加・利用したいもの

		n	足の簡単な運動を行うための活動	腰痛の衰えなど筋力の低下を予防するための活動	寝たきりにつながるやすい骨折や転倒を予防するための活動	認知症を予防したり進行を遅くしたりするための活動	栄養状態の低下を防ぐことにより、健康的な体を維持するための活動	市民主体（主催）の通いの場（サロン等）や趣味サークルに参加する活動	飲み込む力をアツプしたり、歯や歯ぐきなどお口の中の健康管理の方法を習う活動	尿失禁を予防するための方法などを習う活動	きかけをし、元氣を取り戻すための活動	気分が落ち込みやすかったり、氣力がわかなくなったりといった心の状態に對し活動	歩くときやくつを履くときの痛みの予防、足の指や爪などのお手入れの方法を習う活動	その他	今のところ必要がないため、よくわからない	そのような活動などには参加したいと思わない	無回答
(単位：%)																	
TOTAL		778	59.6	33.8	33.2	22.1	19.2	18.0	16.5	15.6	11.3	3.0	18.1	3.5	3.9		
性別	男性	371	61.7	30.5	31.8	23.2	13.2	17.8	15.1	15.9	11.1	2.4	20.5	3.0	1.6		
	女性	382	57.9	37.4	34.8	21.5	24.6	18.3	18.1	16.0	10.5	3.4	15.4	4.2	5.8		
年齢	65歳～69歳	202	60.9	29.7	33.2	21.8	13.9	16.8	13.4	14.9	7.9	3.0	21.3	3.0	2.5		
	70歳～74歳	217	58.5	30.0	30.4	20.7	21.2	17.5	18.0	15.2	11.1	2.8	21.7	3.2	2.3		
	75歳～79歳	185	61.6	37.8	40.0	24.9	23.2	20.0	17.8	14.6	12.4	3.8	15.1	3.2	3.8		
	80歳～84歳	102	60.8	42.2	30.4	25.5	20.6	20.6	19.6	19.6	11.8	2.9	12.7	1.0	7.8		
	85歳～89歳	35	62.9	37.1	37.1	20.0	14.3	17.1	22.9	25.7	22.9	0.0	8.6	11.4	5.7		
	90歳以上	14	28.6	42.9	7.1	7.1	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1	21.4	21.4		
	前期高齢者（65～74歳）	419	59.7	29.8	31.7	21.2	17.7	17.2	15.8	15.0	9.5	2.9	21.5	3.1	2.4		
	後期高齢者（75歳以上）	336	60.1	39.3	35.4	23.8	21.1	19.9	18.5	17.0	13.1	3.0	13.4	4.2	6.0		
	（再掲）85歳以上	49	53.1	38.8	28.6	16.3	14.3	18.4	18.4	20.4	18.4	0.0	8.2	14.3	10.2		
圏域	あさひきた	82	58.5	34.1	28.0	17.1	20.7	18.3	11.0	12.2	12.2	0.0	22.0	4.9	4.9		
	あさひみなみ	62	66.1	35.5	38.7	30.6	24.2	21.0	16.1	17.7	11.3	1.6	17.7	3.2	3.2		
	おおすみ	58	50.0	27.6	27.6	27.6	17.2	17.2	17.2	19.0	12.1	5.2	24.1	1.7	6.9		
	倉田会	71	57.7	32.4	31.0	21.1	26.8	18.3	12.7	12.7	16.9	4.2	25.4	1.4	0.0		
	ごてん	58	62.1	37.9	41.4	24.1	15.5	24.1	34.5	10.3	13.8	0.0	6.9	5.2	5.2		
	サンレジデンス湘南	72	56.9	40.3	29.2	23.6	15.3	16.7	12.5	15.3	6.9	8.3	19.4	6.9	4.2		
	とよだ	46	60.9	26.1	39.1	13.0	8.7	19.6	10.9	15.2	10.9	4.3	15.2	4.3	6.5		
	ひらつかにし	73	58.9	24.7	31.5	19.2	20.5	13.7	16.4	15.1	2.7	5.5	17.8	2.7	4.1		
	富士白苑	66	63.6	36.4	28.8	22.7	21.2	12.1	13.6	24.2	13.6	1.5	12.1	3.0	3.0		
	ふじみ	45	62.2	40.0	44.4	17.8	20.0	11.1	26.7	22.2	15.6	0.0	17.8	4.4	0.0		
	まつがおか	13	69.2	38.5	53.8	30.8	23.1	30.8	15.4	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0		
	みなと	46	67.4	34.8	37.0	21.7	15.2	26.1	19.6	19.6	17.4	2.2	19.6	2.2	4.3		
	ゆりのき	65	60.0	40.0	32.3	27.7	20.0	20.0	18.5	12.3	7.7	1.5	12.3	3.1	4.6		

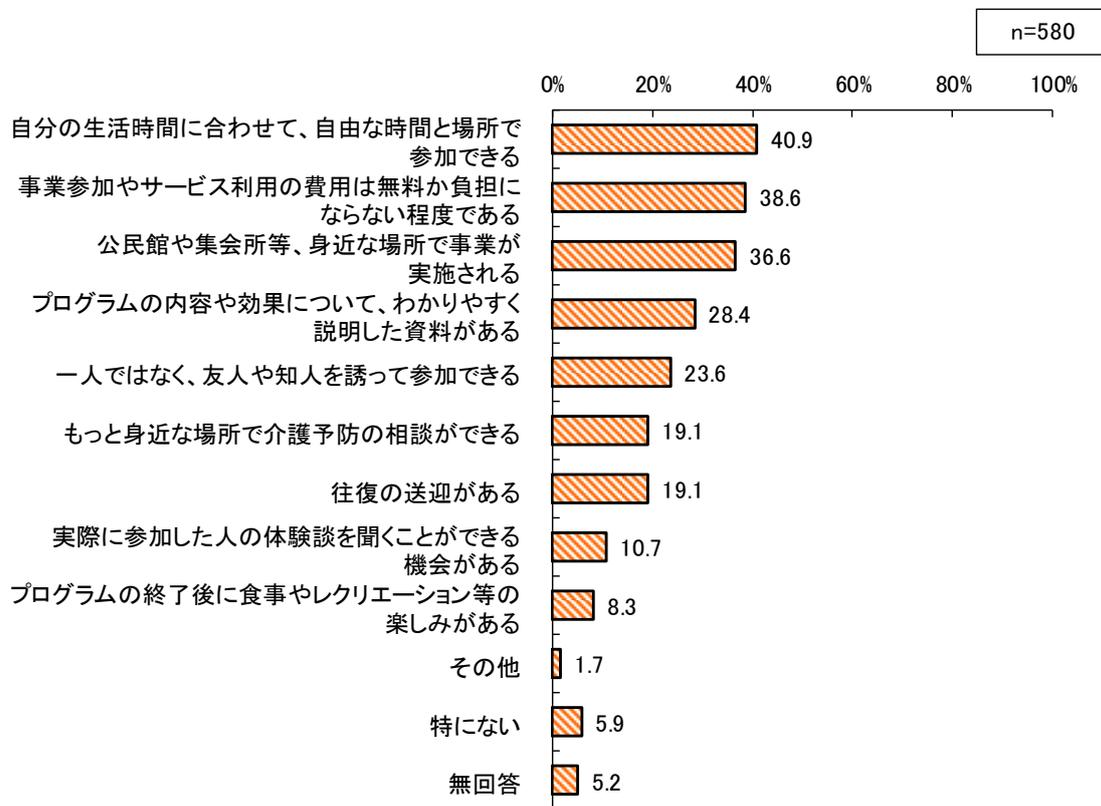
問 10 問9で挙げた介護予防活動に、どのような条件があれば参加したいと思いますか。(主なもの3つまで○)

介護予防活動に参加するための条件については、「自分の生活時間に合わせて、自由な時間と場所で参加できる」が40.9%で最も多く、次いで「事業参加やサービス利用の費用は無料か負担にならない程度である」(38.6%)、「公民館や集会所等、身近な場所で事業が実施される」(36.6%)がともに3割台となっています。

性別では、「女性」では、「事業参加やサービス利用の費用は無料か負担にならない程度である」(42.5%)、「一人ではなく、友人や知人を誘って参加できる」(28.8%)、「往復の送迎がある」(21.8%)については、「男性」を上回っています。一方、「男性」では、「自分の生活時間に合わせて、自由な時間と場所で参加できる」(43.5%)、「プログラムの内容や効果について、わかりやすく説明した資料がある」(36.0%)については、「女性」を上回っています。

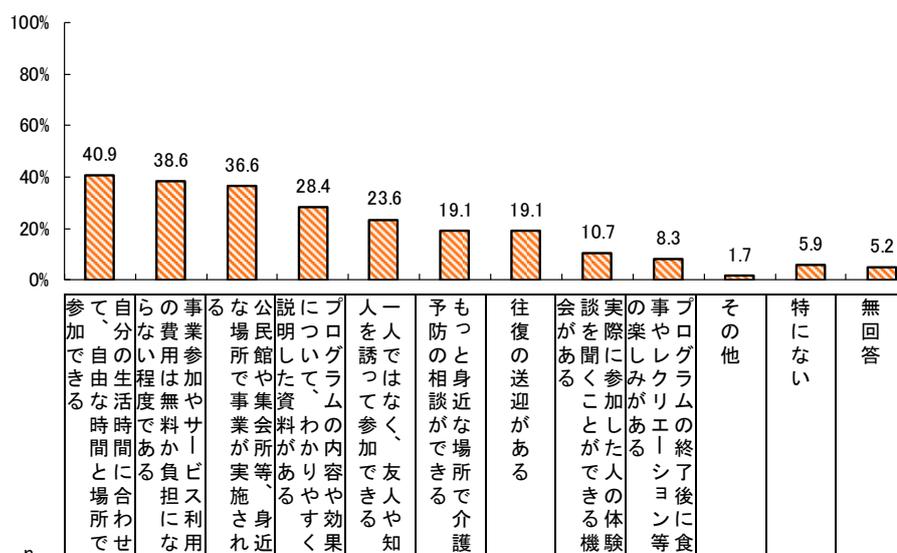
年齢別では、「前期高齢者」では、「事業参加やサービス利用の費用は無料か負担にならない程度である」(44.1%)について「後期高齢者」を10ポイント以上、大きく上回っています。

図表 2.23 介護予防活動に参加するための条件



第2章 一般高齢者調査結果

図表 2.24 介護予防活動に参加するための条件



(単位：%)

		n	参加できる	自分の生活時間と場合	費用は無料か負担に	事業所や集会所等	説明した資料がある	一人ではなく、友人や知	予防の相談ができる	往復の送迎がある	会がある	実際に参加した人の体験	その他	特にな	無回答
TOTAL		580	40.9	38.6	36.6	28.4	23.6	19.1	19.1	10.7	8.3	1.7	5.9	5.2	
性別	男性	278	43.5	35.3	36.7	36.0	18.3	20.1	16.5	11.5	9.0	1.4	6.8	3.6	
	女性	285	37.9	42.5	36.8	21.4	28.8	17.9	21.8	9.8	7.7	2.1	4.6	6.7	
年齢	65歳～69歳	148	50.7	43.9	39.2	31.8	16.2	16.9	14.2	8.8	6.8	0.7	6.1	4.1	
	70歳～74歳	158	36.1	44.3	42.4	34.2	23.4	18.4	19.0	8.2	8.2	0.0	5.7	3.2	
	75歳～79歳	144	38.2	36.1	36.8	25.0	26.4	20.1	22.9	16.7	6.9	4.9	3.5	5.6	
	80歳～84歳	80	36.3	36.3	27.5	28.8	31.3	25.0	22.5	12.5	15.0	0.0	6.3	5.0	
	85歳～89歳	26	46.2	15.4	26.9	11.5	34.6	15.4	15.4	3.8	7.7	3.8	3.8	15.4	
	90歳以上	7	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	
	前期高齢者 (65～74歳)	306	43.1	44.1	40.8	33.0	19.9	17.6	16.7	8.5	7.5	0.3	5.9	3.6	
	後期高齢者 (75歳以上)	257	37.4	33.1	32.7	24.5	28.0	21.0	22.2	13.6	9.3	3.5	5.1	6.6	
	(再掲) 85歳以上	33	36.4	12.1	27.3	12.1	27.3	15.2	18.2	3.0	6.1	6.1	9.1	15.2	

(4) 生きがいづくりについて

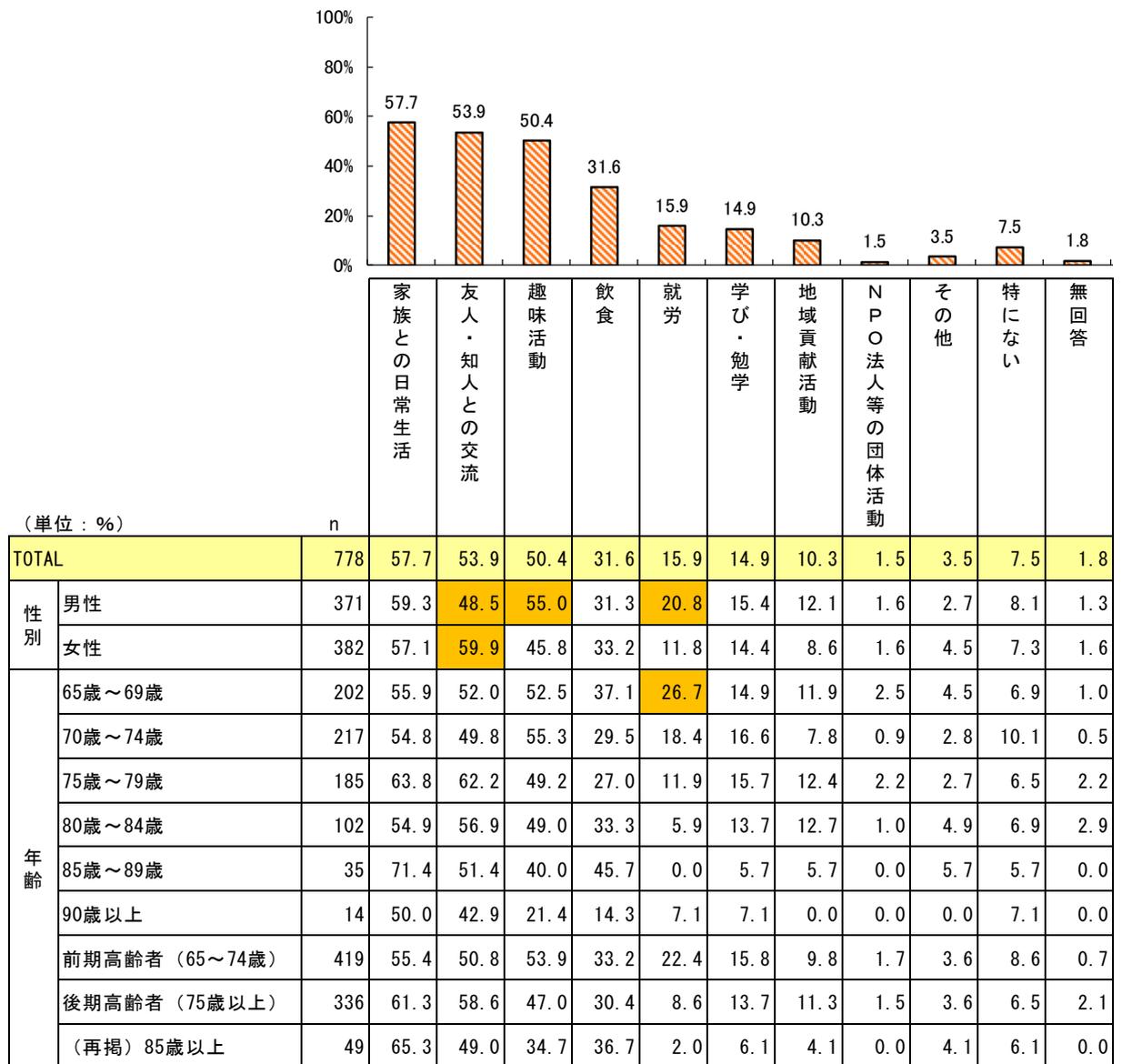
問 11 生活の中でどのようなことに生きがいを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

生活の中で感じる生きがいについては、「家族との日常生活」が57.7%で最も多く、次いで「友人・知人との交流」(53.9%)、「趣味活動」(50.4%)がともに5割台となっています。

性別では、「友人・知人との交流」では「女性」(59.9%)が「男性」(48.5%)を約10ポイントと大きく上回っています。一方、「男性」では「趣味活動」(55.0%)、「就労」(20.8%)については、「女性」を約9ポイント上回っています。

年齢別では、年齢が低い人で「就労」が高く、「65歳～69歳」で26.7%となっています。

図表 2.25 生活の中で感じる生きがいについて

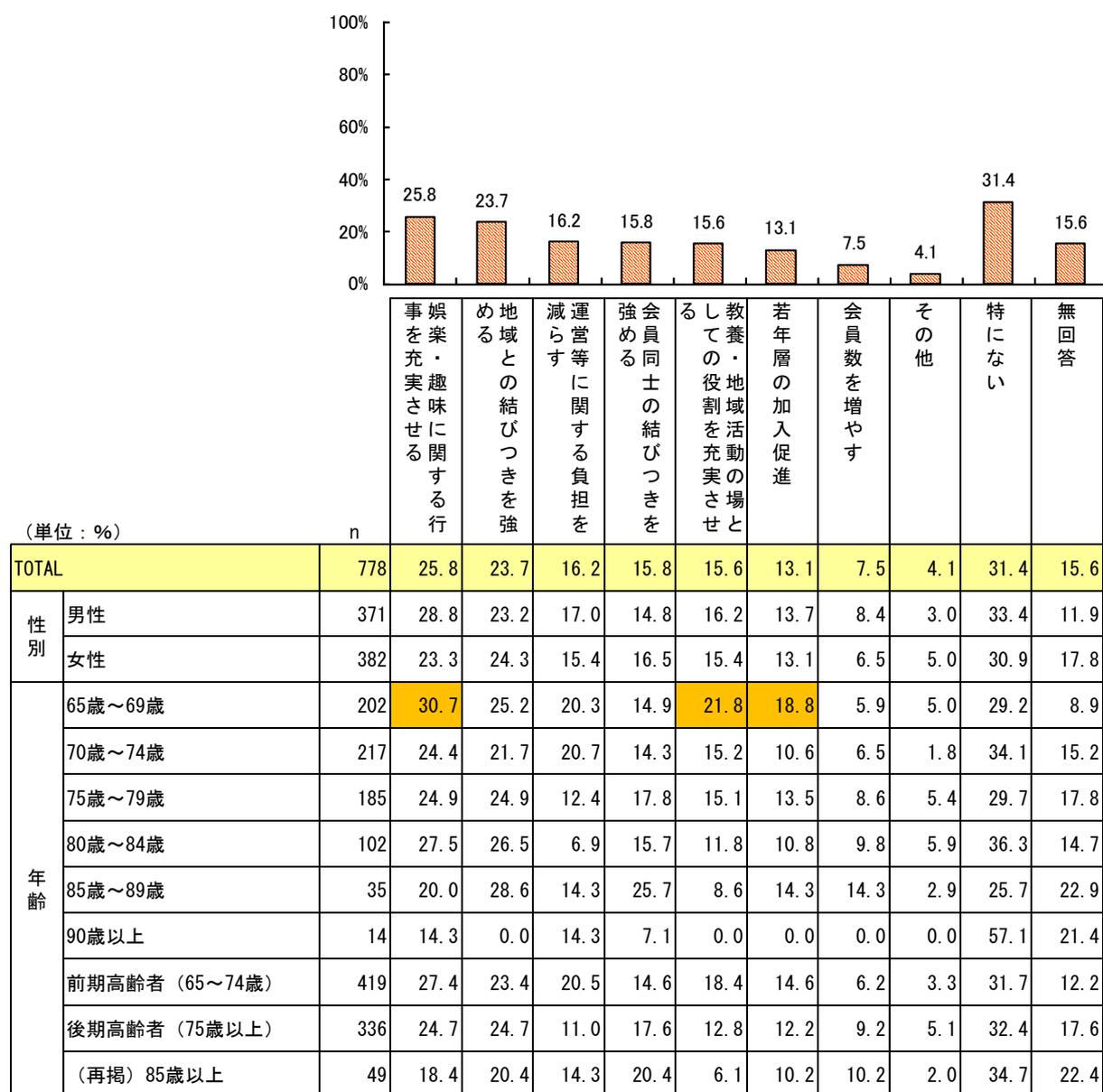


問12 平塚市内には、現在、老人クラブ（老人会）が107団体あり、それぞれが活動しています。あなたは、老人クラブ（老人会）をさらに充実するために必要なことは、どのようなことであると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

老人クラブ（老人会）をさらに充実するために必要と思うことについては、「娯楽・趣味に関する行事を充実させる」が25.8%で最も多く、次いで「地域との結びつきを強める」（23.7%）、「運営等に関する負担を減らす」（16.2%）の順となっています。

性別では、大きな違いはみられませんが、年齢別では、「娯楽・趣味に関する行事を充実させる」（30.7%）、「教養・地域活動の場としての役割を充実させる」（21.8%）、「若年層の加入促進」（18.8%）については、「65歳～69歳」でそれぞれ他の年齢を上回っています。

図表 2.26 老人クラブ（老人会）をさらに充実するために必要と思うこと



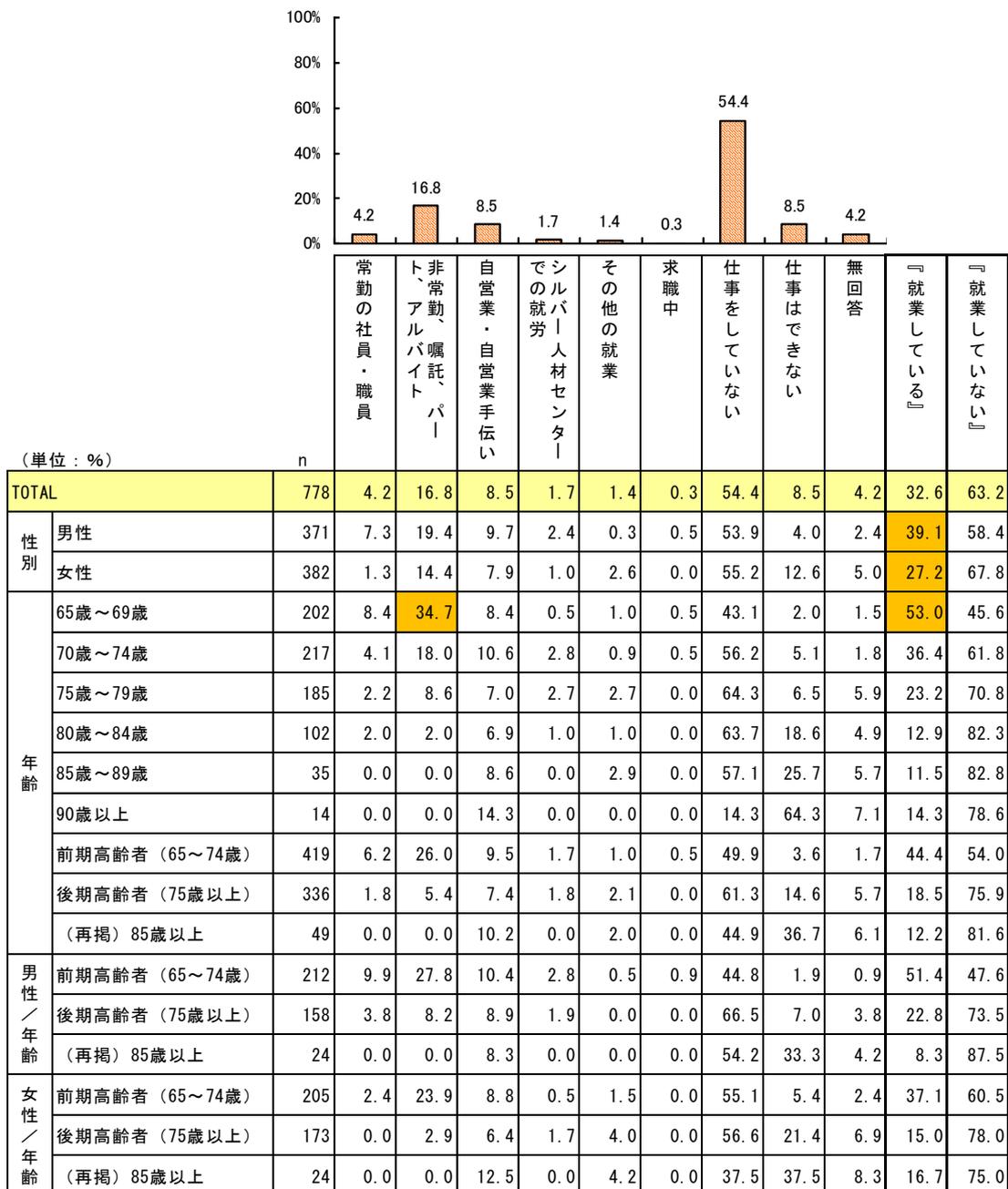
問13 現在の就業状況をうかがいます。(ひとつだけ○)

現在の就業状況については、32.6%が『就業している』（「常勤の社員・職員」「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」「自営業・自営業手伝い」「シルバー人材センターでの就労」「その他の就業」の合計）とし、うち「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が16.8%で最も多く、「自営業・自営業手伝い」が8.5%、「常勤の社員・職員」が4.2%の順となっています。一方、『就業していない』（「求職中」「仕事をしていない」「仕事はできない」の合計）は63.2%となっています。

性別では、『就業している』割合は、「男性」が39.1%、「女性」が27.2%となっています。

年齢別では、『就業している』割合は、「65歳～69歳」が53.0%と半数を超えており、うち「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が34.7%と他の項目に比べて高くなっています。

図表 2.27 現在の就業状況

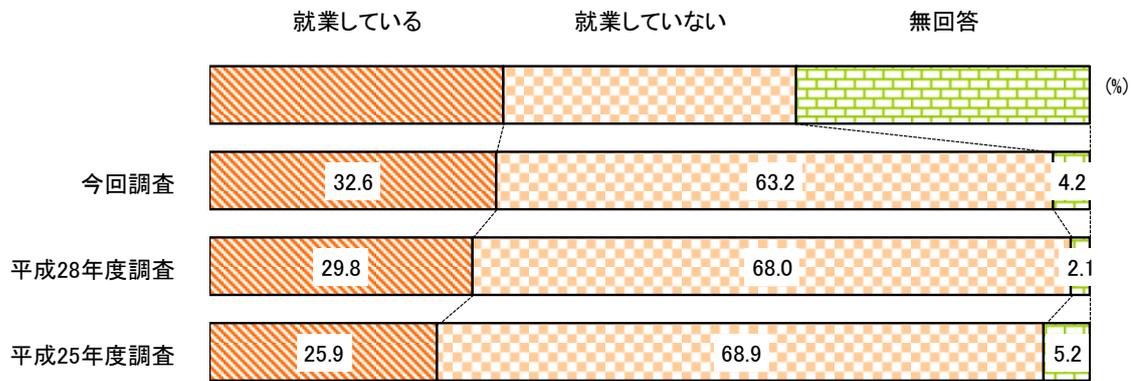


## 第2章 一般高齢者調査結果

### (経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、「就業している」が増加し、約3人に1人（32.6%）となっています。

図表 2.28 現在の就業状況



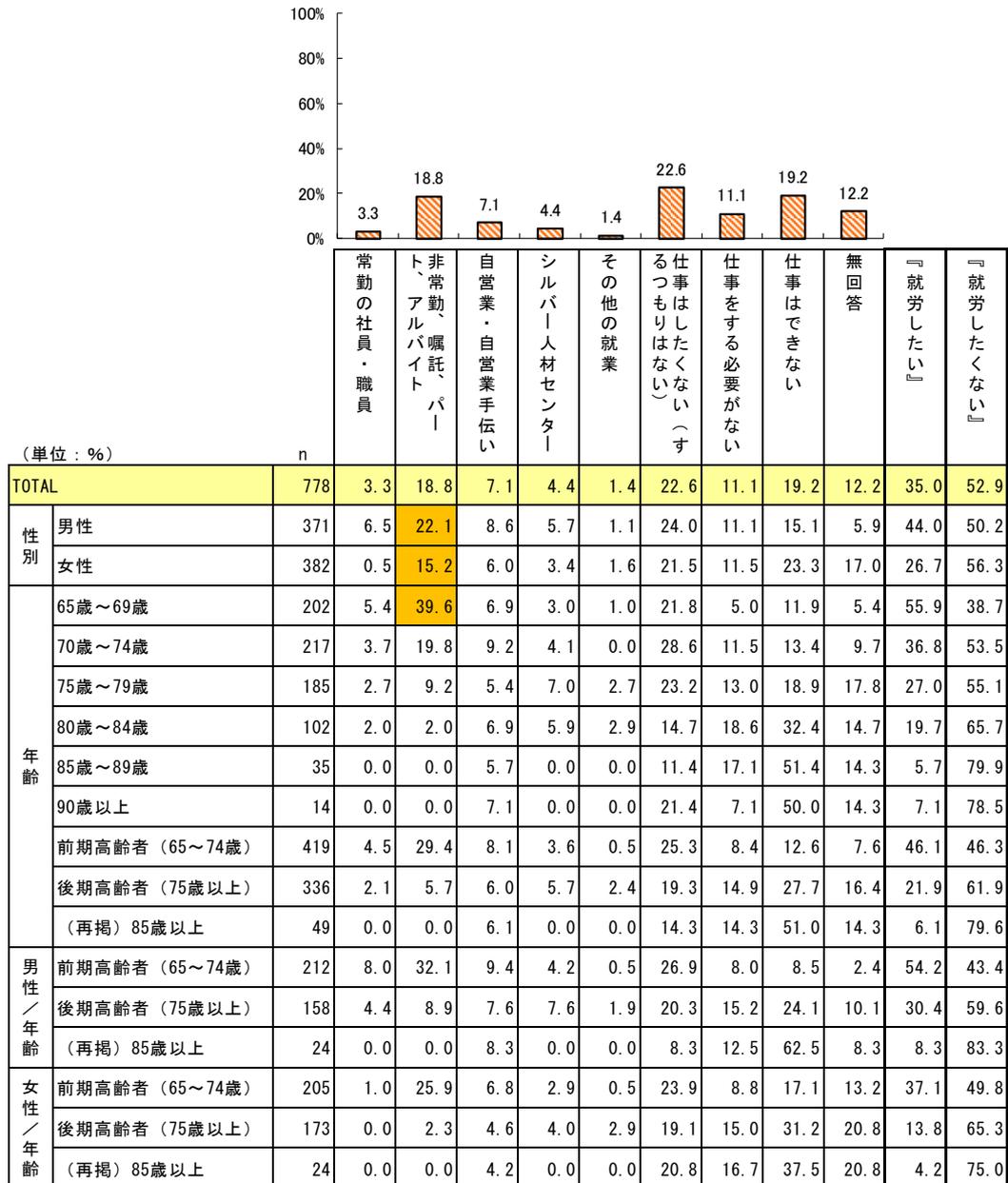
問14 今後どのような就労をしたい、または続けたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

今後の就労意向については、35.0%が『就労したい』（「常勤の社員・職員」「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」「自営業・自営業手伝い」「シルバー人材センターでの就労」「その他の就業」の合計）としており、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が18.8%で最も多く、次いで「自営業・自営業手伝い」が7.1%、「シルバー人材センター」が4.4%の順となっています。一方、『就労したくない』（「仕事はしたくない（するつもりはない）」「仕事をする必要がない」「仕事はできない」の合計）は、52.9%となっています。

『就労したい』のうち、性別では、男女とも「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が最も多くなっています。

年齢別では、年齢が低い人で「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が高く、「65歳～69歳」では39.6%となっています。

図表 2.29 今後の就労意向

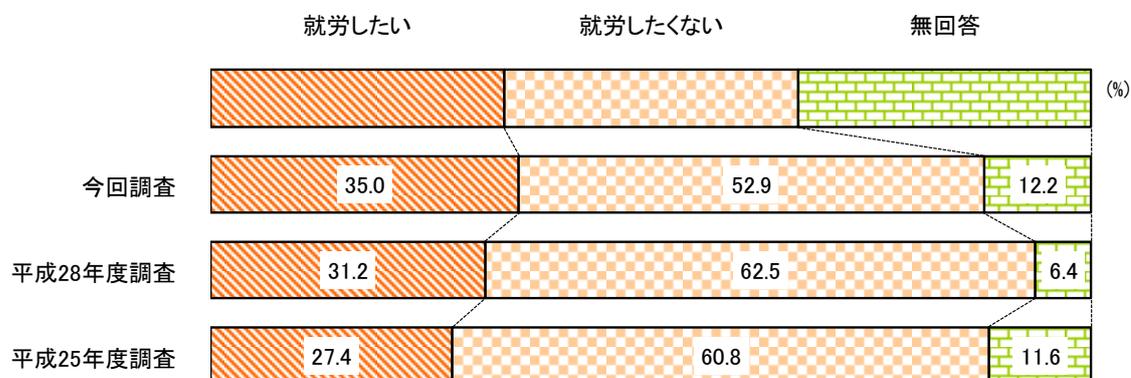


## 第2章 一般高齢者調査結果

### (経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、「就労したい」が増加し、35.0%となっています。

図表 2.30 今後の就労意向

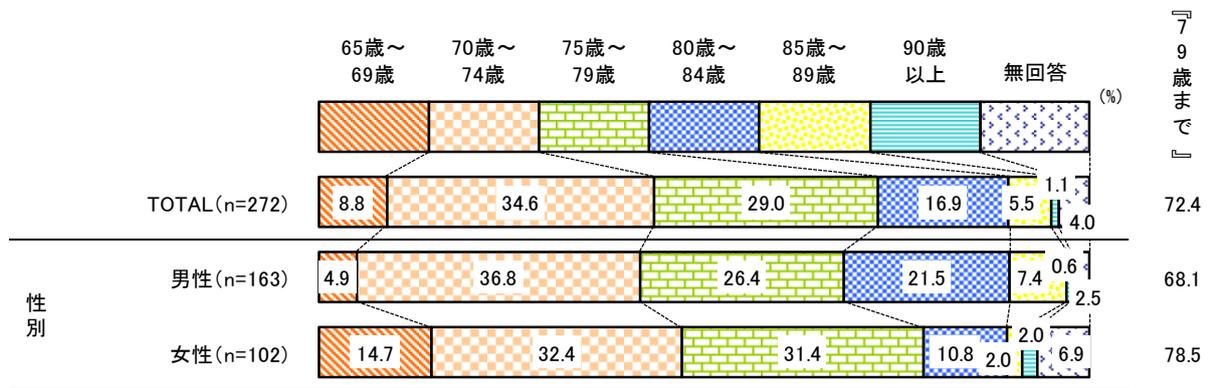


問 14-1 あなたは何歳まで仕事をしたい（または続けたい）ですか。現在の年齢を基準にお答えください。（ひとつだけ○）

就労希望者（272人）の就労希望年齢については、『79歳まで』（「65歳～69歳」「70歳～74歳」「75歳～79歳」の合計）が72.4%となっています。一方、『80歳以降』も23.5%となっています。

性別では、「女性」では「65歳～69歳」が14.7%と「男性」（4.9%）を約10ポイントと大きく上回っています。一方、「男性」では「80歳～84歳」が21.5%と「女性」（10.8%）を約10ポイントと大きく上回っています。

図表 2.31 就労希望年齢

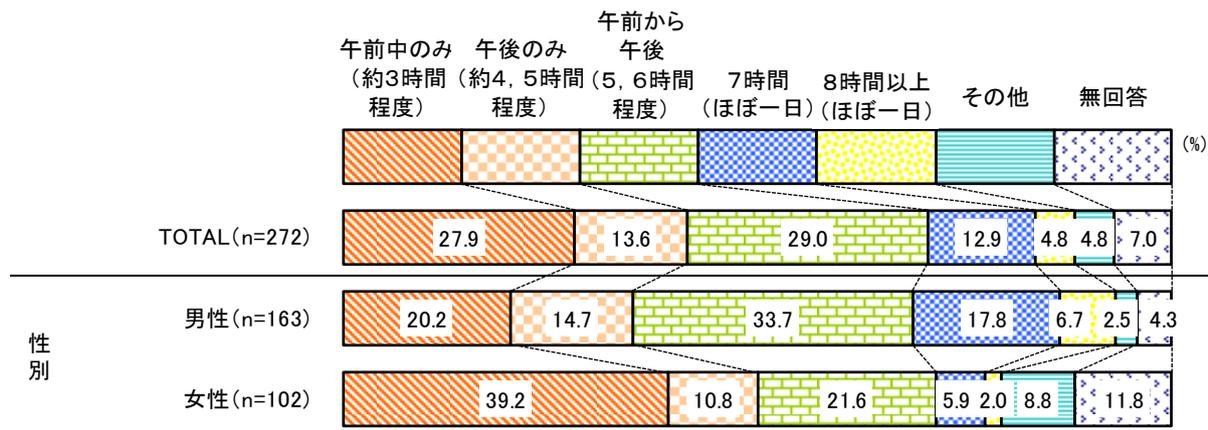


問 14-2 希望する一日の就労時間をお答えください。(ひとつだけ○)

就労希望者(272人)について、一日の希望就労時間をみると、「午前から午後(5, 6時間程度)」が29.0%で最も多く、次いで「午前中のみ(約3時間程度)」が27.9%、「午後のみ(約4, 5時間程度)」が13.6%の順となっています。

性別では、「女性」では「午前中のみ(約3時間程度)」(39.2%)が、「男性」では「午前から午後(5, 6時間程度)」(33.7%)が最も多くなっています。

図表 2.32 希望する一日の就労時間



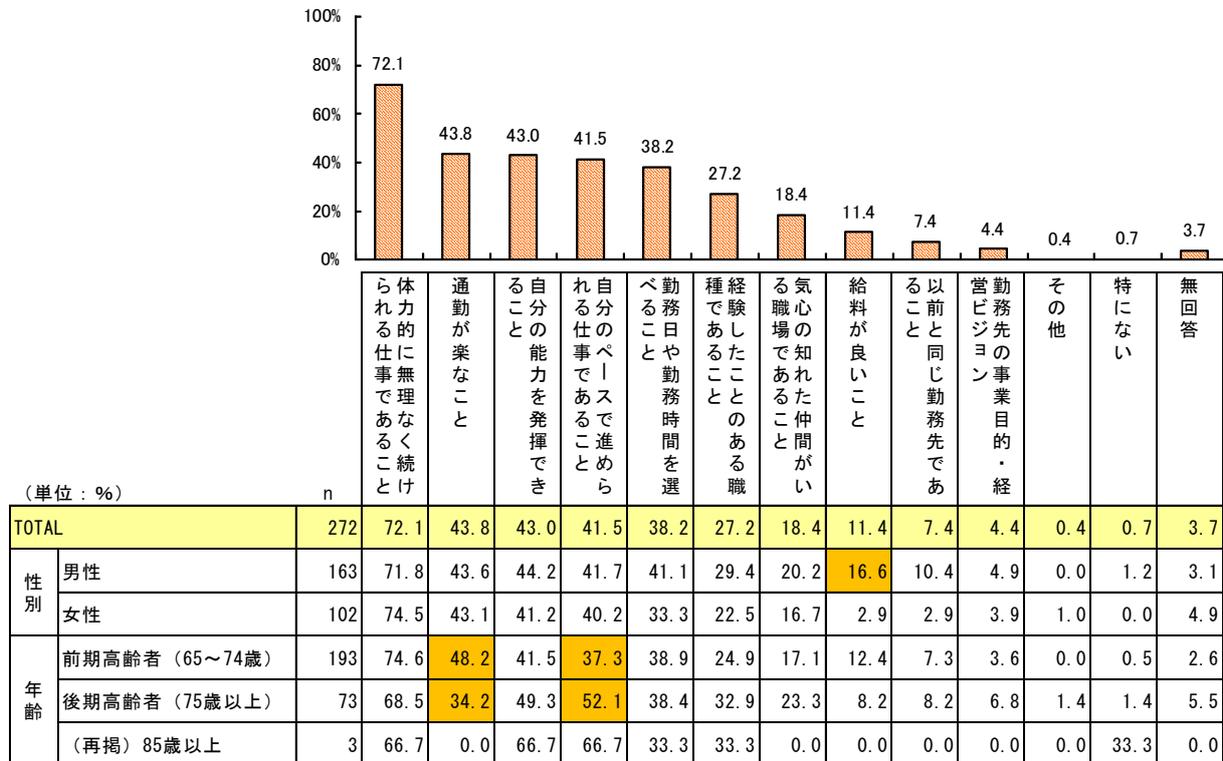
問15 働くうえで重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

就労希望者(272人)について、働くうえで重視していることについては、「体力的に無理なく続けられる仕事であること」が72.1%で最も多く、次いで「通勤が楽なこと」(43.8%)、「自分の能力を發揮できること」(43.0%)、「自分のペースで進められる仕事であること」(41.5%)がいずれも約4割となっています。

性別では、「男性」の「給料が良いこと」(16.6%)が「女性」を大きく上回っています。

年齢別では、「通勤が楽なこと」は「前期高齢者」が48.2%で「後期高齢者」(34.2%)に比べて高く、「後期高齢者」では「自分のペースで進められる仕事であること」が52.1%で「前期高齢者」(37.3%)に比べて高く、それぞれ約15ポイント上回っています。

図表 2.33 働くうえで重視していること



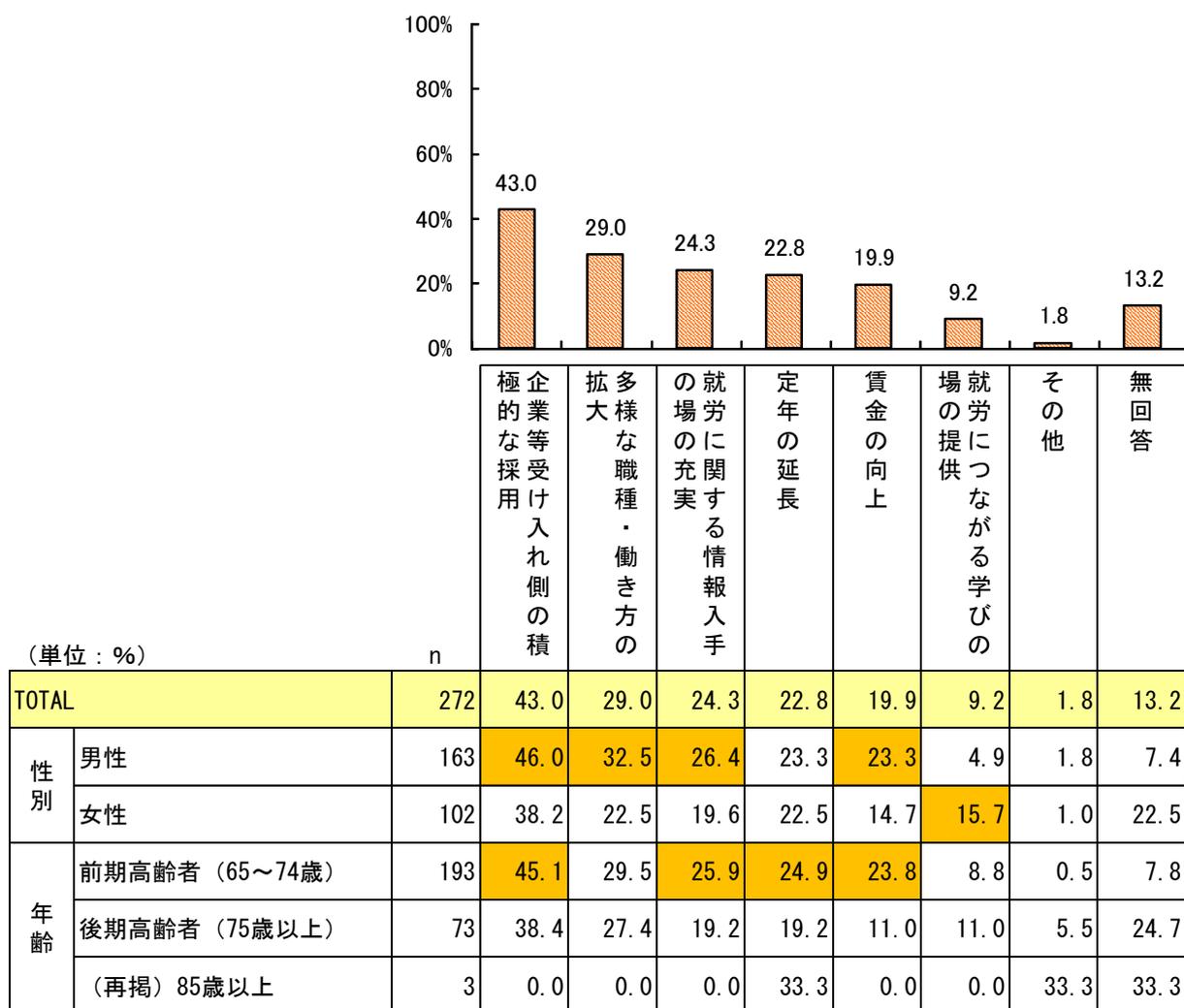
問16 就労のためにどのような支援・取組が有効だと思いますか。(主なもの2つまで)

就労希望者(272人)について、就労のために有効と思われる支援・取組については、「企業等受け入れ側の積極的な採用」が43.0%で最も多く、次いで「多様な職種・働き方の拡大」が29.0%、「就労に関する情報入手の場の充実」が24.3%、「定年の延長」が22.8%といずれも2割台となっています。

性別では、「男性」では、「企業等受け入れ側の積極的な採用」(46.0%)、「多様な職種・働き方の拡大」(32.5%)、「就労に関する情報入手の場の充実」(26.4%)、「賃金の向上」(23.3%)が、「女性」を5ポイント以上、上回っています。一方、「女性」では、「就労につながる学びの場の提供」(15.7%)が「男性」を上回っています。

年齢別では、「前期高齢者」において、「企業等受け入れ側の積極的な採用」(45.1%)、「就労に関する情報入手の場の充実」(25.9%)、「定年の延長」(24.9%)、「賃金の向上」(23.8%)が、「後期高齢者」を5ポイント以上、上回っています。

図表 2.34 就労のために有効と思われる支援・取組について



(5) 地域のネットワークについて

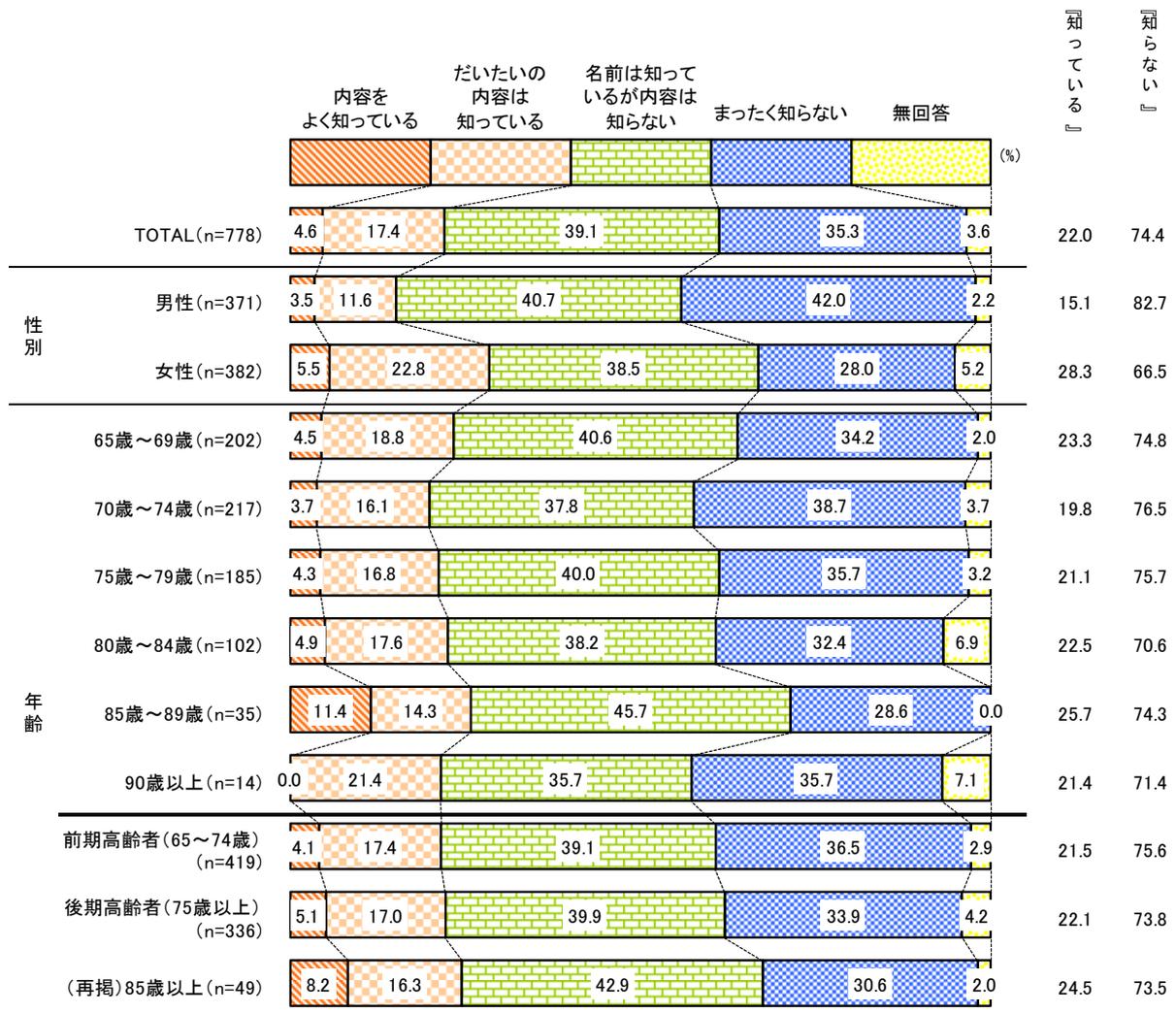
問 17 平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）を知っていますか。（ひとつだけ○）

平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）の認知状況については、「内容をよく知っている」「だいたいの内容は知っている」を合わせた、『知っている』とする割合は、22.0%となっています。一方、『知らない』（「名前は知っているが内容は知らない」「まったく知らない」の合計）は、74.4%となっています。

性別では、『知っている』とする割合は、「女性」が28.3%、「男性」が15.1%と、女性が10ポイント以上、大きく上回っています。

年齢別では、「内容をよく知っている」とする割合は、高年齢ほど高くなる傾向がみられます。

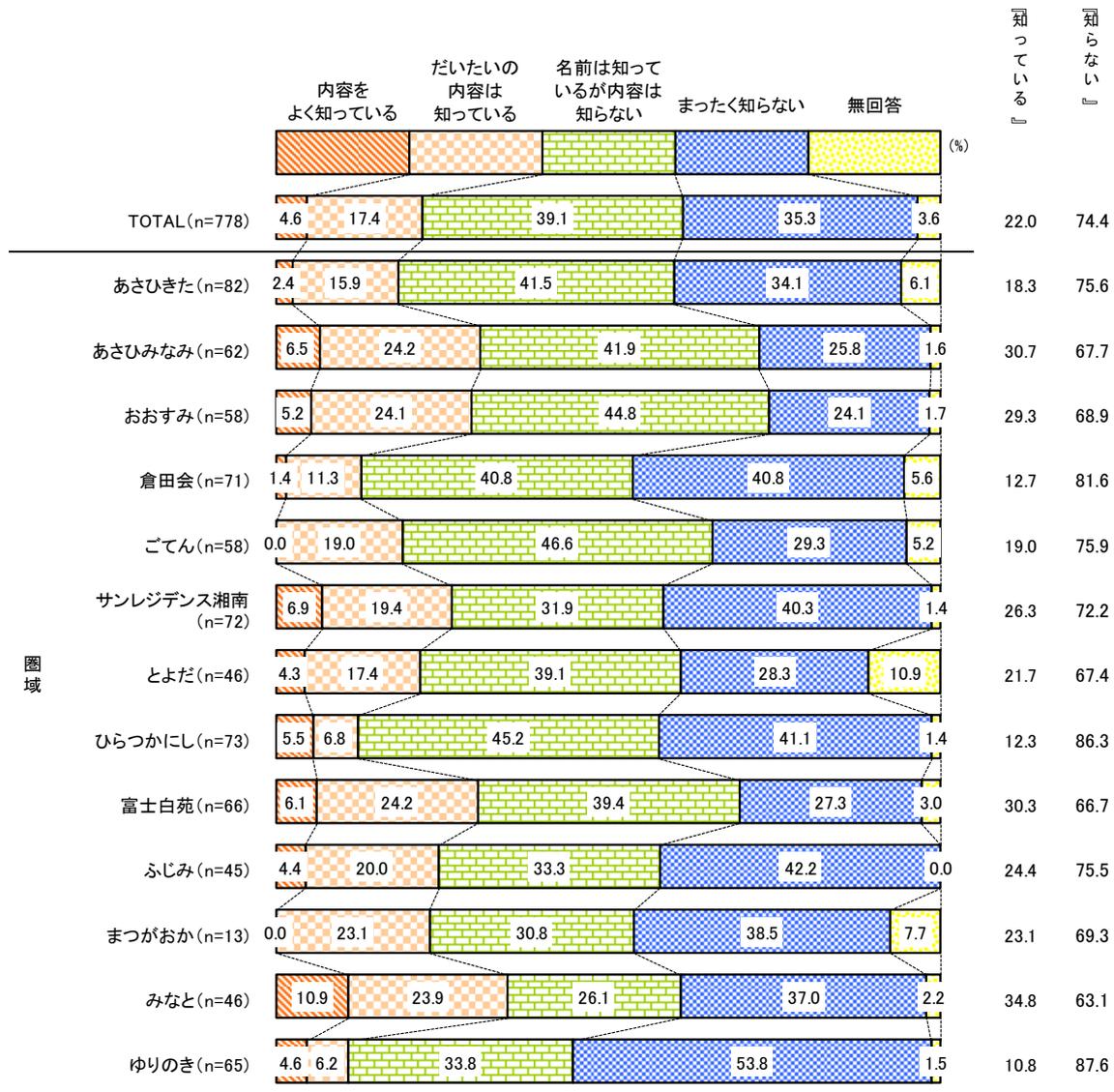
図表 2.35 平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）の認知状況



第2章 一般高齢者調査結果

圏域別では、「内容をよく知っている」「だいたいの内容は知っている」を合わせた、『知っている』とする割合は、「みなど」で34.8%と最も高くなっています。

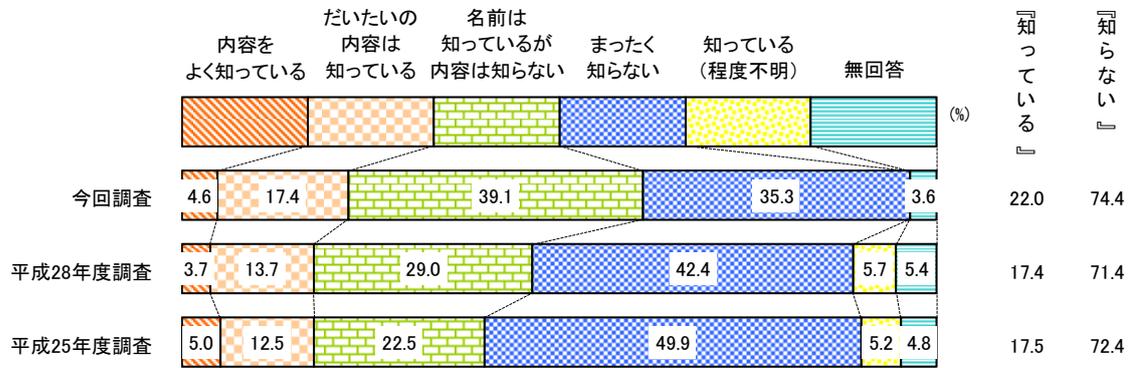
図表 2.36 平塚市高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)の認知状況



(経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、『知っている』が増加しています。

図表 2.37 平塚市高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）の認知状況

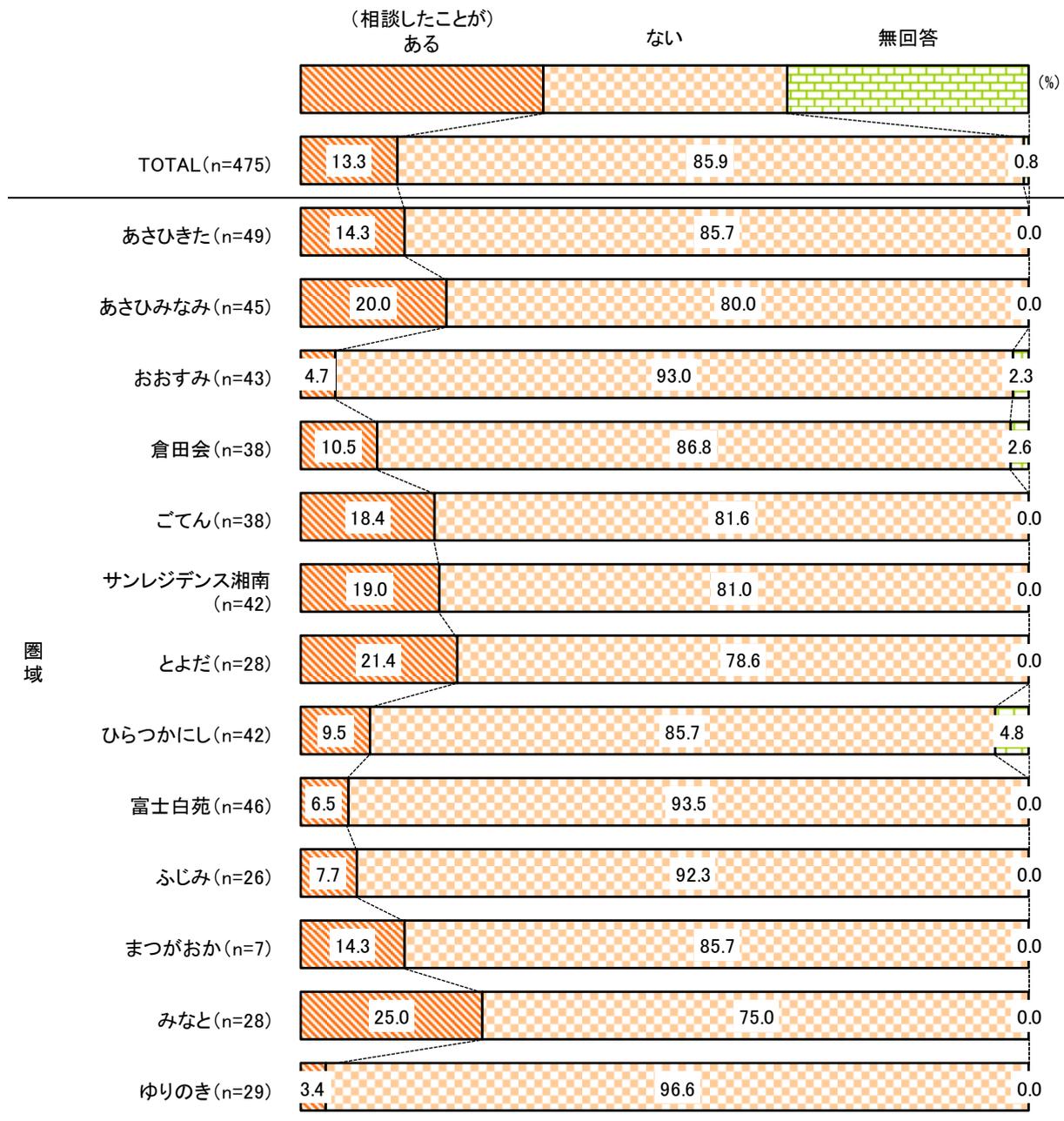


※「知っている(程度不明)」は今回調査なしのため、0.0 非表示



圏域別では、「(相談したことが) ある」は、「みなと」(25.0%)、「あさひみなみ」(20.0%)、「ごてん」(18.4%)、「サンレジデンス湘南」(19.0%)、で約2割と他の圏域に比べて高くなっています。

図表 2.39 平塚市高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)への相談有無



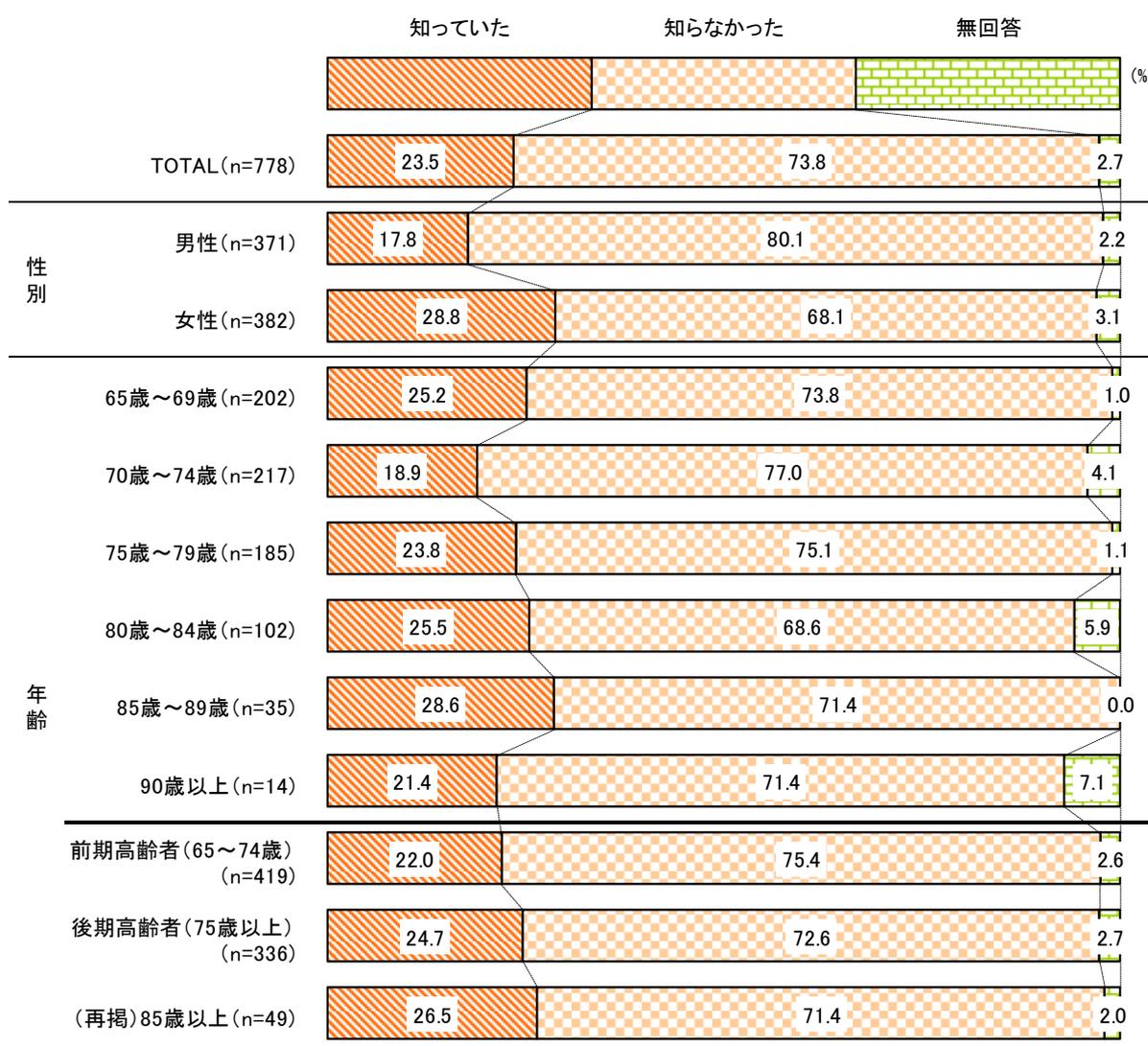
問 18 あなたは、高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）が、認知症に関する相談の窓口になっていることを知っていますか。（ひとつだけ○）

高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）が、認知症に関する相談窓口であることを知っていたかどうかについては、「知っていた」は23.5%、「知らなかった」は73.8%となっています。

性別では、「知っていた」は「女性」で28.8%、「男性」で17.8%と「女性」が高くなっています。

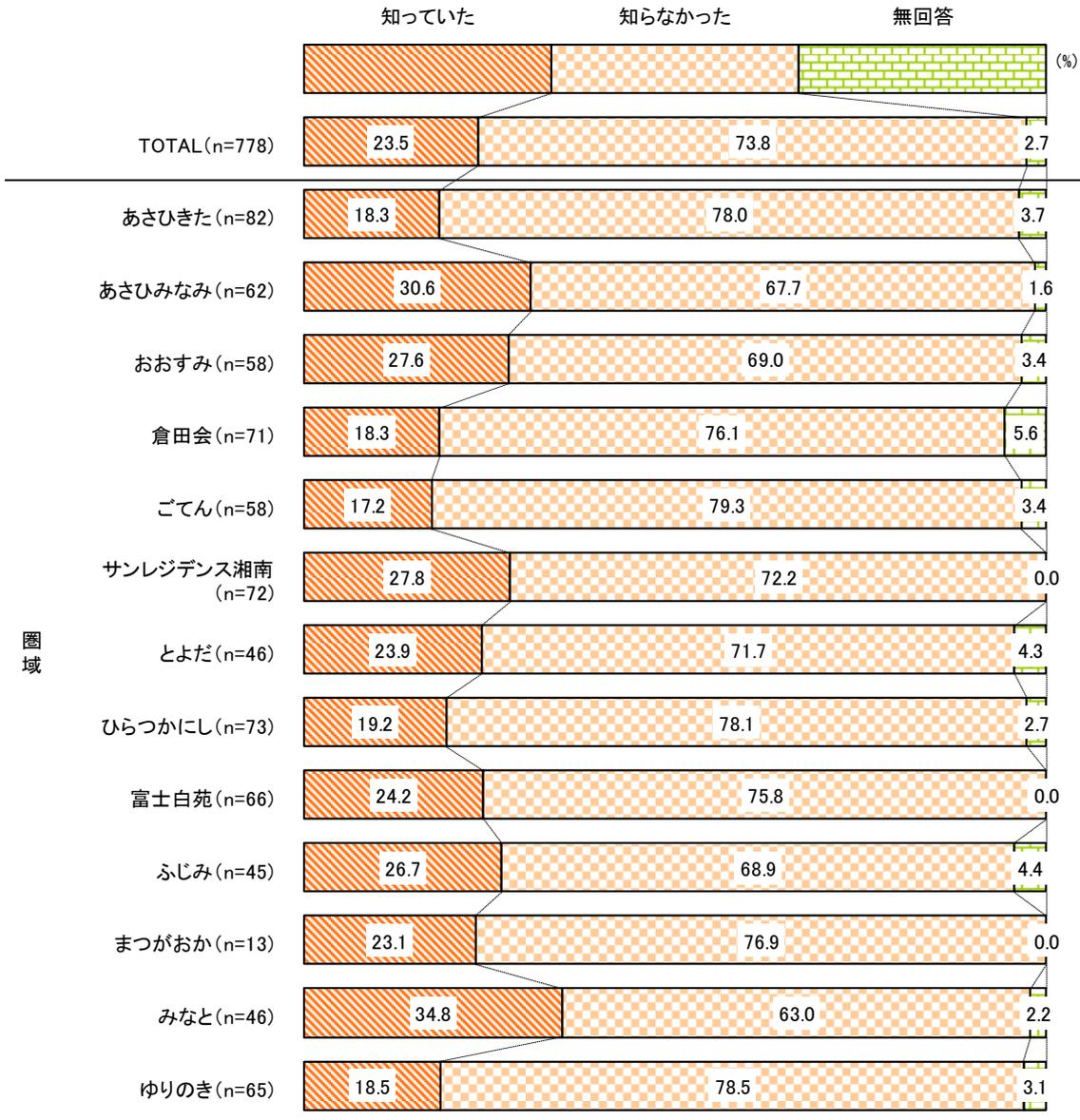
年齢別では、「前期高齢者」と「後期高齢者」に大きな違いはありません。

図表 2.40 平塚市高齢者よろず相談センターの認知症相談窓口としての認知状況



圏域別では、「知っていた」は、「みなと」(34.8%)、「あさひみなみ」(30.6%) で約3割と他の圏域に比べて高くなっています。

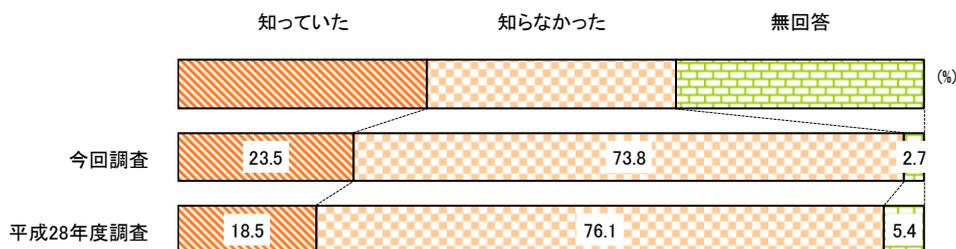
図表 2.41 平塚市高齢者よろず相談センターの認知症相談窓口としての認知状況



(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「知っていた」が増加しています。

図表 2.42 平塚市高齢者よろず相談センターの認知症相談窓口としての認知状況



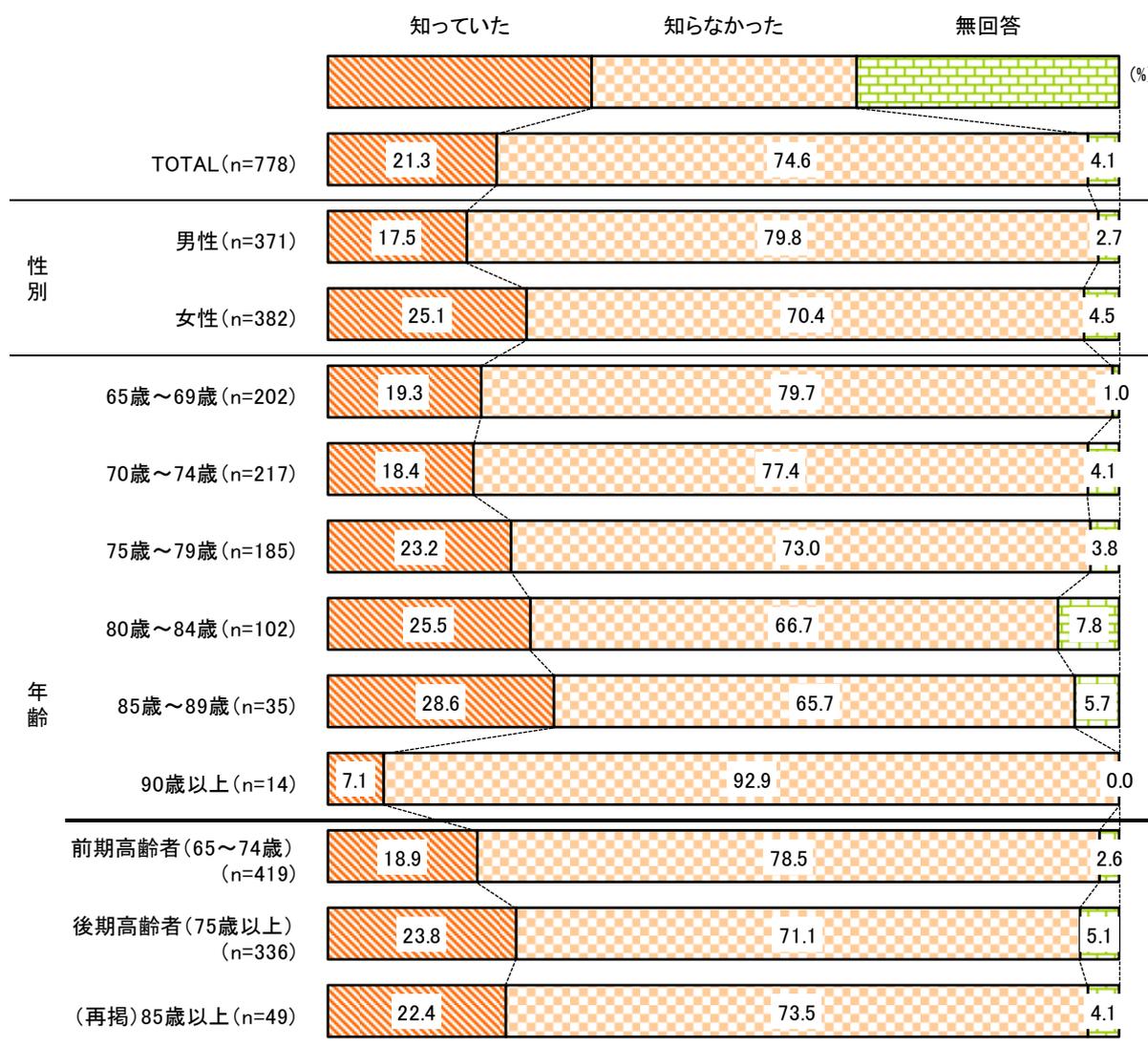
問19 あなたは、高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）または市役所の高齢福祉課が、高齢者虐待に関する相談や通報の窓口になっていることを知っていますか。（ひとつだけ○）

高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）または市役所の高齢福祉課が、高齢者虐待に関する相談、通報窓口になっていることについては、「知っていた」は21.3%、「知らなかった」は74.6%となっています。

性別では、「知っていた」は、「女性」が25.1%、「男性」が17.5%と、「女性」が高くなっています。

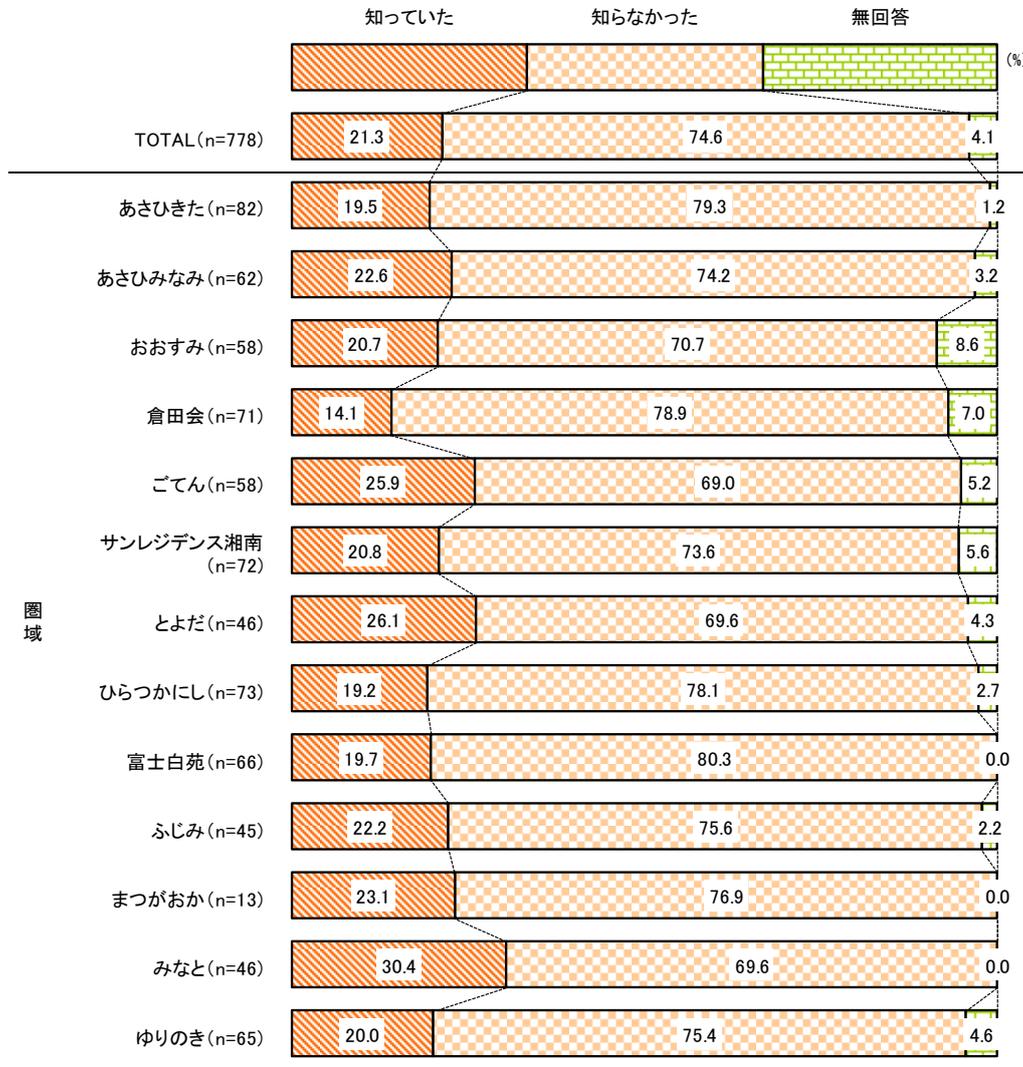
年齢別では、「知っていた」は、高年齢ほど高い傾向がみられます。

図表 2.43 平塚市高齢者よろず相談センターの高齢者虐待に関する相談窓口としての認知状況



圏域別では、「知っていた」は、多くの圏域が1割～2割台であるのに対して、「みなと」では3割（30.4%）を超えています。

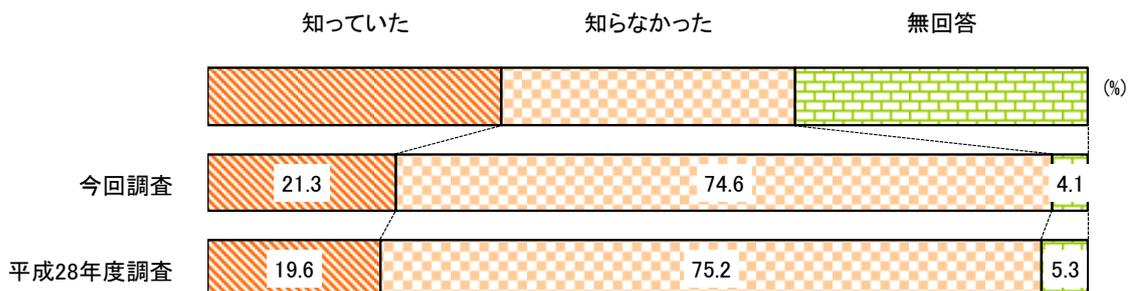
図表 2.44 平塚市高齢者よろず相談センターの高齢者虐待に関する相談窓口としての認知状況



(経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、「知っていた」がやや増加し、21.3%となっています。

図表 2.45 平塚市高齢者よろず相談センターの高齢者虐待に関する相談窓口としての認知状況

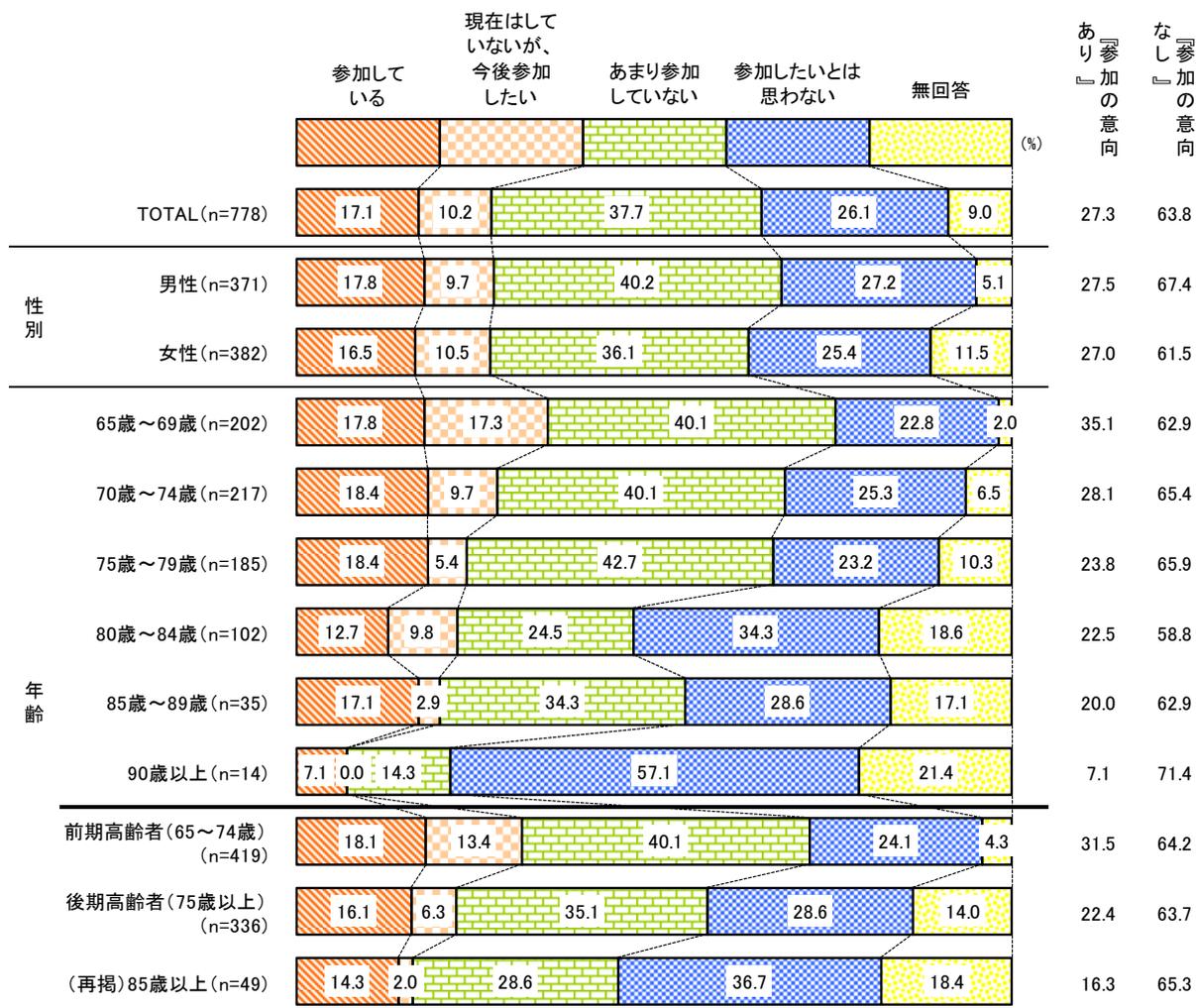


問20 現在の地域活動への参加状況についてうかがいます。(ひとつだけ○)

現在の地域活動への参加状況については、現在「参加している」は17.1%、「現在はしていないが、今後参加したい」は10.2%となっており、合わせた『参加の意向あり』とする割合は27.3%となっています。一方、現在「あまり参加していない」(37.7%)、「参加したいとは思わない」(26.1%)を合わせた『参加の意向なし』とする割合は63.8%となっています。

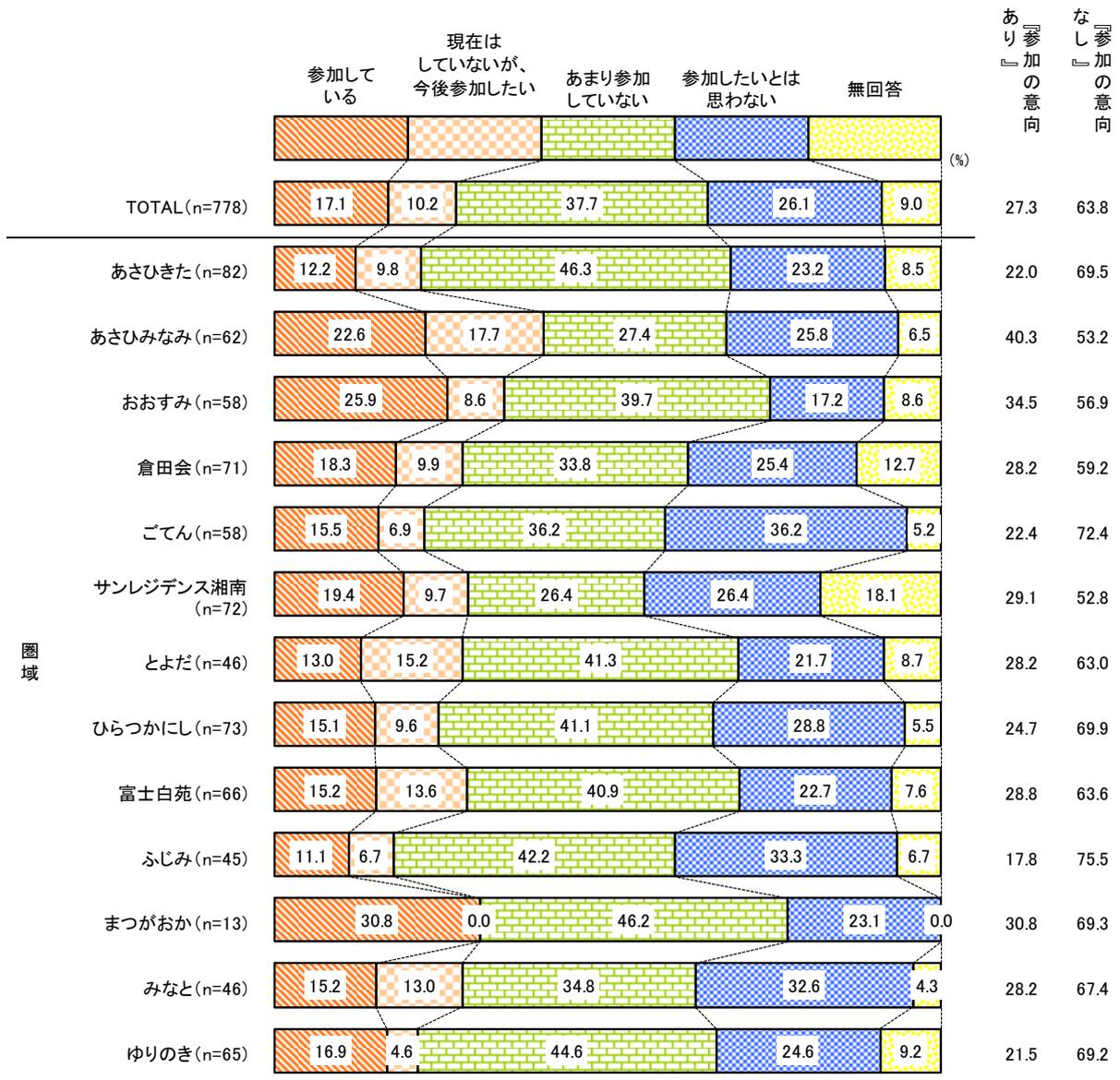
性別では、大きな違いはみられませんが、年齢別では、『参加の意向あり』とする割合は、「(再掲)85歳以上」では16.3%と低くなっています。

図表 2.46 現在の地域活動への参加状況



圏域別では、現在「参加している」割合は、「おおすみ」(25.9%)、「あさひみなみ」(22.6%)では2割台で他の圏域に比べ高くなっています。

図表 2.47 現在の地域活動への参加状況

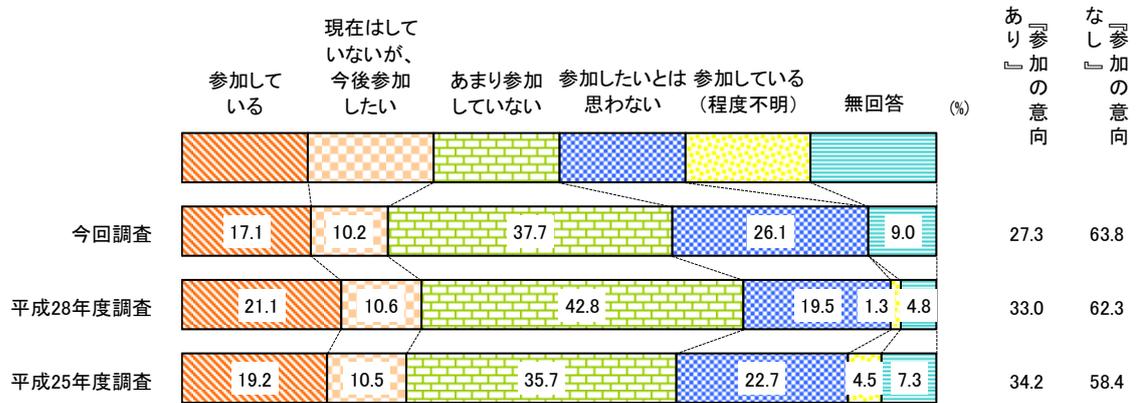


第2章 一般高齢者調査結果

(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、『参加の意向あり』がやや減少しており、特に現在「参加している」が約4ポイント少なくなっています。一方、『参加の意向なし』がやや増加しています。

図表 2.48 現在の地域活動への参加状況



※「参加している(程度不明)」は今回調査なしのため、0.0 非表示

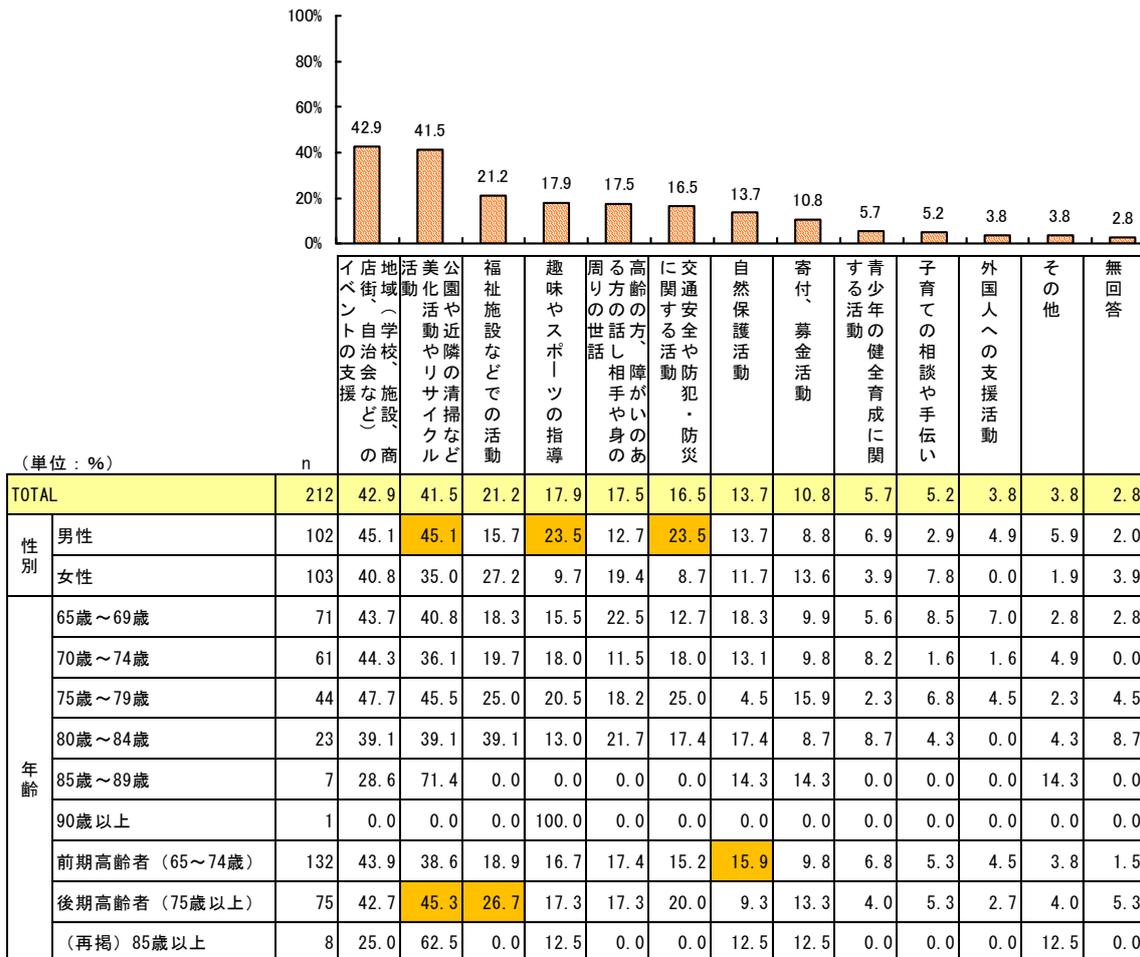
問 20-1 問 20 で1または2（参加している、参加したい）に○をつけた方にうかがいます。参加している、または参加したいと思う活動内容はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

「参加している」「現在はしていないが、今後参加したい」の回答者（212人）について、現在参加している、または今後参加してみたい活動については、「地域（学校、施設、商店街、自治会など）のイベントの支援」が42.9%で最も多く、次いで「公園や近隣の清掃など美化活動やリサイクル活動」が41.5%、「福祉施設などでの活動」が21.2%の順となっています。

性別では、「男性」で「公園や近隣の清掃など美化活動やリサイクル活動」（45.1%）、「趣味やスポーツの指導」、「交通安全や防犯・防災に関する活動」（ともに23.5%）が「女性」を10ポイント以上、大きく上回っています。

年齢別では、「後期高齢者」は、「公園や近隣の清掃など美化活動やリサイクル活動」（45.3%）、「福祉施設などでの活動」（26.7%）と、「前期高齢者」を5ポイント以上、上回っています。一方、「前期高齢者」では、「自然保護活動」が15.9%と、「後期高齢者」を5ポイント以上、上回っています。

図表 2.49 参加している・参加したい具体的な地域活動



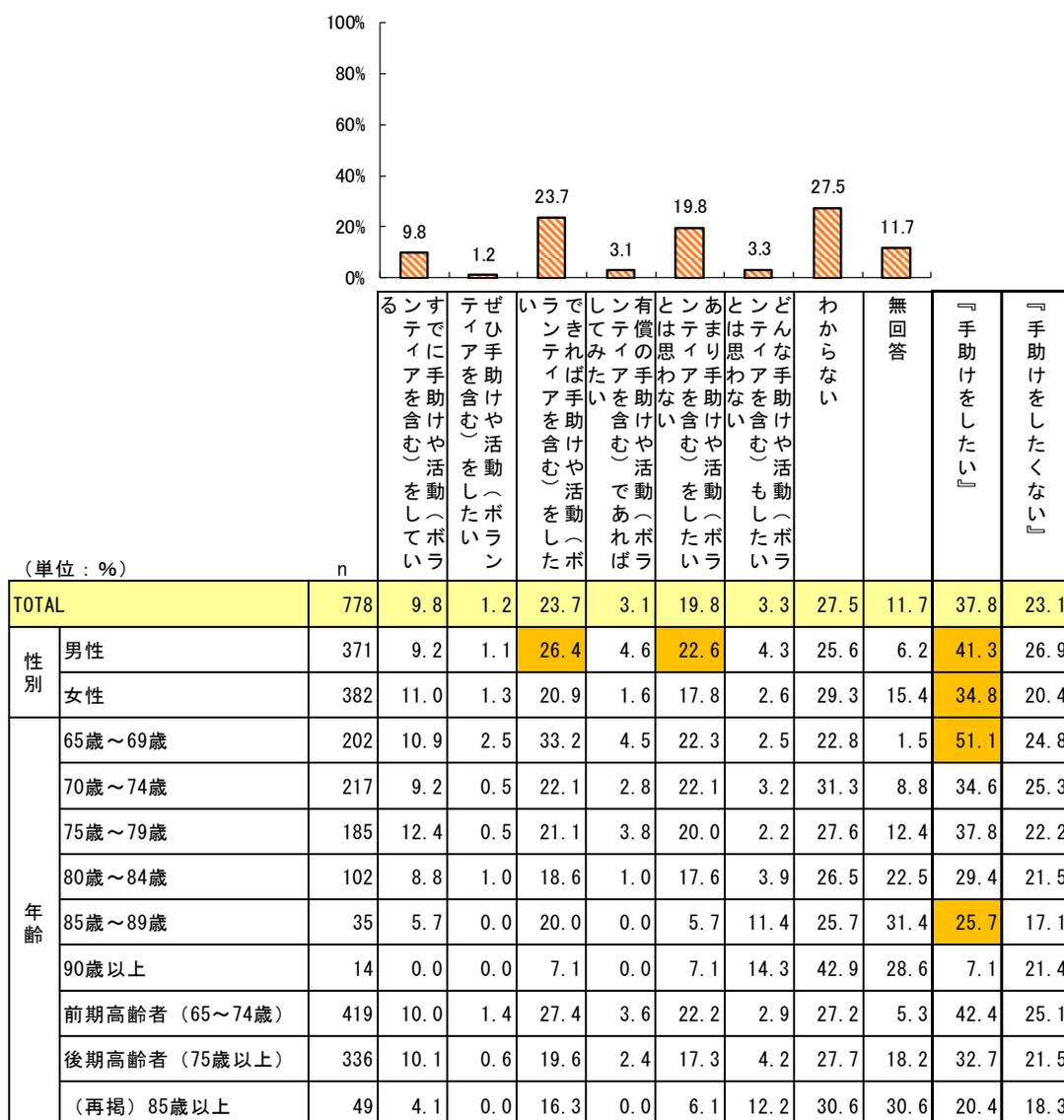
問 21 あなたはお住まいの地域で、何か他の人の手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい  
と  
思いますか。（ひとつだけ○）

住んでいる地域での、手助けやボランティア等の活動希望については、「すでに手助けや活動（ボランティアを含む）をしている」（9.8%）、「ぜひ手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい」（1.2%）、「できれば手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい」（23.7%）、「有償の手助けや活動（ボランティアを含む）であればしてみたい」（3.1%）を合わせて『手助けをしたい』とする割合は 37.8%となっています。一方、「あまり手助けや活動（ボランティアを含む）をした  
いとは思わない」（19.8%）、「どんな手助けや活動（ボランティアを含む）もしたいとは思わない」（3.3%）を合わせた『手助けをしたくない』とする割合は 23.1%となっています。

性別では、「男性」では、『手助けをしたい』とする割合は 41.3%となっていますが、「できれば手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい」（26.4%）に対して、「あまり手助けや活動（ボランティアを含む）をした  
いとは思わない」（22.6%）と、相反する意見はともに2割台となっています。「女性」では、『手助けをしたい』とする割合は 34.8%となっています。

年齢別では、『手助けをしたい』とする割合は、「65歳～69歳」では 51.1%ですが、「85歳～89歳」では 25.7%で高年齢ほど低くなる傾向があります。

図表 2.50 住んでいる地域での、手助けやボランティア等の活動希望



圏域別では、「すでに手助けや活動（ボランティアを含む）をしている」割合は、「おおすみ」（15.5%）、「サンレジデンス湘南」（15.3%）、「みなと」（13.0%）、「あさひきた」（12.2%）、「富士白苑」（10.6%）の圏域で1割を超え、他の圏域に比べやや高くなっています。

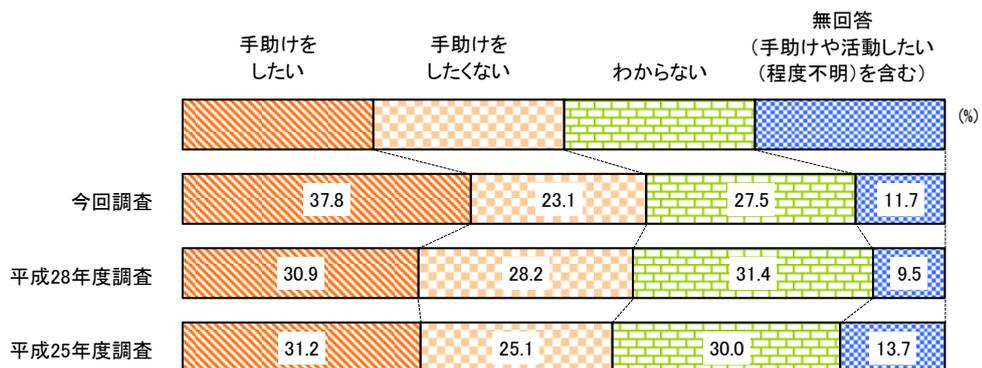
図表 2.51 住んでいる地域での、手助けやボランティア等の活動希望

		すでに手助けや活動をしている（ボランティアを含む）										
		n	9.8	1.2	23.7	3.1	19.8	3.3	27.5	11.7	37.8	23.1
TOTAL		778	9.8	1.2	23.7	3.1	19.8	3.3	27.5	11.7	37.8	23.1
圏域	あさひきた	82	12.2	0.0	19.5	2.4	19.5	8.5	28.0	9.8	34.1	28.0
	あさひみなみ	62	8.1	0.0	27.4	4.8	17.7	1.6	29.0	11.3	40.3	19.3
	おおすみ	58	15.5	1.7	29.3	1.7	25.9	0.0	20.7	5.2	48.2	25.9
	倉田会	71	8.5	2.8	21.1	2.8	25.4	0.0	26.8	12.7	35.2	25.4
	ごてん	58	3.4	0.0	25.9	3.4	19.0	5.2	29.3	13.8	32.7	24.2
	サンレジデンス湘南	72	15.3	2.8	15.3	1.4	15.3	4.2	27.8	18.1	34.8	19.5
	とよだ	46	8.7	4.3	21.7	4.3	21.7	2.2	21.7	15.2	39.0	23.9
	ひらつかにし	73	2.7	2.7	28.8	4.1	19.2	2.7	31.5	8.2	38.3	21.9
	富士白苑	66	10.6	0.0	30.3	3.0	13.6	4.5	28.8	9.1	43.9	18.1
	ふじみ	45	8.9	0.0	17.8	2.2	17.8	4.4	33.3	15.6	28.9	22.2
	まつがおか	13	23.1	0.0	15.4	0.0	23.1	15.4	15.4	7.7	38.5	38.5
	みなと	46	13.0	0.0	32.6	2.2	23.9	4.3	15.2	8.7	47.8	28.2
	ゆりのき	65	9.2	0.0	21.5	4.6	21.5	0.0	33.8	9.2	35.3	21.5

(経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、『手助けをしたい』が約7ポイント増加しています。

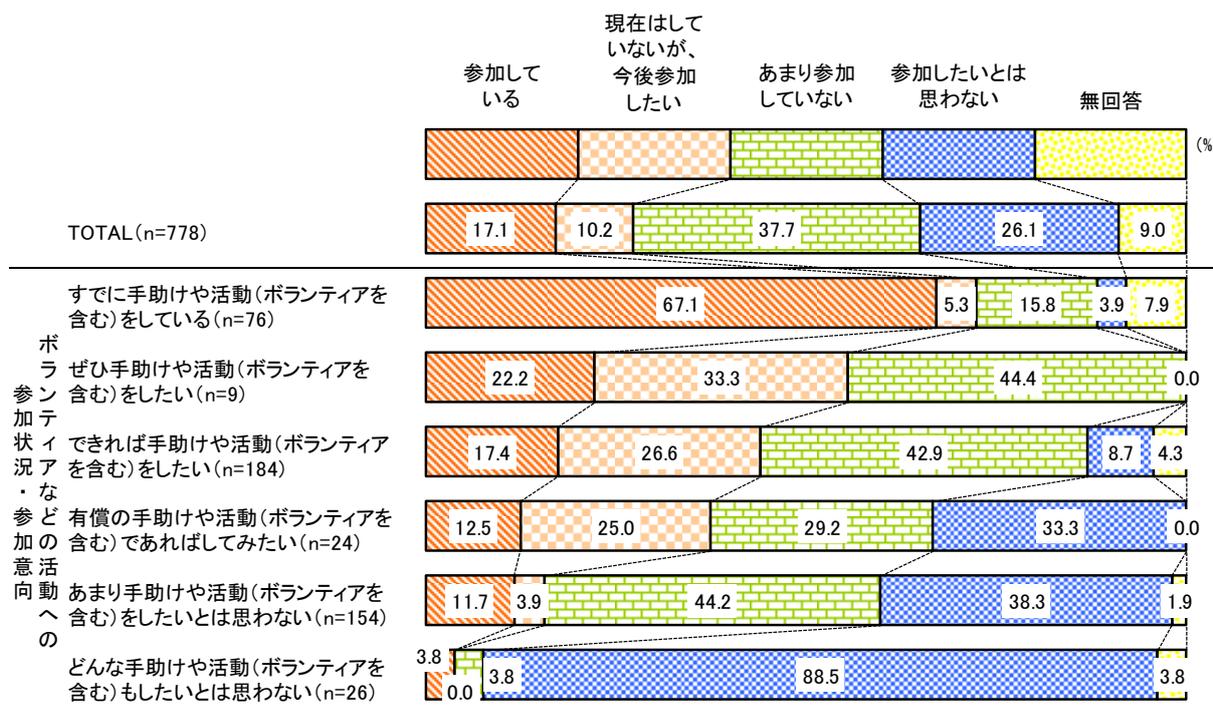
図表 2.52 住んでいる地域での、手助けやボランティア等の活動希望



第2章 一般高齢者調査結果

住んでいる地域での、手助けやボランティア等の活動希望別（問 21）に地域活動への参加状況をみると、「すでに手助けや活動（ボランティアを含む）をしている」76 人については、地域活動に「参加している」が 67.1%と最も多くなっています。一方、「できれば手助けや活動をしたい」184 人については、地域活動に「参加している」は 17.4%となっています。また「あまり手助けや活動（ボランティアを含む）をしたいとは思わない」154 人については、地域活動に「参加している」は 11.7%となっています。

図表 2.53 現在の地域活動への参加状況



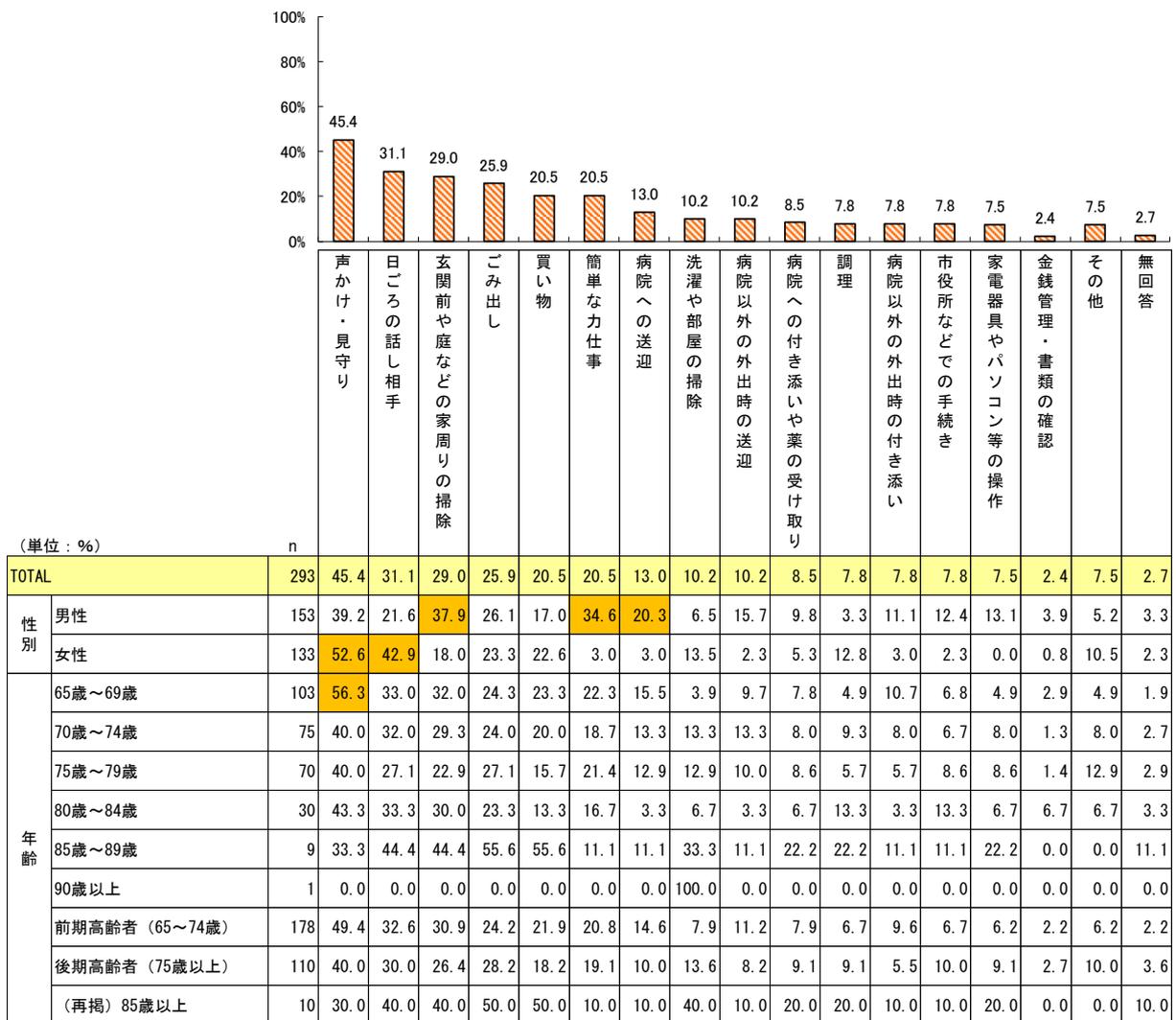
問 21-1 問 21 で 1～4（手助けや活動をしている、したい）に○をつけた方にうかがいます。  
それはどのような手助けや活動ですか。（あてはまるものすべてに○）

現在または今後活動希望のある方（293人）について、内容をみると、「声かけ・見守り」が45.4%で最も多く、次いで「日ごろの話し相手」が31.1%、「玄関前や庭などの家周りの掃除」が29.0%の順となっています。

性別では、「男性」で「玄関前や庭などの家周りの掃除」（37.9%）、「簡単な力仕事」（34.6%）、「病院への送迎」（20.3%）などが「女性」を大きく上回っています。一方、「女性」では、「声かけ・見守り」（52.6%）、「日ごろの話し相手」（42.9%）が4割～5割台と高く、「男性」を上回っています。

年齢別では、「65歳～69歳」で「声かけ・見守り」が56.3%と半数を超えています。

図表 2.54 手助けやボランティアの活動中または今後活動希望者が行いたい活動内容



(6) 医療について

問22 あなたにはかかりつけの医師がいますか。(あてはまるものすべてに○)

かかりつけ医の有無については、『かかりつけ医がいる』(「かかりつけの医師はいない」「無回答」を除く)割合は89.5%で、内訳は「内科医」が77.4%で最も多く、「歯科医」が51.5%、「眼科医」が32.9%、「整形外科医」が23.9%の順となっています。

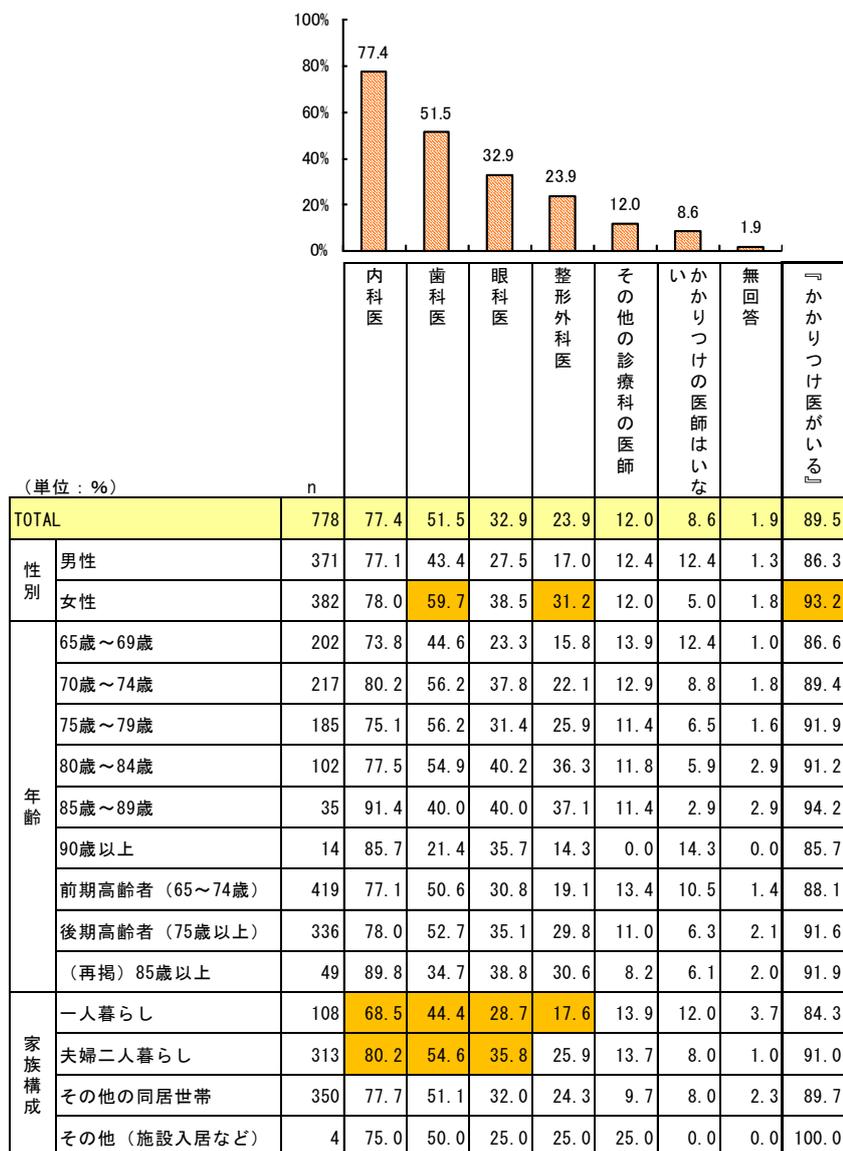
性別では、「女性」で「かかりつけ医がいる」(93.2%)とする割合が「男性」に比べて高く、「歯科医」(59.7%)、「整形外科医」(31.2%)で「男性」を約15ポイント上回っています。

年齢別では、高年齢ほど『かかりつけ医がいる』とする割合が高い傾向があります。

家族構成別では、「夫婦二人暮らし」で「内科医」が80.2%、「歯科医」が54.6%、「眼科医」が35.8%と、いずれも他の家族構成に比べて高くなっています。

「一人暮らし」では、「内科医」(68.5%)、「歯科医」(44.4%)、「眼科医」(28.7%)、「整形外科医」(17.6%)のいずれも、他の家族構成に比べて低くなっています。

図表 2.55 かかりつけ医の有無



圏域別では、「ごてん」(82.8%)、「サンレジデンス湘南」(81.9%)、「ひらつかにし」(80.8%)、「ふじみ」(80.0%)、「ゆりのき」(80.0%)で、「内科医」が約8割と他の圏域に比べて高くなっています。また、「富士白苑」(66.7%)、「とよだ」(63.0%)、「サンレジデンス湘南」(62.5%)、「みなと」(60.9%)で、「歯科医」が6割台と他の圏域に比べて高くなっています。

図表 2.56 かかりつけ医の有無

		n	内科医	歯科医	眼科医	整形外科医	その他の診療科の医師	かかりつけの医師はいない	無回答	『かかりつけ医がいる』
(単位：%)										
TOTAL		778	77.4	51.5	32.9	23.9	12.0	8.6	1.9	89.5
圏域	あさひきた	82	79.3	41.5	34.1	29.3	15.9	11.0	0.0	89.0
	あさひみなみ	62	79.0	51.6	30.6	21.0	14.5	9.7	1.6	88.7
	おおすみ	58	69.0	50.0	27.6	20.7	8.6	8.6	3.4	88.0
	倉田会	71	74.6	46.5	29.6	28.2	9.9	9.9	1.4	88.7
	ごてん	58	82.8	39.7	44.8	27.6	8.6	12.1	1.7	86.2
	サンレジデンス湘南	72	81.9	62.5	34.7	20.8	13.9	4.2	1.4	94.4
	とよだ	46	67.4	63.0	39.1	34.8	19.6	0.0	8.7	91.3
	ひらつかにし	73	80.8	42.5	34.2	28.8	11.0	8.2	1.4	90.4
	富士白苑	66	78.8	66.7	42.4	21.2	10.6	6.1	1.5	92.4
	ふじみ	45	80.0	51.1	15.6	11.1	13.3	8.9	2.2	88.9
	まつがおか	13	84.6	69.2	7.7	15.4	15.4	7.7	0.0	92.3
	みなと	46	67.4	60.9	34.8	13.0	13.0	13.0	0.0	87.0
	ゆりのき	65	80.0	50.8	30.8	26.2	9.2	10.8	1.5	87.7

問23 あなたは在宅医療について知っていますか。(ひとつだけ○)

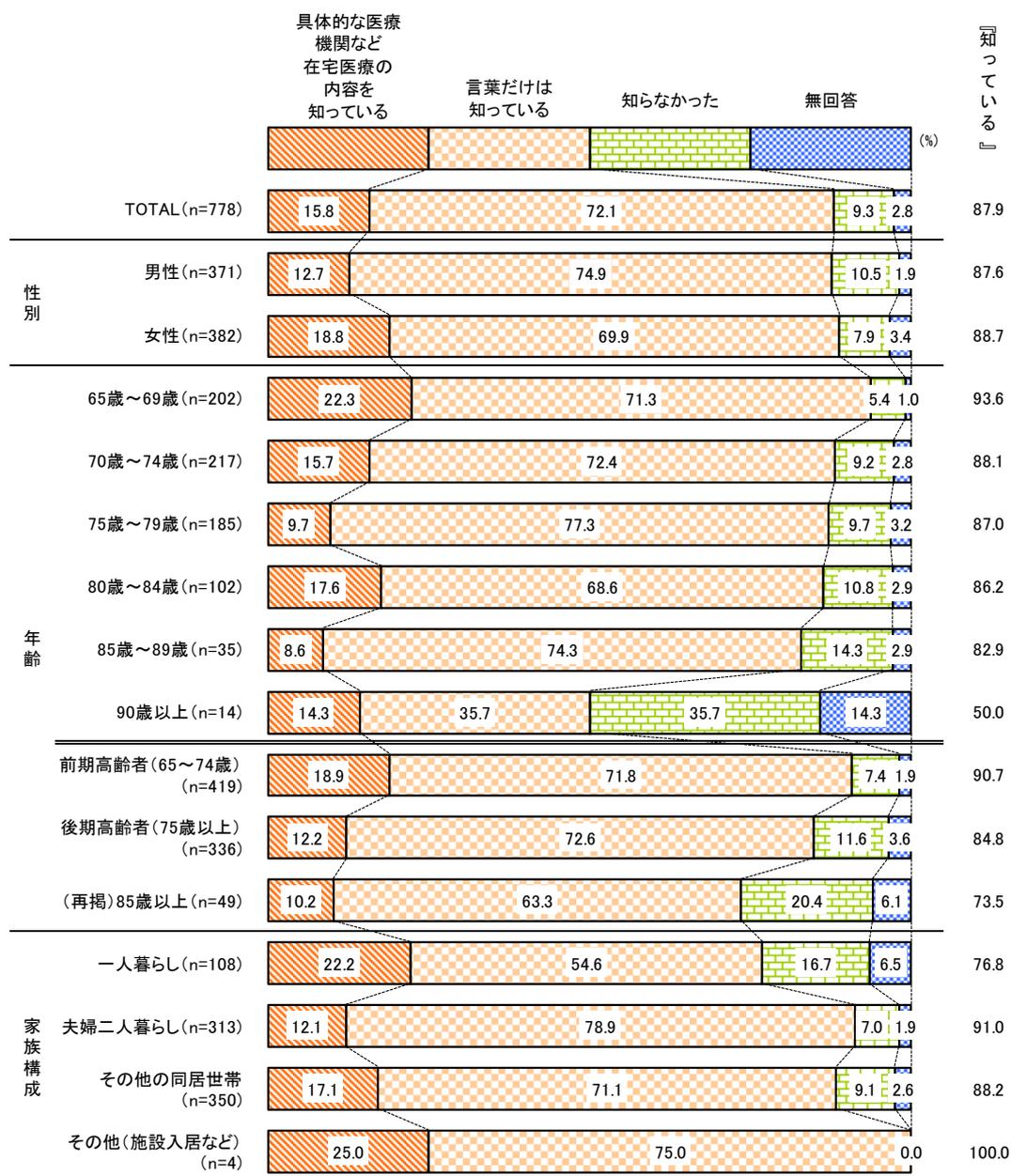
在宅医療については、「言葉だけは知っている」が72.1%で最も多く、「具体的な医療機関など在宅医療の内容を知っている」が15.8%となっており、程度の差はあるものの『知っている』は合わせて87.9%となっています。一方、在宅医療を「知らなかった」とする回答は9.3%となっています。

性別では、「女性」で「具体的な医療機関など在宅医療の内容を知っている」が18.8%と、「男性」より約6ポイント高くなっています。

年齢別では、「65歳～69歳」で、「具体的な医療機関など在宅医療の内容を知っている」が22.3%と2割を超え、他の年齢に比べて高くなっています。

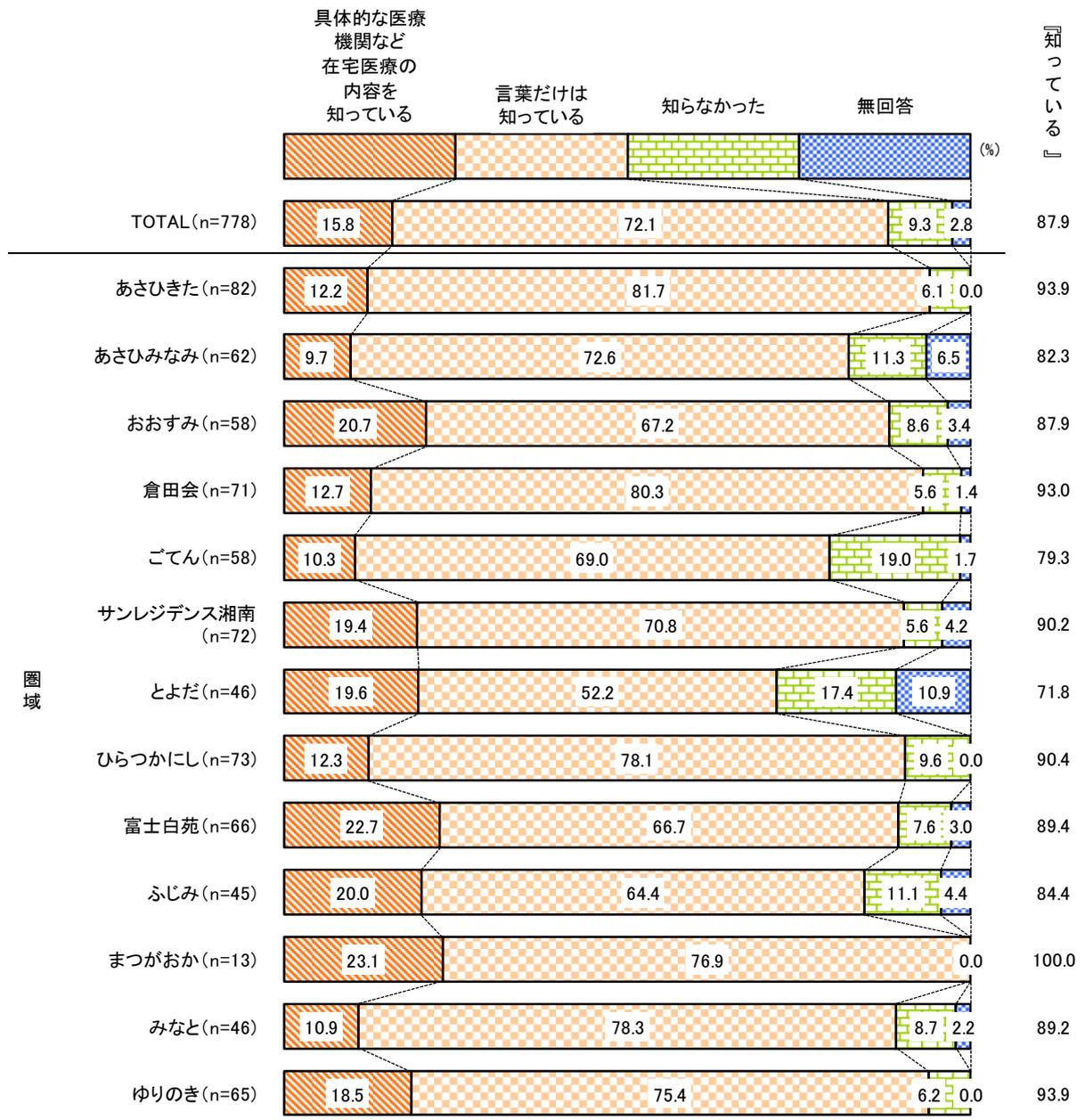
家族構成別では、「一人暮らし」で「具体的な医療機関など在宅医療の内容を知っている」(22.2%)と「知らなかった」(16.7%)の異なる意見がともに他の家族構成に比べて高くなっています。

図表 2.57 在宅医療の認知状況



圏域別では、「富士白苑」(22.7%)、「おおすみ」(20.7%)、「ふじみ」(20.0%)、「とよだ」(19.6%)、「サンレジデンス湘南」(19.4%)、「ゆりのき」(18.5%)で、「具体的な医療機関など在宅医療の内容を知っている」が約2割となっています。

図表 2.58 在宅医療の認知状況



問24 あなたは脳卒中の後遺症やがんなどで、長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望しますか。(ひとつだけ○)

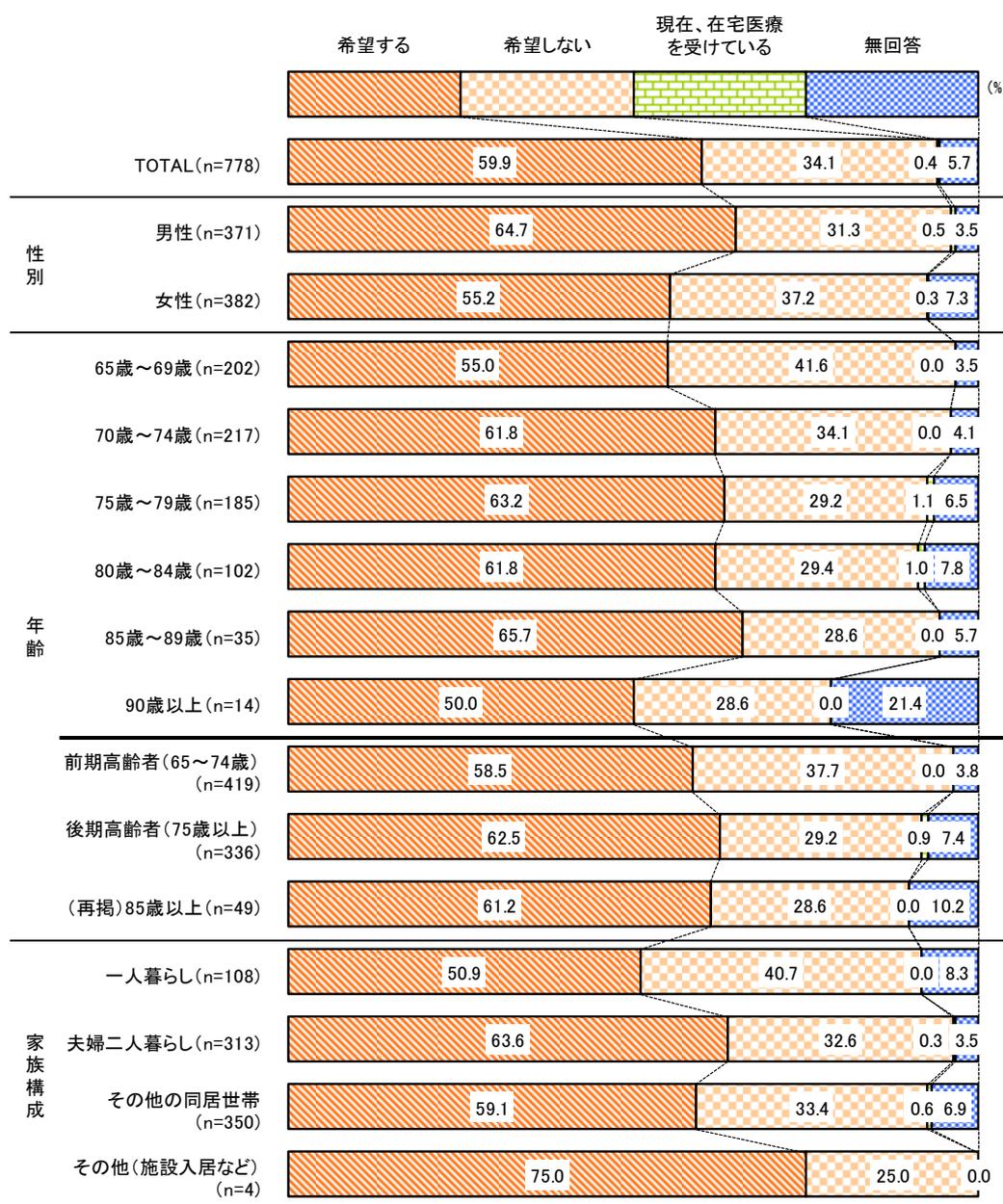
長期の治療・療養が必要になった場合の在宅医療の希望については、「希望する」は59.9%、「希望しない」は34.1%となっています。

性別では、「男性」で在宅医療を「希望する」割合が64.7%に対し、「女性」が55.2%と「男性」のほうが高くなっています。

年齢別では、高年齢ほど在宅医療を「希望する」割合が高くなる傾向がみられます。

家族構成別では、「夫婦二人暮らし」で、在宅医療を「希望する」が63.6%と他の家族構成に比べて高くなっています。

図表 2.59 在宅医療の希望



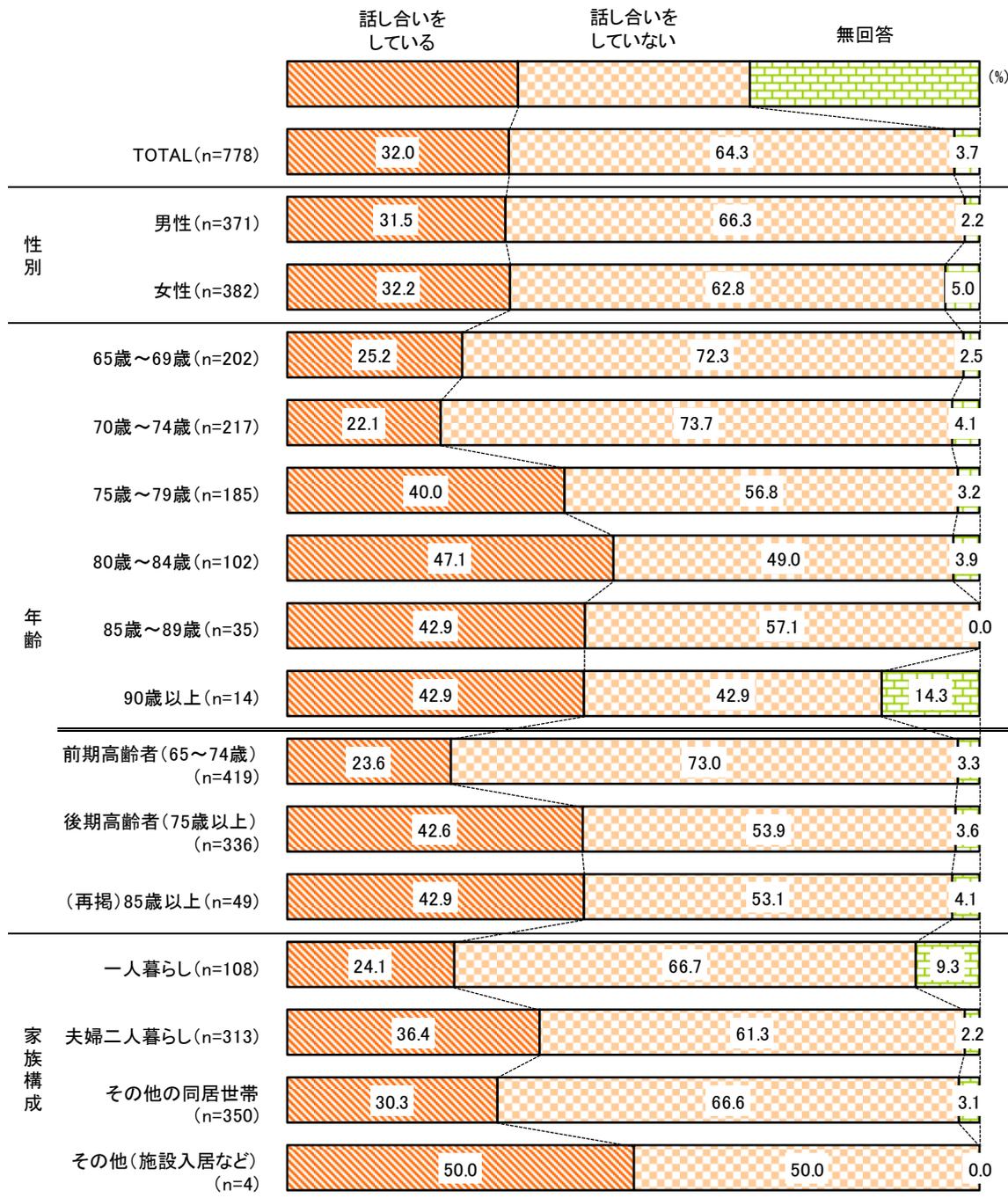
問 25 自分が望む医療やケアについて御家族や親族の方などと話し合いをしていますか。(ひとつだけ○)

自分が望む医療やケアについて家族等と話し合う機会について、「話し合いをしている」は32.0%、「話し合いをしていない」は64.3%となっています。

性別では、ほとんど違いはみられませんが、年齢別では、「前期高齢者」に比べて「後期高齢者」の「話し合いをしている」割合が約20ポイント上回り、4割台(42.6%)となっています。

家族構成別では、「夫婦二人暮らし」で「話し合いをしている」が36.4%と他の家族構成に比べて高くなっています。

図表 2.60 自分が望む医療やケアについて家族等と話し合う機会



問 26 あなたは、在宅医療を利用して在宅生活を続けていくことができますか。(ひとつだけ○)

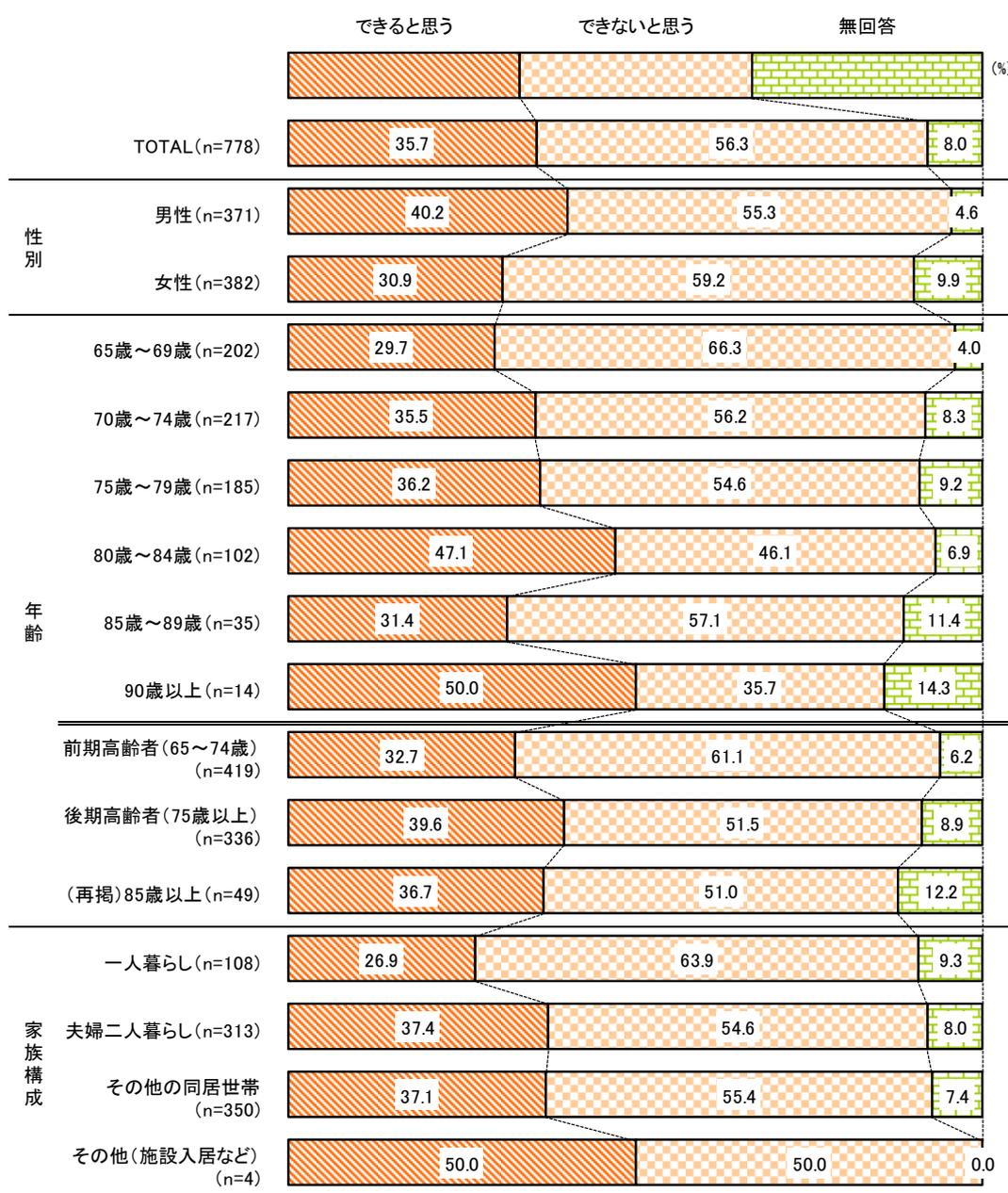
在宅医療を利用した在宅生活の継続可能性については、「できると思う」は35.7%、「できないと思う」は56.3%となっています。

性別では、「男性」で在宅医療を利用した在宅生活を継続「できると思う」が40.2%と、「女性」(30.9%)より高くなっています。

年齢別では、「80歳～84歳」で在宅医療を利用した在宅生活を継続「できると思う」が47.1%と他の年齢に比べて高くなっています。

家族構成別では、「夫婦二人暮らし」(37.4%)、「その他の同居世帯」(37.1%)で在宅医療を利用した在宅生活を継続「できると思う」が約4割となっています。

図表 2.61 在宅医療を利用した在宅生活の継続可能性



問 26-1 問 26 で「2 (できないと思う)」に○をつけた方にうかがいます。できないと思う理由  
はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

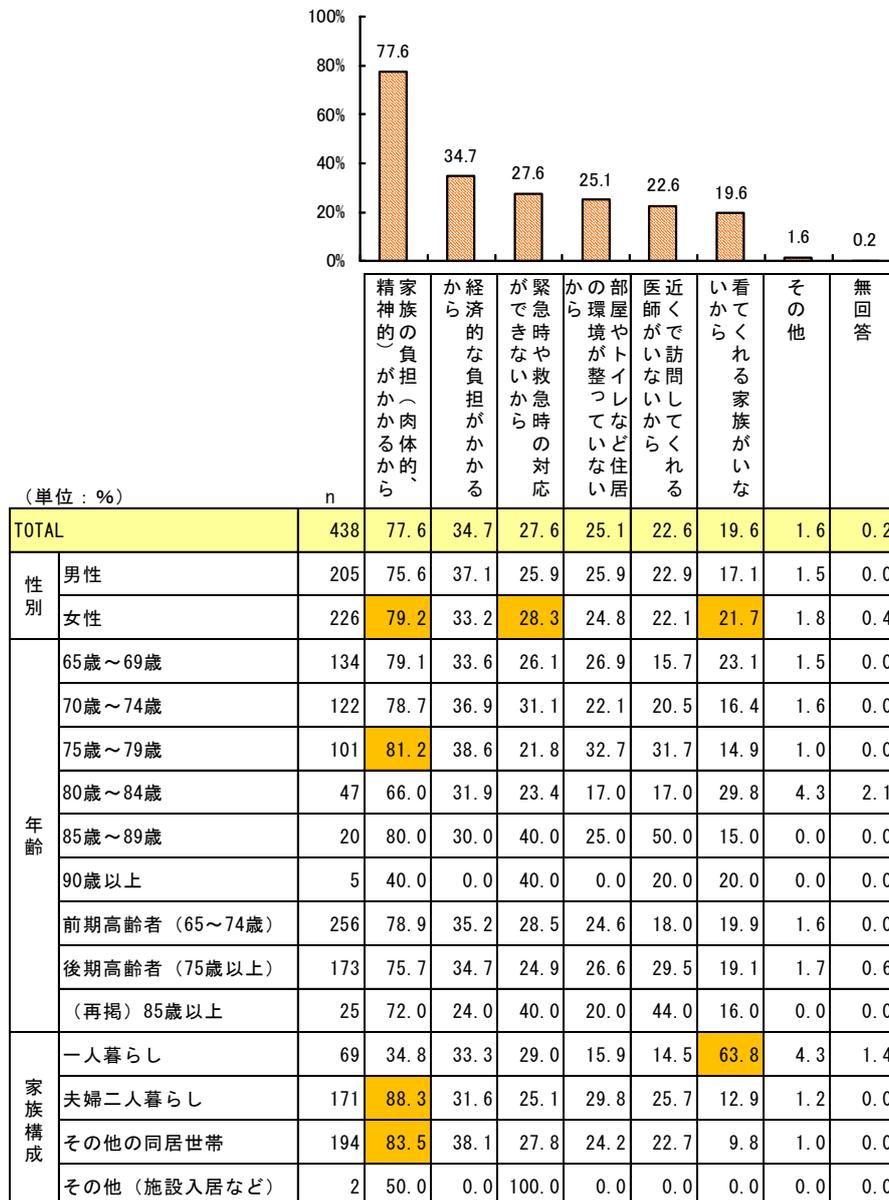
在宅医療を利用した在宅生活の継続ができないと思う理由は、「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」が 77.6%で最も多く、次いで「経済的な負担がかかるから」が 34.7%、「緊急時や救急時の対応ができないから」が 27.6%の順となっています。

性別では、「女性」で「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」（79.2%）、「緊急時や救急時の対応ができないから」（28.3%）、「見てくれる家族がないから」（21.7%）がそれぞれ「男性」よりやや高くなっています。

年齢別では、「75歳～79歳」で「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」が 81.2%と他の年齢に比べて高くなっています。

家族構成別では、「一人暮らし」は「見てくれる家族がないから」が 63.8%と最も多く、「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」では「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」が 88.3%、83.5%と 8 割台で最も多くなっています。

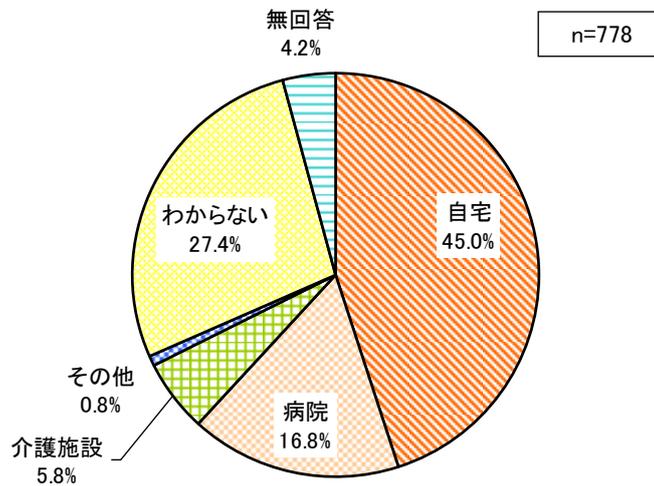
図表 2.62 在宅医療を利用した在宅生活の継続ができないと思う理由



問27 あなたは人生の最期を迎える場所として、どこを希望していますか。(ひとつだけ○)

人生の最期を迎える場所の希望については、「自宅」が45.0%で最も多く、次いで「わからない」が27.4%、「病院」が16.8%、「介護施設」5.8%の順となっています。

図表 2.63 人生の最期を迎える場所の希望

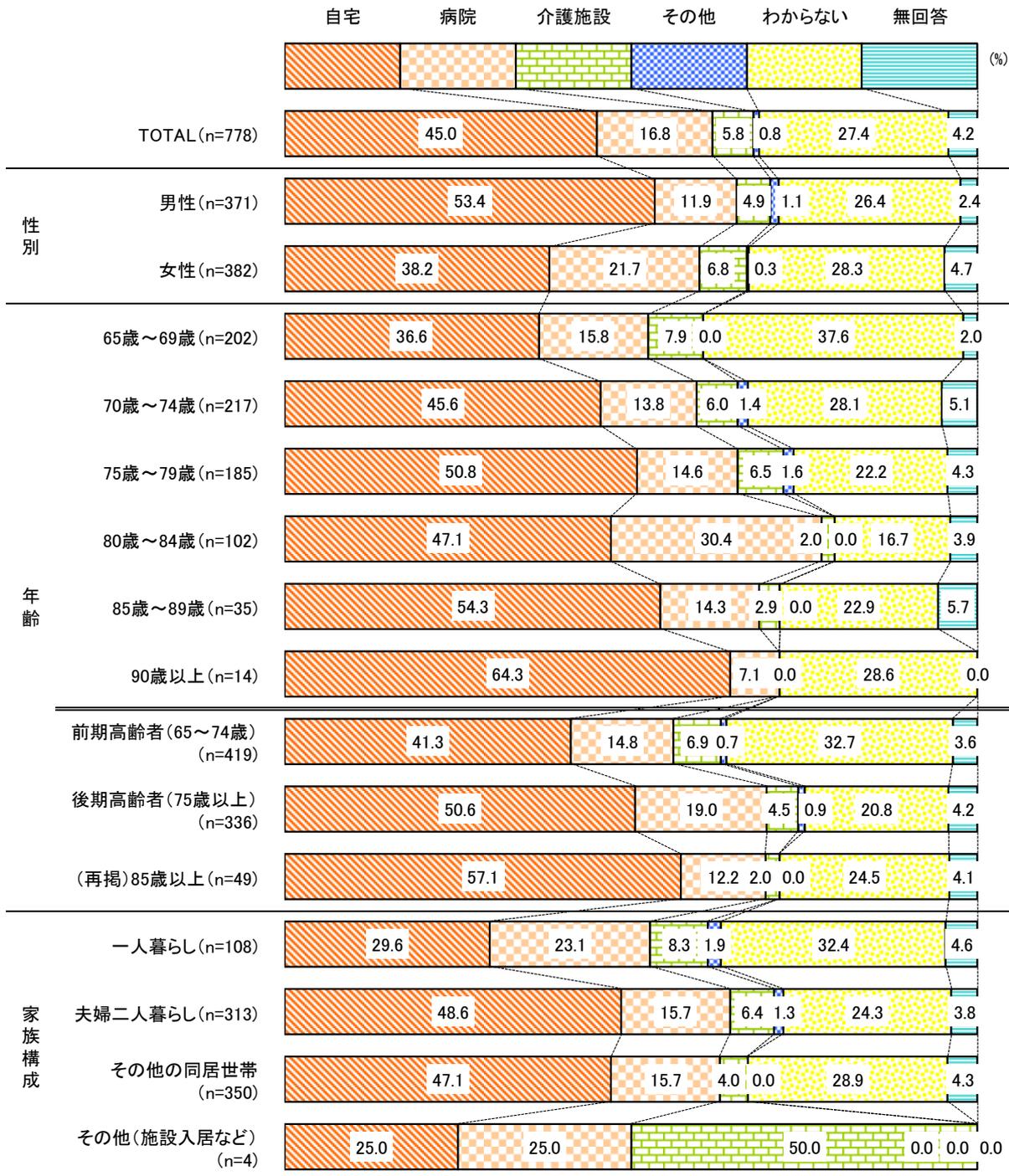


性別では、「男性」は「自宅」が53.4%と半数となっているのに対し、「女性」は「自宅」が38.2%、「病院」が21.7%となっています。

年齢別では、高年齢ほど「自宅」を希望する割合が高い傾向がみられます。

家族構成別では、「一人暮らし」は「自宅」が29.6%、「病院」が23.1%となっています。「夫婦二人暮らし」「その他の同居世帯」では、「自宅」が48.6%、47.1%と約5割となっています。

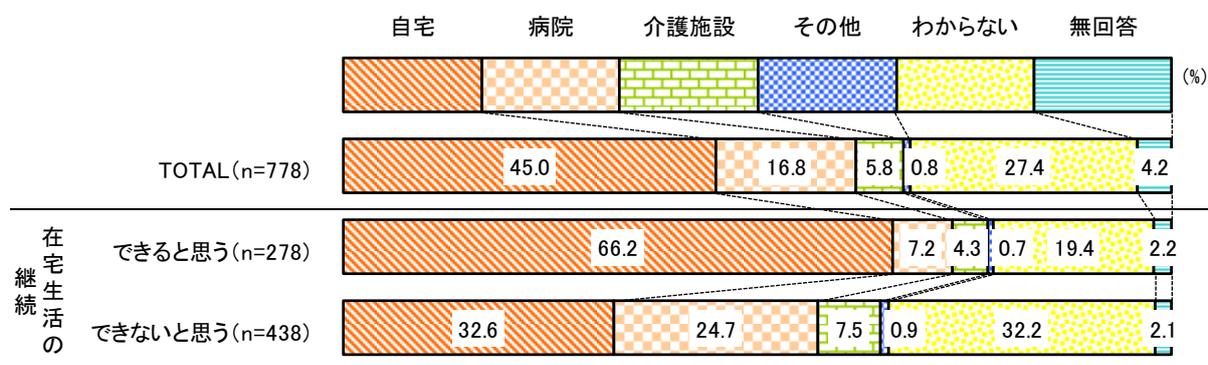
図表 2.64 人生の最期を迎える場所の希望



## 第2章 一般高齢者調査結果

人生の最期を迎える場所の希望について、在宅医療を利用して在宅生活を継続できるかどうか別（問26）では、在宅医療を利用して在宅生活を継続「できると思う」人の66.2%は、「自宅」を希望しています。在宅医療を利用して在宅生活を継続「できないと思う」人の32.6%は、「自宅」を希望し、24.7%は「病院」を希望しています。

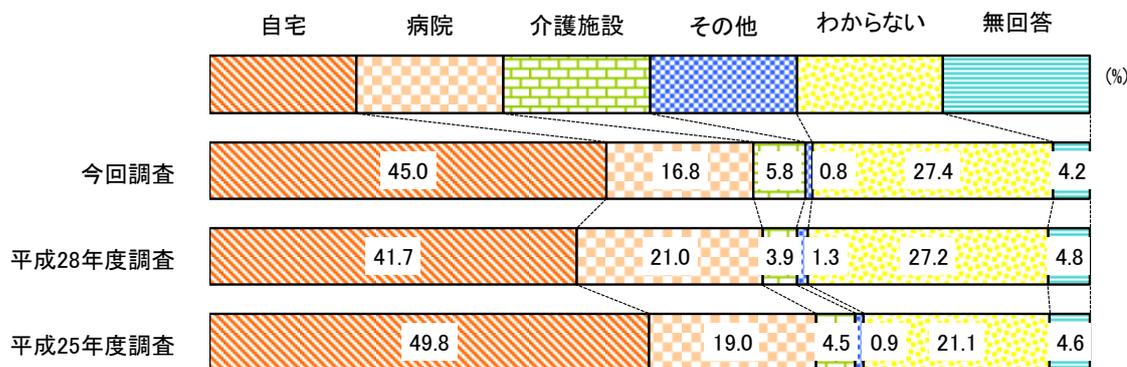
図表 2.65 人生の最期を迎える場所の希望



### （経年比較）

前回（平成28年度）と比較してみると、「自宅」の割合が増加し、45.0%となっています。また、「介護施設」が5.8%と前回よりも増加しています。

図表 2.66 人生の最期を迎える場所の希望



問 28 あなたは自宅で最期まで生活するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

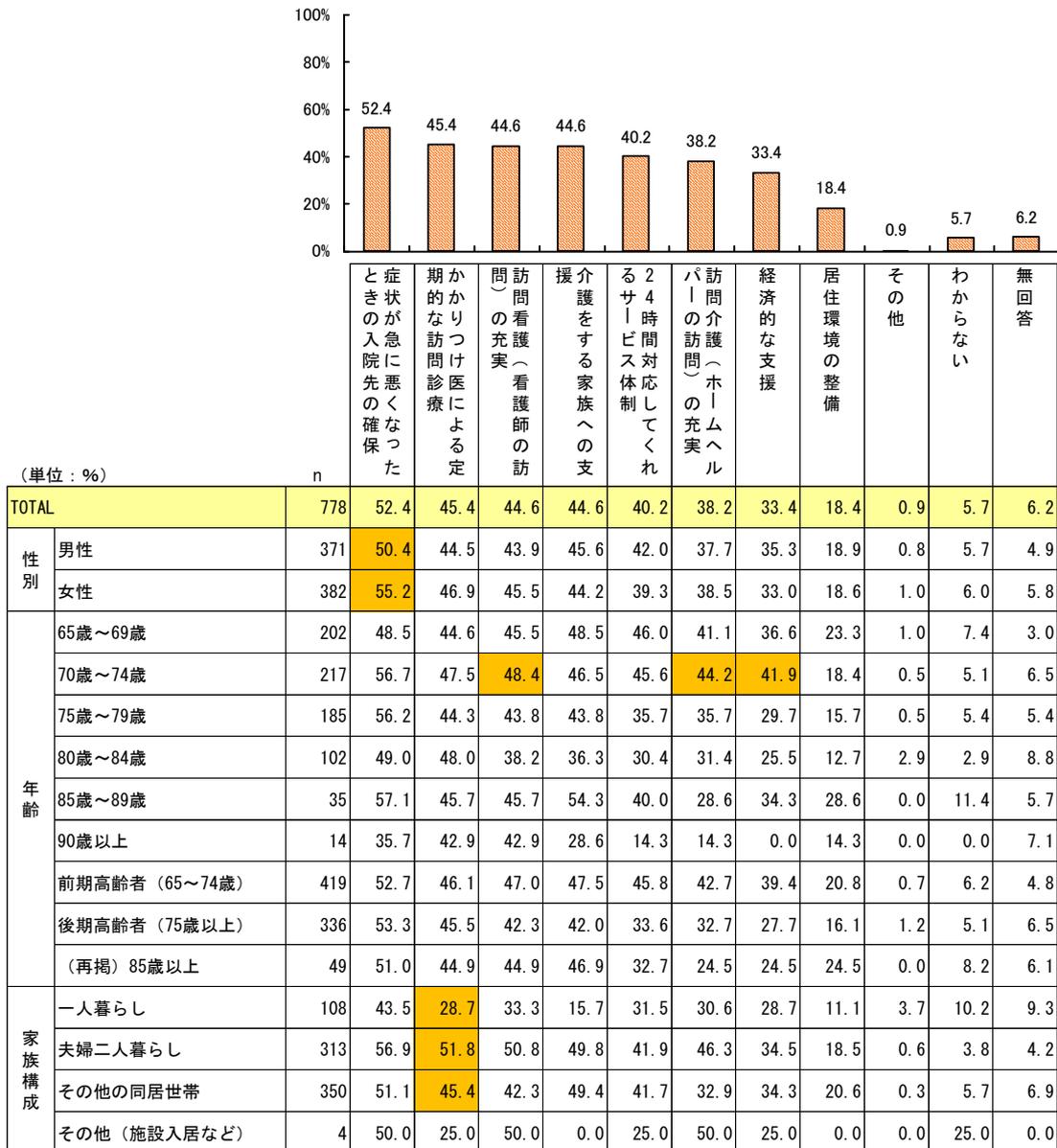
自宅で最期まで生活するために必要なことについては、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が 52.4%で最も多く、次いで「かかりつけ医による定期的な訪問診療」(45.4%)、「訪問看護(看護師の訪問)の充実」、「介護をする家族への支援」(ともに 44.6%)、「24 時間対応してくれるサービス体制」(40.2%) が 4 割台となっています。

性別では、大きな違いはみられませんが、「女性」が「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」は 55.2%に対し、「男性」は 50.4%と、「男性」を約 5 ポイント上回っています。

年齢別では、「70 歳～74 歳」で「訪問看護(看護師の訪問)の充実」(48.4%)、「訪問介護(ホームヘルパーの訪問)の充実」(44.2%)、「経済的な支援」(41.9%) が他の年齢よりも高くなっています。

家族構成別では、「一人暮らし」では、「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が 28.7%に対し、「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」では、51.8%、45.4%と約半数となっています。

図表 2.67 自宅で最期まで生活するために必要なこと



## 第2章 一般高齢者調査結果

自宅で最期まで生活するために必要なことについて、在宅医療を利用して在宅生活を継続できるかどうか別（問26）では、在宅医療を利用して在宅生活を継続「できないと思う」人の55.0%が「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」を、45.0%が「24時間対応してくれるサービス体制」を、44.5%が「介護をする家族への支援」をあげています。

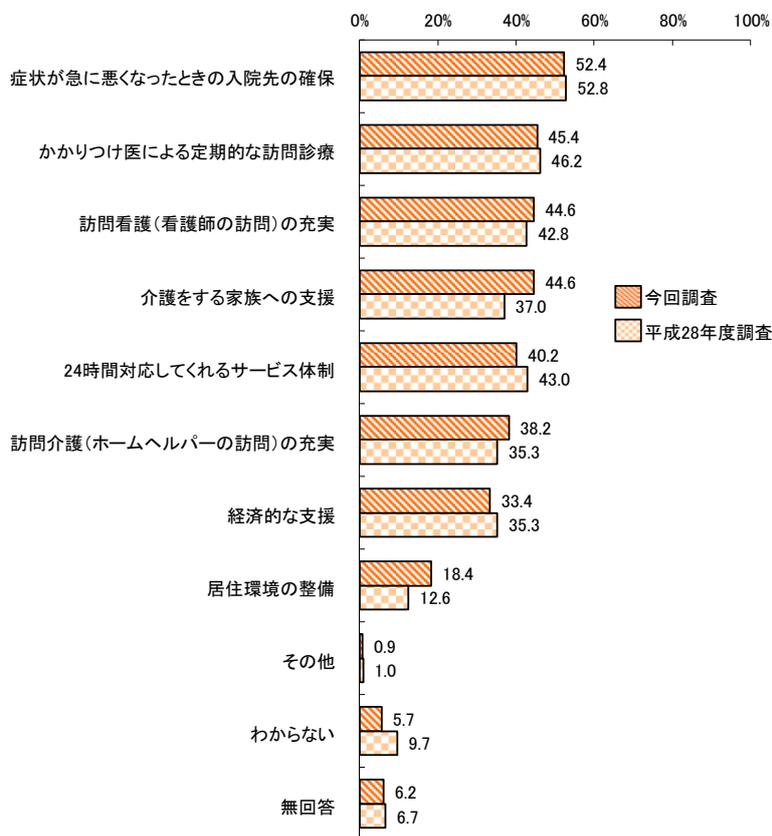
図表 2.68 自宅で最期まで生活するために必要なこと

(単位：%)		n	と症状が急に悪くなったときの入院先の確保	かかりつけ医による定期的な訪問診療	訪問看護（看護師の訪問）の充実	介護をする家族への支援	24時間対応してくれるサービス体制	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の充実	経済的な支援	居住環境の整備	その他	わからない	無回答
TOTAL		778	52.4	45.4	44.6	44.6	40.2	38.2	33.4	18.4	0.9	5.7	6.2
在宅生活の継続	できると思う	278	56.5	52.5	52.2	49.3	38.1	45.3	27.0	17.3	1.1	4.3	1.8
	できないと思う	438	55.0	43.6	43.2	44.5	45.0	37.2	40.0	21.0	0.9	5.7	3.2

### （経年比較）

前回（平成28年度）と比較してみると、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」、「かかりつけ医による定期的な訪問診療」は前回とほぼ同じ割合です、また、「訪問看護（看護師の訪問）の充実」、「介護をする家族への支援」、「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の充実」は、前回よりもやや増えています。一方、「24時間対応してくれるサービス体制」、「経済的な支援」は前回よりもやや減少しています。

図表 2.69 自宅で最期まで生活するために必要なこと

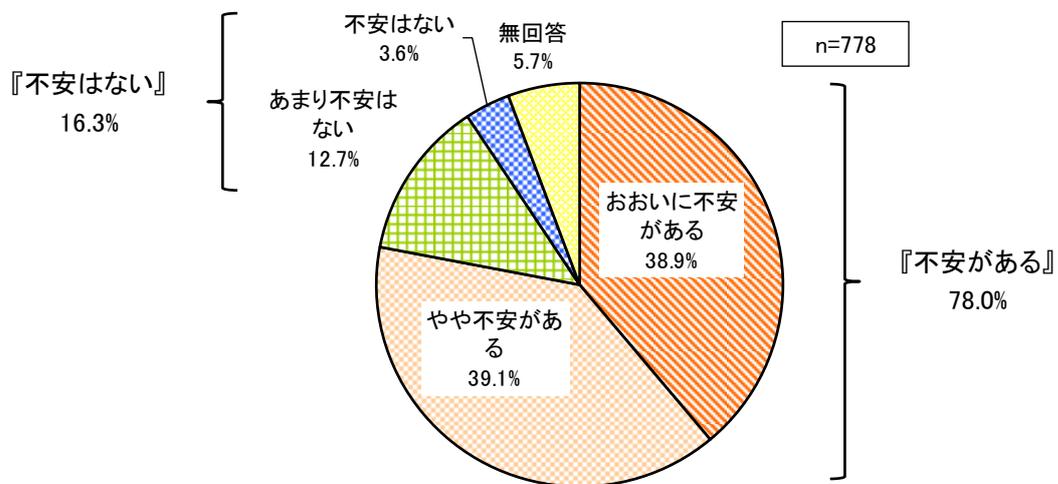


(7) 認知症について

問 29 将来、御自身や御家族が認知症になるおそれがあることに対して、不安がありますか。(ひとつだけ○)

本人、家族が将来認知症になることへの不安については、「おおいに不安がある」(38.9%)、「やや不安がある」(39.1%)を合わせて『不安がある』は78.0%となっています。一方、「あまり不安はない」(12.7%)、「不安はない」(3.6%)を合わせた『不安はない』は16.3%となっています。

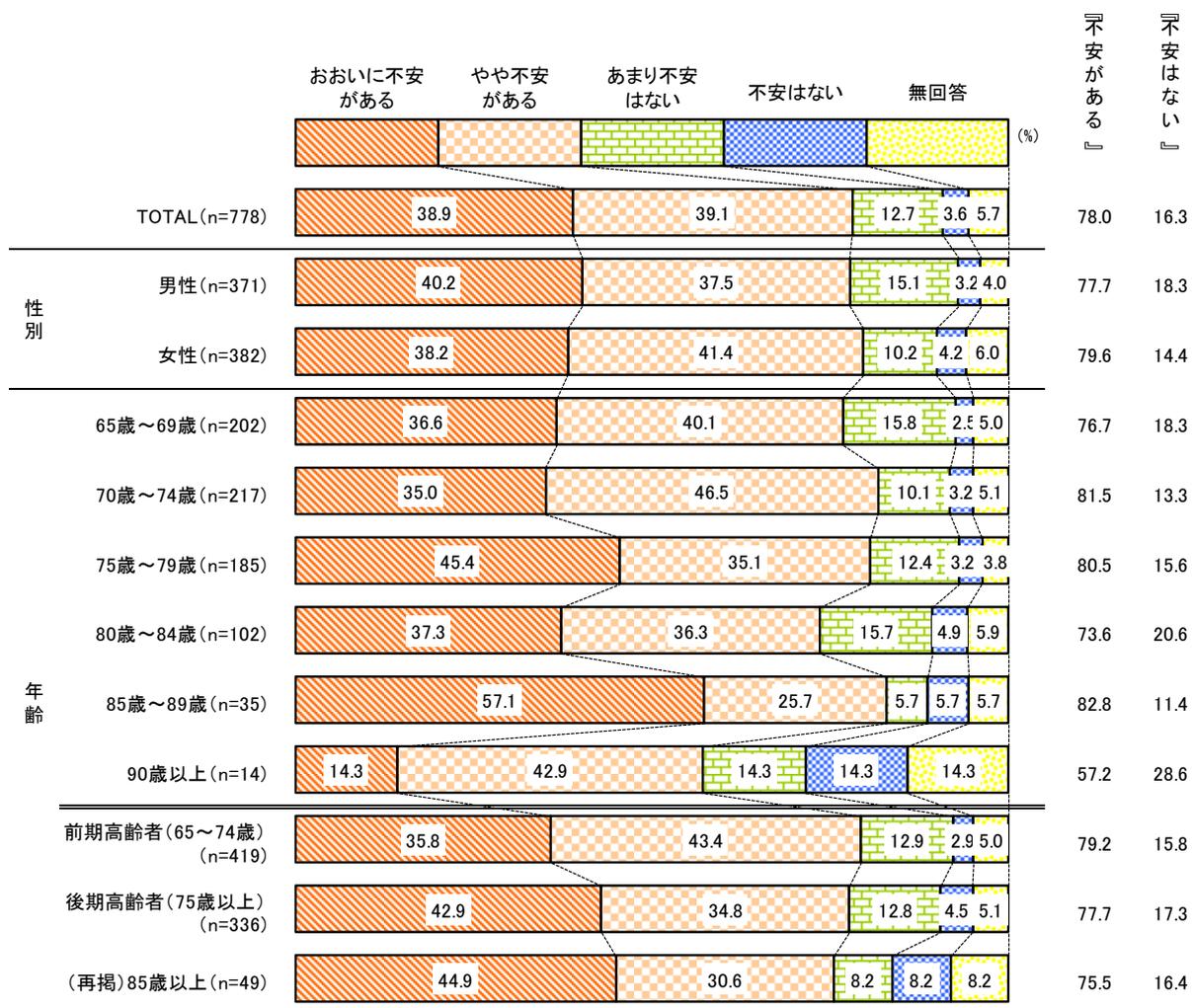
図表 2.70 認知症になることへの不安



第2章 一般高齢者調査結果

性別では、大きな違いはみられませんが、年齢別では、「85歳～89歳」で57.1%が「大いに不安がある」と他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2.71 認知症になることへの不安



問 30 将来、御自身や御家族が認知症になった場合、誰が相談を聞いてくれたり、支えになってくれると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

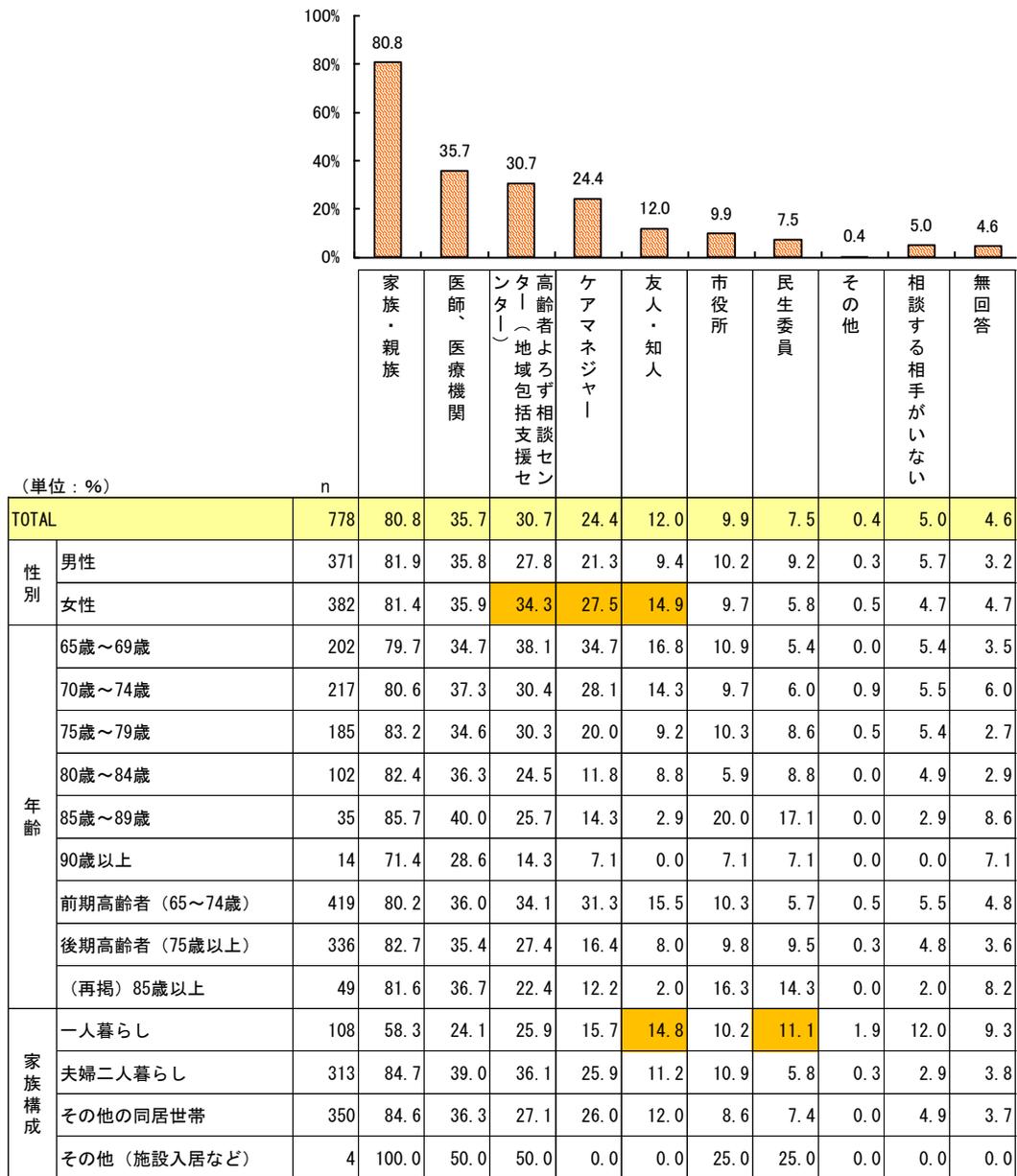
本人、家族が将来認知症になった場合の相談先や支えになってくれるところについては、「家族・親族」が 80.8%で最も多く、次いで「医師、医療機関」(35.7%)、「高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)」(30.7%) がともに3割台となっています。

性別では、「女性」で「高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)」(34.3%)、「ケアマネジャー」(27.5%)、「友人・知人」(14.9%)については、「男性」を5ポイント以上、上回っています。

年齢別では、高年齢ほど「家族・親族」をあげる割合が高くなる傾向がみられます。

家族構成別では、「ひとり暮らし」では「友人・知人」が 14.8%、「民生委員」が 11.1%と他の家族構成に比べて高くなっています。

図表 2.72 本人、家族が将来認知症になった場合の相談先や支えになってくれるところについて



第2章 一般高齢者調査結果

圏域別では、「家族・親族」は「ふじみ」(86.7%)で最も高く、「医師、医療機関」は「ゆりのき」(46.2%)で、「高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)」は「あさひみなみ」(41.9%)でそれぞれ他の圏域に比べて高くなっています。

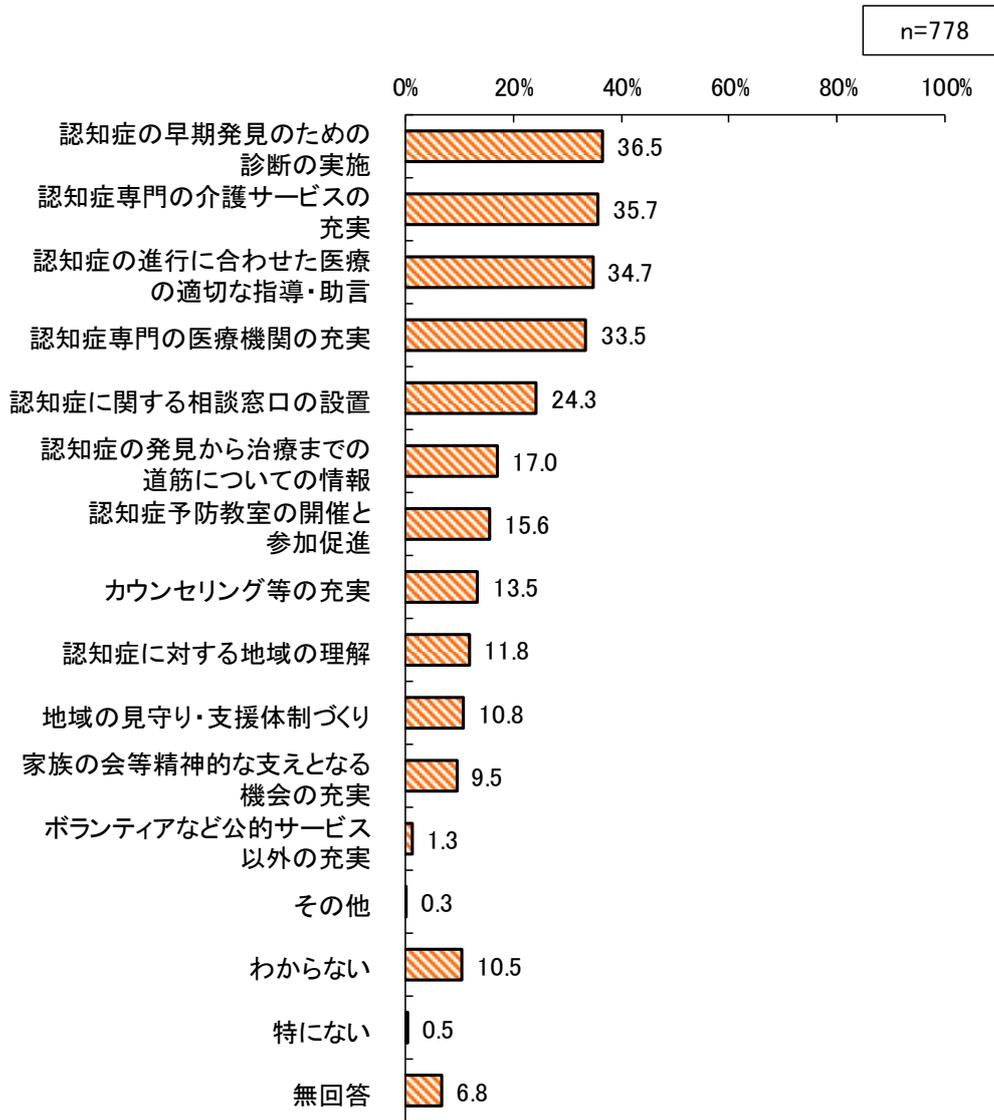
図表 2.73 本人、家族が将来認知症になった場合の相談先や支えになってくれるところについて

		n	家族・親族	医師、医療機関	高齢者よろず相談センター(地域包括支援センター)	ケアマネジャー	友人・知人	市役所	民生委員	その他	相談する相手がない	無回答
(単位：%)												
TOTAL		778	80.8	35.7	30.7	24.4	12.0	9.9	7.5	0.4	5.0	4.6
圏域	あさひきた	82	84.1	34.1	31.7	20.7	8.5	9.8	11.0	0.0	1.2	2.4
	あさひみなみ	62	80.6	30.6	41.9	33.9	16.1	12.9	8.1	1.6	1.6	4.8
	おおすみ	58	82.8	41.4	41.4	24.1	13.8	12.1	8.6	0.0	3.4	1.7
	倉田会	71	85.9	22.5	28.2	23.9	16.9	12.7	7.0	0.0	4.2	7.0
	ごてん	58	72.4	37.9	29.3	25.9	13.8	5.2	1.7	0.0	8.6	1.7
	サンレジデンス湘南	72	79.2	33.3	34.7	23.6	9.7	13.9	11.1	0.0	6.9	6.9
	とよだ	46	71.7	26.1	28.3	13.0	8.7	8.7	4.3	0.0	8.7	6.5
	ひらつかにし	73	84.9	42.5	16.4	24.7	5.5	8.2	5.5	1.4	6.8	4.1
	富士白苑	66	80.3	42.4	36.4	31.8	16.7	9.1	7.6	0.0	4.5	4.5
	ふじみ	45	86.7	40.0	15.6	22.2	15.6	11.1	6.7	2.2	6.7	2.2
	まつがおか	13	76.9	46.2	38.5	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7
	みなと	46	80.4	26.1	37.0	21.7	13.0	6.5	6.5	0.0	2.2	4.3
	ゆりのき	65	83.1	46.2	27.7	27.7	12.3	9.2	9.2	0.0	4.6	4.6

問 31 認知症の方に対する支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(主なものを3つまで○)

認知症の方への支援として必要なことについては、「認知症の早期発見のための診断の実施」(36.5%)が最も多く、次いで「認知症専門の介護サービスの充実」(35.7%)、「認知症の進行に合わせた医療の適切な指導・助言」(34.7%)、「認知症専門の医療機関の充実」(33.5%)がいずれも3割台と多くなっています。

図表 2.74 認知症の方への支援として必要なこと

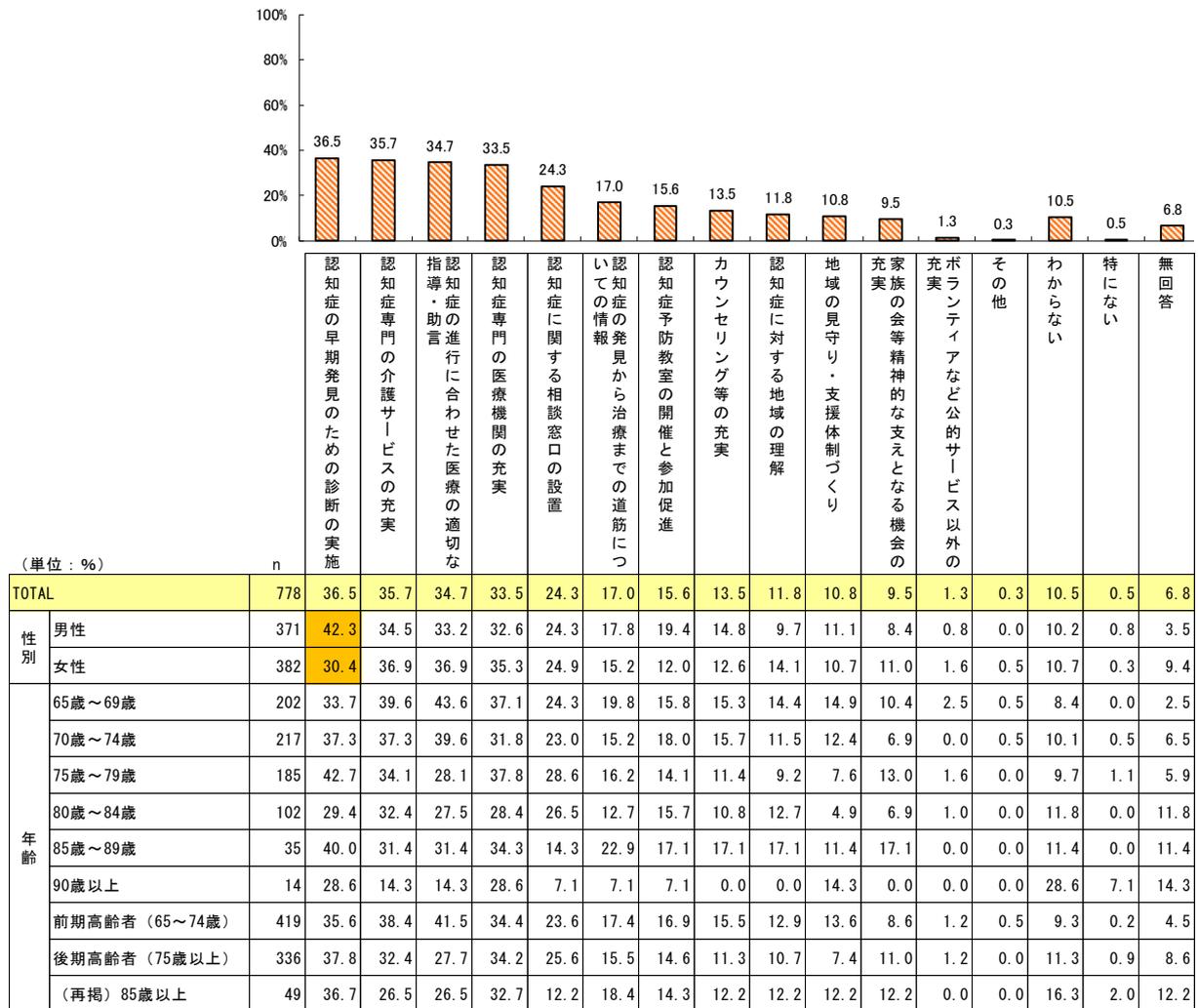


## 第2章 一般高齢者調査結果

性別では、「男性」では、「認知症の早期発見のための診断の実施」が42.3%に対し、「女性」は30.4%と、「男性」が10ポイント以上、大きく上回っています。

年齢別では、低年齢ほど「認知症の進行に合わせた医療の適切な指導・助言」、「認知症専門の介護サービスの充実」をあげる割合が高くなっています。

図表 2.75 認知症の方への支援として必要なこと



(8) 生活支援について

問 32 あなたは買い物、通院などの生活に必要な外出をどれくらいしていますか。  
(ひとつだけ○)

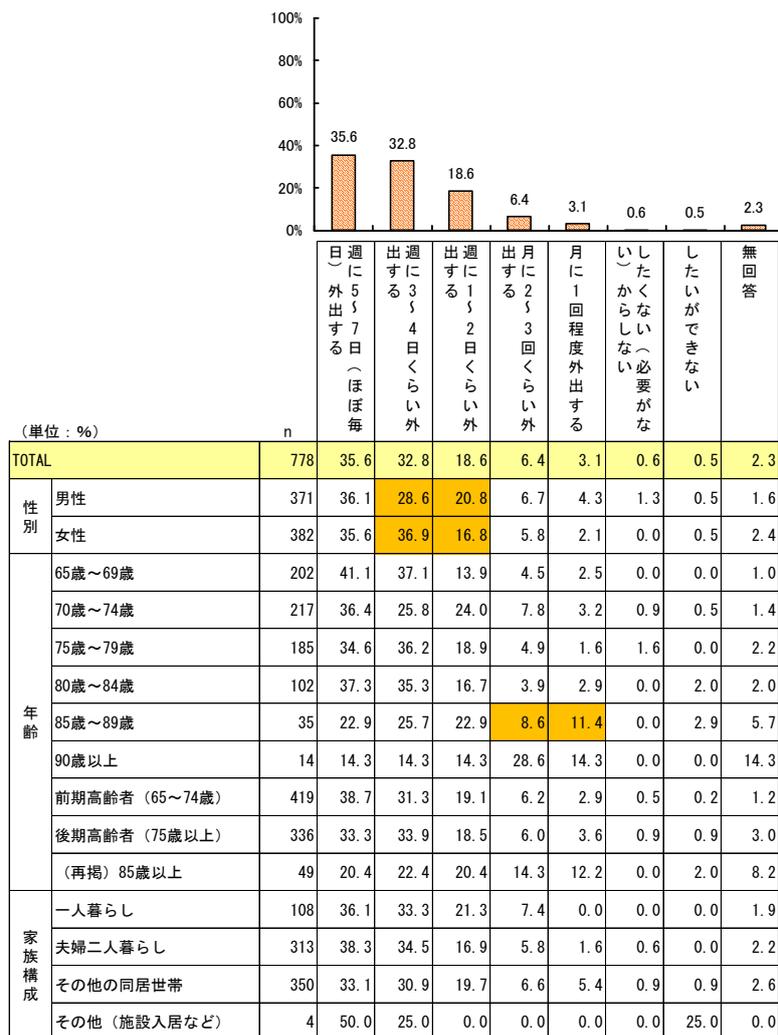
買い物、通院などの生活に必要な外出頻度については、「週に5～7日（ほぼ毎日）外出する」が35.6%で最も多く、次いで「週に3～4日くらい外出する」が32.8%、「週に1～2日くらい外出する」が18.6%、「月に2～3回くらい外出する」が6.4%、「月に1回程度外出する」が3.1%の順となっています。

性別では、「男性」が「週に3～4日くらい外出する」28.6%に対し、「女性」は36.9%と、「男性」を約8ポイント上回っています。一方で、「女性」は「週に1～2日くらい外出する」が16.8%であるのに対し、「男性」は20.8%と、「女性」を4ポイント上回っています。

年齢別では、「85歳～89歳」以降、「週に5～7日（ほぼ毎日）外出する」の割合が低くなり、「85歳～89歳」では、「月に2～3回くらい外出する」(8.6%)、「月に1回程度外出する」(11.4%)が高くなっています。

家族構成別では、大きな違いはみられず、いずれの家族構成においても8割～9割が週に1日以上は外出しています。

図表 2.76 買い物、通院などの生活に必要な外出頻度



第2章 一般高齢者調査結果

圏域別では、「週に5～7日（ほぼ毎日）外出する」は多くの圏域で3割～5割台であるのに対し、「ひらつかにし」では約2割（23.3%）と他の圏域より低くなっています。

図表 2.77 買い物、通院などの生活に必要な外出頻度

		n	日週 に5 外 出 す る 日 （ ほ ぼ 毎 日）	出週 に3 日 く ら い 外	出週 に1 日 く ら い 外	出月 に2 回 く ら い 外	月 に1 回 程 度 外 出 す る	い し た く な い （ 必 要 が な い）	し た い が で き な い	無 回 答
(単位：%)										
TOTAL		778	35.6	32.8	18.6	6.4	3.1	0.6	0.5	2.3
圏 域	あさひきた	82	34.1	29.3	23.2	4.9	2.4	3.7	1.2	1.2
	あさひみなみ	62	38.7	33.9	17.7	4.8	1.6	1.6	0.0	1.6
	おおすみ	58	34.5	34.5	19.0	5.2	1.7	0.0	3.4	1.7
	倉田会	71	31.0	28.2	23.9	8.5	4.2	0.0	1.4	2.8
	ごてん	58	34.5	29.3	22.4	10.3	1.7	0.0	0.0	1.7
	サンレジデンス湘南	72	31.9	33.3	26.4	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8
	とよだ	46	30.4	30.4	23.9	4.3	2.2	0.0	0.0	8.7
	ひらつかにし	73	23.3	37.0	17.8	9.6	9.6	0.0	0.0	2.7
	富士白苑	66	50.0	30.3	13.6	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	ふじみ	45	42.2	24.4	13.3	11.1	2.2	0.0	0.0	6.7
	まつがおか	13	23.1	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	みなと	46	45.7	37.0	6.5	4.3	4.3	0.0	0.0	2.2
ゆりのき	65	44.6	27.7	16.9	7.7	1.5	1.5	0.0	0.0	

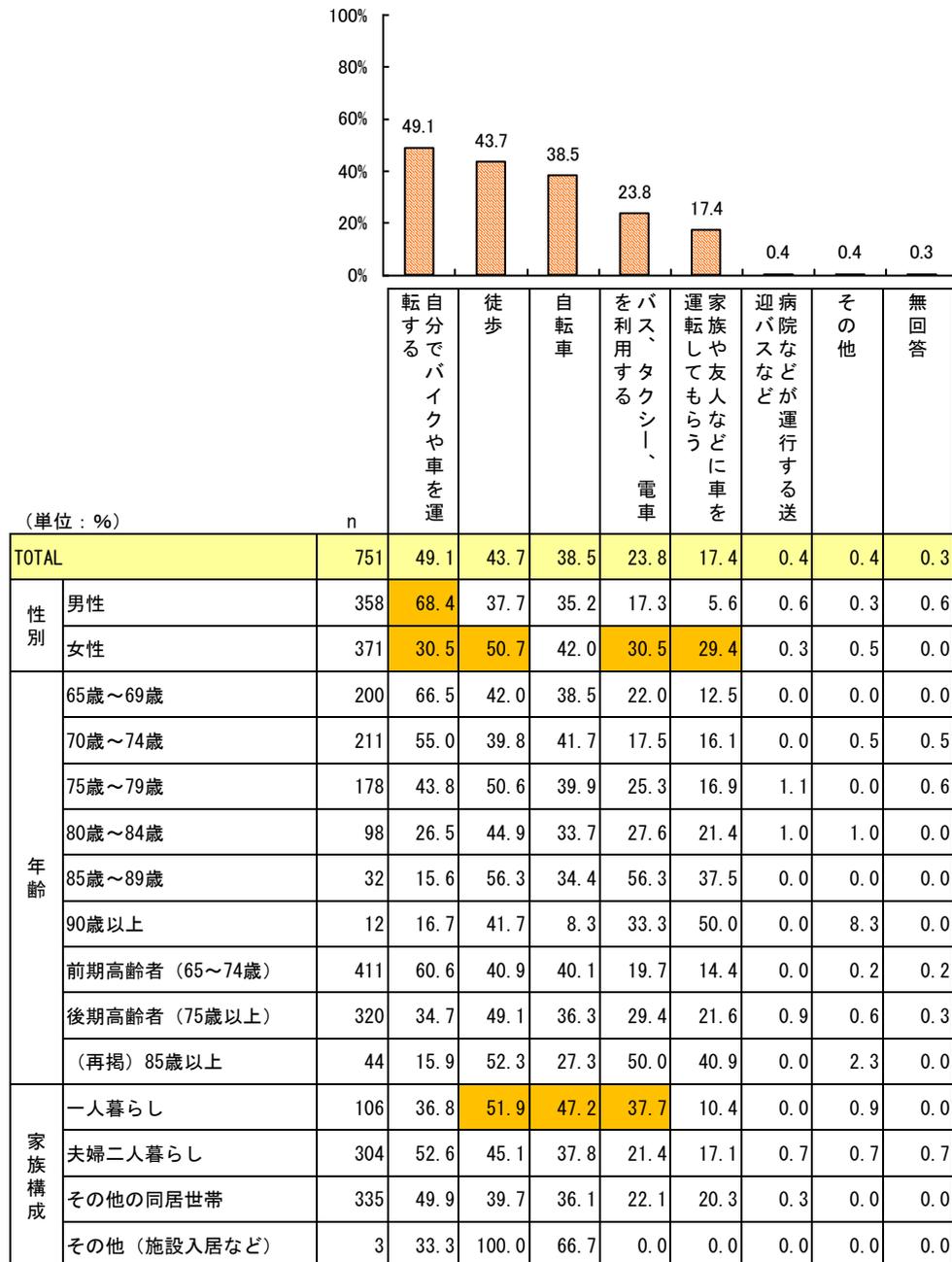
問 32-1 問 32 で1～5（外出する）に○をつけた方にうかがいます。外出のときの方法は、どのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

外出している方（月1回以上）（751人）の外出方法については、「自分でバイクや車を運転する」が49.1%で最も多く、次いで「徒歩」が43.7%、「自転車」が38.5%、「バス、タクシー、電車を利用する」が23.8%の順となっています。

性別では「男性」は、「自分でバイクや車を運転する」が68.4%と「女性」（30.5%）を大きく上回っています。一方、「女性」は、「家族や友人などに車を運転してもらう」（29.4%）が20ポイント以上、「徒歩」（50.7%）と「バス、タクシー、電車を利用する」（30.5%）が10ポイント以上、大きく「男性」を上回っています。

家族構成別では、「ひとり暮らし」では「徒歩」が51.9%、「自転車」が47.2%、「バス、タクシー、電車を利用する」が37.7%と他の家族構成に比べて高くなっています。

図表 2.78 外出時の方法（月1回以上の回答者）



第2章 一般高齢者調査結果

圏域別では、「自分でバイクや車を運転する」は、他の圏域が3割～5割台であるのに対し、「おおすみ」(70.9%)、「ひらつかにし」(70.4%)が約7割と高くなっています。他、「徒歩」は「ゆりのき」(62.5%)、「自転車」は「ふじみ」(57.1%)、「バス、タクシー、電車を利用する」は「あさひみなみ」(31.7%)で、それぞれ高くなっています。

図表 2.79 外出時の方法(月1回以上の回答者)

		n	自分でバイクや車を運	徒歩	自転車	バス、タクシー、電車を利用する	家族や友人などに車を運転してもらう	迎病バスなどが運行する送	その他	無回答
(単位：%)										
TOTAL		751	49.1	43.7	38.5	23.8	17.4	0.4	0.4	0.3
圏域	あさひきた	77	50.6	33.8	39.0	20.8	19.5	0.0	0.0	0.0
	あさひみなみ	60	43.3	50.0	31.7	31.7	15.0	0.0	0.0	0.0
	おおすみ	55	70.9	25.5	21.8	23.6	16.4	0.0	0.0	0.0
	倉田会	68	44.1	36.8	52.9	23.5	20.6	0.0	0.0	0.0
	ごてん	57	38.6	54.4	38.6	21.1	15.8	0.0	0.0	1.8
	サンレジデンス湘南	70	50.0	45.7	35.7	28.6	22.9	4.3	1.4	0.0
	とよだ	42	59.5	31.0	28.6	11.9	14.3	0.0	0.0	0.0
	ひらつかにし	71	70.4	31.0	9.9	16.9	14.1	0.0	1.4	0.0
	富士白苑	66	43.9	59.1	50.0	30.3	25.8	0.0	1.5	0.0
	ふじみ	42	52.4	59.5	57.1	28.6	16.7	0.0	0.0	0.0
	まつがおか	13	53.8	38.5	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	みなと	45	35.6	48.9	46.7	24.4	15.6	0.0	0.0	0.0
ゆりのき	64	34.4	62.5	46.9	20.3	12.5	0.0	0.0	1.6	

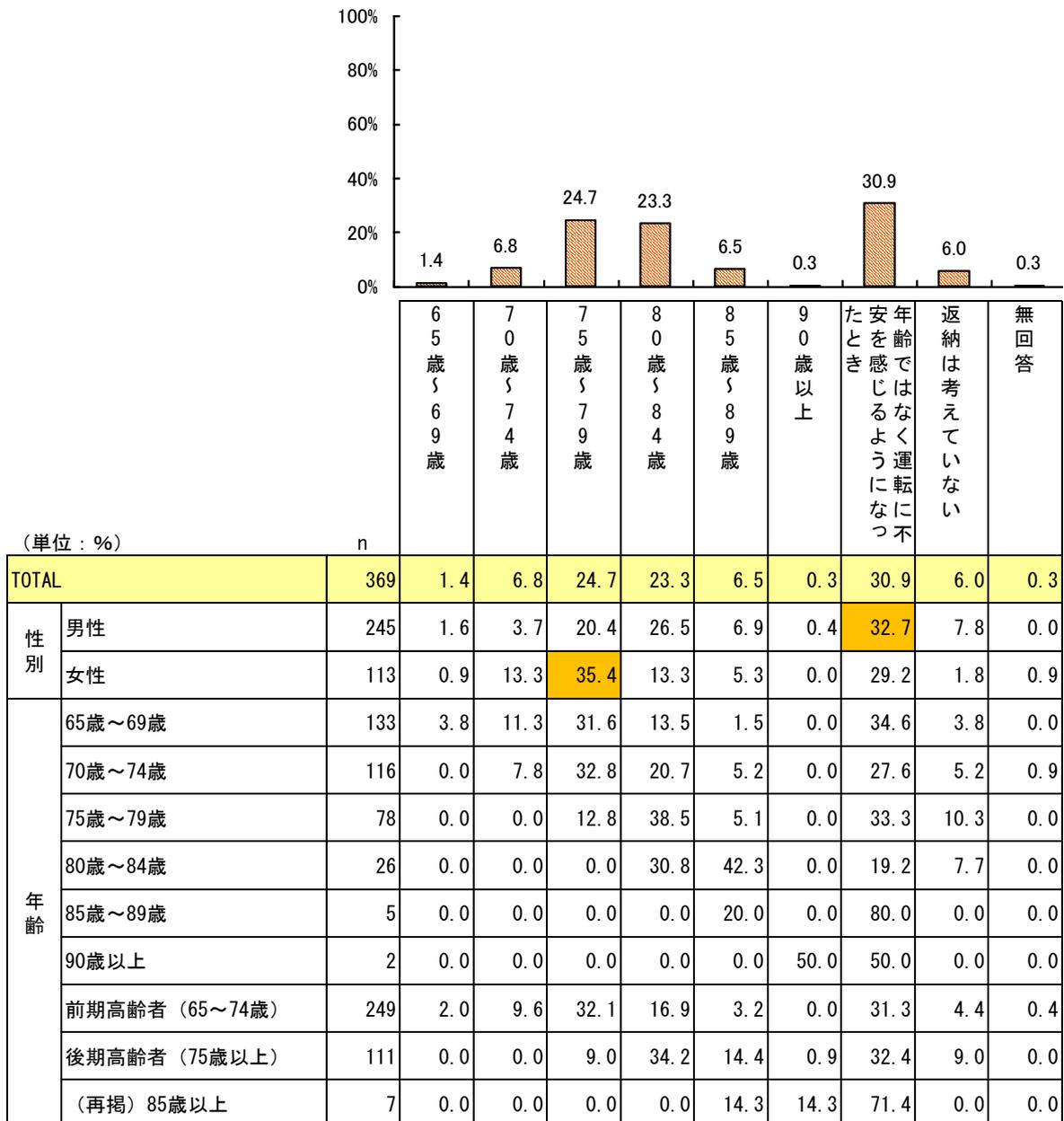
問 32-1-1 問 32-1 で「4（自分でバイクや車を運転する）」に○をつけた方にうかがいます。何歳位になったら免許を返納しようと考えていますか。現在の年齢を基準にお答えください。（ひとつだけ○）

「自分でバイクや車を運転する」と回答した方（369人）のうち、免許返納の予定時期については、「75歳～79歳」（24.7%）、「80歳～84歳」（23.3%）となっており、約半数（48.0%）が70歳代後半から80歳代前半で返納を考えている、としています。また「年齢ではなく運転に不安を感じるようになったとき」は30.9%、「返納は考えていない」は6.0%となっています。

性別では、「男性」は、「年齢ではなく運転に不安を感じるようになったとき」が32.7%で最も多く、「女性」は「75歳～79歳」が35.4%で最も多くなっています。

年齢別では、それぞれの年齢で、現在の年齢の5～10年後を免許返納の予定時期と想定している傾向がみられます。

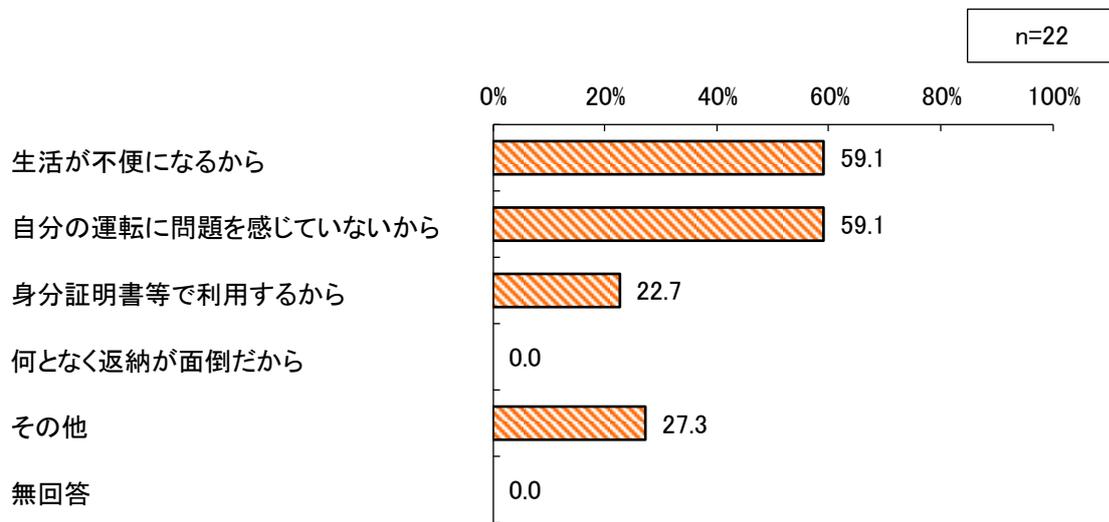
図表 2.80 免許返納の予定時期



問 32-1-2 問 32-1-1 で「8（返納は考えていない）」に○をつけた方にうかがいます。免許を返納しない主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「返納は考えていない」と回答した方（22人）の返納しない主な理由については、「生活が不便になるから」、「自分の運転に問題を感じていないから」がともに59.1%、「身分証明書等で利用するから」が22.7%となっています。

図表 2.81 免許を返納しない主な理由



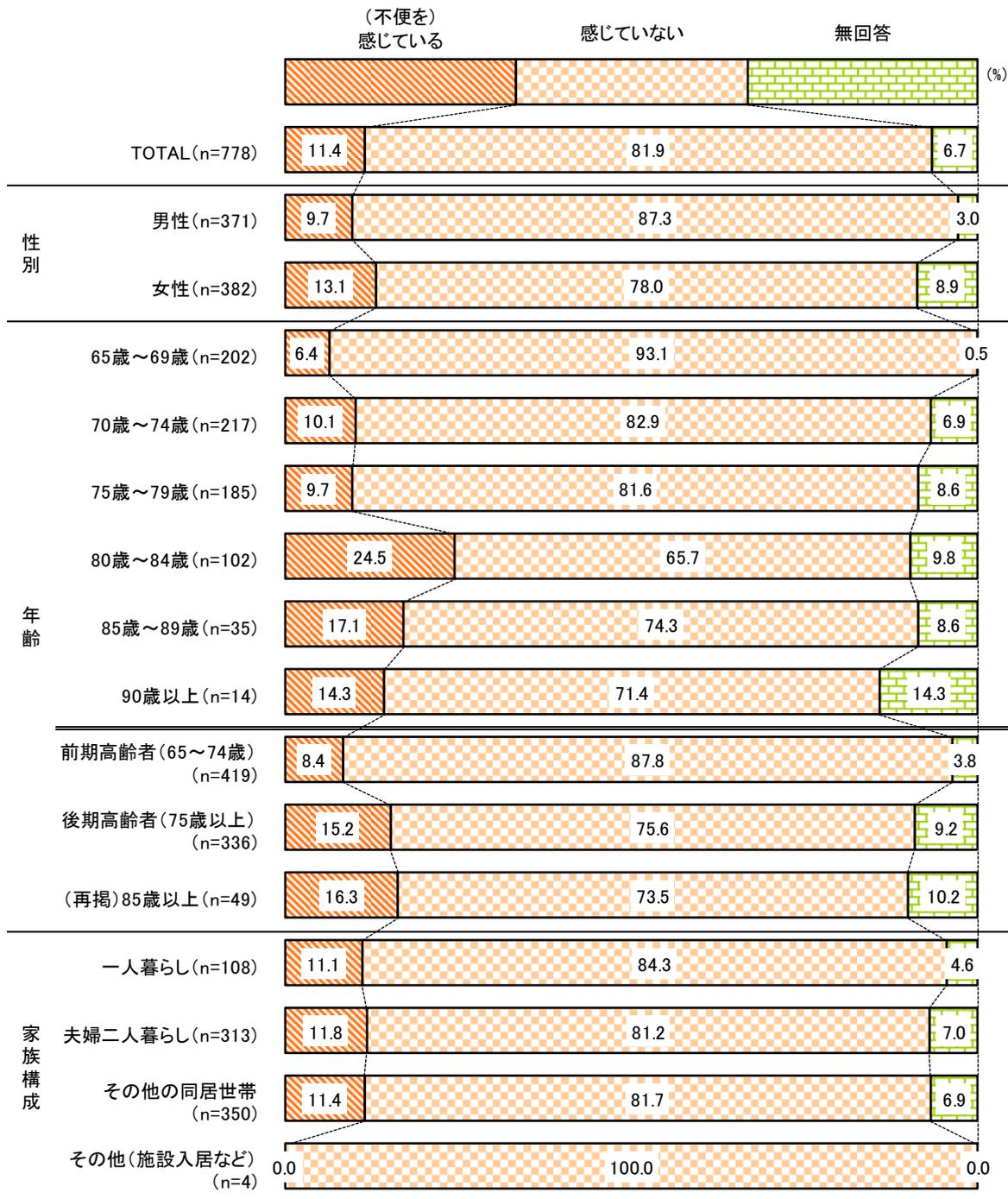
問 33 あなたは日用品の買い物に不便を感じていますか。(ひとつだけ○)

日用品の買い物に対する不便さについては、「(不便を) 感じていない」が81.9%に対し、「(不便を) 感じている」は11.4%となっています。性別では、「女性」が「(不便を) 感じている」が13.1%と「男性」をやや上回っています。

年齢別では、「80歳～84歳」で24.5%が「(不便を) 感じている」と、他の年齢に比べて高くなっています。

家族構成別では、大きな違いはみられず、「(不便を) 感じている」が約11%となっています。

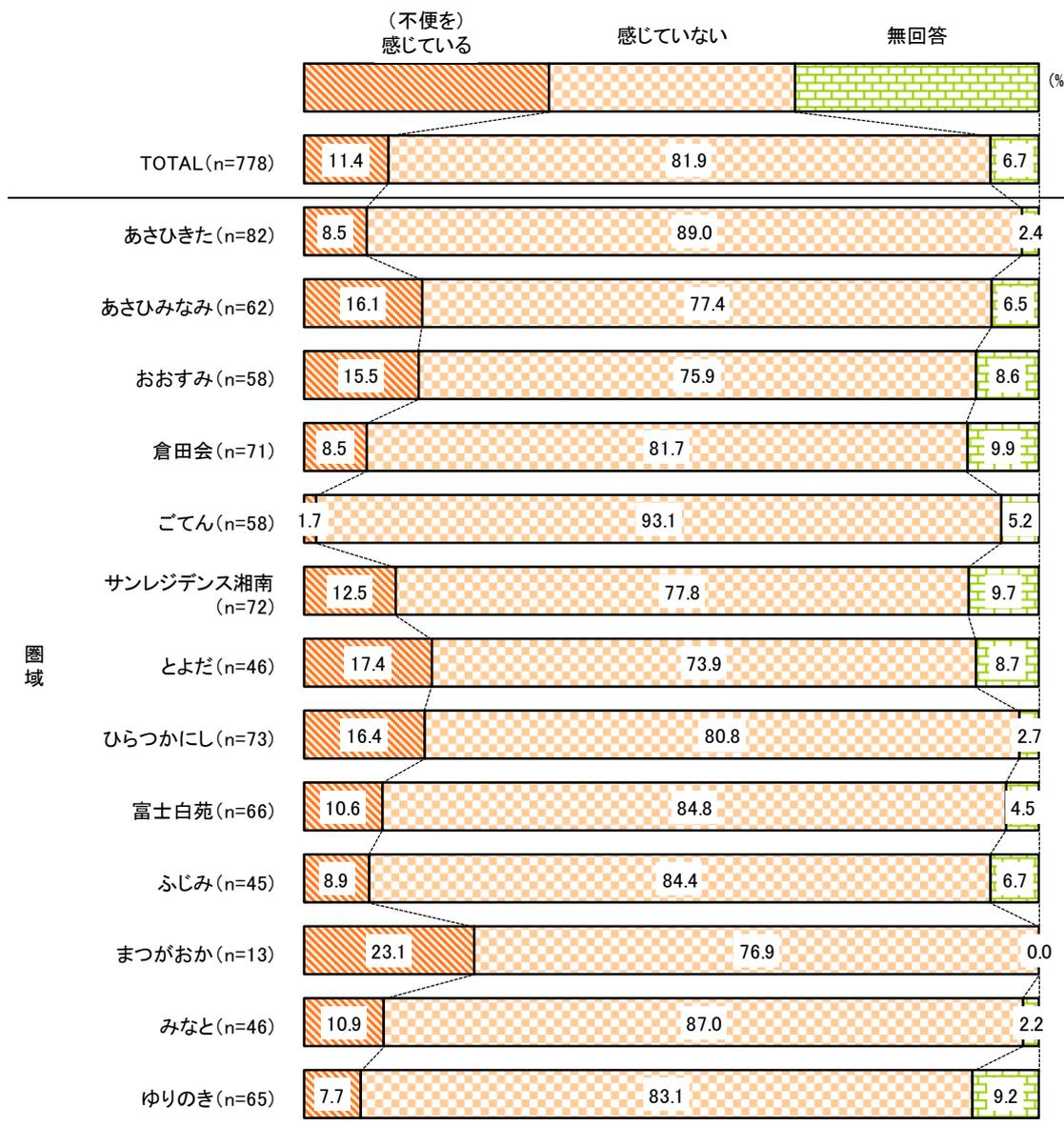
図表 2.82 日用品の買い物に対する不便さについて



第2章 一般高齢者調査結果

圏域別では、「ごてん」(1.7%)以外の圏域では、不便を「感じている」のは1割～2割台となっています。

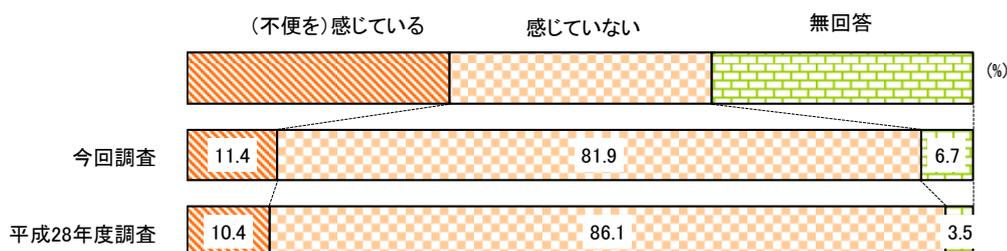
図表 2.83 日用品の買い物に対する不便さについて



(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「(不便を)感じている」がやや増えています。

図表 2.84 日用品の買い物に対する不便さについて

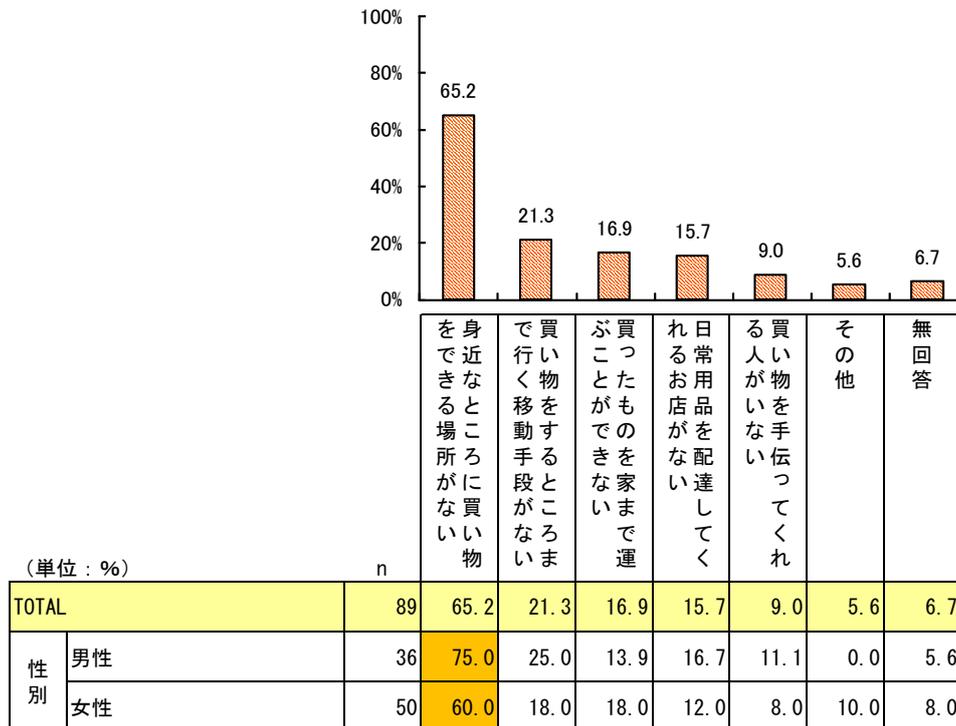


問 33-1 問 33 で「1 ((不便を) 感じている)」に○をつけた方にうかがいます。どのようなことに不便を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

「(不便を) 感じている」とする方 (89 人) の内容については、「身近なところに買い物をできる場所がない」が 65.2%で最も多く、次いで「買い物をするとところまで行く移動手段がない」が 21.3%、「買ったものを家まで運ぶことができない」が 16.9%、「日常用品を配達してくれるお店がない」が 15.7%の順となっています。

性別では、「男性」で「身近なところに買い物をできる場所がない」が 75.0%と、「女性」(60.0%)を 10 ポイント以上、大きく上回っています。

図表 2.85 日用品買い物時の不便さを感じる理由



問34 買物について、利用しているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

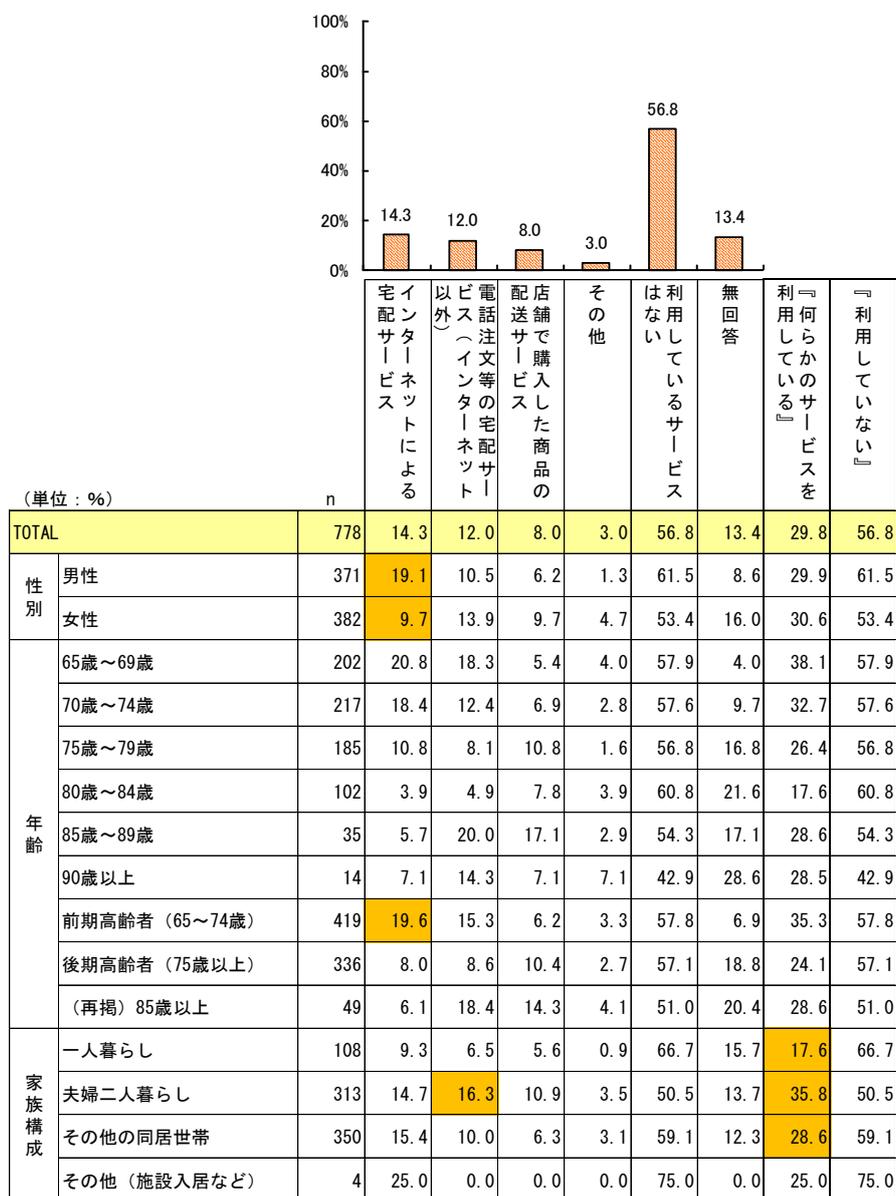
買物については、29.8%が『何らかのサービスを利用している』（「利用しているサービスはない」「無回答」を除く割合）、としています。内訳では、「インターネットによる宅配サービス」（14.3%）、「電話注文等の宅配サービス（インターネット以外）」（12.0%）がともに1割台となっています。次いで「店舗で購入した商品の配送サービス」は8.0%となっています。

性別では、「男性」が「インターネットによる宅配サービス」が19.1%と「女性」（9.7%）より約10ポイント、大きく上回っています。

年齢別では、「前期高齢者」において、「インターネットによる宅配サービス」（19.6%）が、「後期高齢者」を10ポイント以上、大きく上回っています。

家族構成別では、「何らかのサービスを利用している」割合は、「夫婦二人暮らし」が35.8%で最も高く、次いで「その他の同居世帯」が28.6%、「一人暮らし」が17.6%の順となっています。このうち、「夫婦二人暮らし」では、「電話注文等の宅配サービス（インターネット以外）」が16.3%と多く、他の家族構成に比べても高くなっています。

図表 2.86 買物について、利用しているサービス



圏域別では、「ごてん」では、『何らかのサービスを利用している』割合が37.9%と他の圏域に比べて最も高く、うち、「インターネットによる宅配サービス」が20.7%と多くなっています。  
 また、「インターネットによる宅配サービス」は、「富士白苑」(22.7%)、「おおすみ」(22.4%)が約2割となっています。

図表 2.87 買物について、利用しているサービス

		n	宅 配 サ ー ビ ス に よ る	イ ン タ ー ネ ッ ト に よ る	以 外 ( イ ン タ ー ネ ッ ト に よ る サ ー ビ ス )	電 話 注 文 等 の 宅 配 サ ー ビ ス	配 送 サ ー ビ ス	店 舗 で 購 入 し た 商 品 の	そ の 他	利 用 し て い る サ ー ビ ス	無 回 答	利 用 し て い る サ ー ビ ス	『 利 用 し て い ない 』
(単位：%)													
TOTAL		778	14.3	12.0	8.0	3.0	56.8	13.4	29.8	56.8			
圏 域	あさひきた	82	12.2	12.2	7.3	1.2	67.1	4.9	28.0	67.1			
	あさひみなみ	62	14.5	11.3	16.1	4.8	54.8	14.5	30.7	54.8			
	おおすみ	58	22.4	10.3	6.9	0.0	56.9	10.3	32.8	56.9			
	倉田会	71	15.5	14.1	4.2	7.0	47.9	16.9	35.2	47.9			
	ごてん	58	20.7	15.5	12.1	0.0	55.2	6.9	37.9	55.2			
	サンレジデンス湘南	72	9.7	13.9	8.3	6.9	55.6	19.4	25.0	55.6			
	とよだ	46	15.2	13.0	10.9	0.0	50.0	19.6	30.4	50.0			
	ひらつかにし	73	12.3	9.6	1.4	4.1	60.3	13.7	26.0	60.3			
	富士白苑	66	22.7	9.1	4.5	1.5	53.0	13.6	33.4	53.0			
	ふじみ	45	6.7	11.1	11.1	2.2	64.4	13.3	22.3	64.4			
	まつがおか	13	7.7	7.7	7.7	0.0	76.9	0.0	23.1	76.9			
	みなと	46	10.9	6.5	10.9	6.5	60.9	8.7	30.4	60.9			
	ゆりのき	65	12.3	20.0	7.7	1.5	53.8	12.3	33.9	53.8			

問 35 あなたが普段の生活の中で、手助けしてほしいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

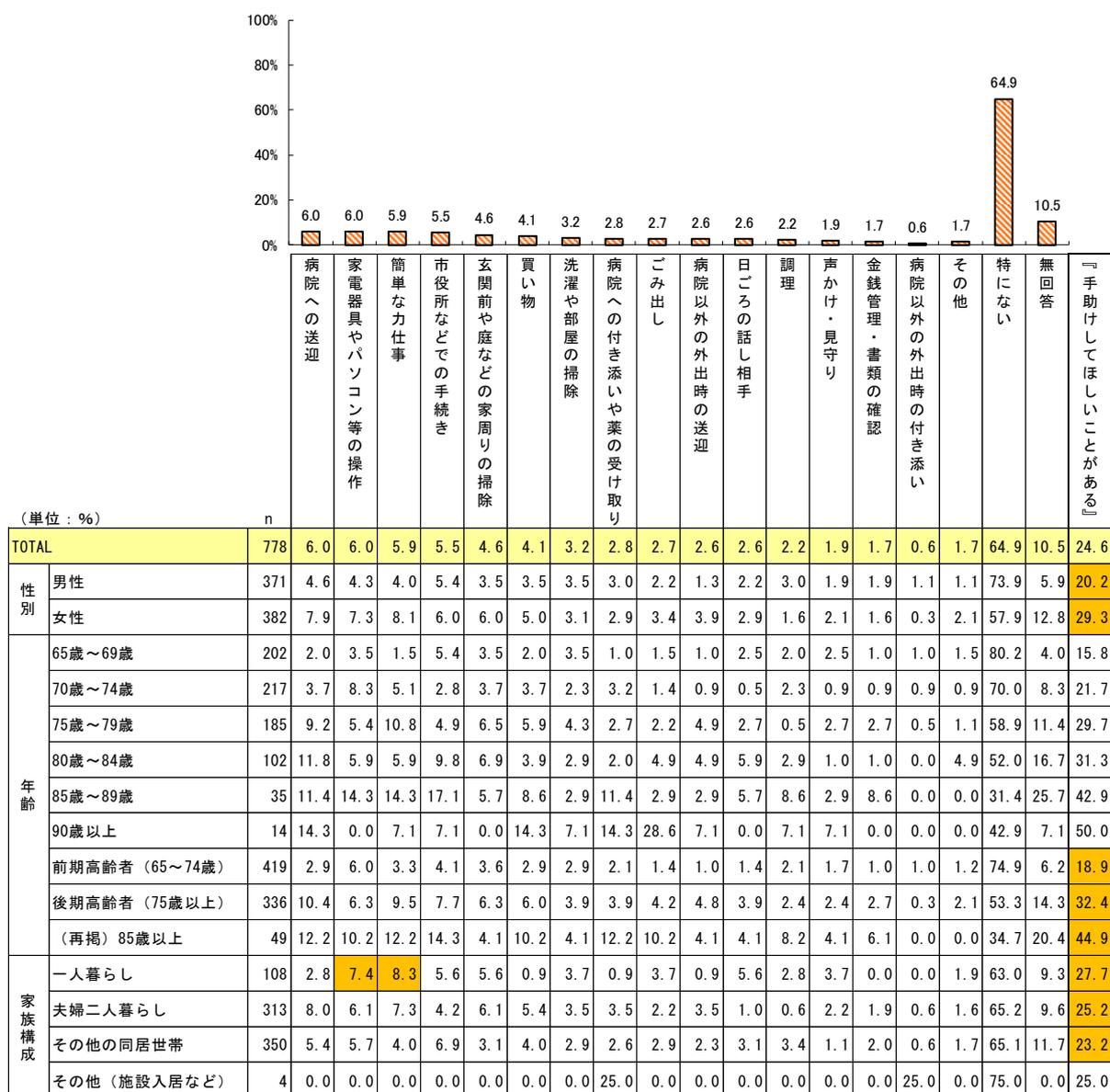
普段の生活の中で、『手助けしてほしいことがある』(「特にない」「無回答」を除く割合)は24.6%、およそ4人に1人となっています。手助けしてほしい内容では、「病院への送迎」、「家電器具やパソコン等の操作」がともに6.0%、「簡単な力仕事」が5.9%、「市役所などでの手続き」が5.5%の順となっています。

性別では、『手助けしてほしいことがある』割合は、「男性」(20.2%)、「女性」(29.3%)と女性の方が約10ポイント、大きく上回っています。

年齢別では、『手助けしてほしいことがある』割合は高年齢ほど高くなり、「前期高齢者」では18.9%、「後期高齢者」では32.4%、「(再掲)85歳以上」では44.9%となっています。

家族構成別では、『手助けしてほしいことがある』割合は、「一人暮らし」が27.7%で最も高く、次いで「夫婦二人暮らし」が25.2%、「その他の同居世帯」が23.2%の順となっています。「一人暮らし」では、「簡単な力仕事」が8.3%、「家電器具やパソコン等の操作」が7.4%と多く、その2項目については他の家族構成と比べても高くなっています。

図表 2.88 普段の生活の中で、手助けしてほしいこと



圏域別では、『手助けしてほしいことがある』割合は、「富士白苑」が33.3%で最も高く、次いで「ひらつかにし」が32.9%、「サンレジデンス湘南」が32.0%の順となっています。「富士白苑」では、「市役所などでの手続き」が10.6%、「玄関前や庭などの家周りの掃除」、「簡単な力仕事」がともに9.1%となっています。

図表 2.89 普段の生活の中で、手助けしてほしいこと

		n	病院への送迎	家電器具やパソコン等の操作	簡単な力仕事	市役所などでの手続き	玄関前や庭などの家周りの掃除	買い物	洗濯や部屋の掃除	病院への付き添いや薬の受け取り	ごみ出し	病院以外の外出時の送迎	日ごろの話し相手	調理	声かけ・見守り	金銭管理・書類の確認	病院以外の外出時の付き添い	その他	特になし	無回答	『手助けしてほしいことがある』	
(単位：%)																						
TOTAL		778	6.0	6.0	5.9	5.5	4.6	4.1	3.2	2.8	2.7	2.6	2.6	2.2	1.9	1.7	0.6	1.7	64.9	10.5	24.6	
圏域	あさひきた	82	6.1	4.9	2.4	4.9	1.2	2.4	3.7	2.4	1.2	0.0	2.4	0.0	1.2	1.2	1.2	2.4	80.5	4.9	14.6	
	あさひみなみ	62	8.1	4.8	6.5	4.8	6.5	6.5	6.5	8.1	4.8	4.8	3.2	3.2	0.0	1.6	1.6	0.0	72.6	6.5	20.9	
	おおすみ	58	3.4	3.4	6.9	1.7	6.9	1.7	1.7	1.7	1.7	5.2	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	75.9	6.9	17.2	
	倉田会	71	5.6	7.0	8.5	1.4	2.8	5.6	4.2	2.8	5.6	1.4	2.8	2.8	2.8	0.0	1.4	1.4	56.3	19.7	24.0	
	ごてん	58	12.1	6.9	5.2	3.4	3.4	5.2	1.7	5.2	3.4	3.4	3.4	0.0	5.2	0.0	0.0	3.4	67.2	5.2	27.6	
	サンレジデンス湘南	72	9.7	5.6	6.9	5.6	6.9	5.6	2.8	1.4	1.4	2.8	5.6	4.2	1.4	2.8	0.0	1.4	58.3	9.7	32.0	
	とよだ	46	2.2	4.3	4.3	6.5	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	50.0	28.3	21.7	
	ひらつかにし	73	6.8	11.0	5.5	6.8	6.8	6.8	4.1	2.7	4.1	1.4	1.4	1.4	1.4	2.7	5.5	0.0	1.4	60.3	6.8	32.9
	富士白苑	66	3.0	6.1	9.1	10.6	9.1	1.5	3.0	1.5	1.5	3.0	3.0	4.5	3.0	0.0	1.5	4.5	59.1	7.6	33.3	
	ふじみ	45	2.2	0.0	2.2	4.4	4.4	4.4	0.0	0.0	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	75.6	11.1	13.3	
	まつがおか	13	7.7	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	69.2	0.0	30.8	
	みなと	46	6.5	10.9	8.7	8.7	2.2	4.3	2.2	6.5	2.2	4.3	2.2	6.5	2.2	0.0	0.0	0.0	65.2	6.5	28.3	
	ゆりのき	65	6.2	7.7	4.6	6.2	3.1	3.1	6.2	1.5	1.5	1.5	0.0	3.1	4.6	3.1	0.0	3.1	60.0	10.8	29.2	

(9) 住まいについて

問 36 あなたは今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいとお考えですか。(ひとつだけ○)

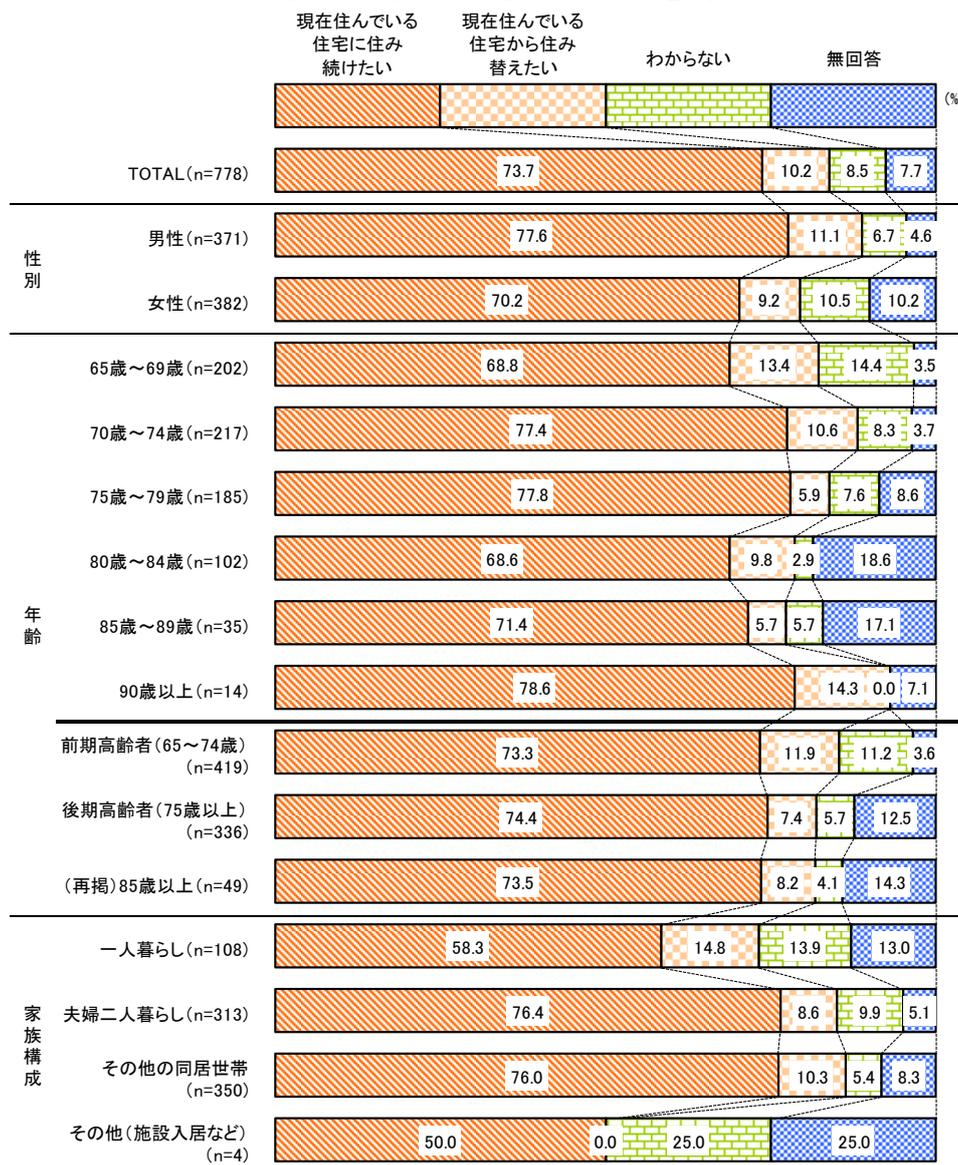
現在の住まいでの居留意向については、「現在住んでいる住宅に住み続けたい」が73.7%と約4人中3人が住み続けたいとしています。また「現在住んでいる住宅から住み替えたい」は10.2%、「わからない」が8.5%となっています。

性別では、「現在住んでいる住宅に住み続けたい」は「男性」が77.6%、「女性」が70.2%と「男性」が高くなっています。

年齢別では、「70歳～74歳」「75歳～79歳」で「現在住んでいる住宅に住み続けたい」が77.4%、77.8%と他の年齢に比べて高くなっています。

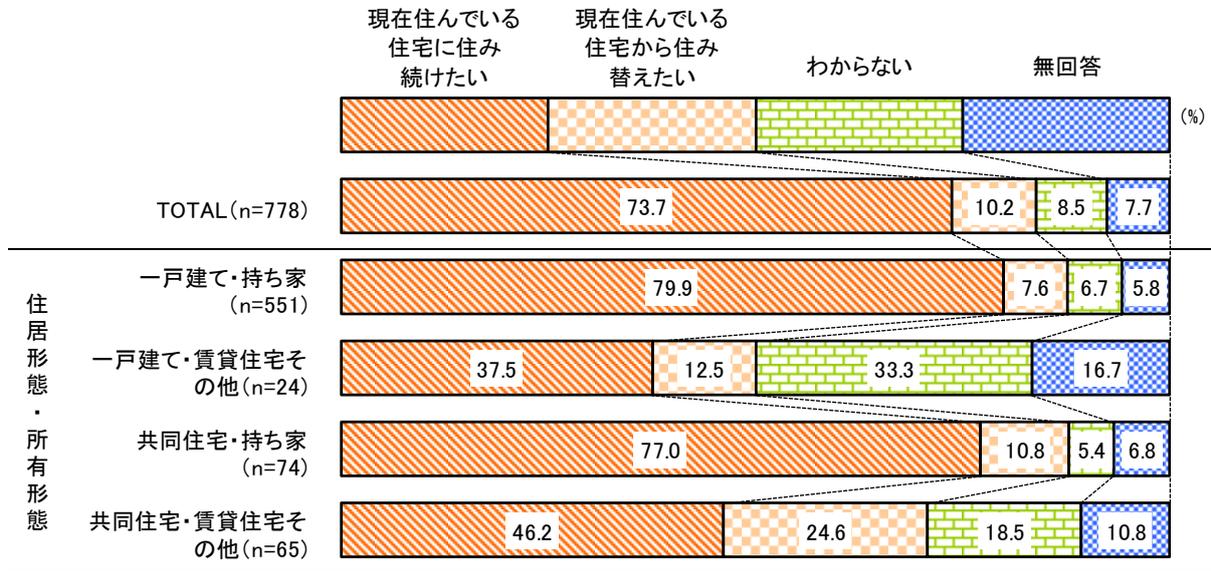
家族構成別では、「夫婦二人暮らし」「その他の同居世帯」で「現在住んでいる住宅に住み続けたい」が76.4%、76.0%となっています。一方、「一人暮らし」では「現在住んでいる住宅に住み続けたい」が58.3%、「現在住んでいる住宅から住み替えたい」が14.8%となっており、「一人暮らし」では、他の家族構成に比べて現在の住まいでの居住継続の割合は低く、「現在住んでいる住宅から住み替えたい」、「わからない」、「無回答」などに回答が分散しています。

図表 2.90 現在の住まいでの居留意向



住居形態・所有形態別では、「一戸建て・持ち家」居住の場合、「現在住んでいる住宅に住み続けたい」が79.9%となっています。また、「共同住宅・持ち家」居住の場合、「現在住んでいる住宅に住み続けたい」が77.0%となっており、「持ち家」に居住する高齢者では、「今の住まいに住み続けたい」とする割合が高くなる傾向がみられます。

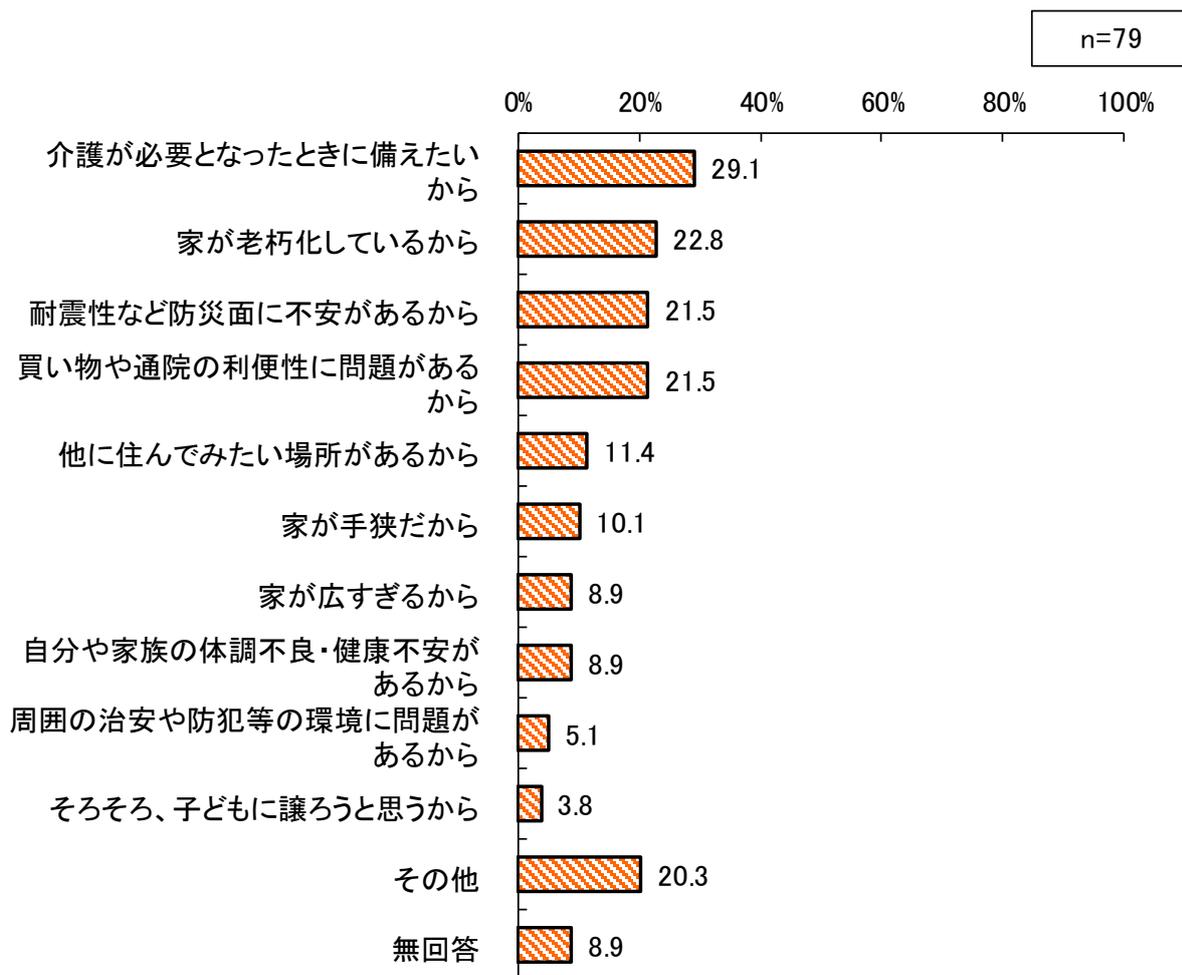
図表 2.91 現在の住まいでの居住意向



問 36-1 問 36 で「2（現在住んでいる住宅から住み替えたい）」に○をつけた方にうかがいます。  
あなたが住み替えたいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「現在住んでいる住宅から住み替えたい」とする方（79 人）の住み替えたい理由については、「介護が必要となったときに備えたいから」が 29.1%で最も多く、次いで「家が老朽化しているから」が 22.8%、「耐震性など防災面に不安があるから」、「買い物や通院の利便性に問題があるから」がともに 21.5%と、いずれも 2 割台となっています。

図表 2.92 現在の居住宅から住み替えたい理由



性別では、「介護が必要となったときに備えたいから」が「男性」では29.3%、「女性」では31.4%とそれぞれ最も多く、男女とも住み替え条件として介護のことを考える傾向がみられます。

住居形態・所有形態別では、「一戸建て・持ち家」で「家が老朽化しているから」が38.1%で最も多く、次いで「介護が必要となったときに備えたいから」が35.7%、「耐震性など防災面に不安があるから」が31.0%で、いずれも3割台となっています。

図表 2.93 現在の居住宅から住み替えたい理由

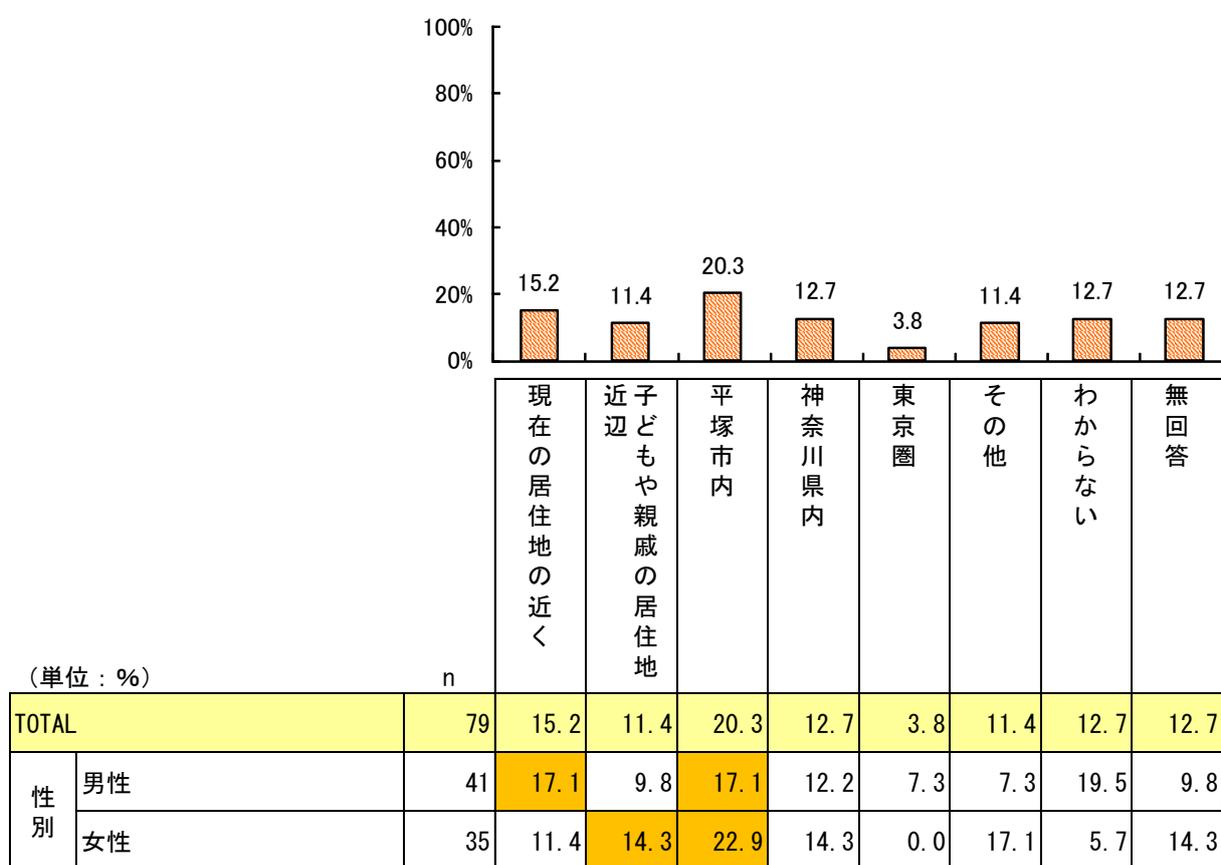
		n	に介護が必要となったから	家が老朽化しているから	耐震性など防災面に不安があるから	買い物や通院の利便性に問題があるから	他に住んでみたい場所があるから	家が手狭だから	家が広すぎるから	健康不安や家族の体調不良	周囲の問題があるから	うしろそろ、子どもに譲る	その他	無回答
(単位：%)														
TOTAL		79	29.1	22.8	21.5	21.5	11.4	10.1	8.9	8.9	5.1	3.8	20.3	8.9
性別	男性	41	29.3	22.0	19.5	17.1	9.8	14.6	4.9	12.2	7.3	7.3	22.0	12.2
	女性	35	31.4	25.7	20.0	25.7	11.4	5.7	14.3	2.9	2.9	0.0	20.0	2.9
所有形態・住居形態	一戸建て・持ち家	42	35.7	38.1	31.0	23.8	11.9	4.8	16.7	2.4	7.1	4.8	7.1	7.1
	一戸建て・賃貸住宅その他	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	共同住宅・持ち家	8	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	共同住宅・賃貸住宅その他	16	18.8	6.3	6.3	12.5	6.3	25.0	0.0	6.3	6.3	6.3	37.5	12.5

問 36-2 引き続き、問 36 で「2（現在住んでいる住宅から住み替えたい）」に○をつけた方にうかがいます。どのような場所に住み替えたいですか。（ひとつだけ○）

「現在住んでいる住宅から住み替えたい」とする方（79人）について、希望する住み替え先（場所）は、「平塚市内」が20.3%で最も多く、次いで「現在の居住地の近く」が15.2%と、市内での住み替え希望が35.5%となっています。また、「神奈川県内」が12.7%、「子どもや親戚の居住地近辺」が11.4%となっています。

性別では、「男性」では、「現在の居住地の近く」、「平塚市内」がともに17.1%に対し、「女性」では、「平塚市内」が22.9%で最も多く、次いで「子どもや親戚の居住地の近辺」が14.3%となっています。「女性」は、「男性」のように「現在の居住地の近く」よりも、市内全域または親族関係の近くでの居住希望が高い傾向がみられます。

図表 2.94 現在の居住宅から住み替えたい場所



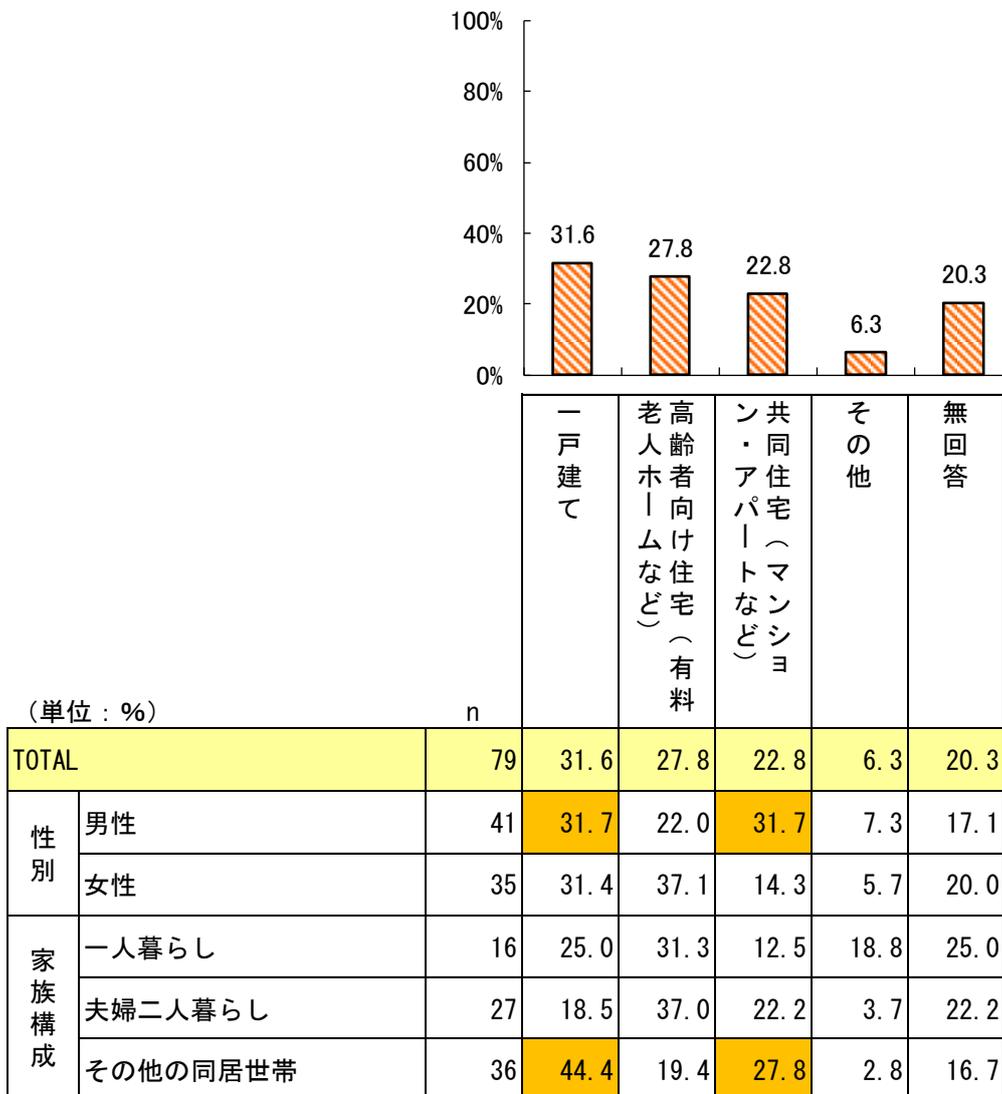
問 36-3 引き続き、問 36 で「2（現在住んでいる住宅から住み替えたい）」に○をつけた方にうかがいます。住み替えたいと思うのは、どのような住宅ですか。（あてはまるものすべてに○）

「現在住んでいる住宅から住み替えたい」とする方（79人）について、住み替え希望の住まいについては、「一戸建て」が31.6%で最も多く、次いで「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が27.8%、「共同住宅（マンション・アパートなど）」が22.8%となっています。

性別では、「男性」は、「一戸建て」、「共同住宅（マンション・アパートなど）」がともに31.7%と「女性」に比べて高くなっています。

家族構成別では、「その他の同居世帯」で「一戸建て」が44.4%、「共同住宅（マンション・アパートなど）」が27.8%となっています。

図表 2.95 現在の居住宅から住み替えたい住居形態

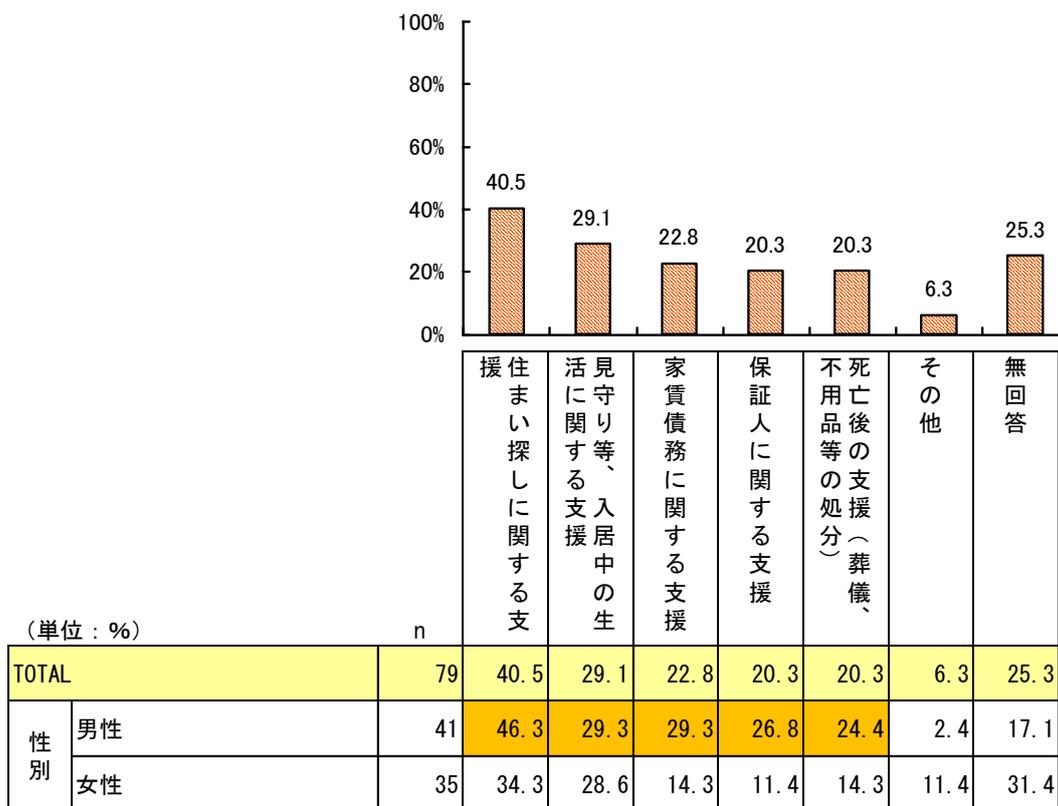


問 36-4 引き続き、問 36 で「2（現在住んでいる住宅から住み替えたい）」に○をつけた方にうかがいます。住み替えをする際に、あなたはどのような支援が必要だと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

「現在住んでいる住宅から住み替えたい」とする方（79人）について、住み替え時に必要な支援では、「住まい探しに関する支援」が40.5%で最も多く、次いで「見守り等、入居中の生活に関する支援」が29.1%、「家賃債務に関する支援」が22.8%の順となっています。

性別では、「男性」では、いずれの項目においても「女性」に比べて高くなっています。

図表 2.96 現在の居住宅から住み替え時に必要な支援



(10) 見守るためのしくみについて

問 37 日常生活でスマートフォンを利用していますか。(ひとつだけ○)

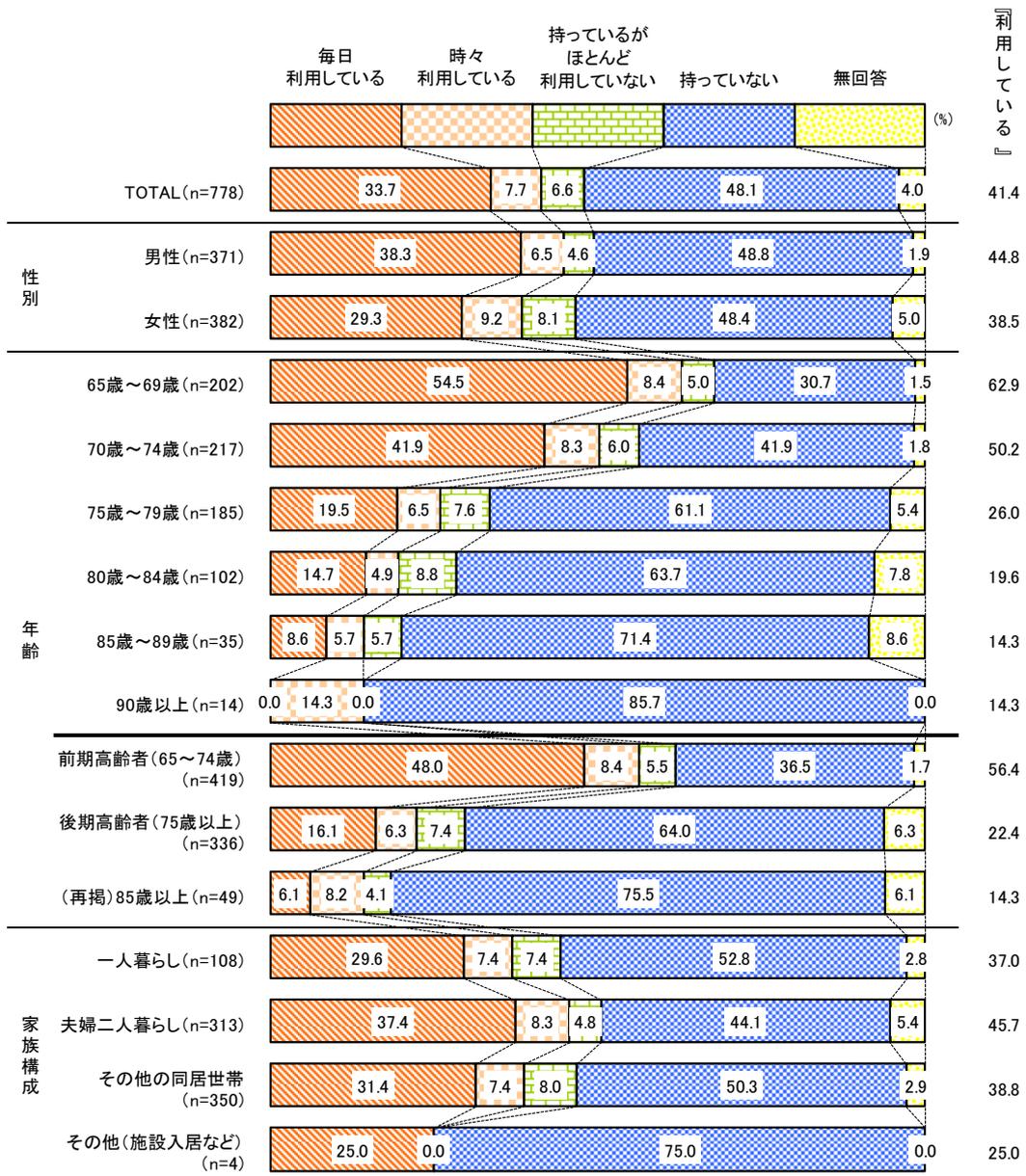
日常生活でのスマートフォンの利用については、「毎日利用している」(33.7%)、「時々利用している」(7.7%)を合わせて、『利用している』は41.4%となっています。また、「持っているがほとんど利用していない」は6.6%、「持っていない」は48.1%となっています。

性別では、「男性」では、「毎日利用している」が38.3%で約4割と「女性」(29.3%)を9ポイント上回っています。

年齢別では、「毎日利用している」は低年齢ほど高く、「65歳～69歳」では54.5%、「70歳～74歳」で41.9%と、4割～5割台となっています。

家族構成別では、「夫婦二人暮らし」で「毎日利用している」が37.4%と他の家族構成に比べて高くなっています。また「一人暮らし」でも、「毎日利用している」が29.6%と約3割となっています。

図表 2.97 日常生活でのスマートフォンの利用



問 37-1 問 37 で「1（毎日利用している）」または「2（時々利用している）」に○をつけた方  
にうかがいます。主にどのようなことに利用していますか（3つ以内に○）

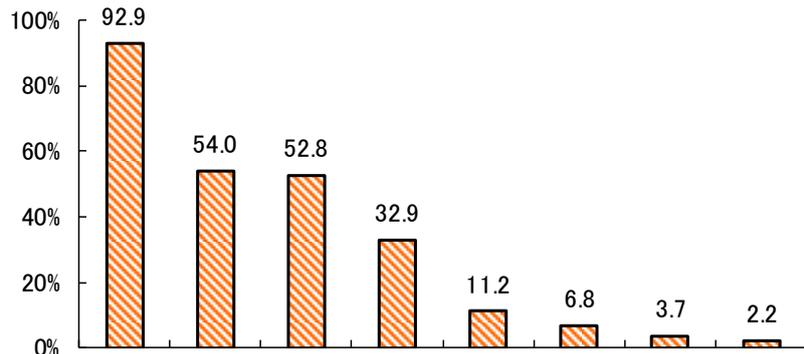
日常生活でスマートフォンを「利用している」方（322人）の利用する内容については、「通話・メール等連絡手段」が92.9%で最も多く、次いで「LINE、Twitter、FacebookなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）」（54.0%）、「インターネット検索」（52.8%）がともに5割台となっています。

性別では、「男性」では、「インターネット検索」（62.7%）、「地図や位置検索」（39.2%）が、「女性」に比べて10ポイント以上、大きく上回っています。一方、「女性」では、「LINE、Twitter、FacebookなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）」（60.5%）が「男性」に比べて10ポイント以上、大きく上回っています。

年齢別では、低年齢ほど「インターネット検索」、「LINE、Twitter、FacebookなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）」をあげる割合が高くなる傾向がみられます。

家族構成別では、「夫婦二人暮らし」では、「インターネット検索」が61.5%、「LINE、Twitter、FacebookなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）」が59.4%と、他の家族構成に比べて高くなっています。一方、「一人暮らし」では、「ネット通販」が17.5%、「買い物時のキャッシュレス決済」が10.0%と、他の家族構成に比べて高くなっています。

図表 2.98 スマートフォン利用者の利用内容



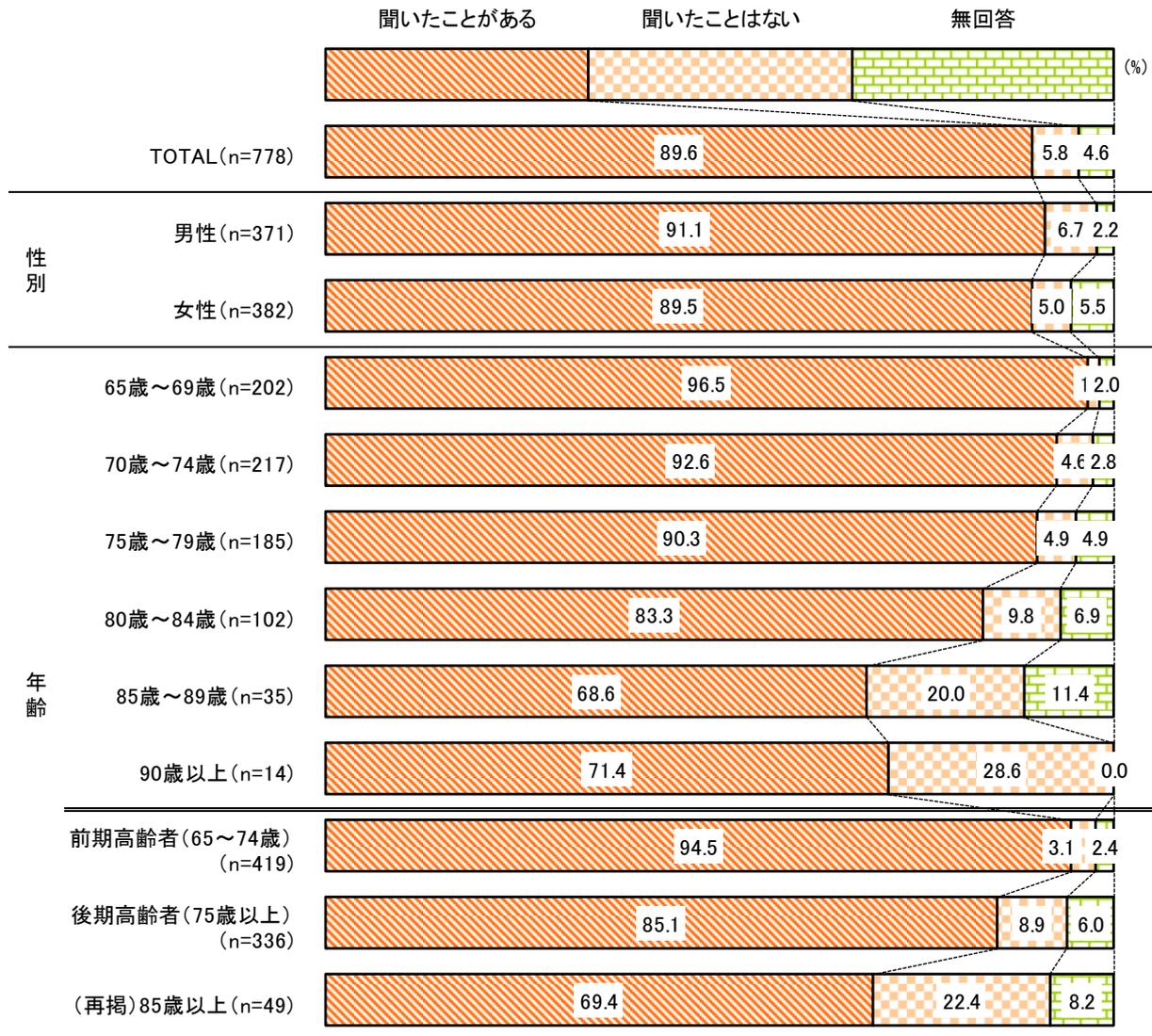
		n	通話・メール等連絡手段	サービス	LINE、Twitter、FacebookなどのSNS	インターネット検索	地図や位置検索	ネット通販	決済	買い物時のキャッシュレス	その他	無回答
TOTAL		322	92.9	54.0	52.8	32.9	11.2	6.8	3.7	2.2		
性別	男性	166	92.2	50.0	62.7	39.2	15.1	7.8	5.4	1.8		
	女性	147	94.6	60.5	43.5	26.5	6.8	5.4	2.0	1.4		
年齢	65歳～69歳	127	93.7	63.8	58.3	33.9	9.4	9.4	3.9	0.0		
	70歳～74歳	109	95.4	55.0	54.1	28.4	11.9	3.7	1.8	1.8		
	75歳～79歳	48	93.8	50.0	52.1	43.8	12.5	4.2	10.4	0.0		
	80歳～84歳	20	95.0	25.0	20.0	25.0	0.0	5.0	0.0	5.0		
	85歳～89歳	5	100.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0		
	90歳以上	2	50.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		
	前期高齢者（65～74歳）	236	94.5	59.7	56.4	31.4	10.6	6.8	3.0	0.8		
	後期高齢者（75歳以上）	75	93.3	40.0	44.0	38.7	10.7	5.3	6.7	1.3		
	（再掲）85歳以上	7	85.7	14.3	57.1	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0		
家族構成	一人暮らし	40	92.5	42.5	42.5	35.0	17.5	10.0	5.0	2.5		
	夫婦二人暮らし	143	94.4	59.4	61.5	35.0	7.0	6.3	2.1	0.7		
	その他の同居世帯	136	91.2	52.2	46.3	28.7	12.5	5.9	5.1	3.7		
	その他（施設入居など）	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0		

問 38 「終活」とは「終焉（自らの人生の終わり）に向けた活動」などを意味しますが、「終活」という言葉を聞いたことがありますか。（ひとつだけ○）

「終活」という言葉を「聞いたことがある」は89.6%、「聞いたことはない」は5.8%となっています。

性別では大きな違いはみられません。年齢別では、高年齢ほど、「聞いたことはない」とする割合が高くなる傾向がみられます。

図表 2.99 「終活」という言葉を聞いたことがあるかどうか



問 39 「終活」として取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

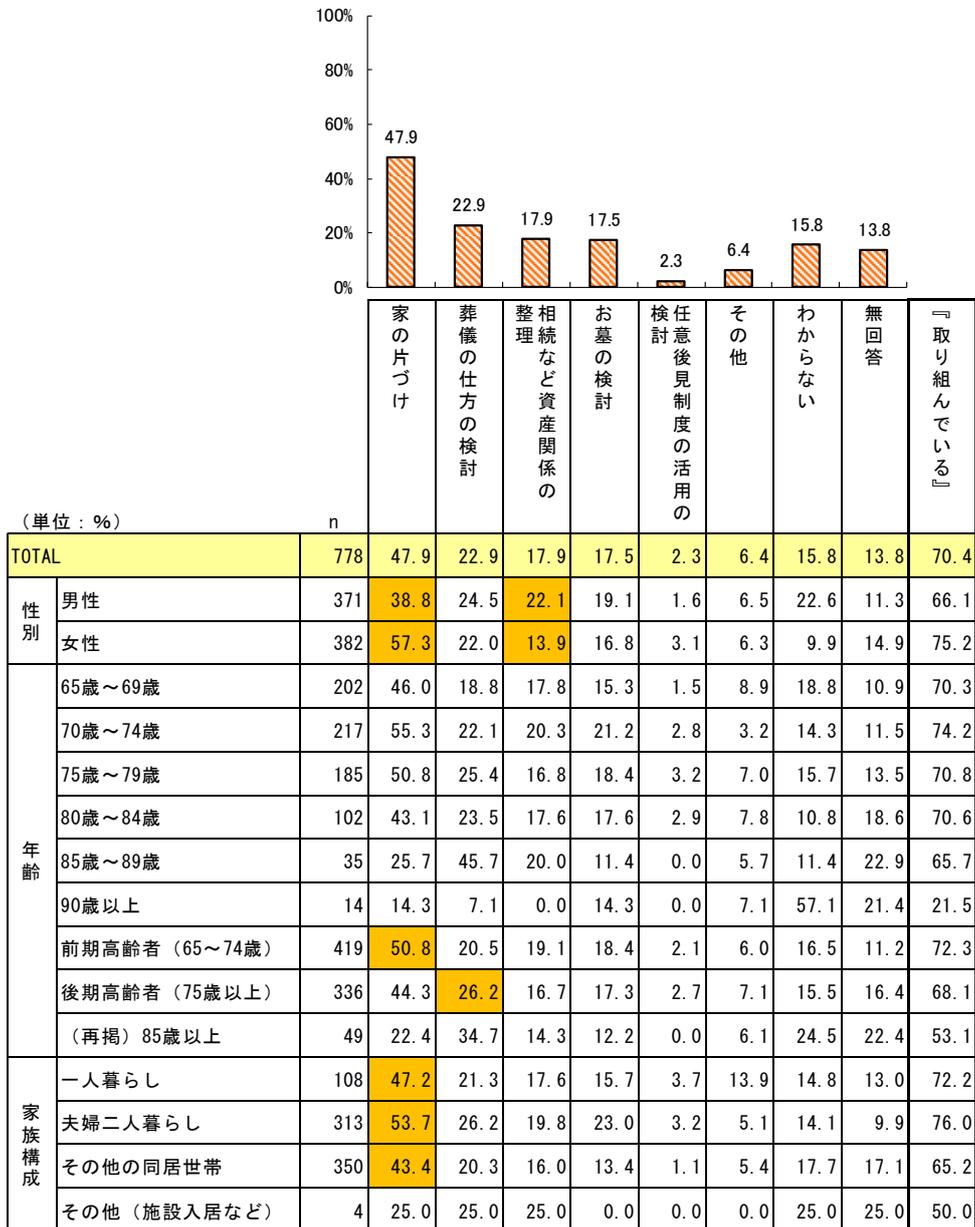
「終活」として取り組んでいることについては、70.4%が『取り組んでいる』（「わからない」「無回答」を除く割合）としています。内訳では、「家の片づけ」が47.9%で最も多く、次いで「葬儀の仕方の検討」（22.9%）、「相続など資産関係の整理」（17.9%）、「お墓の検討」（17.5%）、「任意後見制度の活用」の検討」（2.3%）の順となっています。

性別では、「女性」で「家の片づけ」が57.3%と半数を超え、「男性」（38.8%）を大きく上回っています。「男性」では、「相続など資産関係の整理」が22.1%と、「女性」（13.9%）を約8ポイント上回っています。

年齢別では「前期高齢者」で「家の片づけ」（50.8%）が「後期高齢者」を5ポイント以上、上回っています。一方、「後期高齢者」では、「葬儀の仕方の検討」が26.2%と、「前期高齢者」を5ポイント以上、上回っています。

家族構成別では、「家の片づけ」は、「夫婦二人暮らし」で53.7%と半数を超えています。また、「一人暮らし」で47.2%、「その他の同居世帯」で43.4%となっています。

図表 2.100 「終活」として取り組んでいること



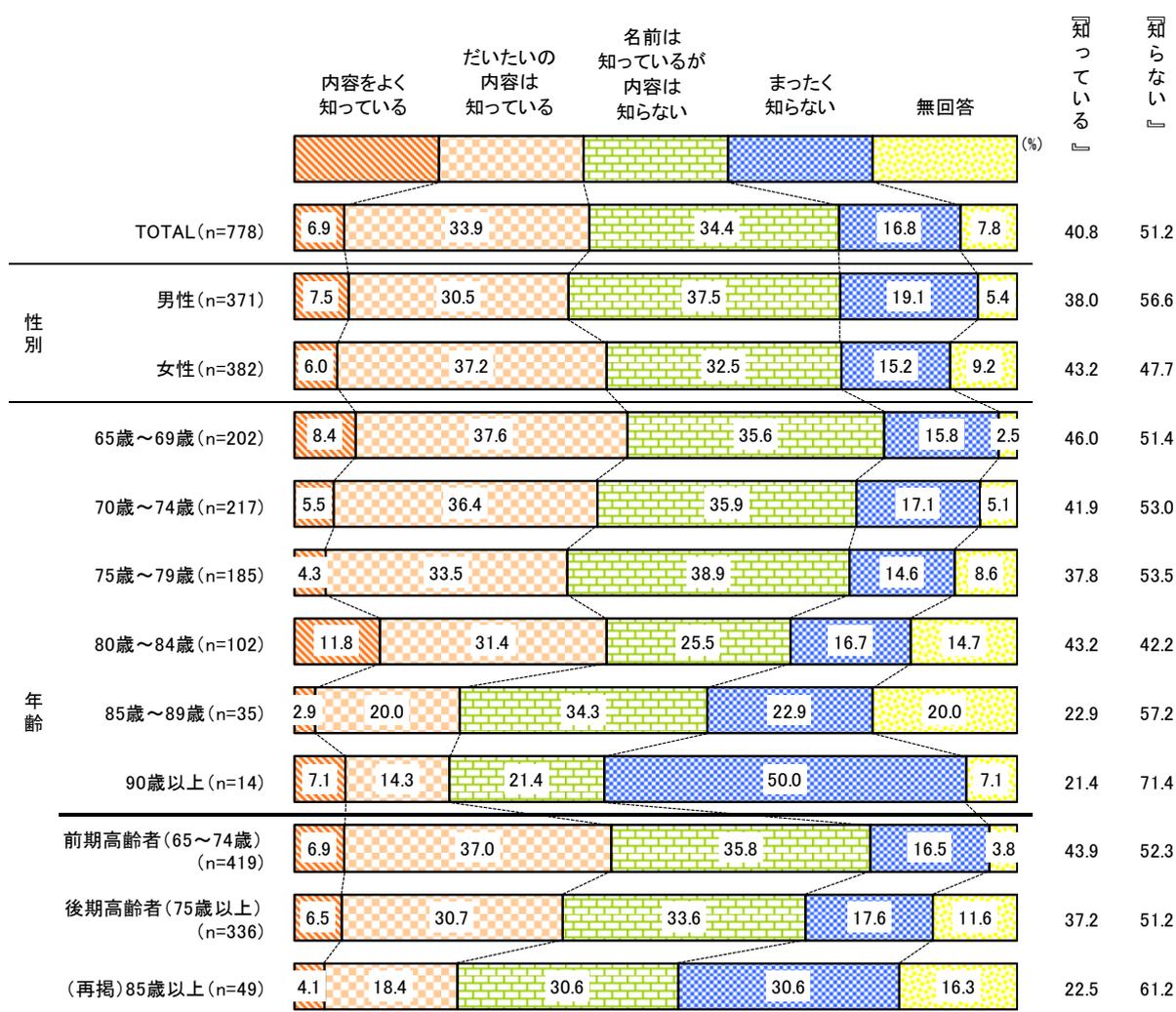
問40 成年後見制度を知っていますか。(ひとつだけ○)

成年後見制度の認知状況については、「内容をよく知っている」(6.9%)、「だいたいの内容は知っている」(33.9%)を合わせて、『知っている』とする割合は40.8%となっています。一方、「名前は知っているが内容は知らない」(34.4%)、「まったく知らない」(16.8%)を合わせた『知らない』は51.2%となっています。

性別では、「女性」で「だいたいの内容は知っている」が37.2%と、「男性」(30.5%)を上回っています。

年齢別では、高年齢で「まったく知らない」が高くなる一方、「80歳～84歳」で「内容をよく知っている」が11.8%となっています。

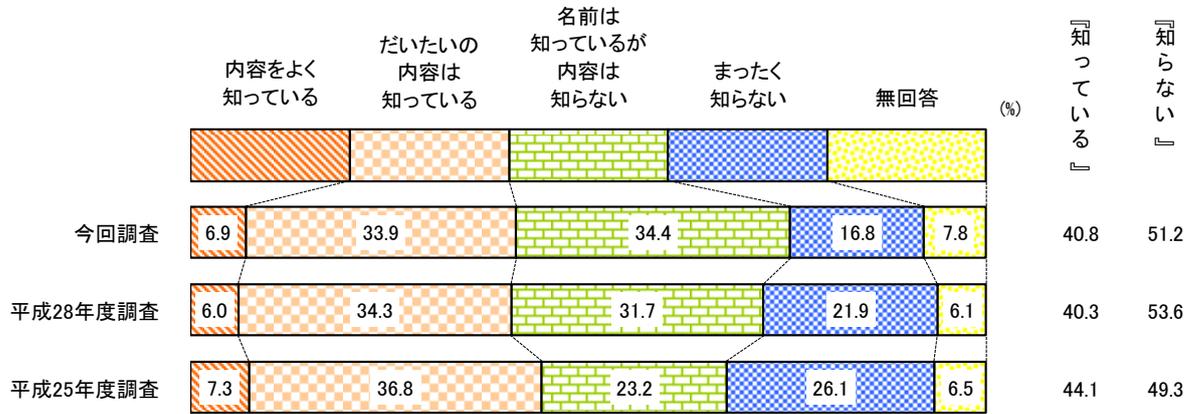
図表 2.101 成年後見制度の認知状況



(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、『知っている』が40.8%と、前回とほぼ同じ割合です。一方、「名前は知っているが内容は知らない」が34.4%と、名称の認知は増加しています。

図表 2.102 成年後見制度の認知状況



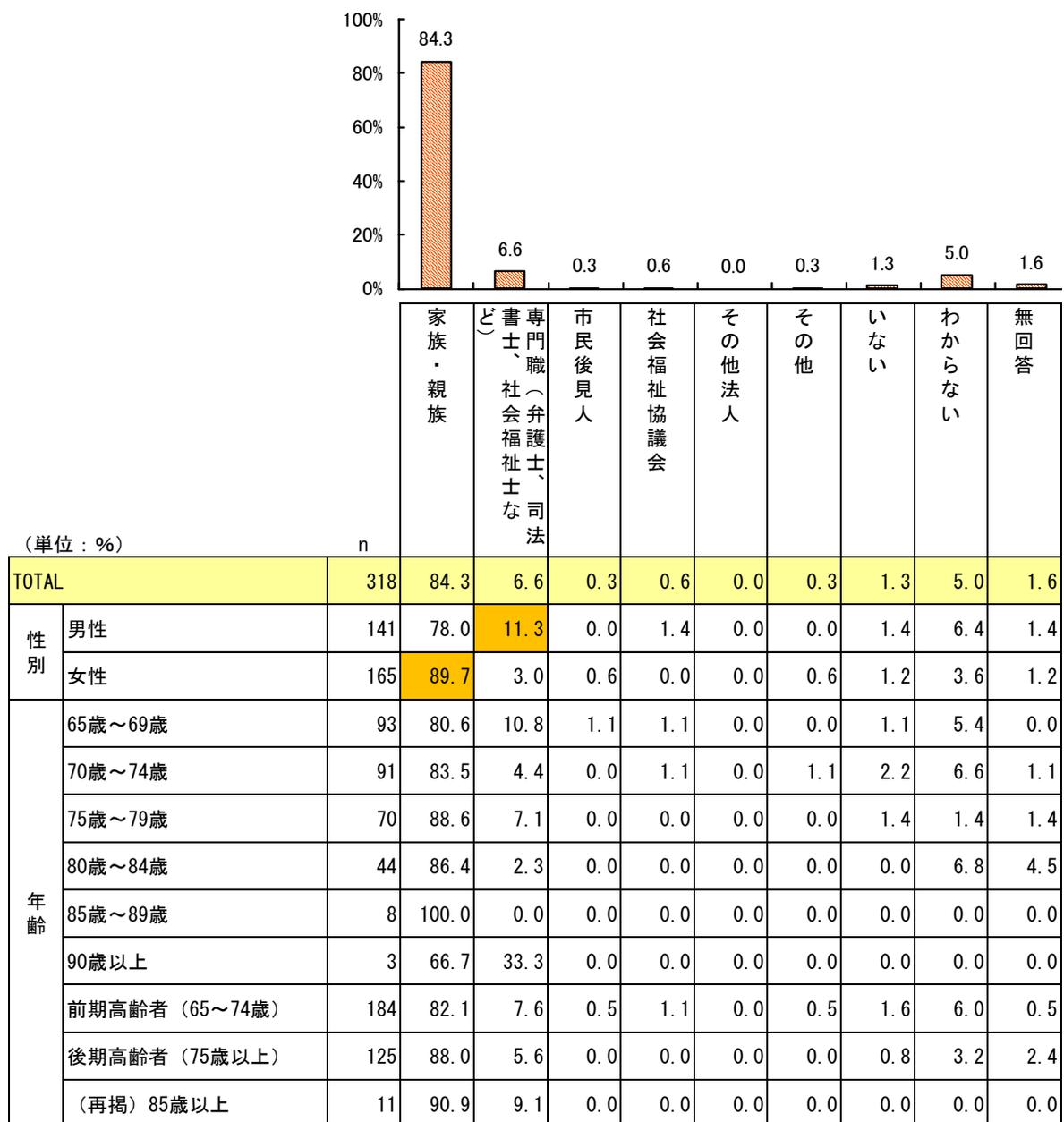
問 40-1 問 40 で「1 (内容をよく知っている)」または「2 (だいたいの内容は知っている)」に○をつけた方にうかがいます。将来、御自身の判断能力が低下し、成年後見制度を利用することになった場合、後見人等候補者(成年後見人等になってくれる人)を誰に頼みたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

将来後見人等候補者として依頼したい対象は、「家族・親族」が84.3%で最も多く、「専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)」が6.6%となっています。

性別では、「女性」で「家族・親族」が89.7%と「男性」(78.0%)を10ポイント以上、大きく上回っています。「男性」では、「専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)」が11.3%と、「女性」(3.0%)を約8ポイント上回っています。

年齢別では、大きな違いはみられず、「家族・親族」が最も多くなっています。

図表 2.103 将来後見人等候補者として依頼したい対象

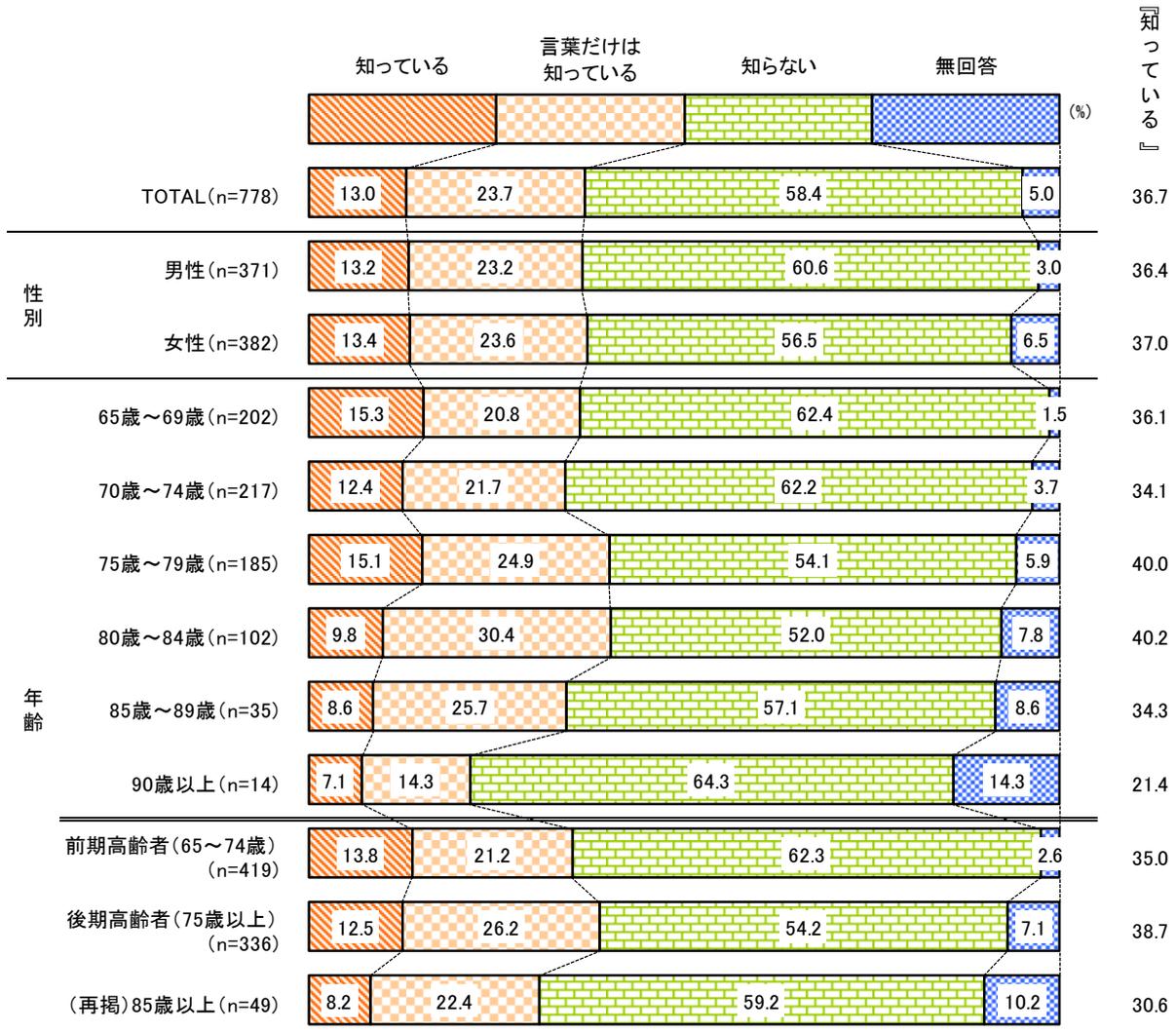


問 41 避難行動要支援者登録制度を知っていますか。(ひとつだけ○)

避難行動要支援者登録制度の認知状況については、「知っている」(13.0%)、「言葉だけは知っている」(23.7%)を合わせた『知っている』とする割合は 36.7%となっています。「知らない」は 58.4%となっています。

性別では、大きな違いはみられません。年齢別では、『知っている』は「80歳～84歳」で40.2%、「75歳～79歳」で40.0%と約4割となっており、他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2.104 避難行動要支援者登録制度の認知状況

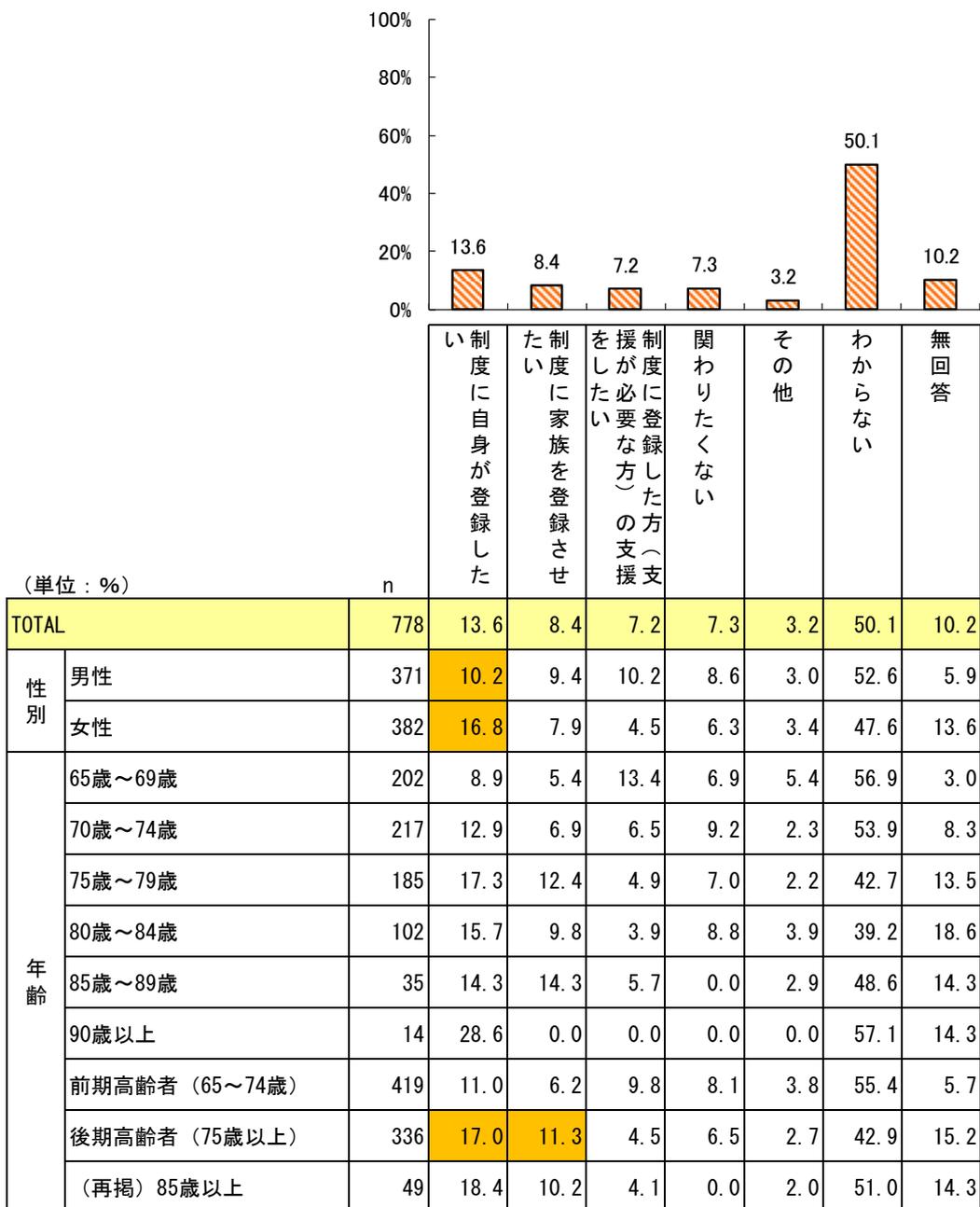


問 42 今後、避難行動要支援者登録制度にどのように関わりたいと思いますか。(ひとつだけ○)

今後、避難行動要支援者登録制度への関わり方については、「制度に自身が登録したい」は13.6%、「制度に家族を登録させたい」は8.4%となっており、本人や家族の制度への登録を希望する割合は22.0%となっています。また、「制度に登録した方（支援が必要な方）の支援をしたい」は7.2%であるのに対し、「関わりたくない」は7.3%となっているほか、「わからない」は約半数（50.1%）となっています。

性別では、「女性」で、「制度に自身が登録したい」が16.8%と「男性」（10.2%）を5ポイント以上、上回っています。年齢別では、「前期高齢者」に比べて「後期高齢者」の方が「制度に自身が登録したい」（17.0%）、「制度に家族を登録させたい」（11.3%）が高くなっています。

図表 2.105 今後の避難行動要支援者登録制度への関わり方

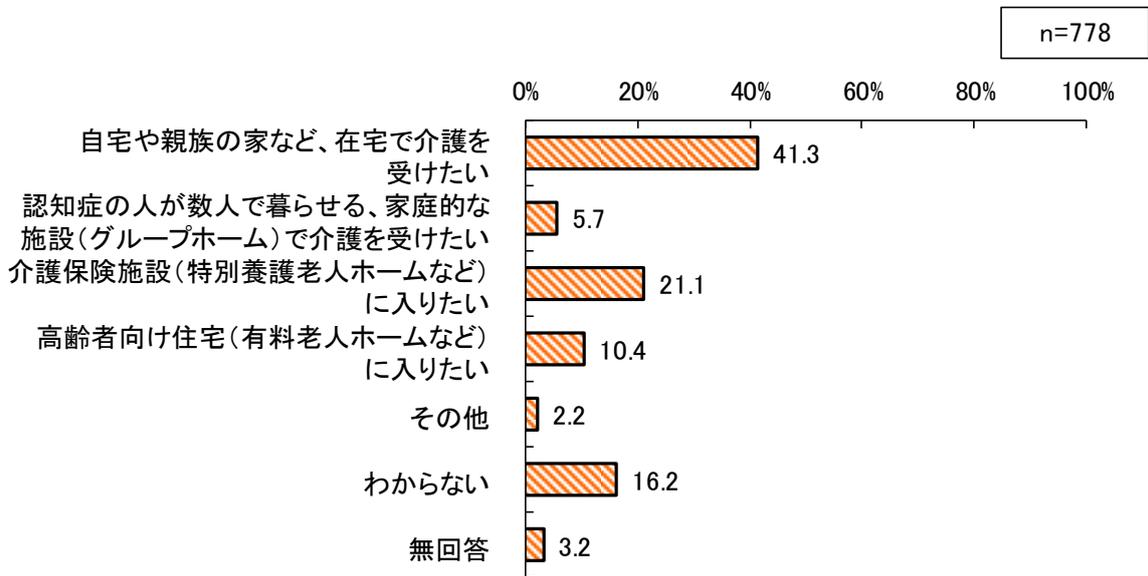


(11) 介護について

問 43 あなたは将来、介護が必要になったときには、どこで介護を受けたいですか。(ひとつだけ○)

将来、介護が必要になったときの希望については、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が41.3%で最も多く、次いで「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入りたい」(21.1%)、「高齢者向け住宅(有料老人ホームなど)に入りたい」(10.4%)、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設(グループホーム)で介護を受けたい」(5.7%)の順となっており、『自宅以外での介護を希望』(「家庭的な施設(グループホーム)で介護を受けたい」「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入りたい」「高齢者向け住宅(有料老人ホームなど)に入りたい」「その他」の合計)する割合は、合わせて39.4%と在宅での介護希望とほぼ同じ割合となっています。一方、「わからない」は16.2%となっています。

図表 2.106 介護が必要になったときに、介護を受けたい場所



## 第2章 一般高齢者調査結果

性別では、「男性」は「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が46.1%となっています。一方、「女性」では「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」は37.2%と男性を下回り、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい」が12.3%と1割を超えています。

年齢別では、高年齢ほど、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が高くなる傾向がみられ、「80歳～84歳」で52.9%と約半数となっています。

家族構成別では、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が、「その他の同居世帯」（44.9%）、「夫婦二人暮らし」（42.8%）で4割台となっています。一方、「一人暮らし」では、『自宅以外での介護を希望』する割合は46.3%と、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」（25.0%）を大きく上回っています。

図表 2.107 介護が必要になったときに、介護を受けたい場所

		n	自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい	施設（グループホーム）で介護を受けた	認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい	その他	わからない	無回答	『自宅以外での介護を希望』
(単位：%)											
TOTAL		778	41.3	5.7	21.1	10.4	2.2	16.2	3.2	39.4	
性別	男性	371	46.1	5.4	21.0	7.8	2.4	16.2	1.1	36.6	
	女性	382	37.2	6.0	20.9	12.3	1.8	17.0	4.7	41.0	
年齢	65歳～69歳	202	35.6	6.4	23.3	13.9	2.5	16.8	1.5	46.1	
	70歳～74歳	217	39.6	5.5	20.7	9.7	2.8	18.0	3.7	38.7	
	75歳～79歳	185	41.6	7.0	22.7	8.6	1.6	15.1	3.2	39.9	
	80歳～84歳	102	52.9	3.9	15.7	7.8	2.9	12.7	3.9	30.3	
	85歳～89歳	35	48.6	2.9	14.3	8.6	0.0	20.0	5.7	25.8	
	90歳以上	14	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	21.4	7.1	28.6	
	前期高齢者（65～74歳）	419	37.7	6.0	22.0	11.7	2.6	17.4	2.6	42.3	
	後期高齢者（75歳以上）	336	45.8	5.4	19.3	8.6	1.8	15.2	3.9	35.1	
	（再掲）85歳以上	49	46.9	2.0	14.3	10.2	0.0	20.4	6.1	26.5	
家族構成	一人暮らし	108	25.0	0.9	26.9	14.8	3.7	23.1	5.6	46.3	
	夫婦二人暮らし	313	42.8	3.8	22.7	11.5	2.2	13.7	3.2	40.2	
	その他の同居世帯	350	44.9	8.9	17.4	8.3	1.7	16.6	2.3	36.3	
	その他（施設入居など）	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	

圏域別では、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が「ひらつかにし」で 53.4%と他圏域よりも高くなっています。また、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」が「あさひみなみ」(29.0%)、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい」が「ふじみ」(17.8%)、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい」が「とよだ」「みなと」（ともに 8.7%）と他圏域よりも高くなっています。

図表 2.108 介護が必要になったときに、介護を受けたい場所

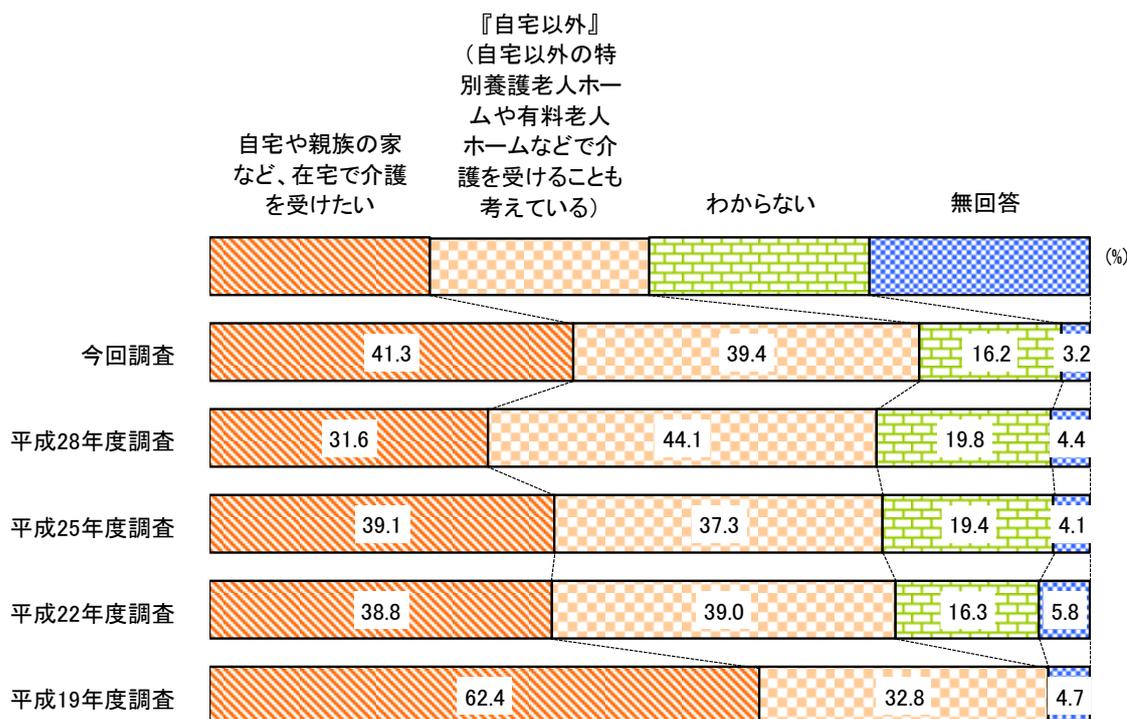
		n	自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい	認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けた	介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい	その他	わからない	無回答	『自宅以外での介護を希望』
(単位：%)										
TOTAL		778	41.3	5.7	21.1	10.4	2.2	16.2	3.2	39.4
圏域	あさひきた	82	50.0	8.5	15.9	8.5	2.4	13.4	1.2	35.3
	あさひみなみ	62	35.5	1.6	29.0	12.9	3.2	12.9	4.8	46.7
	おおすみ	58	39.7	6.9	17.2	13.8	1.7	19.0	1.7	39.6
	倉田会	71	45.1	5.6	18.3	11.3	1.4	14.1	4.2	36.6
	ごてん	58	39.7	6.9	24.1	6.9	1.7	17.2	3.4	39.6
	サンレジデンス湘南	72	36.1	5.6	25.0	12.5	2.8	13.9	4.2	45.9
	とよだ	46	43.5	8.7	21.7	2.2	0.0	15.2	8.7	32.6
	ひらつかにし	73	53.4	5.5	17.8	2.7	4.1	16.4	0.0	30.1
	富士白苑	66	39.4	1.5	24.2	13.6	1.5	18.2	1.5	40.8
	ふじみ	45	28.9	4.4	20.0	17.8	2.2	22.2	4.4	44.4
	まつがおか	13	30.8	0.0	30.8	0.0	7.7	30.8	0.0	38.5
	みなと	46	41.3	8.7	15.2	8.7	0.0	21.7	4.3	32.6
	ゆりのき	65	43.1	6.2	16.9	16.9	3.1	12.3	1.5	43.1

第2章 一般高齢者調査結果

(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が前回よりも約10ポイント増えています。また、『自宅以外』(自宅以外の特別養護老人ホームや有料老人ホームなどで介護を受けることも考えている)は前回より少なく、約4割となっています。

図表 2.109 介護が必要になったときに、介護を受けたい場所



※『自宅以外』

- (自宅以外の特別養護老人ホームや有料老人ホームなどで介護を受けることも考えている)
- = 「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設(グループホーム)で介護を受けたい」
- + 「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入りたい」
- + 「高齢者向け住宅(有料老人ホームなど)に入りたい」
- + 「その他」

※選択肢として、平成28年度調査は「介護サービスを利用して、高齢者向け住宅で介護を受けたい」、平成22・25年度調査は「病院に入院したい」があった(それぞれ『自宅以外』に含めている)

※平成19年度調査は、「わからない」はない

問 43-1 問 43 で「1（自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい）」に○をつけた方にうかがいます。どなたから介護を受けたいですか。（ひとつだけ○）

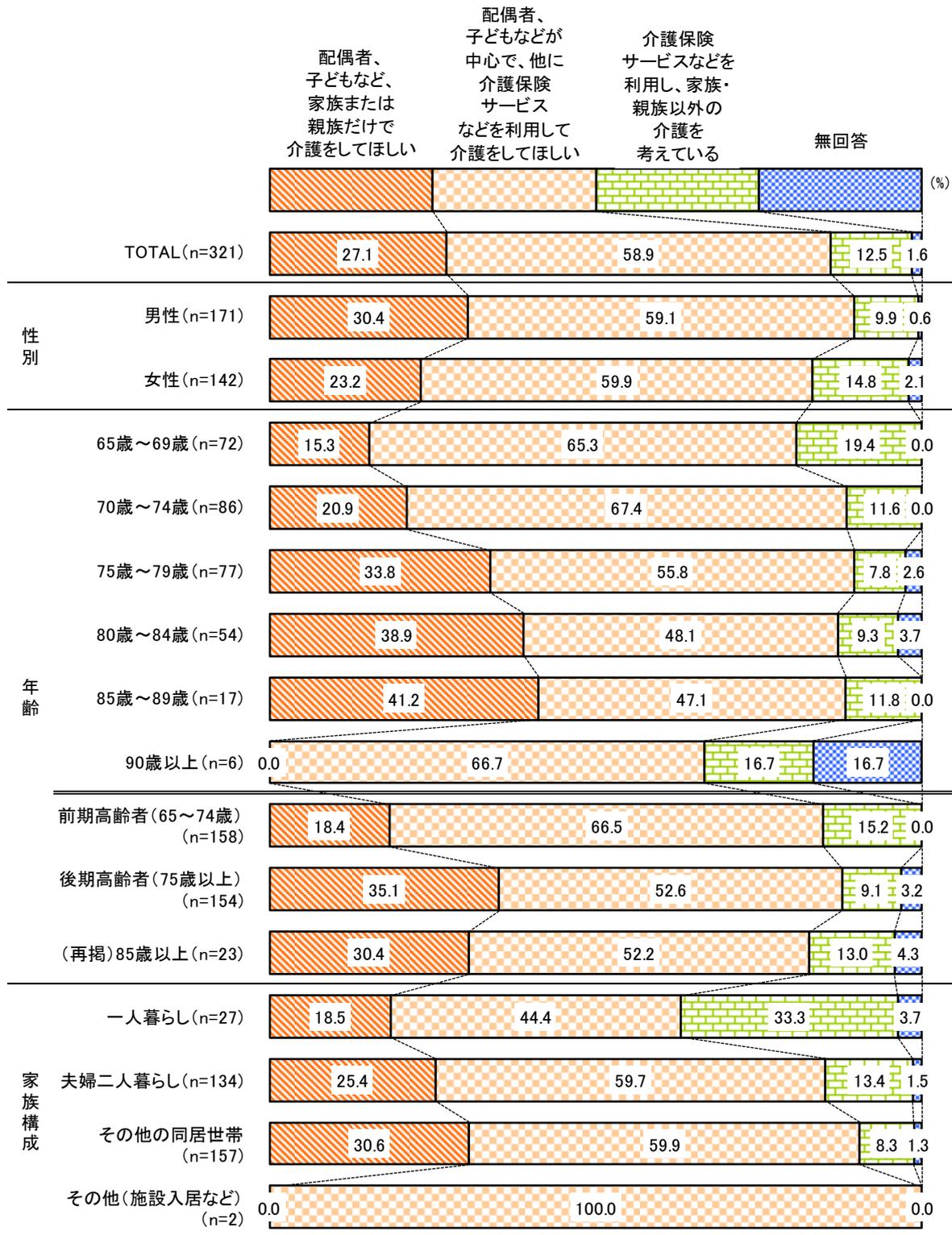
「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」とする方（321 人）の介護を受けたい対象については、「配偶者、子どもなどが中心で、他に介護保険サービスなどを利用して介護をしてほしい」は 58.9%で最も多く、次いで「配偶者、子どもなど、家族または親族だけで介護をしてほしい」は 27.1%となっており、家族または親族が介護に関わることを希望する割合は、8割（86.0%）を超えています。一方で、「介護保険サービスなどを利用し、家族・親族以外の介護を考えている」は 12.5%となっています。

性別では、「男性」で「配偶者、子どもなど、家族または親族だけで介護をしてほしい」が 30.4%と「女性」（23.2%）を上回っています。一方、「女性」では「介護保険サービスなどを利用し、家族・親族以外の介護を考えている」が 14.8%と、「男性」（9.9%）を上回っています。

年齢別では、高年齢ほど、「配偶者、子どもなど、家族または親族だけで介護をしてほしい」が高い傾向がみられ、「80歳～84歳」では 38.9%となっています。

家族構成別では、「配偶者、子どもなど、家族または親族だけで介護をしてほしい」は、「一人暮らし」では 18.5%ですが、「その他の同居世帯」（30.6%）、「夫婦二人暮らし」（25.4%）では高くなっています。また、「一人暮らし」では、「介護保険サービスなどを利用し、家族・親族以外の介護を考えている」が 3割（33.3%）と他の家族構成に比べて高くなっています。

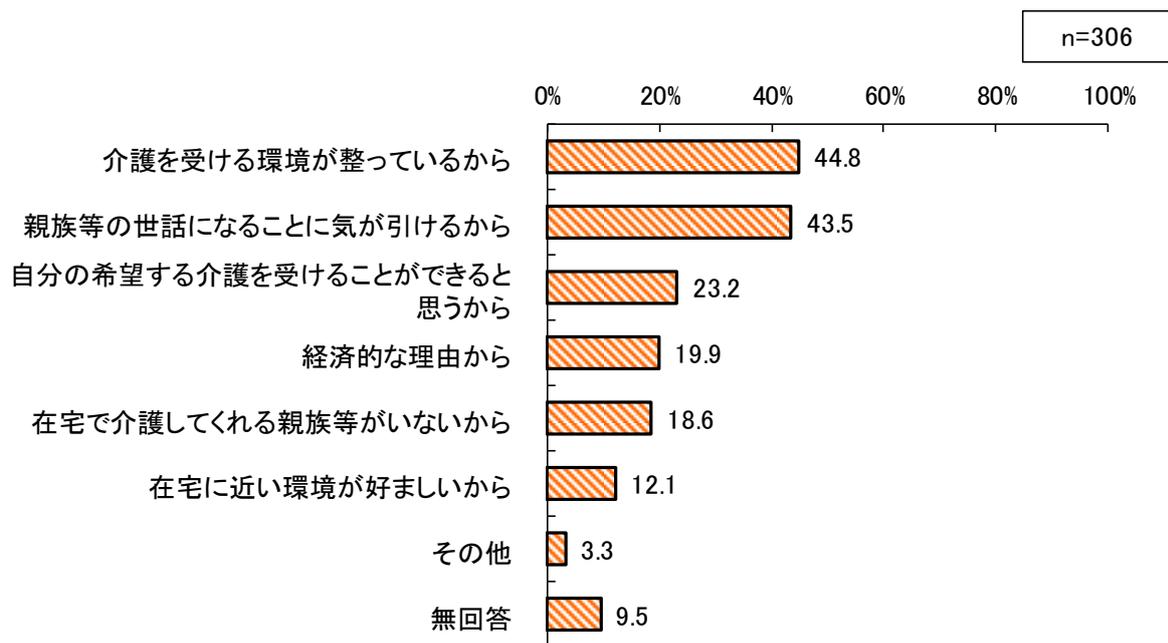
図表 2.110 在宅介護の際の希望介護者



問 43-2 問 43 で 2～5（自宅以外）に○をつけた方にうかがいます。その場所を選んだ理由について、お答えください。（あてはまるものすべてに○）

自宅以外で介護を受けたいと回答された方（306人）について、自宅以外を選んだ理由をみると、「介護を受ける環境が整っているから」が44.8%、「親族等の世話になることに気が引けるから」が43.5%と、約4割となっています。次いで「自分の希望する介護を受けることができると思うから」（23.2%）、「経済的な理由から」（19.9%）、「在宅で介護してくれる親族等がないから」（18.6%）が約2割となっています。また、「在宅に近い環境が好ましいから」が12.1%となっています。

図表 2.111 自宅以外での介護を選んだ理由

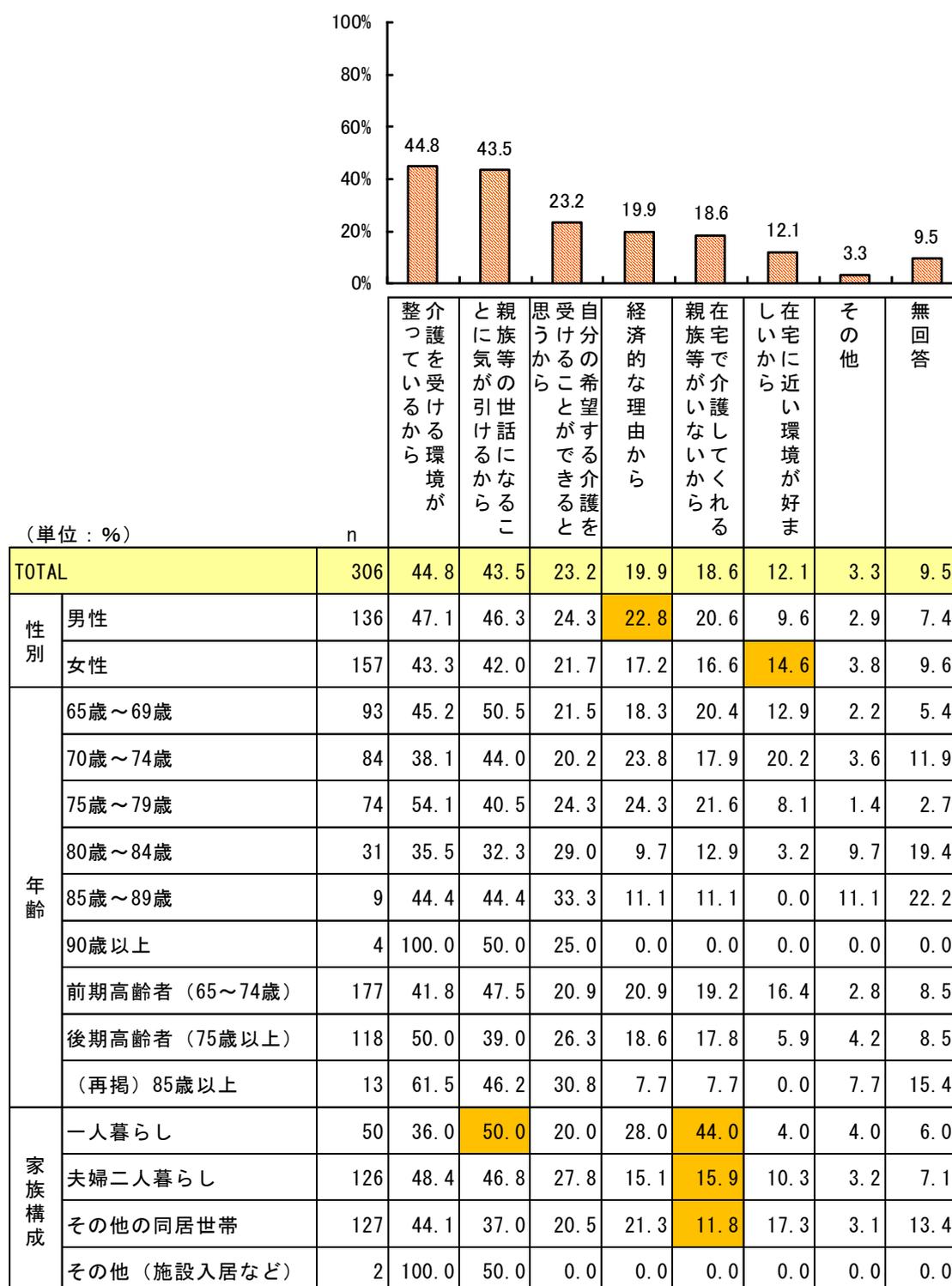


## 第2章 一般高齢者調査結果

性別では、「男性」は「経済的な理由から」が22.8%と「女性」を5ポイント以上、上回っています。一方、「女性」は、「在宅に近い環境が好ましいから」が14.6%と「男性」を5ポイント上回っています。

家族構成別では、「一人暮らし」は「在宅で介護してくれる親族等がないから」が44.0%と、「夫婦二人暮らし」(15.9%)、「その他の同居世帯」(11.8%)を大きく上回っています。また、「親族等の世話になることに気が引けるから」が50.0%となっています。

図表 2.112 自宅以外での介護を選んだ理由



将来介護を受けたい場所別（問 43）にみると、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい」（44人）については、「自分の希望する介護を受けることができると思うから」が34.1%、「在宅に近い環境が好ましいから」が31.8%と、他の介護を受けたい場所より高くなっています。

「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」（164人）については、「介護を受ける環境が整っているから」が50.6%、「経済的な理由から」が28.7%、「在宅で介護してくれる親族等がないから」が22.6%と、他の介護を受けたい場所より高くなっています。

「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい」（81人）については、「親族等の世話になることに気が引けるから」、「介護を受ける環境が整っているから」がともに45.7%と多くなっています。

図表 2.113 自宅以外での介護を選んだ理由

		整	と親	思	自	経	親	し	そ	無
		介	に	う	分	済	在	在	他	回
		つ	族	け	の	的	宅	宅		答
		護	等	ら	希	な	で	に		
		て	が	か	望	理	介	近		
		い	の	ら	す	由	護	い		
		る	引	こ	る	か	し	環		
		か	世	と	で	ら	境	境		
		ら	話	可	か		が	が		
		環	に	介	介		好	好		
		境	か	護	護		ま	ま		
		が	ら	と	を					
		が	こ	を						
(単位：%)		n								
TOTAL		306	44.8	43.5	23.2	19.9	18.6	12.1	3.3	9.5
将来 介護を 受け たい 場所	認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい	44	38.6	40.9	34.1	20.5	15.9	31.8	0.0	9.1
	介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	164	50.6	44.5	19.5	28.7	22.6	6.1	1.8	9.1
	高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい	81	45.7	45.7	28.4	2.5	14.8	13.6	1.2	7.4
	その他	17	0.0	29.4	5.9	17.6	5.9	11.8	35.3	23.5

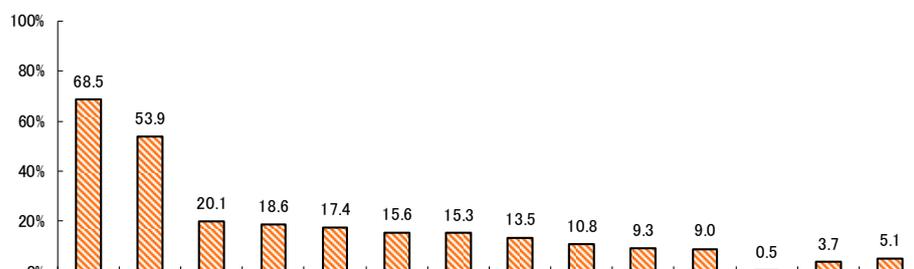
問 44 在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(主なものの3つまでに○)

在宅で暮らし続けるために必要なことについては、「住み続けられる住まいがある」が 68.5%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」(53.9%)、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」(20.1%)、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」(18.6%)の順となっています。

性別では大きな違いはみられませんが、年齢別では、「後期高齢者」で「住み続けられる住まいがある」(72.6%)、「家族が同居または近くにいる」(57.4%)が「前期高齢者」を5ポイント以上、上回っており、それ以外の項目については、「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っています。

家族構成別では、「一人暮らし」では、「見守ってくれる友人・知人が近くにいる」が19.4%と他の家族構成に比べて高くなっており、「その他の同居世帯」「夫婦二人暮らし」では、「家族が同居または近くにいる」が半数を超えています(「その他の同居世帯」62.3%、「夫婦二人暮らし」54.3%)。

図表 2.114 在宅で暮らし続けるために必要なこと



		単位: %	n	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある	身近に利用できる医療機関がある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	訪問介護や訪問看護サービスがある	入所可能な短期入所サービスがある	介護者の入院など緊急時に利用可能な短期入所サービスがある	入浴のみ、食事のみ、トイレのみなど、短時間の通入サービスがある	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	いつでも近くにある施設(入所)を利用できる	その他	わからない	無回答
TOTAL			778	68.5	53.9	20.1	18.6	17.4	15.6	15.3	13.5	10.8	9.3	9.0	0.5	3.7	5.1	
性別	男性		371	73.3	58.2	19.7	16.2	17.8	17.0	14.8	14.8	8.9	6.7	7.5	0.8	3.5	1.9	
	女性		382	64.9	50.5	20.7	21.5	17.3	14.9	16.5	12.8	12.6	11.3	10.2	0.3	3.9	7.1	
年齢	65歳～69歳		202	63.9	52.5	23.3	21.3	20.3	17.8	18.8	19.8	12.9	8.4	11.9	1.0	4.5	3.0	
	70歳～74歳		217	67.7	51.6	23.5	21.7	18.0	16.1	18.9	10.1	10.6	10.1	8.3	0.5	4.1	4.1	
	75歳～79歳		185	70.8	52.4	19.5	19.5	16.2	11.9	14.6	15.1	11.9	7.6	8.1	0.0	2.2	4.9	
	80歳～84歳		102	72.5	60.8	10.8	11.8	12.7	17.6	10.8	6.9	6.9	9.8	6.9	1.0	4.9	5.9	
	85歳～89歳		35	85.7	71.4	17.1	11.4	17.1	22.9	2.9	17.1	5.7	5.7	2.9	0.0	2.9	8.6	
	90歳以上		14	64.3	64.3	7.1	7.1	28.6	7.1	0.0	7.1	7.1	21.4	7.1	0.0	0.0	14.3	
	前期高齢者(65～74歳)		419	65.9	52.0	23.4	21.5	19.1	16.9	18.9	14.8	11.7	9.3	10.0	0.7	4.3	3.6	
	後期高齢者(75歳以上)		336	72.6	57.4	16.1	15.8	15.8	14.6	11.6	12.5	9.5	8.6	7.1	0.3	3.0	6.0	
(再掲) 85歳以上		49	79.6	69.4	14.3	10.2	20.4	18.4	2.0	14.3	6.1	10.2	4.1	0.0	2.0	10.2		
家族構成	一人暮らし		108	66.7	25.0	22.2	13.0	17.6	12.0	15.7	7.4	13.9	19.4	12.0	2.8	10.2	4.6	
	夫婦二人暮らし		313	72.2	54.3	23.3	20.1	18.8	16.6	16.6	15.3	12.1	7.0	7.0	0.0	2.6	3.8	
	その他の同居世帯		350	66.3	62.3	16.0	19.4	15.7	15.7	13.7	14.0	8.6	8.3	9.7	0.3	2.9	6.3	
	その他(施設入居など)		4	75.0	100.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 45 在宅で介護をする家族には、どのような理解や支援が必要だと思いますか。これまで介護の経験がない方は、想像で構いません。(あてはまるものすべてに○)

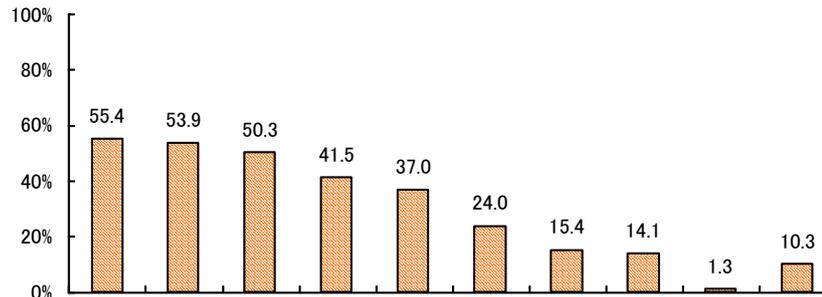
介護者の負担や悩みを和らげるために必要な理解や支援については、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が55.4%で最も多く、次いで「経済的負担軽減への支援」（53.9%）、「介護と医療の円滑な連携」（50.3%）がいずれも5割を超えているほか、「介護方法の情報提供」が41.5%の順となっています。

性別では、「男性」は「介護と医療の円滑な連携」が55.8%、「介護方法の情報提供」が48.8%と「女性」を約10ポイント、大きく上回っています。「女性」では、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が58.9%、「個別の悩みごとを相談できる場所など、精神的負担軽減への支援」が40.3%と、「男性」を5ポイント以上、上回っています。

年齢別では、「65歳～69歳」においては、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が67.8%、「経済的負担軽減への支援」が65.3%、「介護に対する職場の理解」が19.3%と他の年齢に比べて高くなっています。

家族構成別では、「一人暮らし」では、「経済的負担軽減への支援」が49.1%、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が48.1%とともに約半数となっています。「夫婦二人暮らし」では、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が57.2%で最も多く、「その他の同居世帯」でも、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が56.3%で最も多くなっています。

図表 2.115 介護者の負担や悩みを和らげるために必要な理解や支援



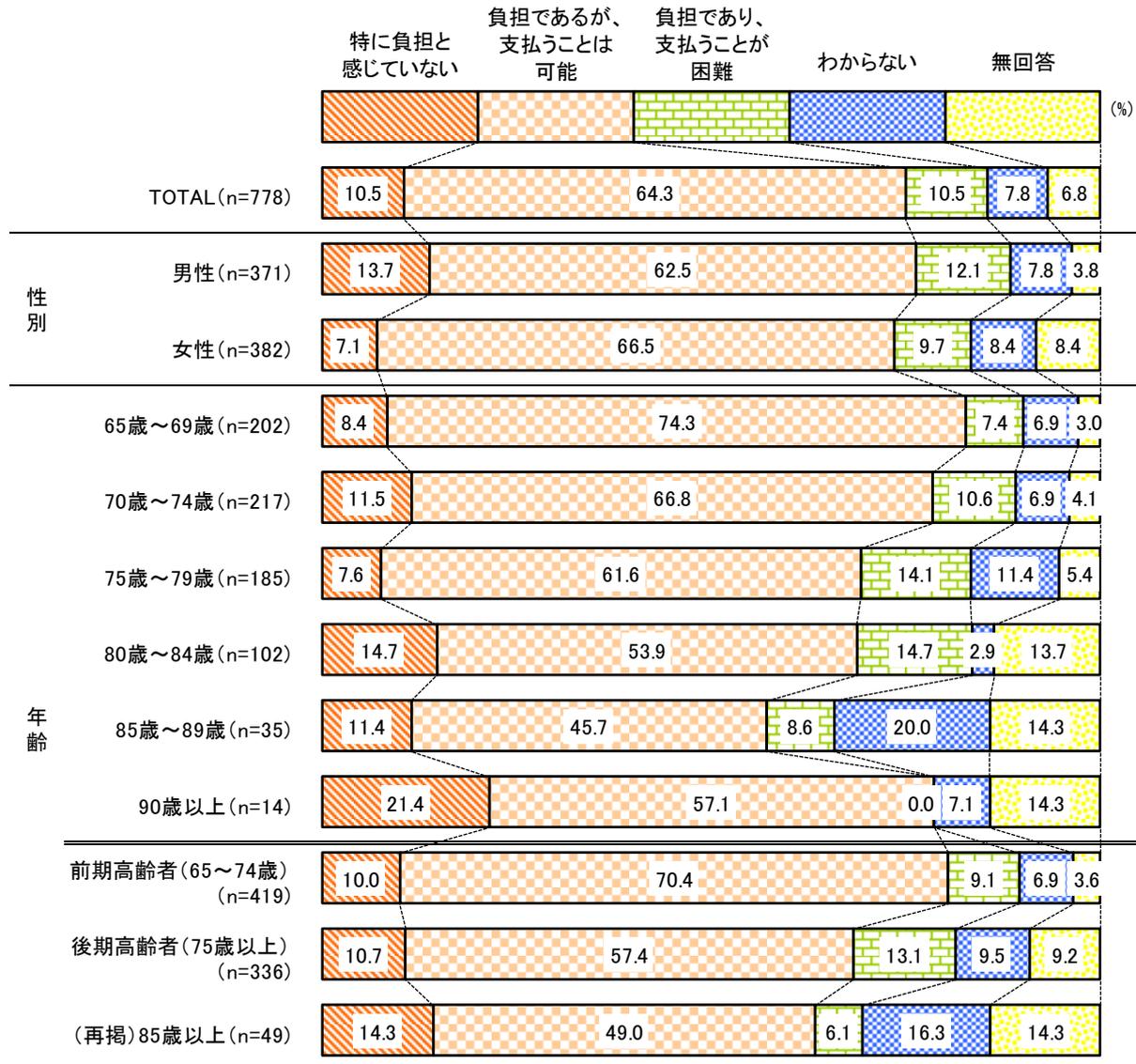
		n	介護サービスの利用による、身体的負担軽減への支援	経済的負担軽減への支援	介護と医療の円滑な連携	介護方法の情報提供	減る場所など、精神的負担軽減への支援	個別の悩みごとを相談できる場	介護者のリフレッシュへの理解	介護に対する地域の理解	介護に対する職場の理解	その他	無回答
TOTAL		778	55.4	53.9	50.3	41.5	37.0	24.0	15.4	14.1	1.3	10.3	
性別	男性	371	52.0	58.2	55.8	48.8	33.7	20.5	16.4	12.4	1.3	5.4	
	女性	382	58.9	50.8	46.1	34.8	40.3	27.5	14.9	16.2	1.3	13.4	
年齢	65歳～69歳	202	67.8	65.3	53.5	42.1	39.6	26.7	12.9	19.3	0.0	4.5	
	70歳～74歳	217	60.4	55.8	52.5	40.1	38.7	24.9	14.3	12.4	0.5	8.3	
	75歳～79歳	185	51.9	56.8	45.9	43.8	35.7	27.0	15.1	11.9	1.1	9.7	
	80歳～84歳	102	36.3	32.4	50.0	41.2	29.4	17.6	19.6	15.7	3.9	18.6	
	85歳～89歳	35	45.7	54.3	54.3	51.4	54.3	14.3	34.3	17.1	2.9	11.4	
	90歳以上	14	21.4	7.1	42.9	21.4	14.3	7.1	14.3	0.0	14.3	28.6	
	前期高齢者（65～74歳）	419	64.0	60.4	53.0	41.1	39.1	25.8	13.6	15.8	0.2	6.4	
	後期高齢者（75歳以上）	336	45.2	47.0	47.9	42.9	34.8	22.0	18.5	13.1	2.7	13.4	
	（再掲）85歳以上	49	38.8	40.8	51.0	42.9	42.9	12.2	28.6	12.2	6.1	16.3	
家族構成	一人暮らし	108	48.1	49.1	41.7	36.1	37.0	14.8	11.1	13.9	3.7	16.7	
	夫婦二人暮らし	313	57.2	54.3	55.6	47.6	41.9	27.8	15.3	8.9	1.0	7.3	
	その他の同居世帯	350	56.3	55.1	48.3	38.0	33.1	23.1	16.9	19.1	0.6	10.9	
	その他（施設入居など）	4	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	

問 46 介護保険料についてどのように感じていますか。(ひとつだけ○)

介護保険料については、「負担であるが、支払うことは可能」が64.3%で最も多く、次いで「特に負担と感じていない」10.5%、「負担であり、支払うことが困難」10.5%、「わからない」7.8%となっています。

性別では、「男性」で「特に負担と感じていない」が13.7%と、「女性」(7.1%)を上回っています。年齢別では、高年齢ほど、「負担であり、支払うことが困難」が高くなる傾向がみられ、「80歳～84歳」では14.7%となっています。

図表 2.116 介護保険料の負担感



**問 47 介護保険料やサービス利用料の負担が大きくなる中で、今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険のサービスは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)**

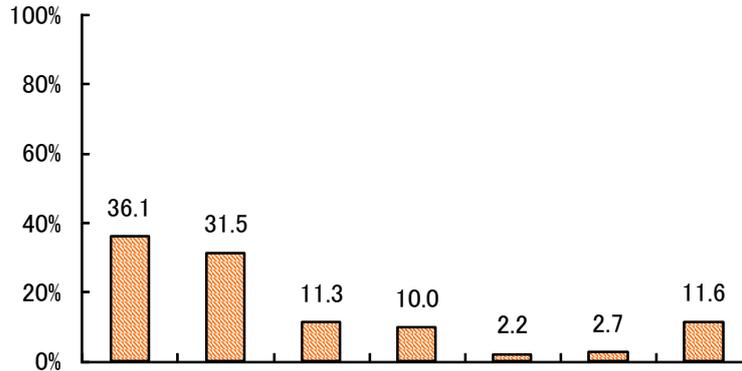
介護保険料やサービス利用料の負担が大きくなる中で、今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険のサービスについては、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が36.1%で最も多く、次いで「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」が31.5%、「通所サービス（デイサービスなど）」が11.3%、「短期入所（ショートステイ）」が10.0%となっています。

性別では、「男性」は、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が43.4%と最も多くなっています。一方、「女性」は、「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」が33.8%と最も多く、次いで「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が29.1%となっています。

年齢別では、高年齢ほど、「通所サービス（デイサービスなど）」が高くなる傾向がみられます。一方、「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」については、「後期高齢者」に比べて「前期高齢者」（35.8%）が約10ポイント、大きく上回っています。

家族構成別では、「一人暮らし」では、「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」が36.1%と最も多くなっています。「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」では、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が39.9%、34.6%となっています。

図表 2.117 今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービス



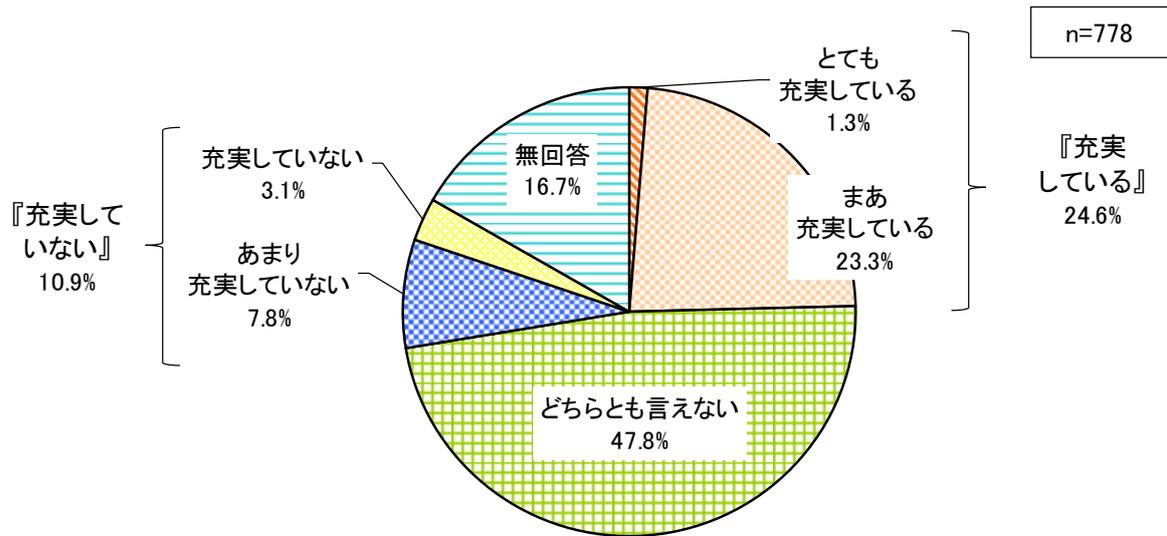
(単位：%)

		n	訪問サービス、 看護師の訪問 など	施設サービス （特別養護 老人ホーム など）	サービスなど （デイ通所 サービス）	ティ短期 入所（シ ョートス テイ）	その他	充実さ せる必 要はな い	無回 答
TOTAL		778	36.1	31.5	11.3	10.0	2.2	2.7	11.6
性別	男性	371	43.4	29.4	8.6	7.3	2.7	4.0	7.0
	女性	382	29.1	33.8	13.6	13.4	1.8	1.6	15.4
年齢	65歳～69歳	202	36.1	39.1	7.4	14.4	2.0	1.5	7.4
	70歳～74歳	217	35.5	32.7	12.9	12.0	2.3	3.2	8.8
	75歳～79歳	185	38.4	28.1	12.4	8.1	2.2	1.6	11.4
	80歳～84歳	102	34.3	22.5	13.7	5.9	2.9	4.9	20.6
	85歳～89歳	35	40.0	22.9	14.3	5.7	0.0	5.7	14.3
	90歳以上	14	35.7	28.6	7.1	0.0	7.1	0.0	21.4
	前期高齢者（65～74歳）	419	35.8	35.8	10.3	13.1	2.1	2.4	8.1
	後期高齢者（75歳以上）	336	37.2	25.9	12.8	6.8	2.4	3.0	14.9
	（再掲）85歳以上	49	38.8	24.5	12.2	4.1	2.0	4.1	16.3
家族構成	一人暮らし	108	30.6	36.1	7.4	6.5	1.9	5.6	17.6
	夫婦二人暮らし	313	39.9	32.3	11.2	10.5	2.6	1.3	8.0
	その他の同居世帯	350	34.6	29.1	12.6	10.9	2.0	3.1	12.9
	その他（施設入居など）	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 48 あなたは介護保険制度・高齢者福祉施策について、どのように感じますか。(もっとも近い考えをひとつだけ○)

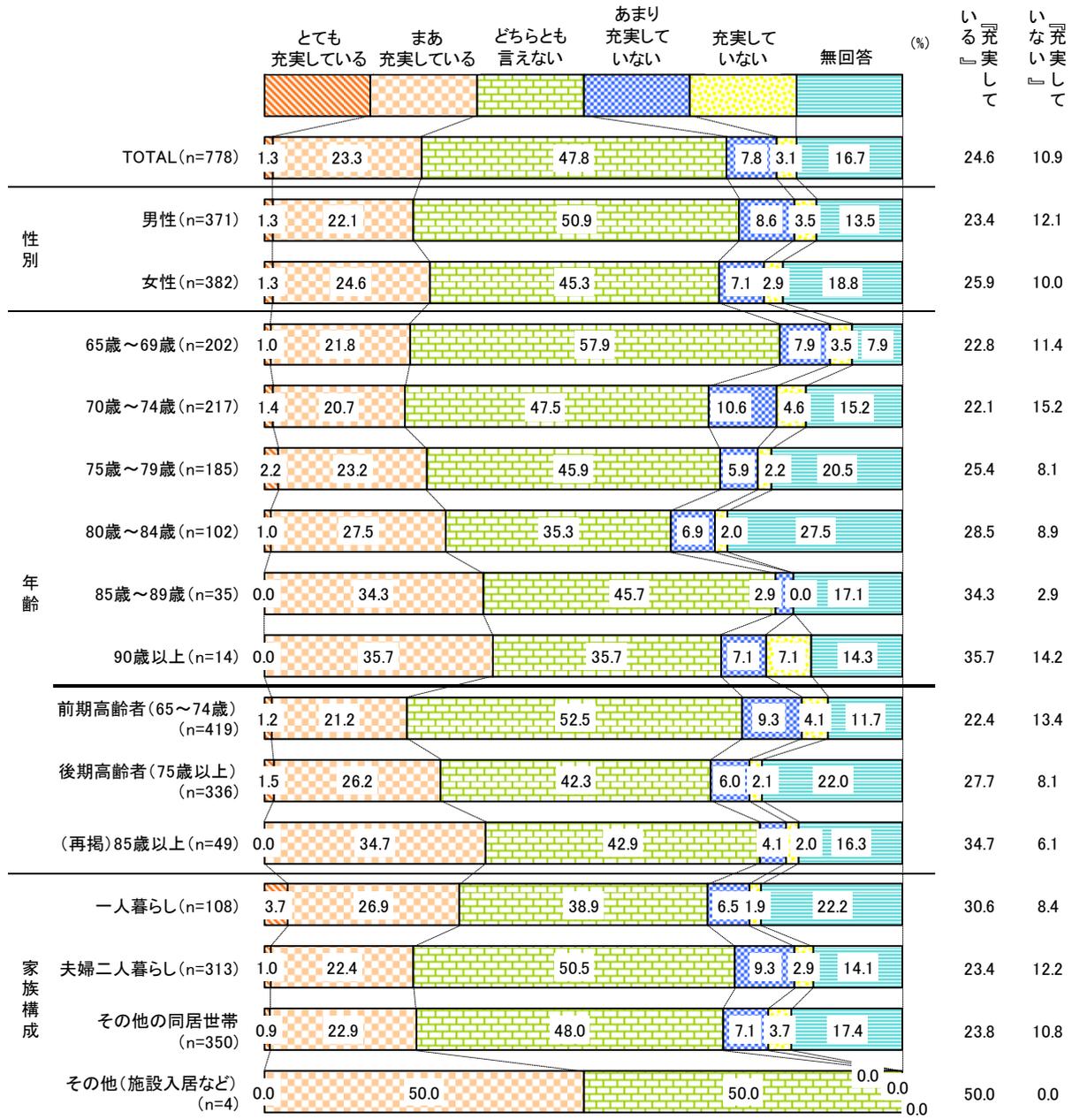
介護保険制度・高齢者福祉施策について、「とても充実している」(1.3%)、「まあ充実している」(23.3%)を合わせた『充実している』の割合は24.6%となっています。「あまり充実していない」(7.8%)、「充実していない」(3.1%)を合わせた『充実していない』は10.9%となっています。また「どちらとも言えない」が47.8%となっています。

図表 2.118 介護保険制度・高齢者福祉施策の充実度



性別では大きな違いはみられませんが、年齢別では、高年齢ほど、「まあ充実している」が高い傾向がみられます。「(再掲) 85歳以上」では「まあ充実している」は34.7%となっています。

図表 2.119 介護保険制度・高齢者福祉施策についての充実度

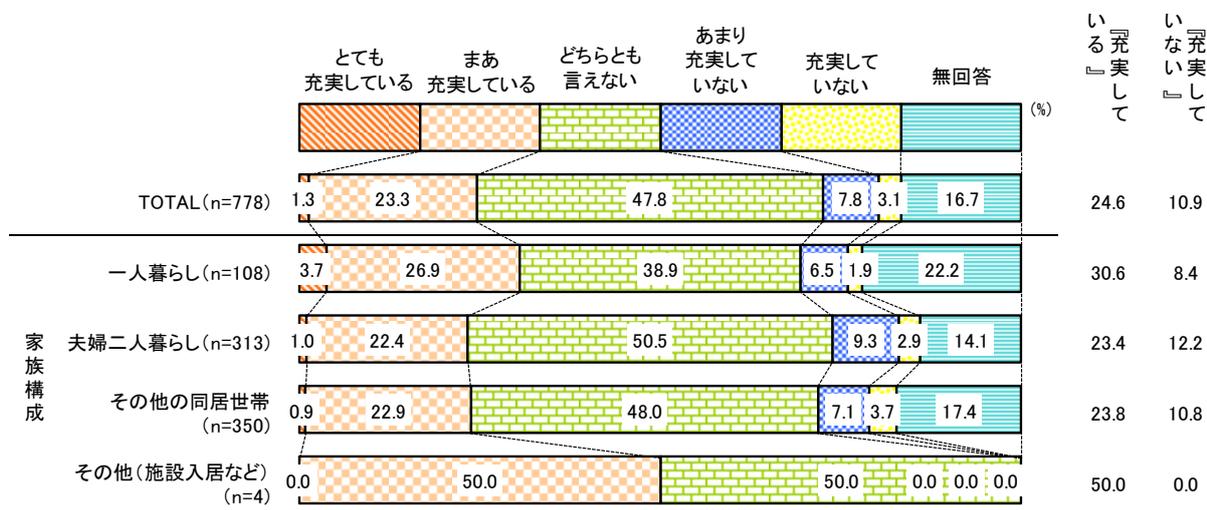


## 第2章 一般高齢者調査結果

家族構成別では、「一人暮らし」では、「とても充実している」(3.7%)、「まあ充実している」(26.9%)を合わせて、『充実している』となっています。

「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」では、「とても充実している」、「まあ充実している」を合わせて『充実している』とする割合は、「その他の同居世帯」で23.8%、「夫婦二人暮らし」で23.4%と約2割となっています。

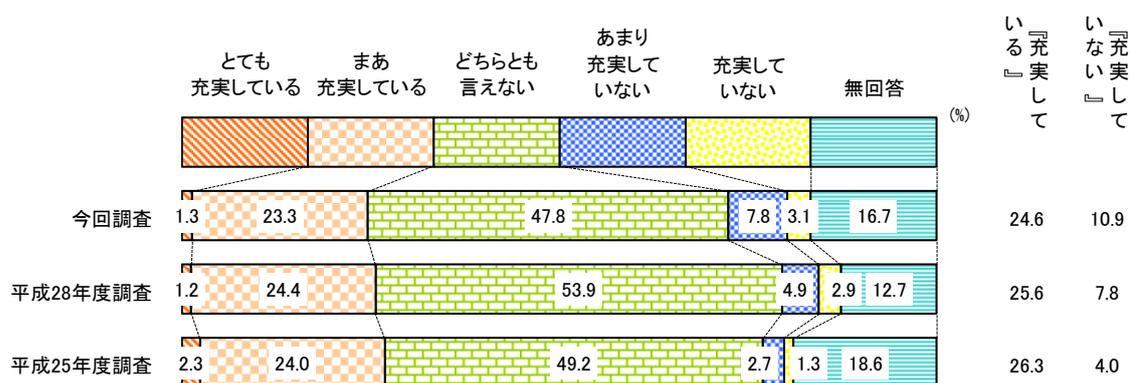
図表 2.120 介護保険制度・高齢者福祉施策についての充実度



### (経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、『充実している』はほぼ同じ割合となっています。一方、『充実していない』が3ポイントほど増加しています。

図表 2.121 介護保険制度・高齢者福祉施策についての充実度



問 48-1 問 48 で「4. あまり充実していない」、「5. 充実していない」に○をつけた方にか  
がいます。その理由は何ですか。御自由にお書きください。

(以下、63 件から抜粋)

(1) 健康づくり、介護予防について

- ・ 本当に介護保険等の医療費が拡大するのであれば、それを抑えるためにはもっと健康でいられるようにする仕組みと、場所、人が必要でないでしょうか。(男性、70 歳～74 歳、おおすみ)

(2) 医療について

- ・ 介護は必要ですがその前に死ぬまで一人で自分のことを自分でできるよう病気の早期発見、早期治療を望みます。今の医療は症状が進むまで治療ができない医療制度のように思います。(女性、65 歳～69 歳、みなど)
- ・ 長期入院できないと聞いています。(女性、70 歳～74 歳、倉田会)

(3) 介護サービスの内容について

- ・ 夫が認知症になり、デイサービス、ショートステイを利用しました。デイはスタッフの入れ替りがあって、利用者として不安を感じます。(女性、75 歳～79 歳、倉田会)
- ・ 手続きばかりに時間や労力がかかり、実際に受けたサービスはなかった。(女性、70 歳～74 歳、ごてん)
- ・ 現在息子に頼っていますが、自由に運転を頼める人がいるとよいと思います。(女性、80 歳～84 歳、あさひきた)
- ・ 介護保険料も上がり、高齢者もさらに多くなったが、介護に関するサービスが「充実している」とは思えません。(女性、65 歳～69 歳、みなど)
- ・ 訪問サービス、施設サービス共にサービスを受ける人の実態に合った必要なサービスを受けることができていないという話を聞く。(男性、75 歳～79 歳、おおすみ)

(4) 介護保険料について

- ・ 介護保険料が高すぎる。(男性、70 歳～74 歳、あさひきた)
- ・ 介護保険を、何年も使わなかったら、安くなったらいいと思います。(男性、70 歳～74 歳、おおすみ)
- ・ 介護保険料が高い割には、あまり充実していない。(女性、70 歳～74 歳、ひらつかにし)
- ・ 保険料が余りにも高い。(男性、75 歳～79 歳、ひらつかにし)
- ・ 子供は見てくれるといますが、私は経済的理由で自宅で介護しました。国民年金月 5 万円くらいですと負担する費用は大変です。家族に負担をかけずに介護保険で施設に入れることを望みます。(女性、75 歳～79 歳、おおすみ)

(5) 介護施設について

- ・ 特別養護老人ホームが全国的に少なく、入所待ちの人達が大勢で何年もかかっている。高い保険料を払っている意味がない。(男性、75 歳～79 歳、あさひきた)
- ・ 特養などの施設が足りないと思う。(男性、70 歳～74 歳、おおすみ)
- ・ 特別養護老人ホームに入所することが困難。(女性、75 歳～79 歳、倉田会)
- ・ 特別養護老人ホームに母を申込んでいるが (2ヶ所) 50 人、100 人まちの状況 (男性、65 歳～69 歳、サンレジデンス湘南)

## 第2章 一般高齢者調査結果

### (6) 介護認定について

- ・ 介護認定が低い人への支援が充実していない。(女性、65歳～69歳、あさひきた)
- ・ 介護認定の判断が厳しくなり、高い保険料を支払っているのにもかかわらず、要支援の認定などのハードルが高いような気がします。(女性、65歳～69歳、富士白苑)
- ・ 介護保険制度は認定基準が厳しくなり、介護サービスの利用回数が減ることになった。(女性、80歳～84歳、ごてん)

### (7) 介護施設のスタッフについて

- ・ 介護するスタッフの“人間力”に疑問が残る。割り切りができない。(男性、70歳～74歳、富士白苑)
- ・ 介護する人達のつらい話をよく聞く。(男性、75歳～79歳、サンレジデンス湘南)

### (8) まちづくりについて

- ・ 歩道橋があるが、取り払って欲しい。バリアフリーがほとんど考えられていない。平塚市だけでも、全国の見本になるようなバリアフリー化をお願いしたい。(女性、75歳～79歳、みなど)

### (9) 情報提供、相談について

- ・ 介護保険制度で、どのような事業を実現しようとしているのか、目標としているところと、現在の実態を情報として提供すべきと思います。(男性、65歳～69歳、ゆりのき)

問 49 介護保険制度・高齢者福祉施策に対して、御意見や御要望がございましたら、御自由にお書きください。

(以下、248件から抜粋)

(1) 健康づくり、介護予防について

- ・ 本人の生き方と公的援助の充実により、介護予防の効果が持続し、精神的にも体力的にも穏やかな老後の日々を送れることを願います。要介護の状態になったら、介護施設への入居または、在宅支援を受けて、天寿を全うできたら、幸せです。(女性、70歳～74歳、富士白苑)
- ・ 未病や予防の啓発活動を充実させるような運動が必要だと思います。(男性、65歳～69歳、あさひみなみ)
- ・ 自分の健康、体力向上に総合谷園内のスポーツジム、プール等を利用しています。現在スポーツジムはクローズしたため秦野市のスポーツジムを利用しています。秦野市は70才以上の利用は無料です。平塚は300円。平塚市も70才以上の健康、体力向上に一考する事を願います。(男性、75歳～79歳、あさひきた)

(2) 生活支援、社会参加について

- ・ 参加者が少ない、または、同じ人ばかり利用する教室、講習は再考して欲しい。(女性、75歳～79歳、あさひみなみ)
- ・ 高齢者対策が全ての世代で活用できる施策を行うべきである。人と人との絆が薄れているなかで、「老いも若きも地域での一つのボランティア活動を！」の運動を進めてほしい。(男性、75歳～79歳、あさひみなみ)
- ・ 制度、施策ばかりでなく、社会の中で、人々が助けあって、行くことが大切なのではないでしょうか。(男性、70歳～74歳、おおすみ)
- ・ 介護保険を使っていない高齢者のためのカルチャー教室を増やし、一人でも多くの人に参加できるようにお願いします。(女性、70歳～74歳、ゆりのき)

(3) 移動交通手段について

- ・ 高齢者はひとりひとり老化の度合いが違う。元気な老人になるための、市のサポートが必要です。年をとるごとに差が開きます。交通機関(バス、JR等)の無料化を希望します。(外出の機会が増えると思います。)(男性、70歳～74歳、みなと)
- ・ 3年前に6年間義母の介護をさせて頂きました。一時車イスの生活があり介護タクシー(病院)を頼みましたが、予約がいきり、待ち時間もあって、結構大変でした。車いすが乗れる車の購入も考えたことがありました。あれから時がたちましたが、交通機関が楽だといったと思います。(女性、65歳～69歳、倉田会)
- ・ 車による移送サービスをお願いしたい。年金が安い場合病気をした場合タクシー代が大変です。(男性、80歳～84歳、富士白苑)

## 第2章 一般高齢者調査結果

### (4) 介護保険制度について

- ・ 介護保険制度がもし無かったとしたらと考えてみると、やはり介護保険制度は、あった方がいいと思う。年をとって、誰かに助けてもらいたい時、助けてもらえる制度と思う。保険料が高いのは気に入らないが、払うしかない。国の税金の使い道とともに、国民が安心して生きて死んでいく道を整えて欲しいと思っています。(女性、65歳～69歳、あさひみなみ)
- ・ 平均寿命が伸びることにより老老介護（夫婦間・親子と子）が増加してくると思います。先般、福井県敦賀市で介護疲れのため3人（夫・義父母）を殺害し、奥さんが逮捕される痛々しい事件がおこりました。発生した背景・経緯はわかりませんが、介護で目一杯であったと思われます。このようなことが二度と発生しないような仕組み・制度づくり・支援が必要だと考えます。敦賀市の支援制度は知りませんが、平塚市は如何でしょうか。今後増加する老老介護に対して重要課題として取組を展開して頂きたいと思っています。(男性、65歳～69歳、おおすみ)
- ・ 老いるといってもそれぞれ個人差があり、介護・医療にもそれぞれの状況に応じた段階の施設があればよいと思う。今後高齢化社会を向え、紋切型の施設・考え方では対応出来ないのではないかと危惧します。老人が増える社会は複雑で対応は難しいと思うが、長寿社会になればなるほど自助努力も必要だと思う。(男性、75歳～79歳、ごてん)
- ・ 義父が認知症の発症後、年365日のデイサービスを数年利用し、大変助かった。その後、夜間の世話、食事の世話も家族では困難となり、有料老人ホームに入所。1年余りで死去したが、1日おきに様子も見に行けて、よい終末を迎えられた。比較的経済的余裕があったので、このような対応がとれたが、高齢者への年金支給減額や諸々の負担増などから、我々の世代（現在65才）では義父（昭和元年生まれ）のような終末を迎えられるのが不安である。妻が自分の父に対する献身的な活動をするのを見るにつけ、介護する家族への援助制度の確立を望む。近所に90才の実母、義母を持ち、精神的負担も続くと思います。(男性、65歳～69歳、富士白苑)

### (5) 介護サービスの内容について

- ・ 介護職として思うのですが、①家族の支援が得られる、または、経済的な心配がない人達と②1人暮らし、または、経済的弱者の格差が余りに大きいことかなと思います。福祉施策に関しては最弱者により焦点をあて手厚くするべきかと思います。あとは介護職の増員とかAIやロボットを利用した介護負担の軽減とかが必要だと思います。壁は高く厚いですがお願いします。(男性、65歳～69歳、あさひみなみ)
- ・ 不要なサービスを使わされている感じがします。利用者の望むだけのサービスを利用出来るようにする努力がいます。介護保険が無駄を感じます。利用して2年になりますが、何が使えるか、使うか手探りで、今も探しています。市役所の高齢福祉課に相談に行っても、施設のリストをくれるだけでした。地域包括支援センターも動いてくれませんでした。(女性、75歳～79歳、倉田会)
- ・ 介護度が軽い人に対して家事支援が打ち切られてしまっていて残念です。少し手助けしてもらえると元気で生活できるのにと不安をかかえる友人も多いです。介護が必要になるとやはり家族や子供に負担がかかって来るので日頃の関係が大切ですが、手伝える子供ばかりでないし、独身や子供のいない人もいるので、きめ細かい対応をしてもらえる専門職が増えて欲しいです。(男性、70歳～74歳、ひらつかにし)

- ・ 制度としては良い制度だと思うが、実際に自分の親が介護認定されサービスを受けようとしたが、本人の症状や生活場所の変化（自分の家から本人の自宅）で、手続きばかりに労を使い、サービスはろくに使えず、最後は病院で亡くなった。私も夫も、現在、病気で夫は介護認定されたが、使いたいサービスは何もなく、2人それぞれ病院通いの日々、老人ホームを探すこともできません。（女性、70歳～74歳、ごてん）
- ・ 施設サービスの充実（安心して死ねる場所）が今後ますます必要になると思いますが介護してもらいたくても介護人が老齢では十分な介護はできないと思います。しかし施設の人も皆がやさしい人ばかりとは限りません。その点では教育が必要だと思います。（男性、85歳～89歳、まつがおか）
- ・ 通所サービス（デイサービス）利用の場合、機能訓練（筋力・認知機能）の時間の充実に希望します。私たち高齢者に生きる喜びを与えてくれる施策の計画に感謝をいたします。平塚市とより添って暮し続けて生きたいと思います。（女性、70歳～74歳、富士白苑）

#### (6) 介護保険料について

- ・ 介護保険が高すぎる。（男性、80歳～84歳、サンレジデンス湘南）
- ・ 介護保険料が高すぎると思う。（女性、65歳～69歳、ふじみ）
- ・ これまで払い続けて来た介護保険料に見合った介護をして欲しい。できれば無料にして欲しい。（男性、75歳～79歳、みなと）
- ・ 介護保険料が高く年金だけの収入では生活が厳しい。（男性、75歳～79歳、おおすみ）
- ・ 少ない年金で、高い保険料（夫婦で年間11万円以上）を払っている。年金の割に保険料が高すぎる。この他に医療保険料も払っている。これから介護・医療保険料を差し引くということは理屈に合わないのではないのでしょうか。（男性、75歳～79歳、あさひきた）
- ・ 老いてくるとやはり介護費用のことが一番心配。（女性、75歳～79歳、とよだ）
- ・ 年金受給の少ない人には介護保険料の負担が多過ぎます。（男性、65歳～69歳、みなと）
- ・ 介護保険料を少し余計出しても介護料は無料がいいです。（男性、75歳～79歳、とよだ）
- ・ 要支援や要介護の等級が上がると同じ支援や介護を受ける際、料金が上がってしまい必要な支援・介護を受けにくいのではないですか。等級が上がれば上がるほど費用がかさみ家計を圧迫してしまい良い支援・介護が受けられません。要支援・要介護の等級が上がっても利用料金を一律にすべきではないのでしょうか。（男性、65歳～69歳、ひらつかにし）
- ・ 来年70歳、100歳まで30年。介護保険も、福祉に対しても、経済的な不安を感じます。職もなく年金と貯金での生活。貯えはどんどん少なくなる一方で支出は増大。30年も生きていて大丈夫なのかな？生き残れるのかな。高齢者医療で国民健康保険が大変。などと、耳にしたり目にしたり、早く死んだ方が良いのか？ときどき生きるのがつらくなりまた不安を感じます。残り少ない人生をどうか幸せに全うできますよう心からお願いいたします。（女性、65歳～69歳、みなと）
- ・ 介護保険、後期高齢医療代は、収入に関係なく一律にしてほしい。（女性、65歳～69歳、とよだ）
- ・ 年金では生活が大変なのにかかって高い保険料を引いておいていざ使う時は門前払いでは困ります。「保険金をかえして下さい。」（男性、70歳～74歳、あさひみなみ）
- ・ 年額50万円程度の年金を妻がもらっていますが、10%を超える介護保険料は余りに負担が大きい。所得が300万以上（平均以上）の負担率を見直して頂きたい。（男性、70歳～74歳、とよだ）

## 第2章 一般高齢者調査結果

- ・ 老人が多くなり、しかたないと思うが、年金生活では、介護保険料も払うのは大変です。本当に必要になったら、良い介護が受けられる事を望みます。(女性、70歳～74歳、倉田会)
- ・ 介護保険を利用する必要の無い人には、保険料を少しでも返してほしい。(女性、70歳～74歳、ふじみ)
- ・ 介護保険料の負担が大きい。介護等支援を受けていない人には何らかの還元サービスかあってもよいのではないか。(男性、65歳～69歳、おおすみ)
- ・ スウェーデンとかの国では全くお金がかからないそうですね。日本も早くそうになってほしいです。(性別、年齢、地域不明)

### (7) 介護施設について

- ・ 公的施設をもっとふやして下さい。また、働く人も今の3倍くらいにして下さい。私達の支払う税金をしっかりと活かして使して下さい。(女性、70歳～74歳、おおすみ)
- ・ デイサービスに行かなくても、入浴だけ出来る施設があると良いです。(女性、75歳～79歳、ごてん)
- ・ 子供達に迷惑をかけたくない。私の年金の範囲で入れる施設があってほしい。(女性、70歳～74歳、あさひみなみ)
- ・ 介護の経験がないので、夫を介護するのも自分がされるのも、とても不安があります。今は病院にも長く居られないと聞きますし、動けなくなったらどうしたら良いのか不安です。子供達も離れて住んでいるので、福祉施設の充実を望みます。安心して暮らし、安心して逝きたいと思います。(女性、65歳～69歳、倉田会)
- ・ 貧乏人は施設にも入れない。誰でも入れる(弱者)施設が多く出来て欲しい。(女性、70歳～74歳、倉田会)
- ・ 特養の数を増やし、もっと入り易くなれば良いと思う。(女性、65歳～69歳、みなど)
- ・ 老人ホームの増設(男性、70歳～74歳、ひらつかにし)
- ・ 市はもっと施設サービス特別養護老人ホームなど充実させていくべき 食事も質素と言うか年相応の食事でよいと思う だれもが高齢者になる安心な不安のない死を送ることが出来る平塚であるようねがう。(女性、80歳～84歳、ふじみ)
- ・ 多くの人が軽い負担でより良い施設やサービスを受けられるよう希望致します(男性、70歳～74歳、ふじみ)
- ・ 負担金の少ない介護施設をもっと多くして頂きたい。健康な方のシェアハウスを考えて頂きたい。(女性、70歳～74歳、みなど)
- ・ 高齢者福祉施設、老人サロンの充実。公的な施設で利用者が自由に集い楽しめる施設。例えば、簡単なスポーツ(卓球、ストレッチ、体操等)、遊戯(麻雀、トランプ、花札等)、飲食(コーヒーサロン、簡単な食事。)等の設備を備え、そこに行けば一日中自由に楽しむことができるような施設が欲しい。そして有料でも良いが低料金であることを望みたい。(男性、75歳～79歳、まつがおか)
- ・ 急増する要介護者施策として以下を提案します。市内を適当な範囲で分割し守備を設定し、各地区に介護ステーションを設置します。各ステーションには医師、看護師、介護士チームを常駐で配置します。チームは要介護者宅及び潜在要介護者宅を定期的に巡回します。医師は診断、判定を中心として簡易な処置のみとし、治療行為は診療所、病院への通所、入院をうながします。介護施設へは通報、相談を行います。このことにより要介護者及び病人の早期発見が可能となり、また無駄な診療行為が減少し、ひいては在宅介護がしやすくなり、入所介護施設の適当な配置が可能となります。(性別不明、75歳～79歳、ふじみ)

(8) 介護施設のスタッフについて

- ・ 介護関係者の所得水準を上げて下さい（男性、65歳～69歳、みなど）
- ・ 介護で働く人の労働条件の向上、それが介護をうける人達が心安らかに人生を終われる事につながると思います。（女性、80歳～84歳、ゆりのき）
- ・ 施設で働いている方の給料を充実してほしい。みる人もみられる人も大変でも楽しいと思う生活をお願いします。（女性、75歳～79歳、おおすみ）
- ・ 介護に携わる人への待遇の向上、並びに教育指導（虐待等のないように）（女性、65歳～69歳、ゆりのき）
- ・ 診察で病院へ行き各検査室の前で施設から来た患者に付き添っている係の人達は、患者を無視したり怒ったりしています。日本は介護等に従事する人材の育成にもう少し力を入れることが重要だと思います。（女性、70歳～74歳、ゆりのき）

(9) まちづくりについて

- ・ 市運営のお墓がないのでほしい。（女性、75歳～79歳、みなど）
- ・ 高齢者に対していろいろな活動をして下さいますが、若者についても、また、今後の平塚を良くすることについても力を入れて下さい。（男性、80歳～84歳、あさひきた）

(10) 情報提供、相談について

- ・ 各制度に関して、情報不足であり、知らない人がほとんどです。（男性、65歳～69歳、富士白苑）
- ・ 高齢者福祉施策等の説明会等の場がほしい。（男性、75歳～79歳、あさひきた）
- ・ アンケートの結果をできれば公表し、高齢者福祉計画にどのように生かされたかを広報などで発表していただきたいと思います。アンケートには時間をかけて書きましたよ。「住みやすい街、平塚」をぜひ実現させて下さい。（女性、65歳～69歳、サンレジデンス湘南）
- ・ 介護保険制度・福祉施策等の内容をわかりやすく書いた冊子を、高齢者全員に送っていただければありがたいです。（男性、80歳～84歳、あさひみなみ）
- ・ 認知症のことやこれから自分でどんなふうになるか心配だが、悪くなることは気にはなるが、子供の手に負えなくなるとどんな風になるかよくわからない。また、ヘルパーさんへの手続きなどもよくわからない。（男性、75歳～79歳、倉田会）
- ・ 主人は82才、私は81才です。79才まで働き続け2人とも元気でおりますので、介護保険高齢者施設に利用したことはなく、あまり良くわかりません。この制度を利用するにはかかりつけの病院か、市役所か、どこに相談すればよいかわかりません、もっと詳しく知りたいです。介護保険制度・高齢者福祉施策、良いことだと思います。（女性、80歳～84歳、倉田会）
- ・ 後期高齢者の仲間に入り、いろいろと制度が充実しているようですが、「包括支援センター」と聞いてもなかなか理解できないことがあり、身近な地域で研修会などを実施して頂き、気軽に相談できる場であつたらと、思います。とにかく、健康で、明るく日々の生活を充実して過ごしたく思っています。（女性、75歳～79歳、みなど）
- ・ 一般の人への通知の徹底が必要ではないかと思います。（男性、85歳～89歳、ゆりのき）
- ・ 福祉会館の利用状況（活動内容）が、よく見えてこない。高齢者の参加を促すためにも、もっと広く知らせることが必要だと思う。（男性、70歳～74歳、あさひきた）
- ・ 申請しないと受けられないお得な情報をもっと解りやすく教えてほしい。市役所に出向かなくても手続きできるようにして欲しい。年金から住宅費が支払らえるようになれば助かる。（女性、65歳～69歳、みなど）

## 第2章 一般高齢者調査結果

- ・ 介護保険制度や高齢者福祉施策など、具体的にまだ体験していませんので、今後、介護が必要になった時の心の不安がいっぱいです。自宅での介護や施設での介護、介護の注意点や問題点、心構えなど、体験者からの意見があれば助かります。(男性、75歳～79歳、あさひきた)
- ・ 介護保険制度や高齢者福祉施策等のことが正直分らないので理解できるような印刷物はないでしょうか？(女性、85歳～89歳、ひらつかにし)
- ・ 制度や仕組みがよくわからない。事例等を紹介して、解説書等のマニュアルみたいな資料があると良い。(男性、70歳～74歳、あさひきた)
- ・ 介護保険制度・高齢者福祉施策の内容がよくわかりません。(男性、70歳～74歳、富士白苑)
- ・ サービスを受ける場合に必要なこと、どんな依頼がよいか知りたい。今後のために、参考することあれば、ご教授願いたい。(女性、80歳～84歳、ゆりのき)